

笠岡市民意識調査 調査結果報告書

平成 28 年 10 月

笠岡市政策部企画政策課

目 次

I	調査概要.....	1
1	調査の目的.....	1
2	調査方法と回収結果.....	1
（1）	調査地区.....	1
（2）	調査対象者.....	1
（3）	抽出方法.....	1
（4）	調査方法.....	1
（5）	調査期間.....	1
（6）	回収結果.....	1
（7）	留意点.....	1
II	満足度・重要度調査結果.....	2
1	満足度調査の結果.....	2
2	年齢別満足度調査の結果.....	4
3	重要度調査の結果.....	6
4	年齢別重要度調査の結果.....	8
5	重要度・満足度からみた分析.....	10
6	居住地域ごとの重要度・満足度.....	14
7	笠岡市の住み心地ごとの重要度・満足度.....	21
8	笠岡市への定住意向ごとの重要度・満足度.....	24
III	施策指標値調査結果.....	28
1	施策名ごとの指標値.....	28
IV	質問項目の分析.....	30
1	回答者の「居住の経緯」による分析.....	30
V	調査結果.....	34
1	個別分析及び回答者の属性による分析.....	34

I 調査概要

1 調査の目的

本調査は、広く市民の皆様のご意見をお聴きし、今後の市政運営に反映させることを目的として実施しました。

2 調査方法と回収結果

(1) 調査地区

岡山県笠岡市全域

(2) 調査対象者

市内在住の 18 歳以上の男女 3,000 人

(3) 抽出方法

平成 28 年 6 月 1 日現在 満 18 歳以上の市民から無作為抽出。

(4) 調査方法

郵送配布・郵送回収によるアンケート調査

(5) 調査期間

平成 28 年 6 月 24 日から平成 28 年 7 月 11 日

(6) 回収結果

抽出数	有効回収数	有効回答率
3,000 人	1,283 人	42.8%

(7) 留意点

- ・ 報告書中の「n=」とあるのはパーセントを計算するときの母数となるサンプル数（回答者数）を示しています。
- ・ 算出されたパーセントは小数第二位を四捨五入して、小数第一位までの表示としているため、その合計が必ずしも 100.0%にならない場合もあります。また、複数回答で質問している調査項目においては、その合計は 100.0%を超えます。

II 満足度・重要度調査結果

1 満足度調査の結果

満足度調査（問1「次に示す項目について、笠岡市の現状をどのように思いますか。項目ごとにあてはまる番号を1つずつ選んで○をつけてください。」）では、満足度スコア（満足率－不満率）が最も高かった項目は「ごみの減量化・資源化・省エネとリサイクル推進」で45.8%、最も低かったものは「企業誘致・雇用創出」で-49.7%となった。

※満足度：「満足率（「満足」、「まあ満足」と回答した人の割合）」から「不満率（「やや不満」、「不満」と回答した人の割合）」を控除した数値（以下「満足度スコア」という。）

	平成28年度 満足率	順位	項目	平成28年度 満足度	平成28年度 不満率	
	58.5%	1	ごみの収集・減量化・資源化・リサイクル	45.8%	12.7%	
	50.8%	2	カブトガニの保護	44.9%	5.9%	
	40.5%	3	消防体制の充実	31.6%	8.9%	
	35.3%	4	市民の健康づくり	22.4%	12.9%	
	40.5%	5	職員の応対	20.4%	20.1%	
	42.7%	6	上水道の整備と供給	20.3%	22.4%	
	35.2%	7	救急体制の充実	16.3%	18.9%	
	22.9%	8	平和の取組	15.7%	7.2%	
	29.9%	9	防犯・交通安全・消費者保護	15.6%	14.3%	
	29.4%	10	地域福祉活動の推進	13.6%	15.8%	
	25.2%	11	スポーツの振興	11.8%	13.4%	
	24.0%	12	文化・芸術の振興	10.5%	13.5%	
	18.6%	13	人権尊重・男女共同参画の推進	8.1%	10.5%	
	25.7%	14	学校教育の充実	7.9%	17.8%	
	26.9%	15	自然環境・景観の保護	7.1%	19.8%	
	31.2%	16	医療・保健の充実	3.4%	27.8%	
	20.3%	17	生涯にわたって学習できる環境づくり	2.7%	17.6%	
	14.8%	18	港湾・漁港の整備	2.5%	12.3%	
	18.7%	19	障がい者福祉の充実	1.8%	16.9%	
	15.4%	20	環境保全・省エネ	1.3%	14.1%	
	26.2%	21	市役所からの情報提供	0.3%	25.9%	
	21.9%	22	子育てしやすい環境づくり	-0.1%	22.0%	
	18.7%	23	地域情報化への対応	-1.1%	19.8%	
	23.1%	24	高齢者福祉の充実	-1.9%	25.0%	
	30.5%	25	下水道の整備	-2.0%	32.5%	
	11.2%	26	生活困窮者への福祉の充実	-5.3%	16.5%	
	8.3%	27	国際交流・都市間交流の促進	-6.5%	14.8%	
	17.5%	28	定住促進の取組	-6.6%	24.1%	
	23.7%	29	社会保険制度の充実（国民健康保険、後期高齢者医療制度、介護保険、年金等）	-7.2%	30.9%	
	10.3%	30	離島の振興	-10.6%	20.9%	
	7.4%	31	水産業の振興	-11.6%	19.0%	
	27.7%	32	道路の整備	-13.0%	40.7%	
	15.7%	33	自然災害への対策	-14.3%	30.0%	
	11.7%	34	市民と行政の協働	-14.8%	26.5%	
	5.8%	35	農林業の振興	-20.0%	25.8%	
	5.6%	36	商工業の振興	-24.1%	29.7%	
	10.1%	37	観光の振興	-26.4%	36.5%	
	7.8%	38	調和のとれた土地利用（都市計画など土地利用の制限）	-26.5%	34.3%	
	4.9%	39	市の財政状況	-36.9%	41.8%	
	12.8%	40	公共交通の利便性の向上	-39.1%	51.9%	
	9.7%	41	干拓地の有効活用	-44.7%	54.4%	
	3.5%	42	企業誘致・雇用創出	-49.7%	53.2%	

《参考》前回（平成 26 年度）実施した満足度調査結果

満足度調査（問１「次に示す項目について、笠岡市の現状をどのように思われますか。項目ごとに
あてはまる番号を１つずつ選んで○をつけてください。」）では、満足度スコア（満足率－不満率）
が最も高かった項目は「ごみの減量化・資源化・省エネとリサイクル推進」で 50.9%、最も低かつ
たものは「企業誘致・雇用創出」で-39.6%となった。

	平成26年度 満足率	順位	項目	平成26年度 満足度	平成26年度 不満率	
	59.9%	1	ごみの収集・減量化・資源化・リサイクル	50.9%	9.0%	
	51.2%	2	カブトガニの保護	46.5%	4.7%	
	40.2%	3	消防体制の充実	34.7%	5.5%	
	44.2%	4	上水道の整備と供給	27.9%	16.3%	
	35.9%	5	市民の健康づくり	24.8%	11.1%	
	37.7%	6	職員の応対	19.3%	18.4%	
	34.3%	7	救急体制の充実	18.0%	16.3%	
	28.9%	8	地域福祉活動の推進	16.3%	12.6%	
	22.4%	9	平和の取組	16.1%	6.3%	
	26.0%	10	スポーツの振興	15.6%	10.4%	
	27.9%	11	防犯・交通安全・消費者保護	15.2%	12.7%	
	23.7%	12	文化・芸術の振興	12.5%	11.2%	
	28.8%	13	自然環境・景観の保護	11.8%	17.0%	
	18.3%	14	人権尊重・男女共同参画の推進	9.4%	8.9%	
	23.7%	15	学校教育の充実	7.1%	16.6%	
	28.8%	16	市役所からの情報提供	6.6%	22.2%	
	21.3%	17	生涯にわたって学習できる環境づくり	6.2%	15.1%	
	18.2%	18	環境保全・省エネ	5.9%	12.3%	
	20.6%	19	地域情報化への対応	5.4%	15.2%	
	22.9%	20	子育てしやすい環境づくり	5.3%	17.6%	
	30.1%	21	医療・保健の充実	5.3%	24.8%	
	31.0%	22	下水道の整備	4.2%	26.8%	
	17.9%	23	障がい者福祉の充実	3.7%	14.2%	
	24.3%	24	高齢者福祉の充実	2.9%	21.4%	
	15.2%	25	港湾・漁港の整備	2.5%	12.7%	
	18.2%	26	定住促進の取組	1.3%	16.9%	
	9.8%	27	国際交流・都市間交流の促進	-0.5%	10.3%	
	11.2%	28	生活困窮者への福祉の充実	-3.1%	14.3%	
	16.7%	29	自然災害への対策	-4.2%	20.9%	
	13.0%	30	市民と行政の協働	-6.3%	19.3%	
	6.6%	31	水産業の振興	-7.1%	13.7%	
	27.9%	32	道路の整備	-8.8%	36.7%	
	10.4%	33	離島の振興	-9.6%	20.0%	
	20.9%	34	社会保険制度の充実（国民健康保険、後期高齢者医療制度、介護保険、年金等）	-11.1%	32.0%	
	10.4%	35	調和のとれた土地利用（都市計画など土地利用の制限）	-14.6%	25.0%	
	5.1%	36	農林業の振興	-14.8%	19.9%	
	11.7%	37	観光の振興	-16.7%	28.4%	
	5.4%	38	商工業の振興	-17.1%	22.5%	
	6.5%	39	市の財政状況	-27.5%	34.0%	
	13.3%	40	干拓地の有効活用	-30.1%	43.4%	
	14.1%	41	公共交通の利便性の向上	-30.1%	44.2%	
	4.1%	42	企業誘致・雇用創出	-39.6%	43.7%	

2 年齢別満足度調査の結果

年齢別に満足度が高い上位5項目をみると、「20～29 歳」から「50～59 歳」で「カブトガニの保護」が最も満足度が高い項目となった。また、「18、19 歳」で「防犯・交通安全・消費者保護」「自然災害への対策」、「20～29 歳」で「職員の対応」「防犯・交通安全・消費者保護」「自然環境・景観の保護」、「30～39 歳」で「自然環境・景観の保護」、「40～49 歳」で「地域福祉活動の推進」が市全体の順位より満足度が高い項目となった。

項目	全体		18、19歳		20～29歳		30～39歳		40～49歳	
	順位	満足度	順位	満足度	順位	満足度	順位	満足度	順位	満足度
ごみの収集・減量化・資源化・リサイクル	1	45.8%	4	77.7%	10	11.0%	2	36.6%	2	46.4%
カブトガニの保護	2	44.9%	2	77.8%	1	51.6%	1	48.2%	1	47.8%
消防体制の充実	3	31.6%	3	77.8%	4	17.1%	3	23.3%	3	29.1%
市民の健康づくり	4	22.4%	12	44.4%	13	9.4%	4	21.5%	4	20.0%
職員の対応	5	20.4%	21	33.3%	2	20.3%	14	7.2%	7	15.5%
上水道の整備と供給	6	20.3%	7	55.5%	9	12.4%	13	9.8%	18	2.0%
救急体制の充実	7	16.3%	13	44.4%	26	-4.7%	28	-4.4%	13	10.9%
平和の取組	8	15.7%	8	55.5%	8	14.0%	6	19.7%	6	15.5%
防犯・交通安全・消費者保護	9	15.6%	1	88.9%	5	15.6%	9	14.3%	10	12.3%
地域福祉活動の推進	10	13.6%	14	44.4%	11	11.0%	11	11.6%	5	16.1%
スポーツの振興	11	11.8%	27	22.2%	7	15.6%	8	16.1%	12	11.6%
文化・芸術の振興	12	10.5%	11	44.5%	6	15.6%	7	17.0%	14	7.7%
人権尊重・男女共同参画の推進	13	8.1%	15	44.4%	22	-1.6%	12	10.8%	11	12.2%
学校教育の充実	14	7.9%	22	33.3%	19	1.6%	18	3.5%	27	-4.6%
自然環境・景観の保護	15	7.1%	16	44.4%	3	18.8%	5	19.7%	8	14.2%
医療・保健の充実	16	3.4%	23	33.3%	18	3.1%	10	12.5%	19	0.1%
生涯にわたって学習できる環境づくり	17	2.7%	17	44.4%	31	-7.9%	19	2.7%	25	-3.2%
港湾・漁港の整備	18	2.5%	28	22.2%	20	0.1%	16	5.3%	15	4.4%
障がい者福祉の充実	19	1.8%	18	44.4%	16	3.2%	15	5.4%	20	0.0%
環境保全・省エネ	20	1.3%	19	44.4%	21	-0.1%	17	4.5%	16	3.9%
市役所からの情報提供	21	0.3%	32	11.1%	36	-15.7%	31	-7.2%	35	-16.8%
子育てしやすい環境づくり	22	-0.1%	39	-11.1%	24	-3.1%	30	-7.1%	9	12.3%
地域情報化への対応	23	-1.1%	24	33.3%	25	-3.2%	21	0.9%	17	2.6%
高齢者福祉の充実	24	-1.9%	20	44.4%	23	-1.6%	20	1.8%	21	0.0%
下水道の整備	25	-2.0%	37	11.1%	17	3.1%	33	-9.9%	22	-0.6%
生活困窮者への福祉の充実	26	-5.3%	33	11.1%	28	-6.3%	27	-3.6%	23	-2.0%
国際交流・都市間交流の促進	27	-6.5%	9	55.5%	30	-7.9%	29	-5.4%	24	-3.2%
定住促進の取組	28	-6.6%	29	22.2%	14	4.8%	22	0.0%	26	-3.9%
社会保険制度の充実（国民健康保険、後期高齢者医療制度、介護保険、年金等）	29	-7.2%	10	55.5%	33	-12.5%	32	-8.9%	29	-8.4%
離島の振興	30	-10.6%	30	22.2%	27	-4.7%	34	-15.2%	28	-7.7%
水産業の振興	31	-11.6%	34	11.1%	12	10.9%	25	-2.6%	32	-11.7%
道路の整備	32	-13.0%	6	55.6%	35	-15.6%	24	-1.7%	31	-11.6%
自然災害への対策	33	-14.3%	5	66.7%	34	-15.6%	23	-1.7%	33	-12.3%
市民と行政の協働	34	-14.8%	25	33.3%	38	-21.9%	35	-15.2%	30	-10.4%
農林業の振興	35	-20.0%	35	11.1%	15	4.7%	26	-3.5%	34	-13.5%
商工業の振興	36	-24.1%	36	11.1%	29	-6.3%	36	-19.7%	37	-25.9%
観光の振興	37	-26.4%	42	-22.2%	37	-15.7%	37	-24.1%	38	-30.9%
調和のとれた土地利用（都市計画など土地利用の制限）	38	-26.5%	41	-11.1%	39	-23.4%	38	-25.9%	36	-24.5%
市の財政状況	39	-36.9%	38	0.0%	42	-56.3%	42	-44.6%	40	-45.2%
公共交通の利便性の向上	40	-39.1%	31	11.1%	40	-39.1%	39	-37.5%	39	-39.4%
干拓地の有効活用	41	-44.7%	26	33.3%	32	-10.9%	40	-42.9%	41	-50.3%
企業誘致・雇用創出	42	-49.7%	40	-11.1%	41	-45.3%	41	-43.8%	42	-60.6%

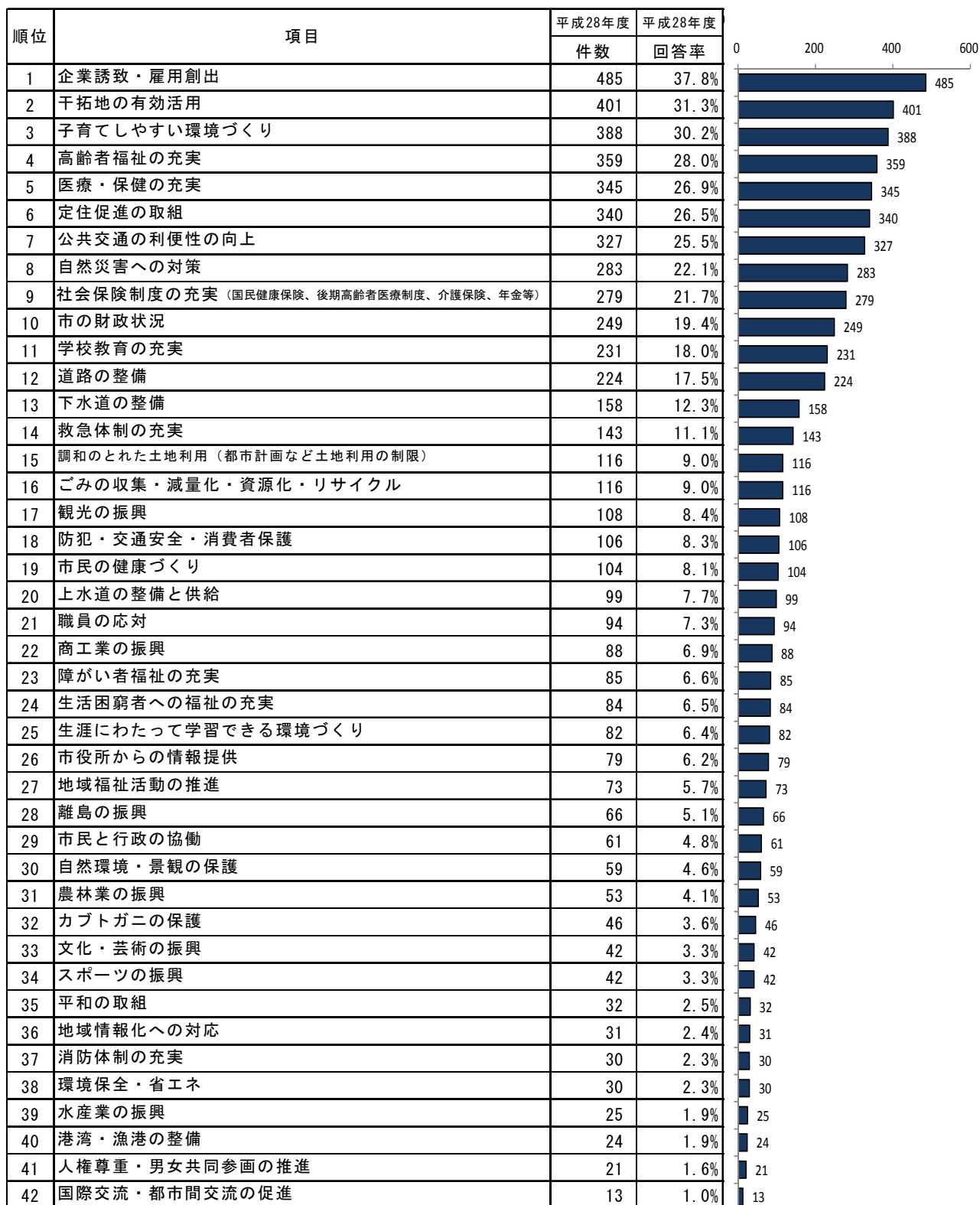
一方、満足度が低い項目をみると、特に「18、19 歳」で「子育てしやすい環境づくり」が市全体の順位より満足度が低い項目となり、「30～39 歳」と「40～49 歳」の年齢層でも市全体の順位より低くなっている。

50～59歳		60～69歳		70歳以上		全体		項目
順位	満足度	順位	満足度	順位	満足度	順位	満足度	
2	38.3%	1	46.8%	1	53.7%	1	45.8%	ごみの収集・減量化・資源化・リサイクル
1	41.1%	2	45.3%	2	44.2%	2	44.9%	カブトガニの保護
3	30.0%	3	27.6%	3	38.8%	3	31.6%	消防体制の充実
4	21.6%	4	24.9%	7	24.3%	4	22.4%	市民の健康づくり
8	11.7%	8	16.3%	5	31.8%	5	20.4%	職員の応対
5	21.0%	5	20.8%	6	29.4%	6	20.3%	上水道の整備と供給
23	-5.2%	6	17.8%	4	33.7%	7	16.3%	救急体制の充実
7	12.7%	7	16.3%	12	13.8%	8	15.7%	平和の取組
9	11.5%	10	14.9%	8	17.5%	9	15.6%	防犯・交通安全・消費者保護
10	7.4%	11	12.6%	9	16.8%	10	13.6%	地域福祉活動の推進
6	14.2%	9	14.9%	15	7.7%	11	11.8%	スポーツの振興
15	1.6%	13	10.1%	13	12.7%	12	10.5%	文化・芸術の振興
13	2.6%	14	9.7%	16	7.4%	13	8.1%	人権尊重・男女共同参画の推進
11	4.7%	12	12.2%	14	12.2%	14	7.9%	学校教育の充実
14	1.6%	20	-0.3%	17	5.7%	15	7.1%	自然環境・景観の保護
25	-5.8%	29	-11.1%	11	15.2%	16	3.4%	医療・保健の充実
22	-4.2%	15	7.8%	18	4.7%	17	2.7%	生涯にわたって学習できる環境づくり
12	2.7%	16	2.3%	21	1.4%	18	2.5%	港湾・漁港の整備
18	-1.1%	19	0.4%	20	1.4%	19	1.8%	障がい者福祉の充実
16	1.6%	17	2.2%	24	-2.3%	20	1.3%	環境保全・省エネ
27	-11.0%	22	-0.4%	10	16.1%	21	0.3%	市役所からの情報提供
17	-1.0%	18	0.4%	23	-2.1%	22	-0.1%	子育てしやすい環境づくり
19	-1.6%	21	-0.3%	25	-2.7%	23	-1.1%	地域情報化への対応
21	-4.2%	24	-3.0%	26	-3.6%	24	-1.9%	高齢者福祉の充実
24	-5.3%	23	-2.3%	22	0.5%	25	-2.0%	下水道の整備
20	-3.1%	27	-9.0%	28	-6.0%	26	-5.3%	生活困窮者への福祉の充実
26	-9.0%	26	-8.6%	29	-7.3%	27	-6.5%	国際交流・都市間交流の促進
31	-17.3%	28	-9.3%	27	-4.1%	28	-6.6%	定住促進の取組
29	-13.7%	34	-19.7%	19	3.8%	29	-7.2%	社会保険制度の充実（国民健康保険、後期高齢者医療制度、介護保険、年金等）
34	-18.5%	25	-7.9%	30	-10.7%	30	-10.6%	離島の振興
32	-17.4%	30	-15.3%	33	-14.5%	31	-11.6%	水産業の振興
28	-13.2%	33	-19.6%	32	-13.2%	32	-13.0%	道路の整備
30	-16.3%	31	-16.6%	34	-16.5%	33	-14.3%	自然災害への対策
33	-18.4%	32	-18.6%	31	-12.3%	34	-14.8%	市民と行政の協働
35	-22.7%	36	-27.2%	37	-25.6%	35	-20.0%	農林業の振興
36	-28.4%	35	-26.0%	38	-25.7%	36	-24.1%	商工業の振興
37	-32.1%	37	-31.3%	36	-22.0%	37	-26.4%	観光の振興
38	-34.2%	38	-35.3%	35	-19.3%	38	-26.5%	調和のとれた土地利用（都市計画など土地利用の制限）
40	-45.2%	39	-36.4%	39	-27.3%	39	-36.9%	市の財政状況
39	-45.2%	40	-38.6%	40	-38.1%	40	-39.1%	公共交通の利便性の向上
41	-54.2%	41	-49.8%	42	-44.3%	41	-44.7%	干拓地の有効活用
42	-62.7%	42	-53.2%	41	-41.1%	42	-49.7%	企業誘致・雇用創出

3 重要度調査の結果

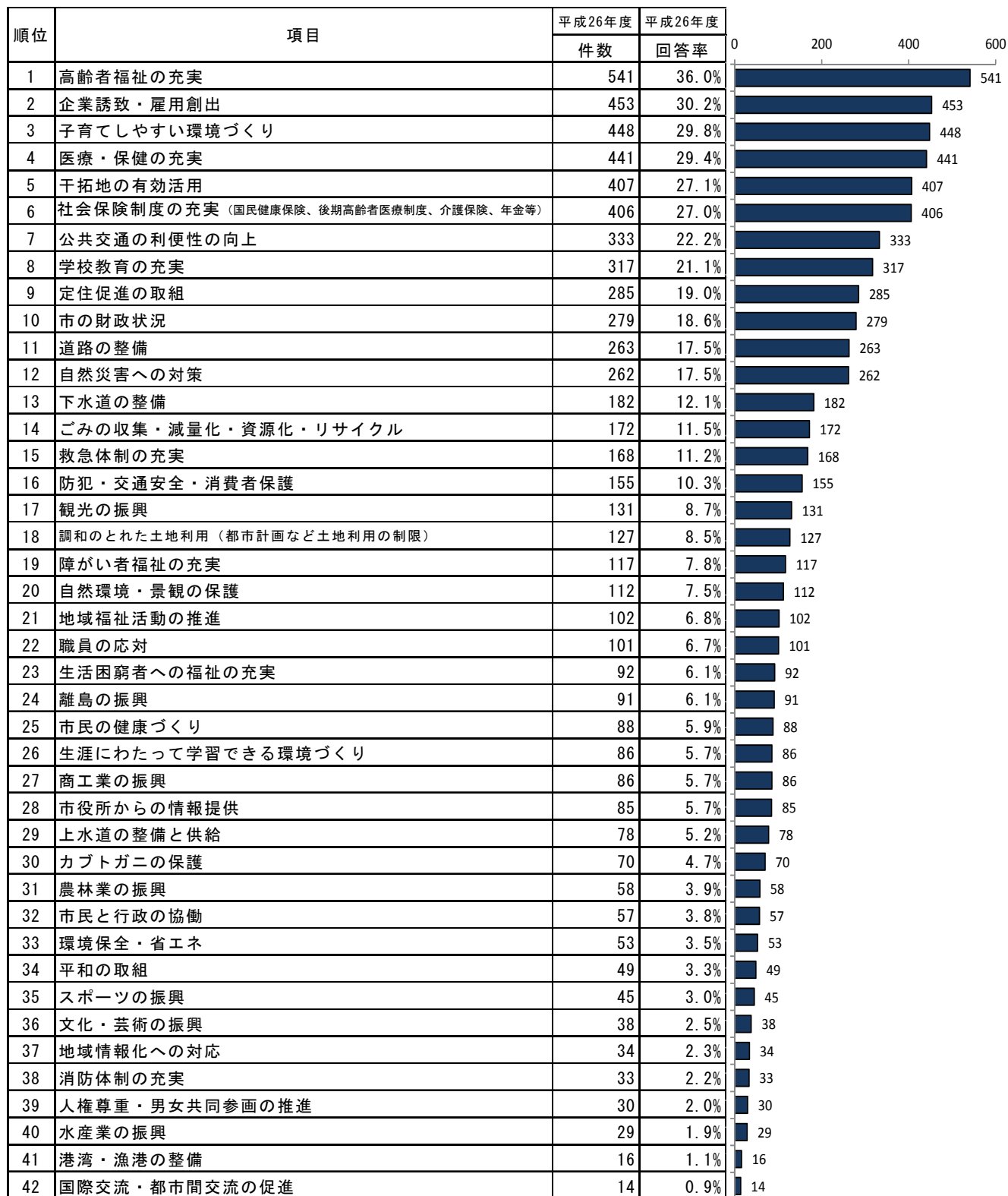
重要度調査（問2「あなたは、笠岡市にとって、次に示す項目のうち何が重要な課題だと思いますか。あてはまる番号を5つまで選んで、番号に○をつけてください。」）で最も重要度が高い結果になった項目は「企業誘致・雇用創出」485件（37.8%）、次いで「干拓地の有効活用」401件（31.3%）、「子育てしやすい環境づくり」388件（30.2%）となった。

※重要度：当該項目が重要であると選択した人の割合（選択件数／有効回答者 1,283 件）



《参考》前回（平成 26 年度）実施した重要度調査結果

重要度調査（問2「あなたは、笠岡市にとって、次に示す項目のうち何が重要な課題だと思いますか。あてはまる項目を5つまで選んで、番号に○をつけてください。」）で最も重要度が高い結果になった項目は「高齢者福祉の充実」541 件（36.0%）、次いで「企業誘致・雇用創出」453 件（30.2%）、「子育てしやすい環境づくり」448 件（29.8%）となった。



4 年齢別重要度調査の結果

年齢別に重要度が高い上位5項目をみると、「40～49歳」から「60～69歳」で「企業誘致・雇用創出」が最も重要度が高い項目となった。また、「18、19歳」で「学校教育の充実」「道路の整備」「観光の振興」、「40～49歳」で「学校教育の充実」が市全体の順位より重要度が高い項目となった。

項目	全体		18、19歳		20～29歳		30～39歳		40～49歳	
	順位	重要度	順位	重要度	順位	重要度	順位	重要度	順位	重要度
企業誘致・雇用創出	1	37.8%	11	11.1%	2	40.6%	2	42.0%	1	49.7%
干拓地の有効活用	2	31.3%	5	22.2%	8	23.4%	4	30.4%	4	29.7%
子育てしやすい環境づくり	3	30.2%	1	55.6%	1	59.4%	1	64.3%	2	41.9%
高齢者福祉の充実	4	28.0%	6	22.2%	9	17.2%	11	16.1%	10	17.4%
医療・保健の充実	5	26.9%	22	0.0%	3	31.3%	5	25.9%	6	28.4%
定住促進の取組	6	26.5%	12	11.1%	4	29.7%	3	32.1%	3	34.2%
公共交通の利便性の向上	7	25.5%	13	11.1%	5	26.6%	9	17.9%	8	23.2%
自然災害への対策	8	22.1%	14	11.1%	10	17.2%	8	21.4%	9	17.4%
社会保険制度の充実（国民健康保険、後期高齢者医療制度、介護保険、年金等）	9	21.7%	7	22.2%	12	15.6%	18	8.0%	16	10.3%
市の財政状況	10	19.4%	15	11.1%	6	26.6%	7	22.3%	7	23.2%
学校教育の充実	11	18.0%	2	44.4%	7	25.0%	6	24.1%	5	29.0%
道路の整備	12	17.5%	3	33.3%	11	15.6%	12	15.2%	13	12.3%
下水道の整備	13	12.3%	16	11.1%	29	3.1%	15	9.8%	19	7.1%
救急体制の充実	14	11.1%	23	0.0%	18	7.8%	10	17.0%	12	14.8%
調和のとれた土地利用（都市計画など土地利用の制限）	15	9.0%	8	22.2%	20	6.3%	26	5.4%	20	6.5%
ごみの収集・減量化・資源化・リサイクル	16	9.0%	24	0.0%	25	4.7%	14	9.8%	21	5.8%
観光の振興	17	8.4%	4	33.3%	14	12.5%	20	8.0%	11	16.1%
防犯・交通安全・消費者保護	18	8.3%	25	0.0%	38	1.6%	22	7.1%	18	9.7%
市民の健康づくり	19	8.1%	26	0.0%	22	6.3%	27	4.5%	28	4.5%
上水道の整備と供給	20	7.7%	27	0.0%	23	6.3%	13	9.8%	15	11.0%
職員の応対	21	7.3%	9	22.2%	13	14.1%	19	8.0%	24	5.2%
商工業の振興	22	6.9%	28	0.0%	26	4.7%	21	7.1%	17	9.7%
障がい者福祉の充実	23	6.6%	29	0.0%	33	3.1%	16	9.8%	14	12.3%
生活困窮者への福祉の充実	24	6.5%	30	0.0%	24	6.3%	17	8.9%	22	5.8%
生涯にわたって学習できる環境づくり	25	6.4%	31	0.0%	17	9.4%	25	5.4%	27	4.5%
市役所からの情報提供	26	6.2%	17	11.1%	30	3.1%	28	4.5%	25	5.2%
地域福祉活動の推進	27	5.7%	18	11.1%	31	3.1%	29	4.5%	33	3.2%
離島の振興	28	5.1%	32	0.0%	15	12.5%	23	6.3%	30	3.9%
市民と行政の協働	29	4.8%	33	0.0%	41	0.0%	32	2.7%	26	5.2%
自然環境・景観の保護	30	4.6%	34	0.0%	34	3.1%	30	3.6%	29	4.5%
農林業の振興	31	4.1%	19	11.1%	32	3.1%	38	1.8%	36	2.6%
カブトガニの保護	32	3.6%	35	0.0%	19	7.8%	24	6.3%	39	1.9%
文化・芸術の振興	33	3.3%	20	11.1%	21	6.3%	35	1.8%	35	3.2%
スポーツの振興	34	3.3%	10	22.2%	16	9.4%	34	1.8%	23	5.8%
平和の取組	35	2.5%	36	0.0%	35	3.1%	42	0.0%	41	1.9%
地域情報化への対応	36	2.4%	37	0.0%	36	3.1%	40	0.9%	37	2.6%
消防体制の充実	37	2.3%	38	0.0%	39	1.6%	31	2.7%	34	3.2%
環境保全・省エネ	38	2.3%	39	0.0%	27	4.7%	36	1.8%	40	1.9%
港湾・漁港の整備	39	1.9%	40	0.0%	40	1.6%	39	1.8%	32	3.9%
水産業の振興	40	1.9%	41	0.0%	42	0.0%	33	2.7%	31	3.9%
人権尊重・男女共同参画の推進	41	1.6%	42	0.0%	28	4.7%	37	1.8%	42	0.6%
国際交流・都市間交流の促進	42	1.0%	21	11.1%	37	1.6%	41	0.9%	38	2.6%

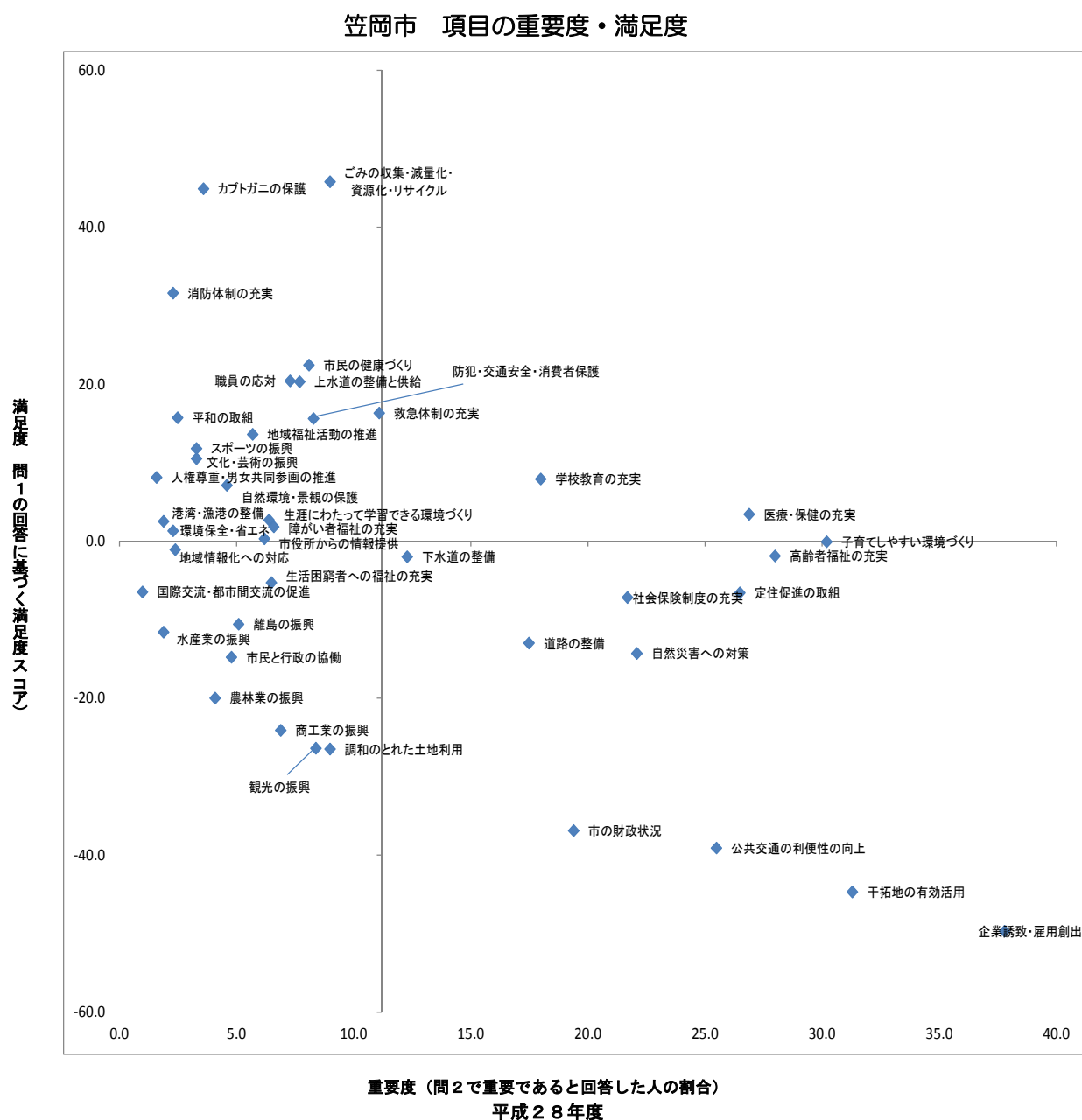
50～59歳		60～69歳		70歳以上		全体		項目
順位	重要度	順位	重要度	順位	重要度	順位	重要度	
1	42.6%	1	40.1%	3	30.2%	1	37.8%	企業誘致・雇用創出
3	33.2%	2	32.3%	2	31.3%	2	31.3%	干拓地の有効活用
4	30.0%	7	25.3%	10	16.8%	3	30.2%	子育てしやすい環境づくり
11	19.5%	4	29.4%	1	39.9%	4	28.0%	高齢者福祉の充実
5	26.8%	3	30.9%	6	25.2%	5	26.9%	医療・保健の充実
2	33.2%	9	22.3%	7	22.0%	6	26.5%	定住促進の取組
7	23.2%	8	24.5%	4	29.0%	7	25.5%	公共交通の利便性の向上
6	25.8%	5	28.6%	9	19.5%	8	22.1%	自然災害への対策
9	20.5%	6	27.1%	5	27.7%	9	21.7%	社会保険制度の充実（国民健康保険、後期高齢者医療制度、介護保険、年金等）
8	21.1%	10	20.8%	12	15.4%	10	19.4%	市の財政状況
10	20.0%	15	11.5%	13	14.1%	11	18.0%	学校教育の充実
12	15.3%	11	18.6%	8	19.7%	12	17.5%	道路の整備
13	13.2%	14	12.6%	11	15.6%	13	12.3%	下水道の整備
14	12.6%	12	13.8%	19	7.0%	14	11.1%	救急体制の充実
15	11.6%	13	13.0%	20	7.0%	15	9.0%	調和のとれた土地利用（都市計画など土地利用の制限）
20	7.4%	18	8.6%	15	12.0%	16	9.0%	ごみの収集・減量化・資源化・リサイクル
19	7.4%	20	7.1%	24	6.1%	17	8.4%	観光の振興
18	8.4%	16	9.3%	16	9.1%	18	8.3%	防犯・交通安全・消費者保護
28	4.7%	23	7.1%	14	12.9%	19	8.1%	市民の健康づくり
22	6.8%	26	5.6%	18	7.9%	20	7.7%	上水道の整備と供給
17	10.0%	24	6.7%	26	5.4%	21	7.3%	職員の対応
16	10.0%	31	3.3%	21	6.8%	22	6.9%	商工業の振興
21	6.8%	21	7.1%	31	4.3%	23	6.6%	障がい者福祉の充実
23	5.8%	17	8.9%	28	5.2%	24	6.5%	生活困窮者への福祉の充実
24	5.8%	19	8.6%	23	6.1%	25	6.4%	生涯にわたって学習できる環境づくり
27	5.3%	28	4.1%	17	8.4%	26	6.2%	市役所からの情報提供
25	5.8%	22	7.1%	22	6.6%	27	5.7%	地域福祉活動の推進
30	4.2%	29	3.7%	25	5.7%	28	5.1%	離島の振興
29	4.2%	25	6.3%	30	5.0%	29	4.8%	市民と行政の協働
31	3.7%	27	5.6%	29	5.2%	30	4.6%	自然環境・景観の保護
26	5.8%	33	2.6%	27	5.4%	31	4.1%	農林業の振興
34	3.2%	34	2.6%	33	3.4%	32	3.6%	カブトガニの保護
32	3.7%	30	3.7%	35	2.5%	33	3.3%	文化・芸術の振興
35	2.6%	35	2.6%	38	2.0%	34	3.3%	スポーツの振興
41	0.5%	39	2.2%	32	4.1%	35	2.5%	平和の取組
36	2.6%	41	1.1%	34	3.4%	36	2.4%	地域情報化への対応
37	2.1%	37	2.2%	36	2.3%	37	2.3%	消防体制の充実
38	2.1%	32	3.3%	37	2.0%	38	2.3%	環境保全・省エネ
39	1.6%	36	2.6%	41	1.1%	39	1.9%	港湾・漁港の整備
33	3.2%	40	1.1%	40	1.4%	40	1.9%	水産業の振興
40	1.1%	38	2.2%	39	1.4%	41	1.6%	人権尊重・男女共同参画の推進
42	0.0%	42	0.7%	42	0.9%	42	1.0%	国際交流・都市間交流の促進

5 重要度・満足度からみた分析

横軸に重要度、縦軸に満足度を取り、重要度の平均値（11.2%）と満足度スコア0を交点としたグラフに、各アンケート項目をプロットする形式で示した（なお、満足度スコアの平均値は-1.4%）。重要度、満足度の算出方法は以下のとおりである。

重要度：当該項目が重要であると選択した人の割合（選択件数/有効回答者 1,501 件）

満足度：「満足率（「満足」、「まあ満足」と回答した人の割合）から「不満率（「やや不満」、「不満」と回答した人の割合）」を控除した数値（以下「満足度スコア」という。）



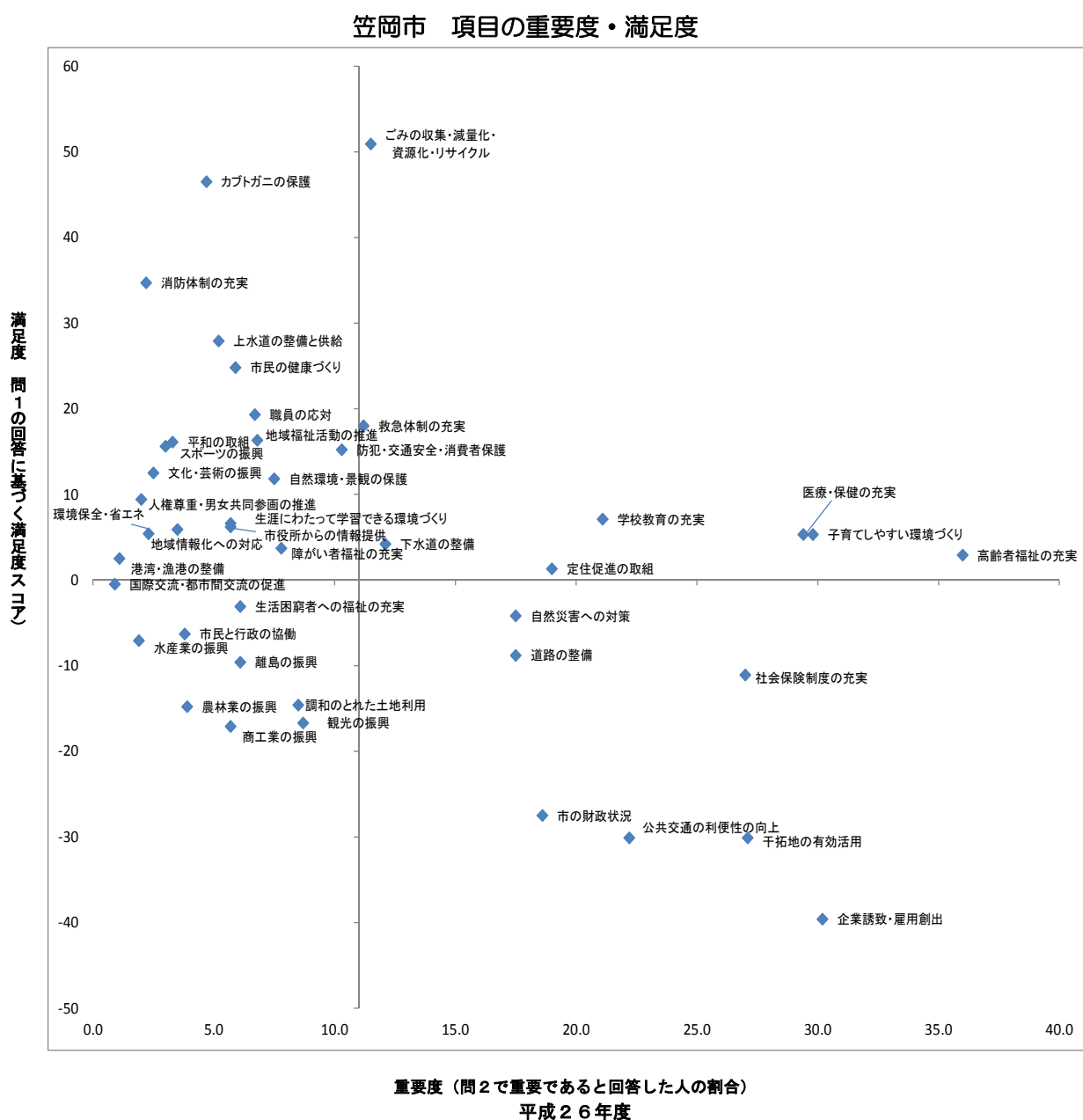
重要度が高いにもかかわらず満足度が低い項目は「企業誘致・雇用創出」という結果となった。

≪参考≫ 前回（平成 26 年度）実施した調査の重要度・満足度調査結果

横軸に重要度、縦軸に満足度を取り、重要度の平均値（11.0%）と満足度スコア0を交点としたグラフに、各アンケート項目をプロットする形式で示した（なお、満足度スコアの平均値は 3.2%）。重要度、満足度の算出方法は以下のとおりである。

重要度：当該項目が重要であると選択した人の割合（選択件数/有効回答者 1,501 件）

満足度：「満足率（「満足」、「まあ満足」と回答した人の割合）から「不満率（「やや不満」、「不満」と回答した人の割合）」を控除した数値（以下「満足度スコア」という。）



重要度が高いにもかかわらず満足度が低い項目は「企業誘致・雇用創出」という結果となった。

項目ごとの重要度（問2で重要であると回答した人の割合）、満足度（問1の回答に基づく満足度スコア）は以下のとおりである。

重要度・満足度欄の左側の数値は今回調査の数値、右側の数値は平成26年度の数値である。

総合計画大綱	項目	重要度		満足度	
		平成28年度	平成26年度	平成28年度	平成26年度
定住促進	定住促進の取組	26.5%	19.0%	-6.6%	1.3%
安全で快適なまちづくり	調和のとれた土地利用（都市計画など土地利用の制限）	9.0%	8.5%	-26.5%	-14.6%
	自然環境・景観の保護	4.6%	7.5%	7.1%	11.8%
	公共交通の利便性の向上	25.5%	22.2%	-39.1%	-30.1%
	道路の整備	17.5%	17.5%	-13.0%	-8.8%
	港湾・漁港の整備	1.9%	1.1%	2.5%	2.5%
	上水道の整備と供給	7.7%	5.2%	20.3%	27.9%
	下水道の整備	12.3%	12.1%	-2.0%	4.2%
	自然災害への対策	22.1%	17.5%	-14.3%	-4.2%
	消防体制の充実	2.3%	2.2%	31.6%	34.7%
	ごみの収集・減量化・資源化・リサイクル	9.0%	11.5%	45.8%	50.9%
	防犯・交通安全・消費者保護	8.3%	10.3%	15.6%	15.2%
	地域情報化への対応	2.4%	2.3%	-1.1%	5.4%
	環境保全・省エネ	2.3%	3.5%	1.3%	5.9%
	カブトガニの保護	3.6%	4.7%	44.9%	46.5%
心豊かな人づくり	学校教育の充実	18.0%	21.1%	7.9%	7.1%
	文化・芸術の振興	3.3%	2.5%	10.5%	12.5%
	生涯にわたって学習できる環境づくり	6.4%	5.7%	2.7%	6.2%
	スポーツの振興	3.3%	3.0%	11.8%	15.6%
	人権尊重・男女共同参画の推進	1.6%	2.0%	8.1%	9.4%
	平和の取組	2.5%	3.3%	15.7%	16.1%
安心して暮らせるまちづくり	地域福祉活動の推進	5.7%	6.8%	13.6%	16.3%
	子育てしやすい環境づくり	30.2%	29.8%	-0.1%	5.3%
	市民の健康づくり	8.1%	5.9%	22.4%	24.8%
	高齢者福祉の充実	28.0%	36.0%	-1.9%	2.9%
	障がい者福祉の充実	6.6%	7.8%	1.8%	3.7%
	生活困窮者への福祉の充実	6.5%	6.1%	-5.3%	-3.1%
	医療・保健の充実	26.9%	29.4%	3.4%	5.3%
	救急体制の充実	11.1%	11.2%	16.3%	18.0%
	社会保険制度の充実（国民健康保険、後期高齢者医療制度、介護保険、年金等）	21.7%	27.0%	-7.2%	-11.1%
活気あるまちづくり	企業誘致・雇用創出	37.8%	30.2%	-49.7%	-39.6%
	農林業の振興	4.1%	3.9%	-20.0%	-14.8%
	水産業の振興	1.9%	1.9%	-11.6%	-7.1%
	商工業の振興	6.9%	5.7%	-24.1%	-17.1%
	観光の振興	8.4%	8.7%	-26.4%	-16.7%
	離島の振興	5.1%	6.1%	-10.6%	-9.6%
	干拓地の有効活用	31.3%	27.1%	-44.7%	-30.1%
人と人がつながるまちづくり	市民と行政の協働	4.8%	3.8%	-14.8%	-6.3%
	国際交流・都市間交流の促進	1.0%	0.9%	-6.5%	-0.5%
計画実現に向けた取組	市の財政状況	19.4%	18.6%	-36.9%	-27.5%
	市役所からの情報提供	6.2%	5.7%	0.3%	6.6%
	職員の応対	7.3%	6.7%	20.4%	19.3%

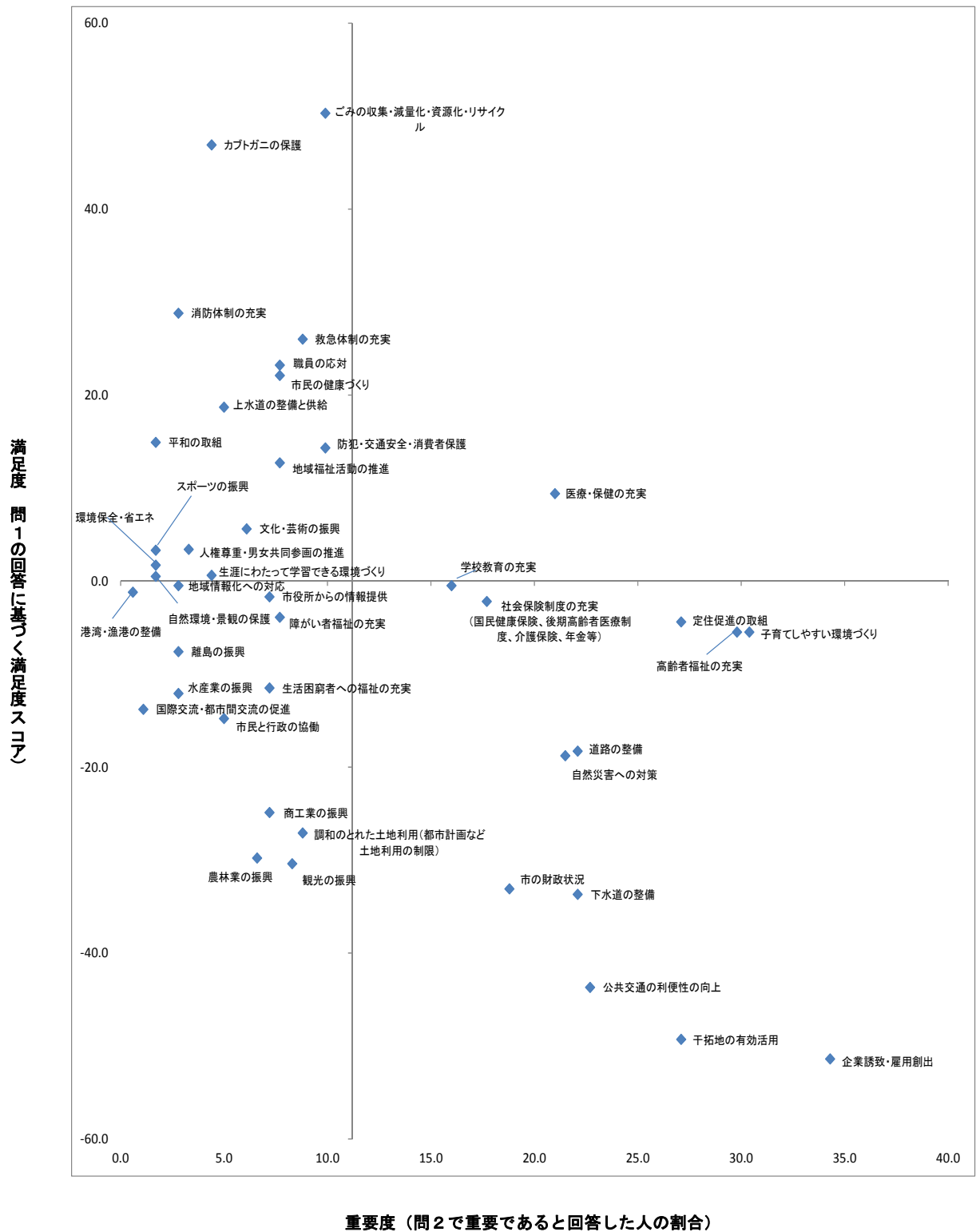
《参考》前回（平成 26 年度）実施した調査の重要度・満足度

（問 2 で重要であると回答した人の割合）、満足度（問 1 の回答に基づく満足度スコア）は以下のとおりだった。

総合計画大綱	項目	平成26年度 重要度	平成26年度 満足度
定住促進	定住促進の取組	19.0%	1.3%
安全で 快適な まちづくり	調和のとれた土地利用（都市計画など土地利用の制限）	8.5%	-14.6%
	自然環境・景観の保護	7.5%	11.8%
	公共交通の利便性の向上	22.2%	-30.1%
	道路の整備	17.5%	-8.8%
	港湾・漁港の整備	1.1%	2.5%
	上水道の整備と供給	5.2%	27.9%
	下水道の整備	12.1%	4.2%
	自然災害への対策	17.5%	-4.2%
	消防体制の充実	2.2%	34.7%
	ごみの収集・減量化・資源化・リサイクル	11.5%	50.9%
	防犯・交通安全・消費者保護	10.3%	15.2%
	地域情報化への対応	2.3%	5.4%
	環境保全・省エネ	3.5%	5.9%
	カブトガニの保護	4.7%	46.5%
心豊かな 人づくり	学校教育の充実	21.1%	7.1%
	文化・芸術の振興	2.5%	12.5%
	生涯にわたって学習できる環境づくり	5.7%	6.2%
	スポーツの振興	3.0%	15.6%
	人権尊重・男女共同参画の推進	2.0%	9.4%
	平和の取組	3.3%	16.1%
安心して 暮らせる まちづくり	地域福祉活動の推進	6.8%	16.3%
	子育てしやすい環境づくり	29.8%	5.3%
	市民の健康づくり	5.9%	24.8%
	高齢者福祉の充実	36.0%	2.9%
	障がい者福祉の充実	7.8%	3.7%
	生活困窮者への福祉の充実	6.1%	-3.1%
	医療・保健の充実	29.4%	5.3%
	救急体制の充実	11.2%	18.0%
	社会保険制度の充実（国民健康保険、後期高齢者医療制度、介護保険、年金等）	27.0%	-11.1%
活気ある まちづくり	企業誘致・雇用創出	30.2%	-39.6%
	農林業の振興	3.9%	-14.8%
	水産業の振興	1.9%	-7.1%
	商工業の振興	5.7%	-17.1%
	観光の振興	8.7%	-16.7%
	離島の振興	6.1%	-9.6%
	干拓地の有効活用	27.1%	-30.1%
人と人がつながる まちづくり	市民と行政の協働	3.8%	-6.3%
	国際交流・都市間交流の促進	0.9%	-0.5%
計画実現に 向けた取組	市の財政状況	18.6%	-27.5%
	市役所からの情報提供	5.7%	6.6%
	職員の応対	6.7%	19.3%

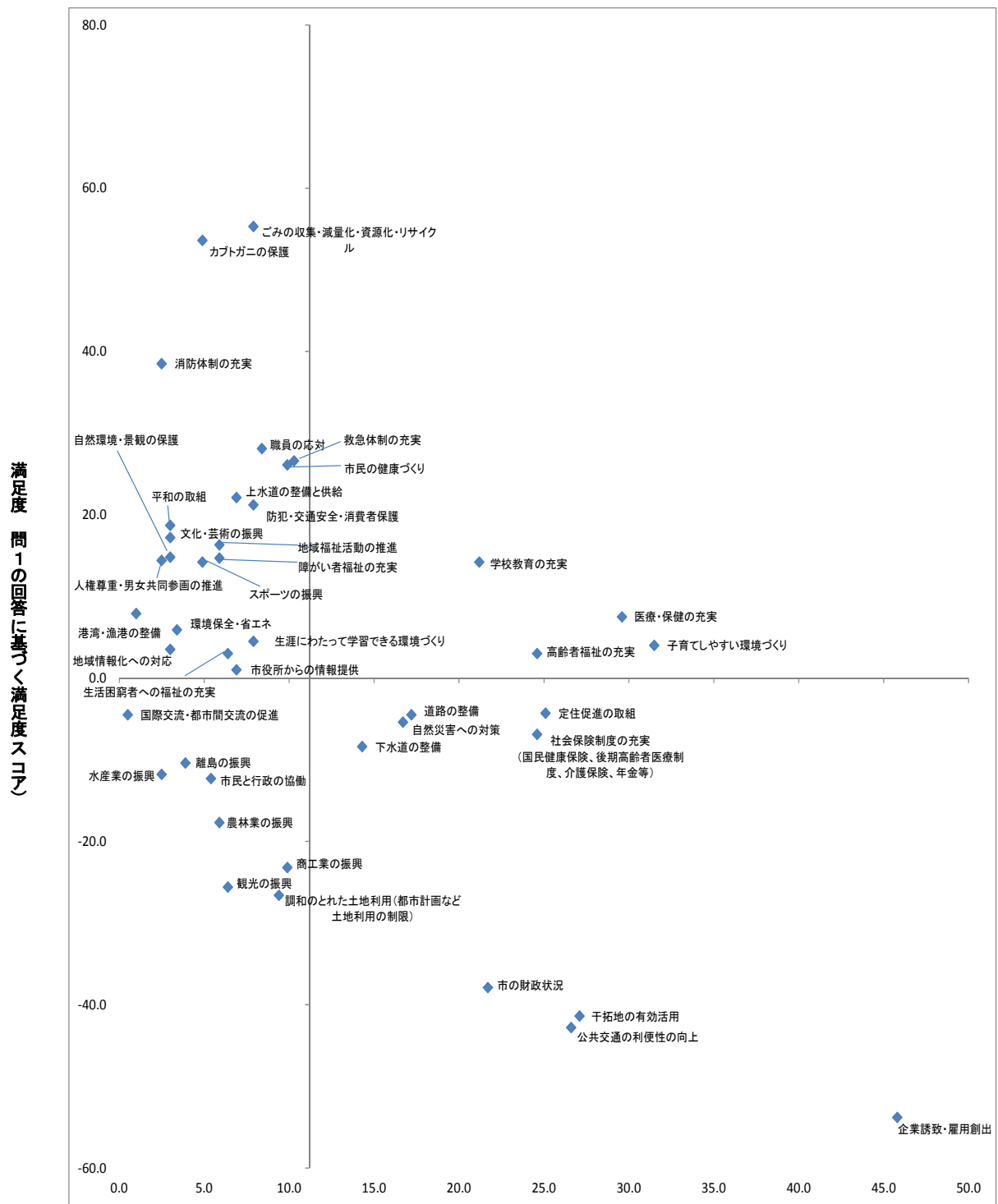
6 居住地域ごとの重要度・満足度

(1) 北川、新山、吉田地域の重要度・満足度



重要度が高いにもかかわらず満足度が低い項目は「企業誘致・雇用創出」「干拓地の有効活用」という結果となった。

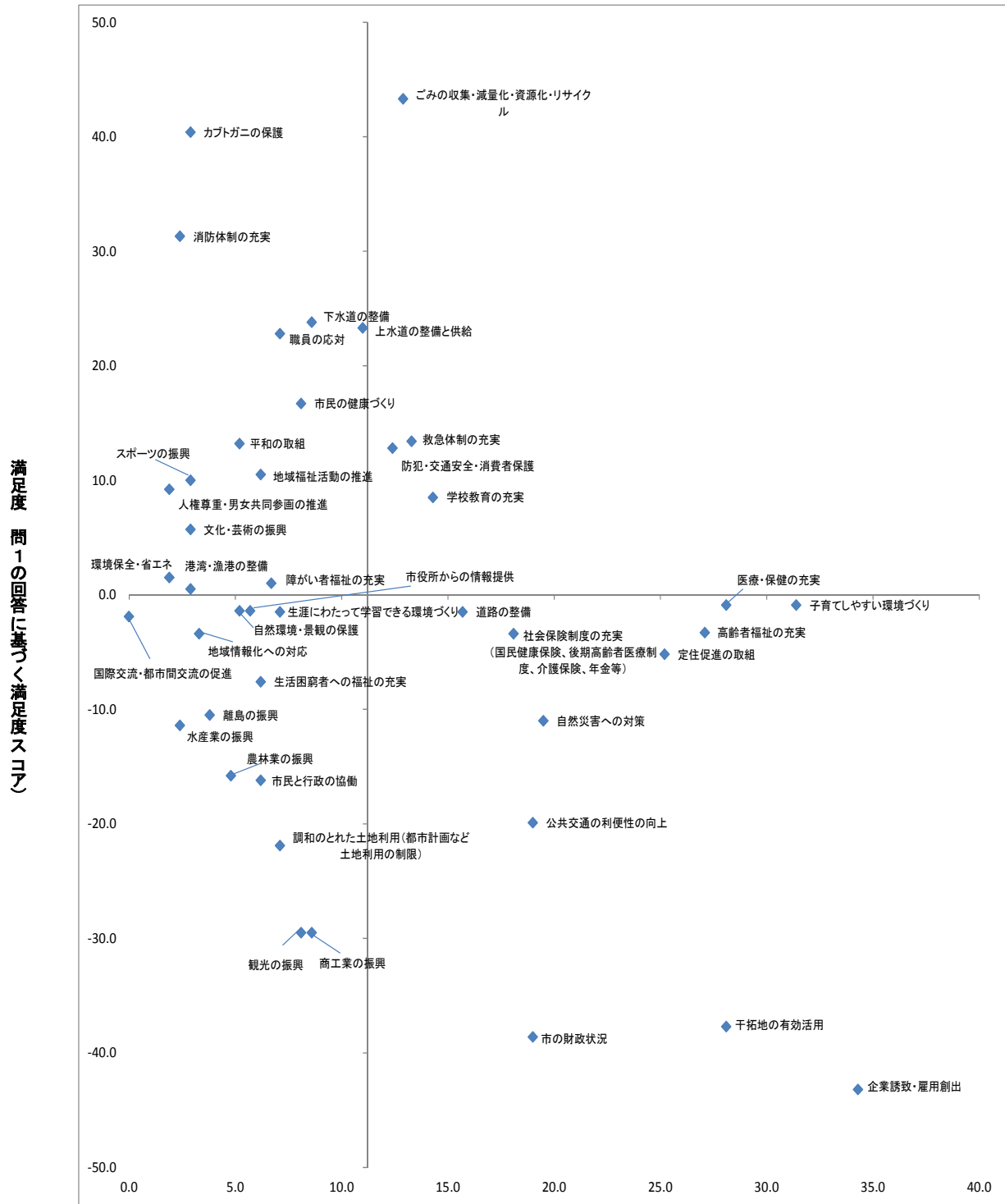
(2) 大井、今井地域の重要度・満足度



重要度 (問2で重要であると回答した人の割合)

重要度が高いにもかかわらず満足度が低い項目は「企業誘致・雇用創出」という結果となった。

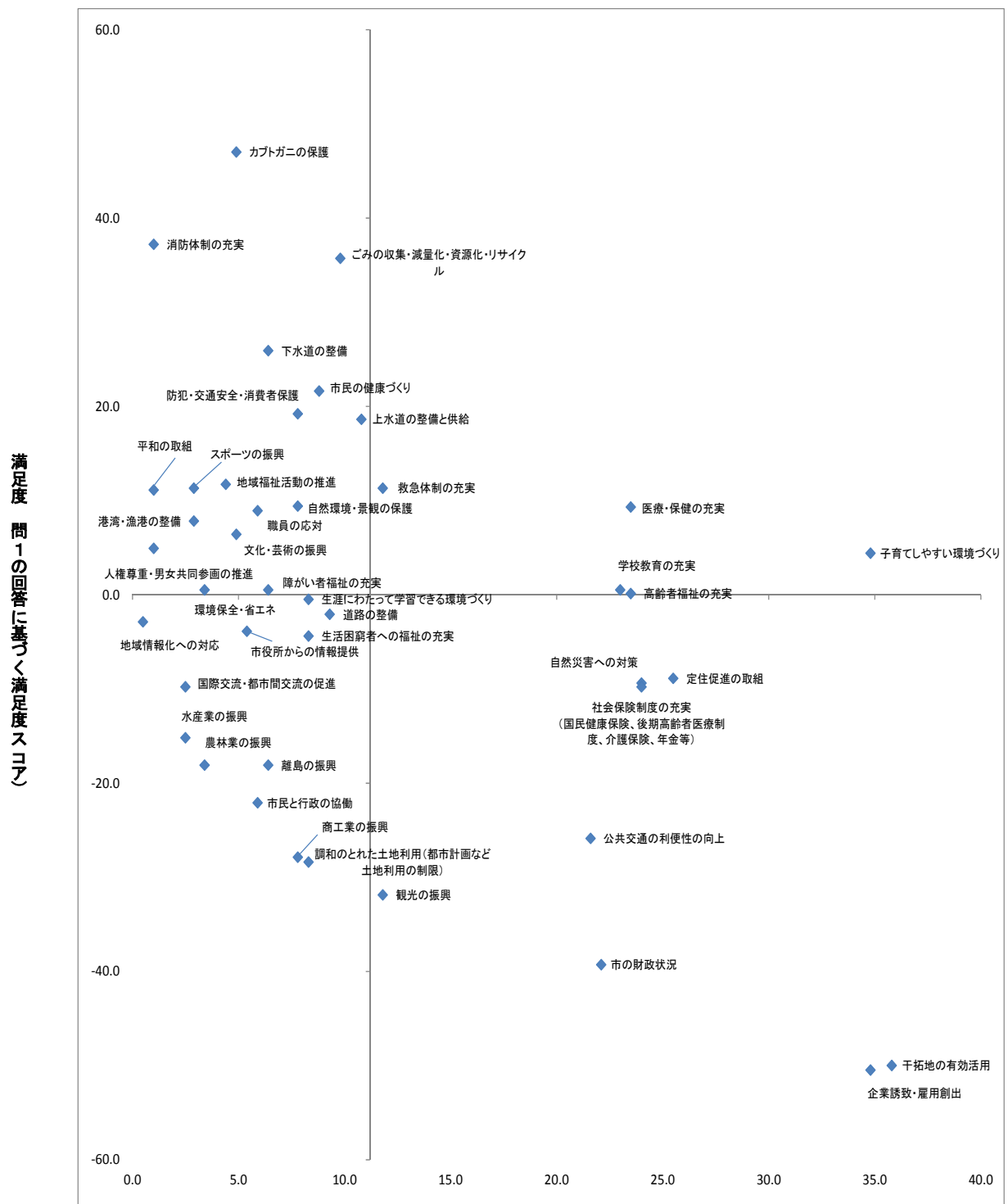
(3) 笠岡地域の重要度・満足度



重要度 (問2で重要であると回答した人の割合)

重要度が高いにもかかわらず満足度が低い項目は「企業誘致・雇用創出」という結果となった。

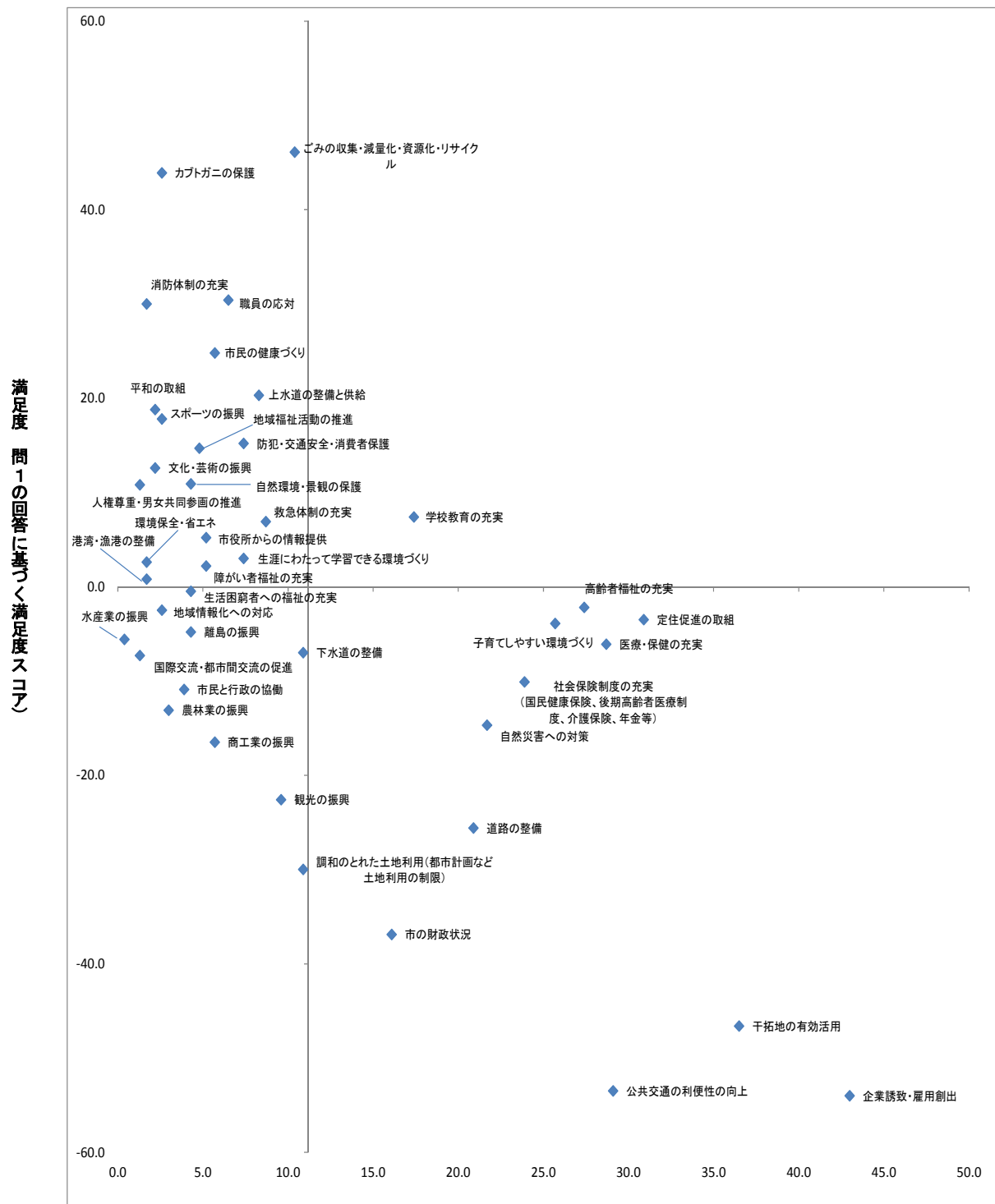
(4) 富岡、番町、新横島・緑町、横江、美の浜地域の重要度・満足度



重要度 (問2で重要であると回答した人の割合)

重要度が高いにもかかわらず満足度が低い項目は「企業誘致・雇用創出」という結果となった。

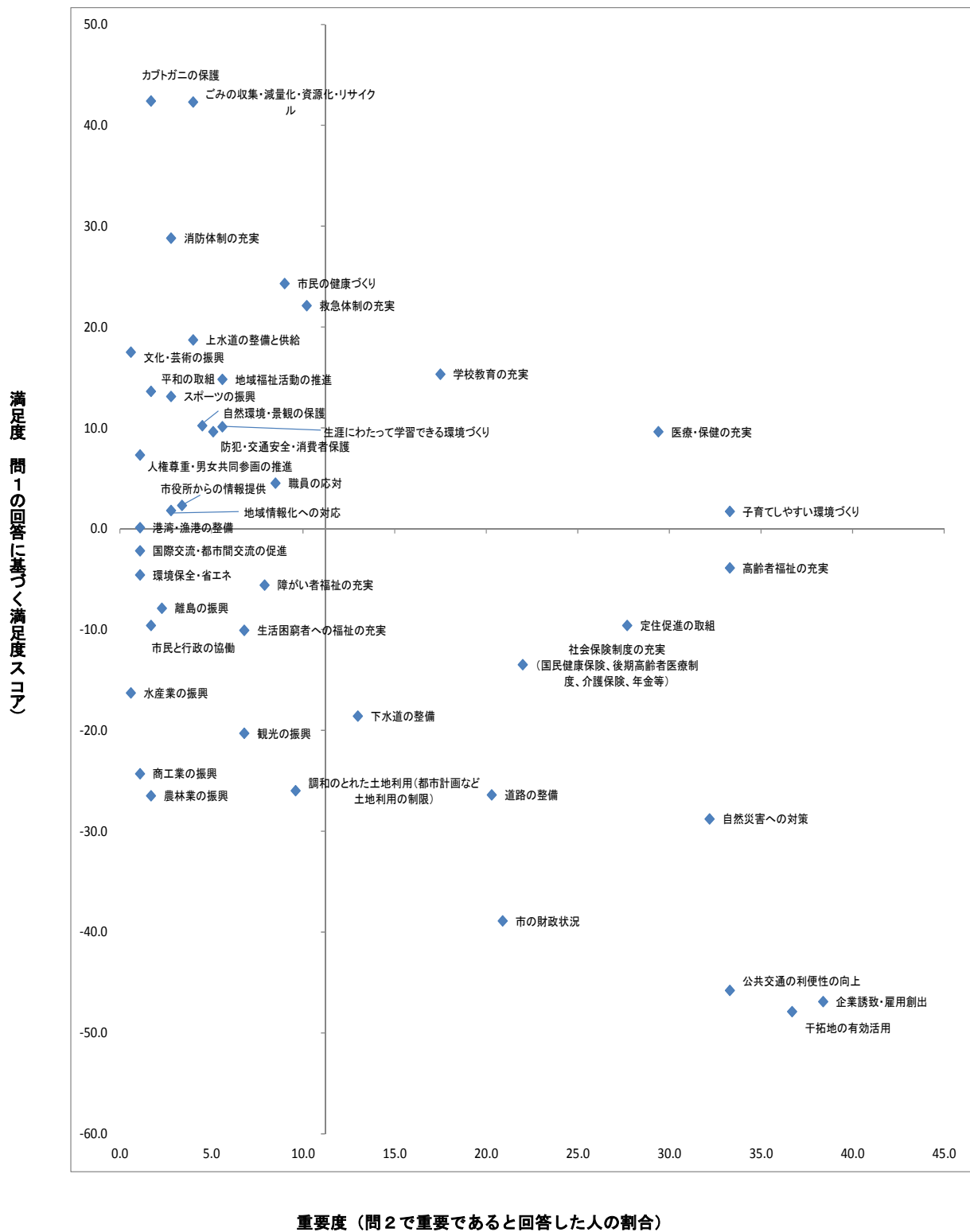
(5) 金浦、城見、陶山地域の重要度・満足度



重要度 (問2で重要であると回答した人の割合)

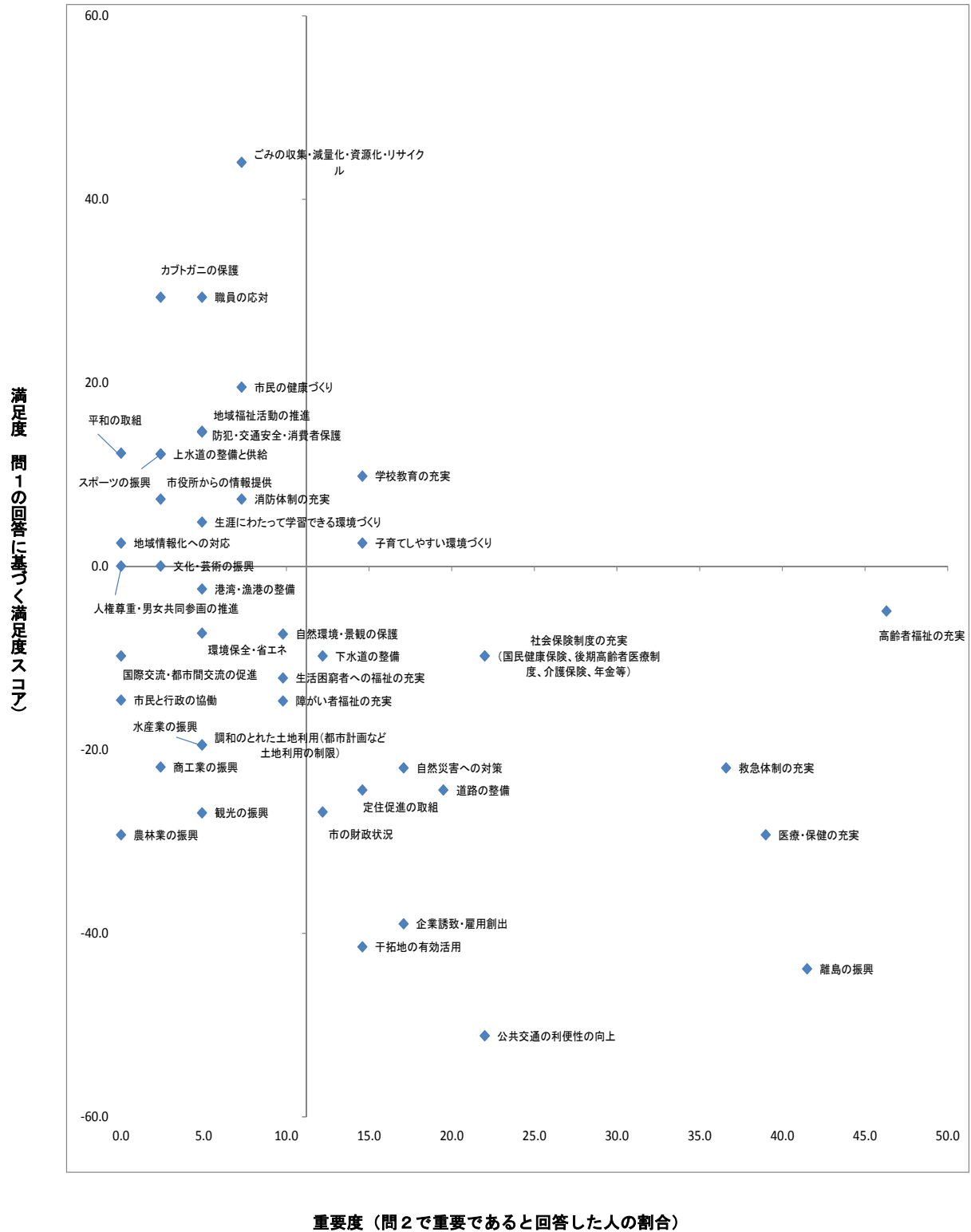
重要度が高いにもかかわらず満足度が低い項目は「企業誘致・雇用創出」という結果となった。

(6) 大島、神島、神島外、干拓地地域の重要度・満足度



重要度が高いにもかかわらず満足度が低い項目は「企業誘致・雇用創出」という結果となった。

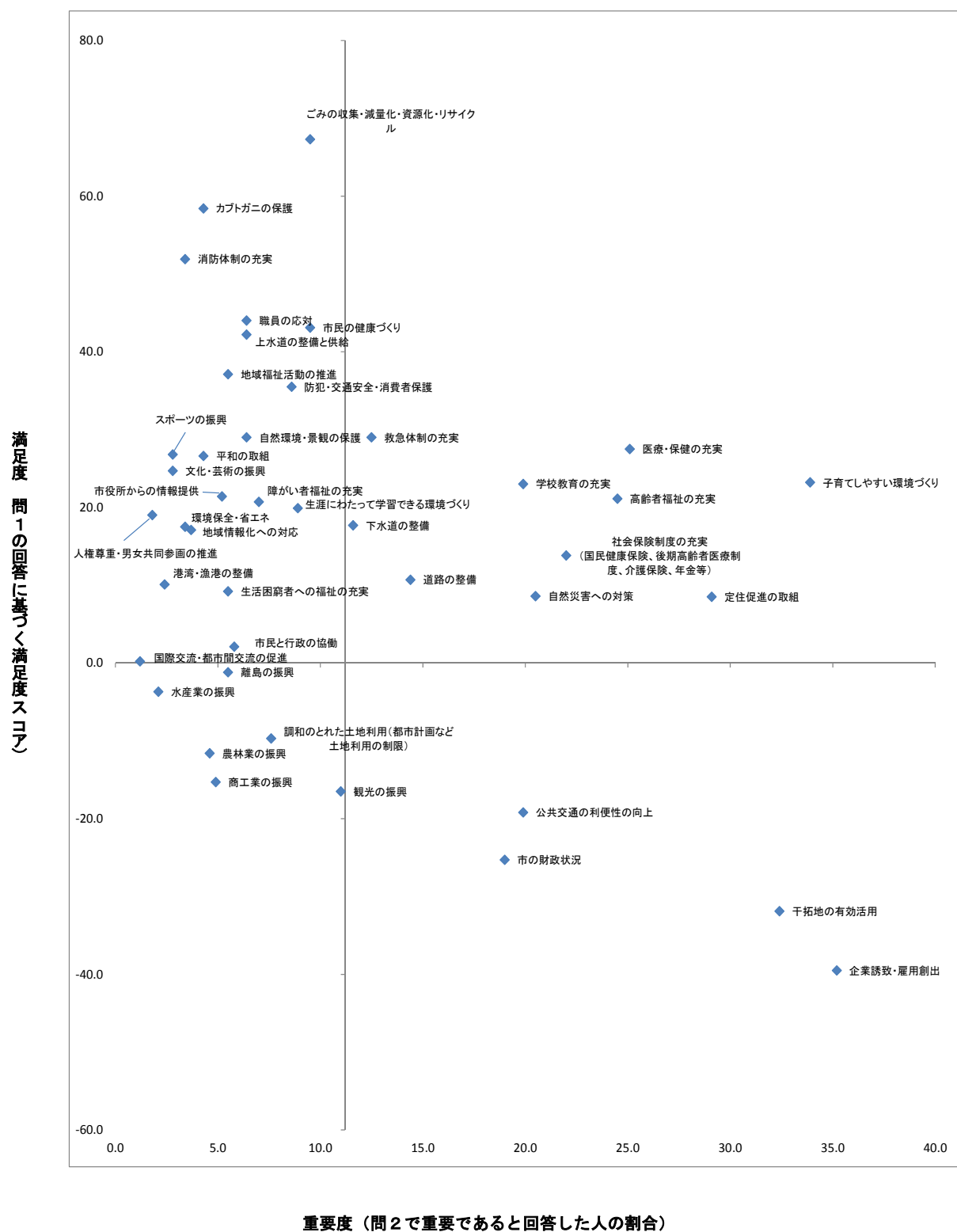
(7) 高島、白石島、北木島、真鍋島、飛島、六島地域の重要度・満足度



重要度が高いにもかかわらず満足度が低い項目は「公共交通の利便性の向上」という結果となった。

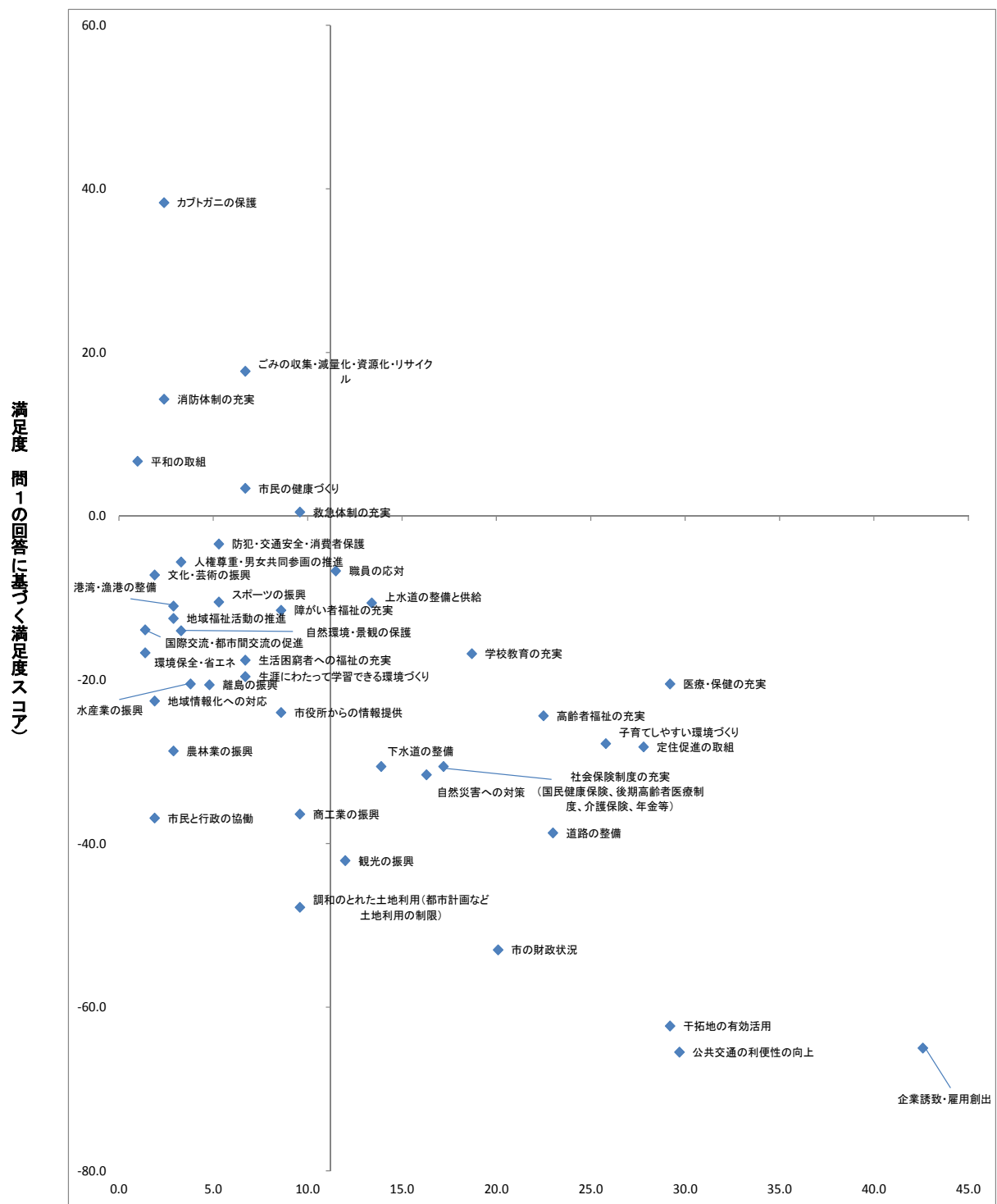
7 笠岡市の住み心地ごとの重要度・満足度

(1)「住みよい」と思っている市民の重要度・満足度



重要度が高いにもかかわらず満足度が低い項目は「企業誘致・雇用創出」という結果となった。

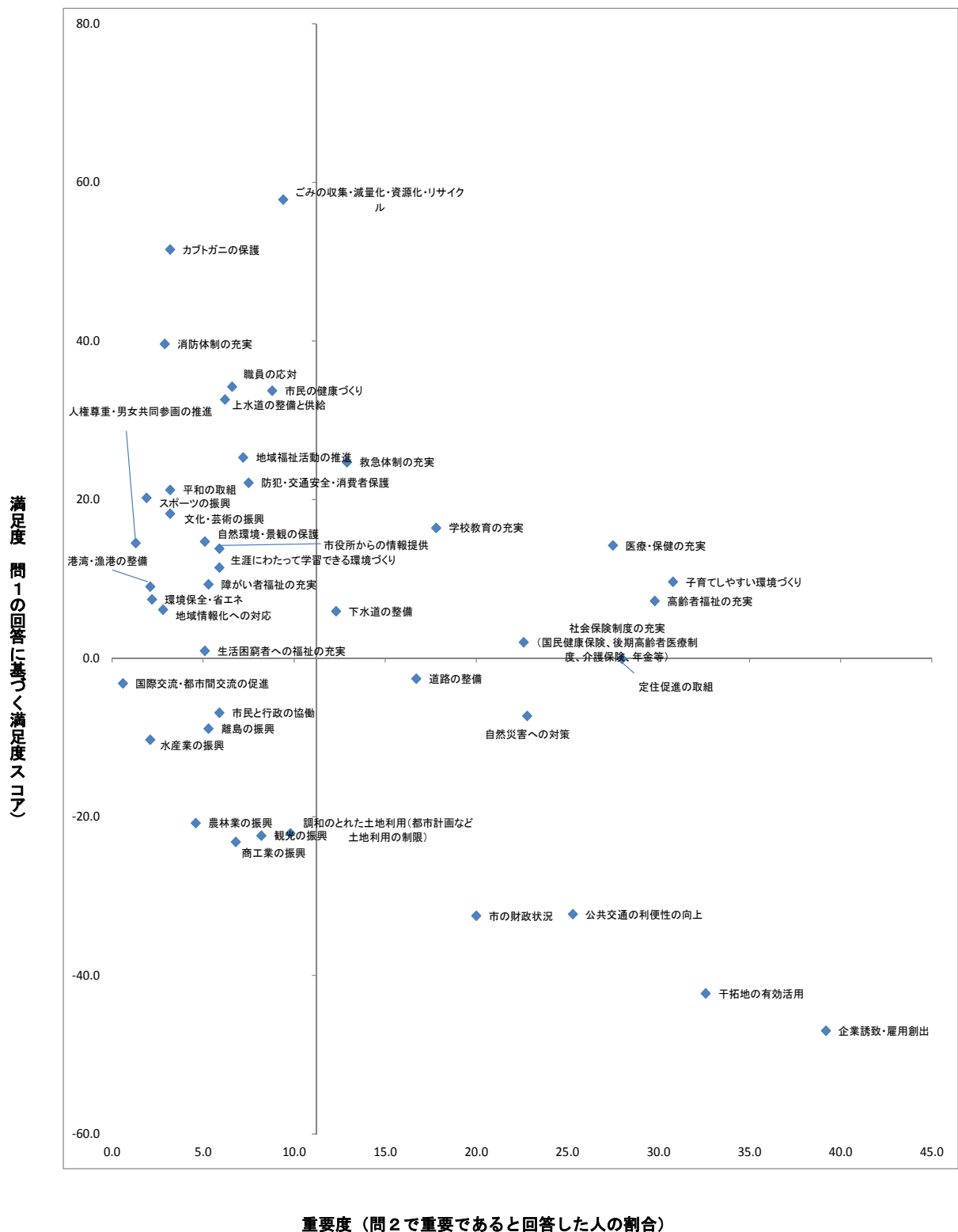
(2)「住みにくい」と思っている市民の重要度・満足度



重要度 (問2で重要であると回答した人の割合)

重要度が高いにもかかわらず満足度が低い項目は「企業誘致・雇用創出」という結果となった。

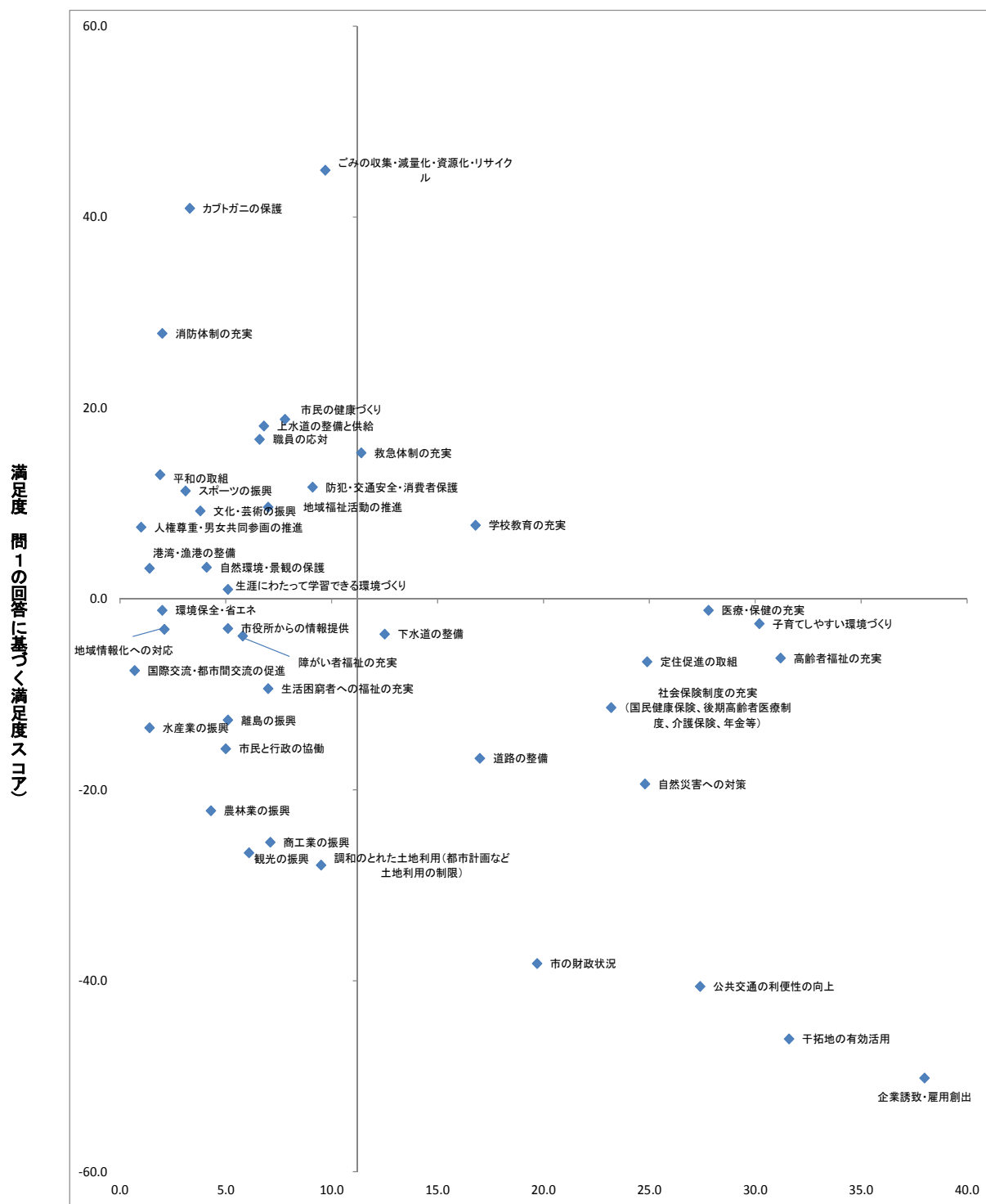
(3)「特に気にしていない」市民の重要度・満足度



重要度が高いにもかかわらず満足度が低い項目は「企業誘致・雇用創出」という結果となった。

8 笠岡市への定住意向ごとの重要度・満足度

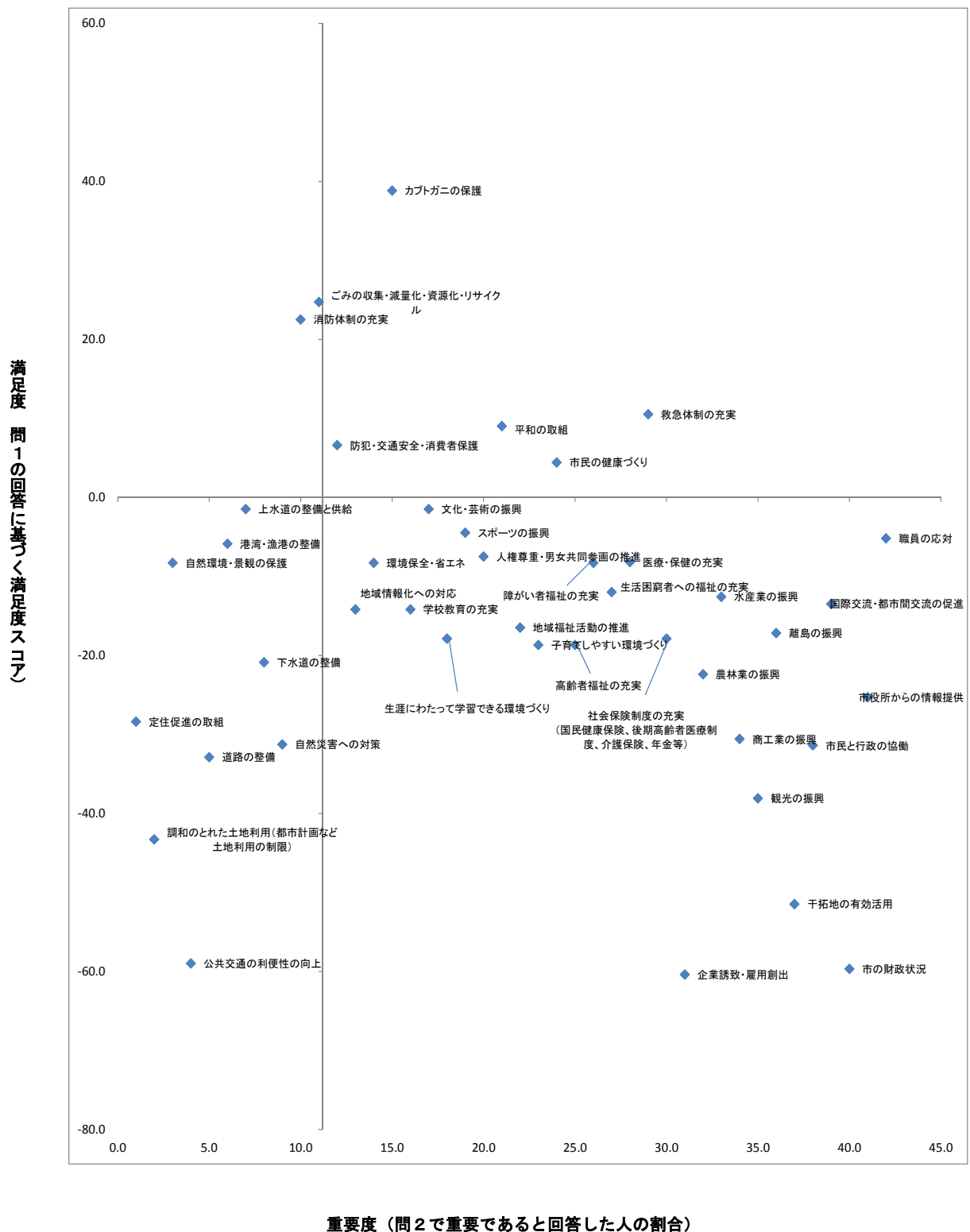
(1)「住み続けたい」と考えている市民の重要度・満足度



重要度 (問2で重要であると回答した人の割合)

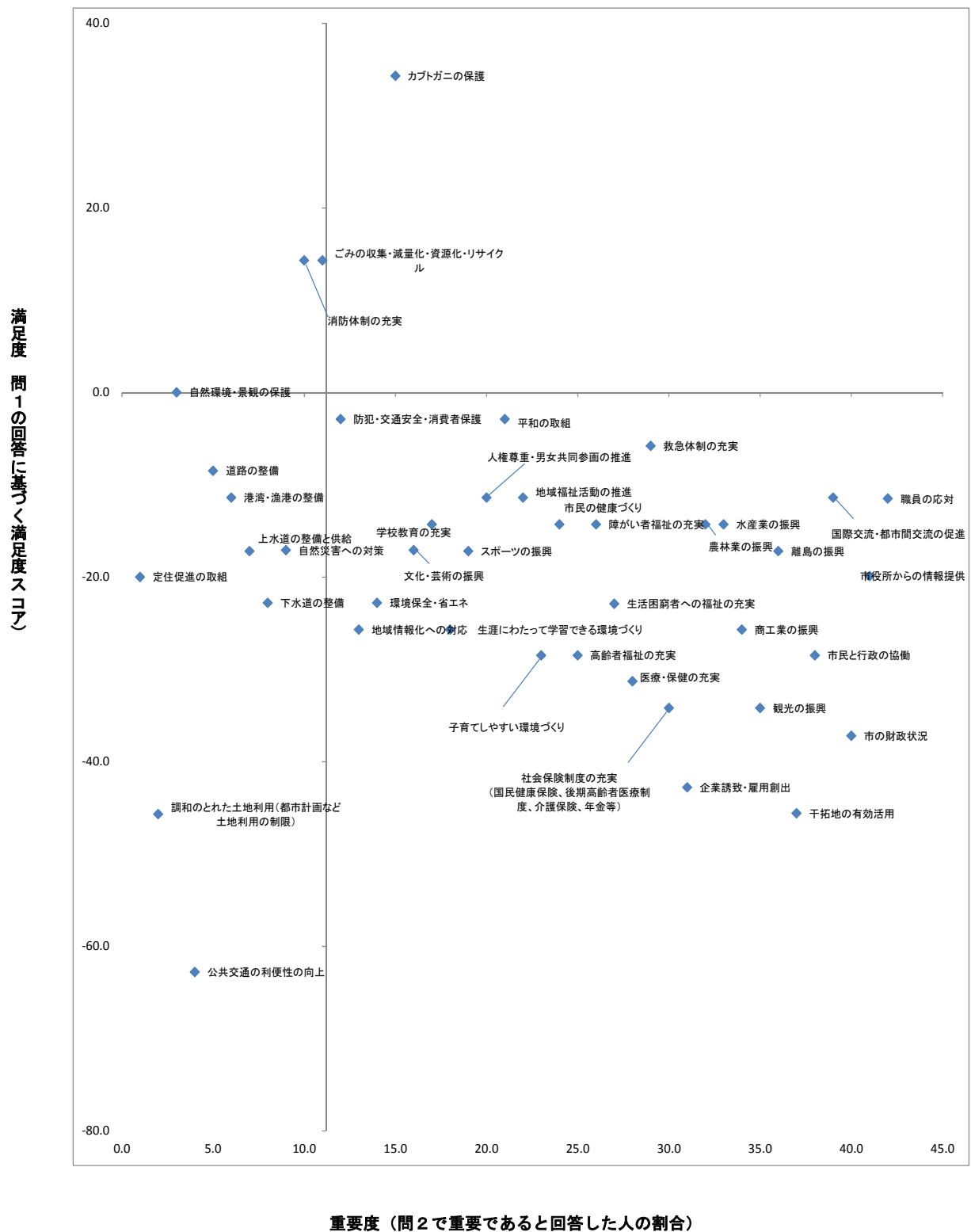
重要度が高いにもかかわらず満足度が低い項目は「企業誘致・雇用創出」という結果となった。

(2)「よいところがあれば移住したい」と考えている市民の重要度・満足度



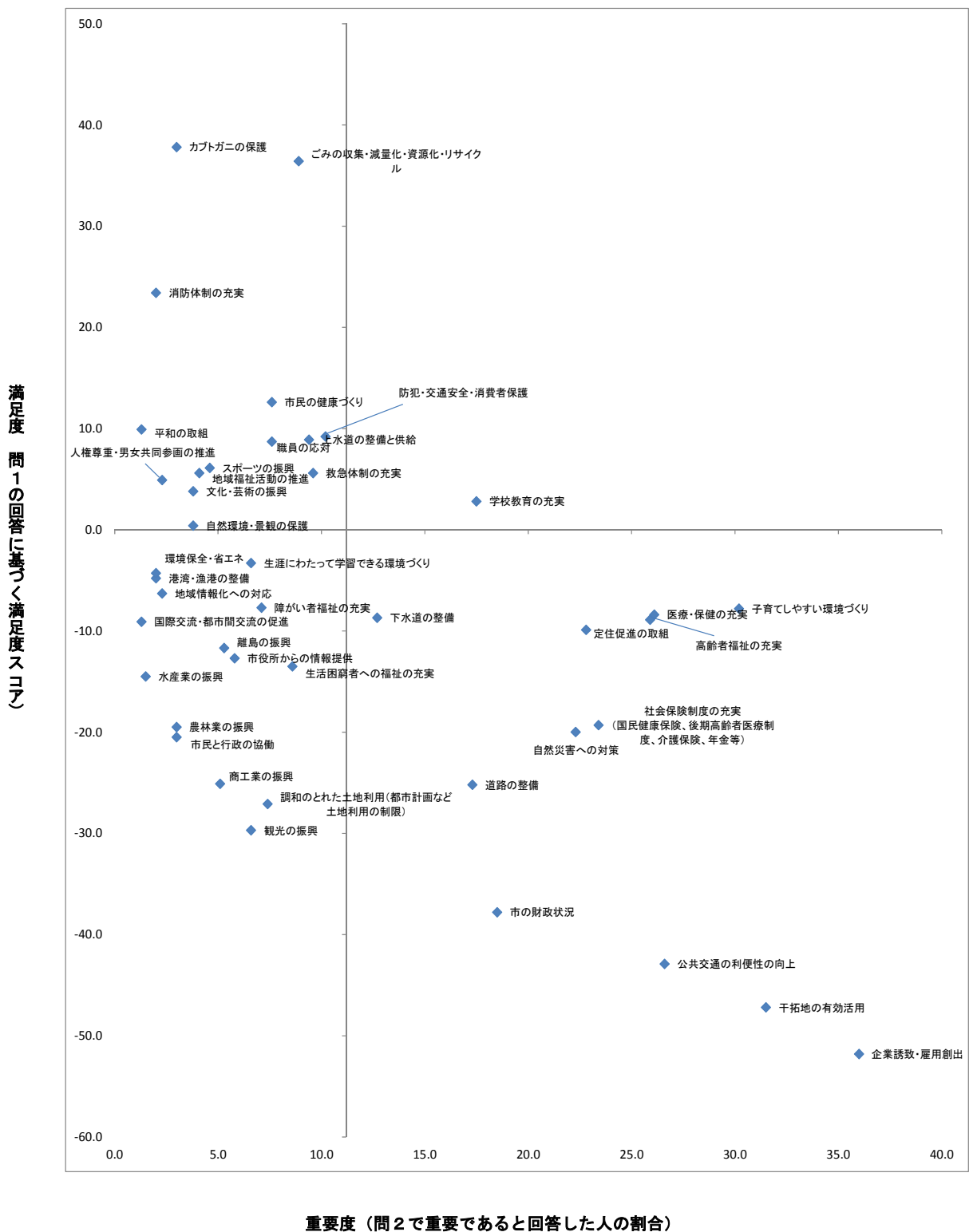
重要度が高いにもかかわらず満足度が低い項目は「企業誘致・雇用創出」という結果となった。

(3)「移住したい」と考えている市民の重要度・満足度



重要度が高いにもかかわらず満足度が低い項目は「公共交通の利便性の向上」という結果となった。

(4)「特に考えていない」と考えている市民の重要度・満足度



重要度が高いにもかかわらず満足度が低い項目は「企業誘致・雇用創出」という結果となった。

Ⅲ 施策指標値調査結果

1 施策名ごとの指標値

市民意識調査の質問項目で第6次笠岡市総合計画の指標となっている指標名を抜き出し、指標ごとの目指すべき方向性を矢印で示している。

() は前回(平成26年度)調査結果の指標値である。

「結果」欄は、前回調査の指標値と比較した結果を矢印で示している。

施策名	指標名	指標値	方向性	結果
ずっと住みたいまち	笠岡市に住みたいと答えた市民の割合	53.1%	↗	↗
		(52.8%)		
調和のとれた土地利用に取り組むまち	土地利用の制限に満足している市民の割合	7.8%	↗	↘
		(10.4%)		
	住環境の整備に満足している市民の割合	25.2%	↗	↘
		(29.3%)		
良好な景観と憩いの空間があるまち	自然環境・景観の保護に満足している市民の割合	26.9%	↗	↘
		(28.9%)		
	公園・緑地の整備状況に満足している市民の割合	44.7%	↗	↘
		(47.1%)		
公共交通を利用しやすいまち	公共交通の利便性の向上に対する満足度	-39.1%	↗	↘
		(-30.1%)		
	公共交通を利用している市民の割合	18.5%	↗	→
		(18.5%)		
便利で安全な道路があるまち	道路の整備状況に満足している市民の割合	27.7%	↗	↘
		(27.9%)		
安心の水が潤うまち	水道水を安心して使用できていると感じている市民の割合	61.3%	↗	↗
		(60.7%)		
危機に備えみんなを守るまち	非常時の持出品(食飲料)を準備している市民の割合	16.4%	↗	↗
		(12.7%)		
	家具の転倒防止やガラスの飛散防止などの防災対策をしている市民の割合	16.7%	↗	↗
		(13.5%)		
ごみを減らし資源を大切にすまち	ごみの減量化・資源化に取り組んでいる市民の割合	83.7%	↗	↗
		(83.4%)		
地球にやさしい環境を守るまち	エコ(節約・省エネルギー)を実施している市民の割合	85.3%	↗	↗
		(82.1%)		
学びが人を育てるまち	過去1年間に公民館を使用した市民の割合	38.7%	↗	↗
		(34.5%)		

施策名	指標名	指標値	方向性	結果
人権を尊重するまち	人権を尊重しながら生活していると感じている市民の割合	69.8%	↗	↘
		(69.9%)		
	地域や職場で男女が対等に活躍できていると感じている市民の割合	36.3%	↗	↘
		(38.2%)		
平和の大切さを伝えるまち	非核平和都市宣言を知っている市民の割合	63.9%	↗	↗
		(62.9%)		
安心して子どもを産み育てられるまち	安心して子どもを産み育てられると感じている市民の割合	44.1%	↗	↘
		(46.5%)		
離島で安心して暮らせるまち	離島振興に対する満足度	-10.6%	↗	↘
		(-9.6%)		
市民とともに協働で進めるまち	まちづくり協議会の認知率	60.7%	↗	↗
		(54.6%)		
全庁的な市民対応の向上	過去1年間に窓口を利用した市民のうち職員の対応に満足している市民の割合	43.5%	↗	↗
		(42.3%)		
	過去1年間に窓口を利用した市民のうち職員の対応に不満を持っている市民の割合	22.4%	↘	↗
		(19.4%)		
情報公開・文書管理	市役所からの情報提供に満足している市民の割合	26.2%	↗	↘
		(28.8%)		

IV. 質問項目の分析

1 回答者の「居住の経緯」による分析

以下では、問3の回答と回答者の「居住の経緯」をもとに集計した。

Uターン：笠岡に住んだあと他の市町村に引っ越し、再び笠岡に戻ってきた市民

Iターン：他の市町村から笠岡市に引っ越してきた市民

「生まれてずっと笠岡市に住んでいる」では、「非核平和都市宣言を認知」「男は仕事、女は家庭」「観光客にとって魅力的」「テレビ広報かさおかを見たことのある」「これからも笠岡市に住み続けたい」「最近1年間で市役所（電話）を利用したことがある」「市民の意見や提案が市政に反映されている」と回答した割合が他と比較して高く、「住環境の整備状況」「非常時の持出品（食飲料）を準備している」「防災対策をしている」「非常時の集合場所や連絡網を家庭で決めている」「最近1年間で公民館を利用した」「ごみの減量化・資源化に取り組んでいる」「エコ（節約・省エネルギー化）を実践」「新エネルギーを設置」「ハイブリッド車等の購入（予定）」「人権」「安心して子どもを産み育てられる」「笠岡市子ども条例の認知」の割合が他と比較して低くなっている。

「Uターン」では、「公共交通機関を利用」「路線バスを利用」「海上交通機関を利用」「公共交通機関の維持」「水道水を安心して使用できる」「最近1年間で公民館を利用した」「ごみの減量化・資源化に取り組んでいる」「笠岡市子ども条例の認知」「最近1年間で自治会・町内会活動や市民活動に参加」「まちづくり協議会の存在」「最近1年間で市役所（窓口）を利用したことがある」「住宅団地の開発を行うことについて推進すべきと感じている」と回答した割合が他と比較して高く、「公園・緑地の整備状況」「男女が対等に活躍」「男は仕事、女は家庭」「配偶者や恋人等親しい関係にある人から暴力を受けた」「家族と同居」「観光客にとって魅力的」「現在の笠岡市の住み心地が良い」「最近1年間で市役所（電話）を利用したことがある」「市民の意見や提案が市政に反映されている」「複合的な機能を有するエリアに再構築することに推進すべきと感じている」の割合が他と比較して低くなっている。

「Iターン」では、「住環境の整備状況」「公園・緑地の整備状況」「非常時の持出品（食飲料）を準備している」「防災対策をしている」「非常時の集合場所や連絡網を家庭で決めている」「エコ（節約・省エネルギー化）を実践」「新エネルギーを設置」「ハイブリッド車等の購入（予定）」「人権」「男女が対等に活躍」「配偶者や恋人等親しい関係にある人から暴力を受けた」「安心して子どもを産み育てられる」「笠岡市子ども条例の認知」「家族と同居」「道の駅笠岡ベイファームを利用」「笠岡市のホームページを利用している」「現在の笠岡市の住み心地が良い」「9年制の義務教育学校（小中一貫校）をつくることを推進すべきと感じている」「複合的な機能を有するエリアに再構築することに推進すべきと感じている」と回答した割合が他と比較して高く、「公共交通機関を利用」「路線バスを利用」「海上交通機関を利用」「公共交通機関の維持」「水道水を安心して使用できる」「非核平和都市宣言を認知」「最近1年間で自治会・町内会活動や市民活動に参加」「まちづくり協議会の存在」「テレビ広報かさおかを見たことのある」「これからも笠岡市に住み続けたい」の割合が他と比較して低くなっている。

質問項目		全体	生まれて ずっと笠岡 市に住んで いる	Uターン	Iターン
「住環境の整備状況」(宅地の供給、街並みの整備等)に満足している市民の割合	今回 (平成28年度)	25.2%	22.7%	25.0%	27.7%
	前回 (平成26年度)	29.3%	29.8%	30.7%	30.8%
「公園・緑地の整備状況」に満足している市民の割合	今回 (平成28年度)	44.7%	42.6%	40.8%	51.1%
	前回 (平成26年度)	47.1%	44.2%	50.5%	51.1%
「公共交通機関を利用」している市民の割合	今回 (平成28年度)	18.5%	20.0%	22.2%	14.3%
	前回 (平成26年度)	18.5%	21.3%	22.5%	13.4%
「路線バスを利用」している市民の割合	今回 (平成28年度)	15.6%	16.5%	16.6%	13.4%
	前回 (平成26年度)	16.0%	16.2%	15.4%	16.7%
「海上交通機関を利用」している市民の割合	今回 (平成28年度)	13.0%	14.2%	15.9%	11.1%
	前回 (平成26年度)	13.1%	15.2%	20.5%	7.7%
「公共交通機関の維持」をしていくことが必要だと感じている市民の割合	今回 (平成28年度)	84.0%	85.8%	86.5%	82.6%
	前回 (平成26年度)	82.5%	81.4%	87.2%	84.3%
「水道水を安心して使用できる」と感じている市民の割合	今回 (平成28年度)	61.3%	63.4%	68.6%	53.6%
	前回 (平成26年度)	60.7%	63.3%	66.3%	56.6%
「非常時の持出品(食飲料)を準備している」市民の割合	今回 (平成28年度)	16.4%	13.8%	17.1%	19.6%
	前回 (平成26年度)	12.7%	12.0%	12.7%	13.8%
「防災対策をしている」市民の割合	今回 (平成28年度)	16.7%	13.2%	17.1%	20.3%
	前回 (平成26年度)	13.5%	11.1%	16.5%	15.8%
「非常時の集合場所や連絡網を家庭で決めている」市民の割合	今回 (平成28年度)	28.8%	28.0%	29.4%	30.1%
	前回 (平成26年度)	27.3%	26.7%	27.7%	28.6%
「最近1年間で公民館を利用した」市民の割合	今回 (平成28年度)	38.7%	36.8%	40.9%	39.5%
	前回 (平成26年度)	34.5%	32.4%	37.8%	34.9%
「ごみの減量化・資源化に取り組んでいる」市民の割合	今回 (平成28年度)	83.7%	81.3%	87.3%	84.4%
	前回 (平成26年度)	83.4%	80.5%	85.4%	87.4%
「エコ(節約・省エネルギー化)を実践している」市民の割合	今回 (平成28年度)	85.3%	83.1%	86.5%	87.3%
	前回 (平成26年度)	82.1%	78.2%	85.4%	86.4%
「新エネルギー・省エネルギー設備を設置している・予定がある」市民の割合	今回 (平成28年度)	23.4%	22.9%	23.8%	24.3%
「新エネルギーに関心」がある市民の割合	前回 (平成26年度)	73.1%	70.7%	77.9%	76.5%
「ハイブリッド車や電気自動車等の購入する・予定である」市民の割合	今回 (平成28年度)	13.3%	11.1%	13.9%	15.2%
「太陽光発電システムを導入」している市民の割合	前回 (平成26年度)	8.9%	7.5%	11.6%	9.7%
「非核平和都市宣言」をしていることを知っている市民の割合	今回 (平成28年度)	63.9%	68.3%	66.7%	59.2%
	前回 (平成26年度)	62.9%	66.7%	64.0%	60.0%

質問項目		全体	生まれて ずっと笠岡 市に住んで いる	Uターン	Iターン
「人権」を尊重しながら生活していると感じている市民の割合	今回 (平成28年度)	69.8%	67.7%	68.7%	72.7%
	前回 (平成26年度)	69.9%	66.6%	71.1%	74.9%
地域や職場で「男女が対等に活躍」できていると感じる市民の割合	今回 (平成28年度)	36.3%	36.1%	34.1%	37.3%
	前回 (平成26年度)	38.2%	36.2%	41.2%	39.2%
「男は仕事、女は家庭」という考え方を同感する市民の割合	今回 (平成28年度)	13.9%	15.2%	11.9%	13.4%
「配偶者や恋人等親しい関係にある人から暴力を受けた」市民の割合	前回 (平成26年度)	12.6%	12.2%	9.6%	15.6%
「安心して子どもを産み育てられる」と感じている市民の割合	今回 (平成28年度)	44.1%	41.8%	42.5%	47.1%
	前回 (平成26年度)	46.5%	45.7%	43.1%	51.2%
「笠岡市子ども条例」を知っている市民の割合	今回 (平成28年度)	33.9%	33.1%	34.9%	34.9%
	前回 (平成26年度)	43.0%	42.2%	43.1%	43.4%
「家族と同居」している市民の割合	今回 (平成28年度)	86.5%	87.0%	83.7%	88.8%
	前回 (平成26年度)	79.1%	77.6%	76.4%	84.0%
笠岡市が「観光客にとって魅力的」だと感じている市民の割合	今回 (平成28年度)	18.3%	20.3%	15.5%	17.2%
	前回 (平成26年度)	16.0%	17.1%	15.7%	15.0%
「道の駅笠岡ベイファームを利用」したことがある市民の割合	今回 (平成28年度)	82.4%	79.8%	84.9%	85.7%
	前回 (平成26年度)	77.7%	77.6%	76.4%	82.2%
「最近1年間で自治会・町内会活動や市民活動に参加」した市民の割合	今回 (平成28年度)	65.5%	63.6%	71.4%	65.2%
	前回 (平成26年度)	61.3%	62.0%	64.8%	60.6%
「まちづくり協議会の存在」を知っている市民の割合	今回 (平成28年度)	60.7%	61.9%	62.3%	59.2%
	前回 (平成26年度)	54.6%	59.2%	54.7%	49.1%
「笠岡市のホームページを利用している」市民の割合	今回 (平成28年度)	42.6%	40.0%	44.1%	45.4%
	前回 (平成26年度)	39.9%	40.9%	37.3%	39.9%
笠岡放送の「テレビ広報かさおか」を見たことのある市民の割合	今回 (平成28年度)	43.5%	50.6%	38.1%	36.4%
	前回 (平成26年度)	46.0%	52.2%	36.4%	42.0%
「現在の笠岡市の住み心地が良い」と感じている市民の割合	今回 (平成28年度)	25.5%	24.5%	24.2%	27.7%
	前回 (平成26年度)	26.9%	27.8%	25.8%	27.2%
「これからも笠岡市に住み続けたい」と感じている」市民の割合	今回 (平成28年度)	53.1%	60.1%	56.7%	43.8%
	前回 (平成26年度)	52.8%	58.9%	50.9%	44.8%

質問項目		全体	生まれて ずっと笠岡 市に住んで いる	Uターン	Iターン
「最近1年間で市役所(窓口)を利用したことがある」市民の割合	今回 (平成28年度)	71.3%	68.3%	77.8%	72.5%
	前回 (平成26年度)	65.7%	64.7%	74.9%	63.5%
「最近1年間で市役所(電話)を利用したことがある」割合	今回 (平成28年度)	31.5%	32.1%	30.2%	31.0%
	前回 (平成26年度)	18.0%	18.2%	18.4%	18.9%
「市民の意見や提案が市政に反映されている」と感じている市民の割合	今回 (平成28年度)	11.7%	13.8%	9.9%	11.2%
	前回 (平成26年度)	16.7%	17.7%	17.2%	16.2%
「9年制の義務教育学校(小中一貫校)をつくることを推進すべきと感じている」市民の割合	今回 (平成28年度)	37.5%	38.5%	38.9%	39.5%
「複合的な機能を有するエリアに再構築することに推進すべきと感じている」市民の割合	今回 (平成28年度)	44.7%	45.7%	43.3%	47.5%
「住宅団地の開発を行うことについて推進すべきと感じている」市民の割合	今回 (平成28年度)	55.8%	56.6%	59.9%	57.8%

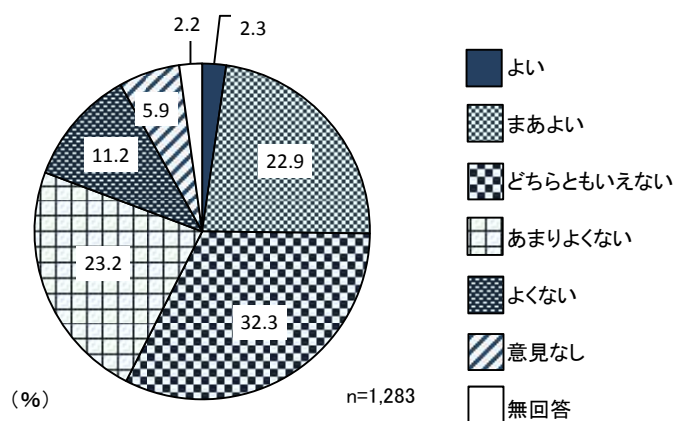
V 調査結果

1 個別分析及回答者の属性による分析

(1)あなたは、笠岡市内の住環境の整備状況(宅地の供給、街並みの整備等)についてどのように思いますか。

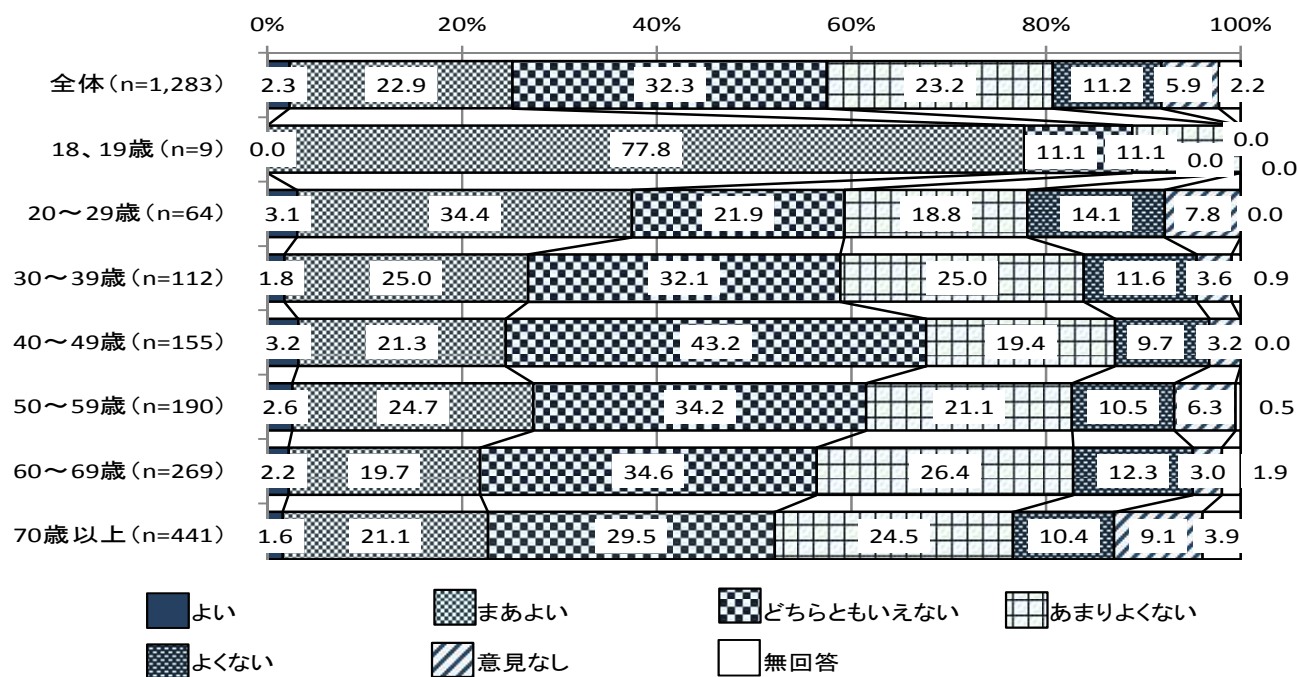
笠岡市内の住環境の整備状況について、【不満(「あまりよくない」+「よくない」)】と回答した割合が34.4%と最も高くなっています。ついで、【満足(「よい」+「まあよい」)】が25.2%となっています。

【全体 図】



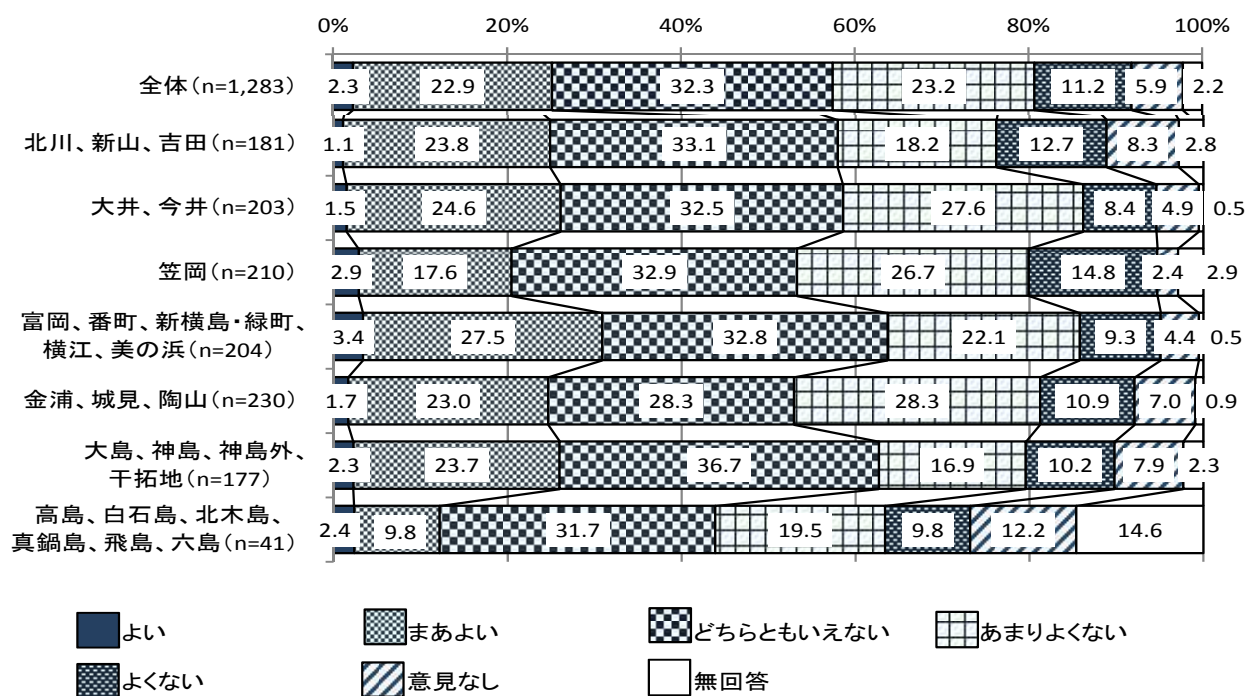
年齢別にみると、「18、19歳」から「40～49歳」にかけて年齢が上がるにつれて【満足(「よい」+「まあよい」)】が低くなっています。

【年齢別 図】



居住地域別にみると、すべての地域において【不満（「あまりよくない」＋「よくない」）】が高くなっています。

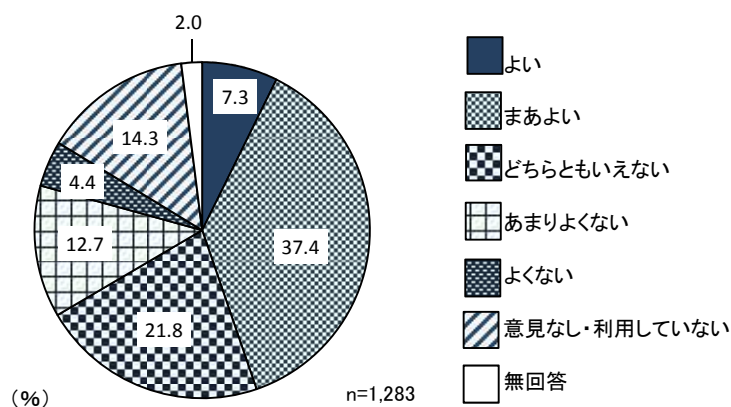
【居住地域別 図】



(2)あなたは、笠岡市内の公園・緑地の整備状況についてどのように思いますか。

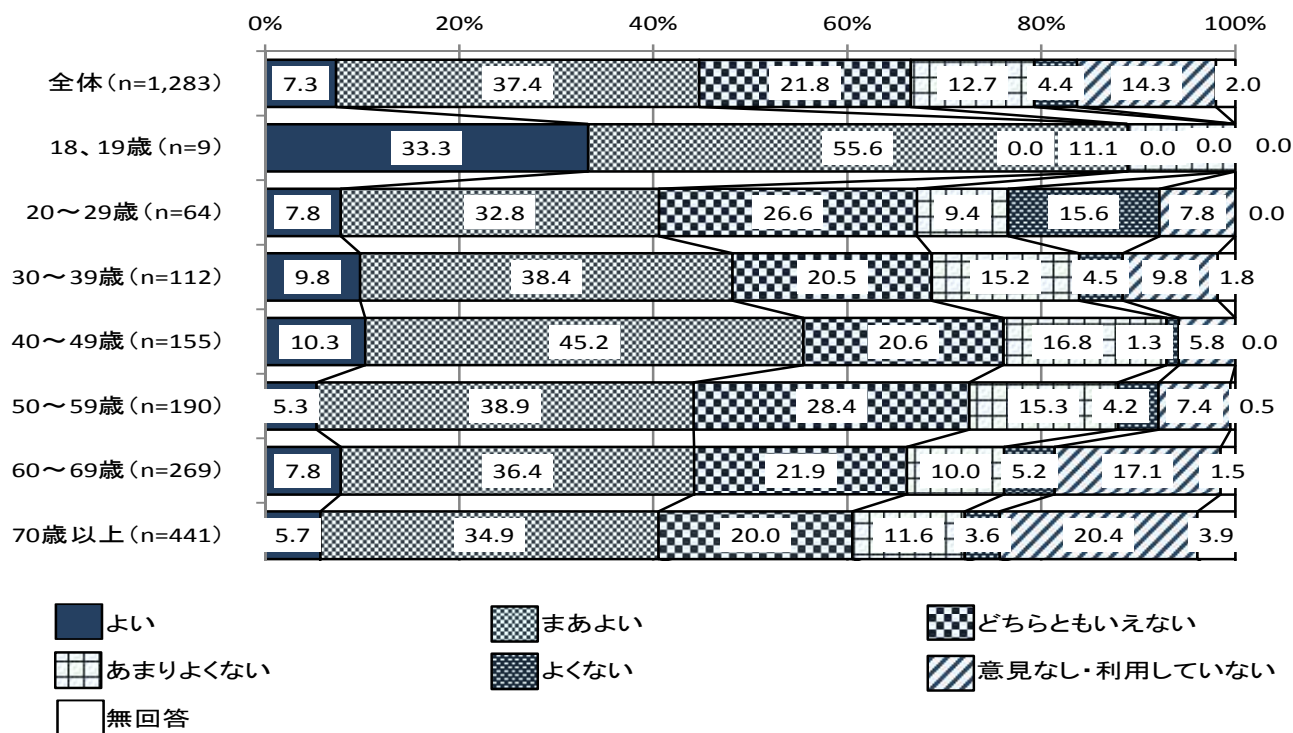
笠岡市内の公園・緑地の整備状況について、【満足（「よい」＋「まあよい」）】と回答した割合が 44.7%と最も高くなっています。ついで、【不満「よくない」＋「あまりよくない」】が 17.1%となっています。

【全体 図】



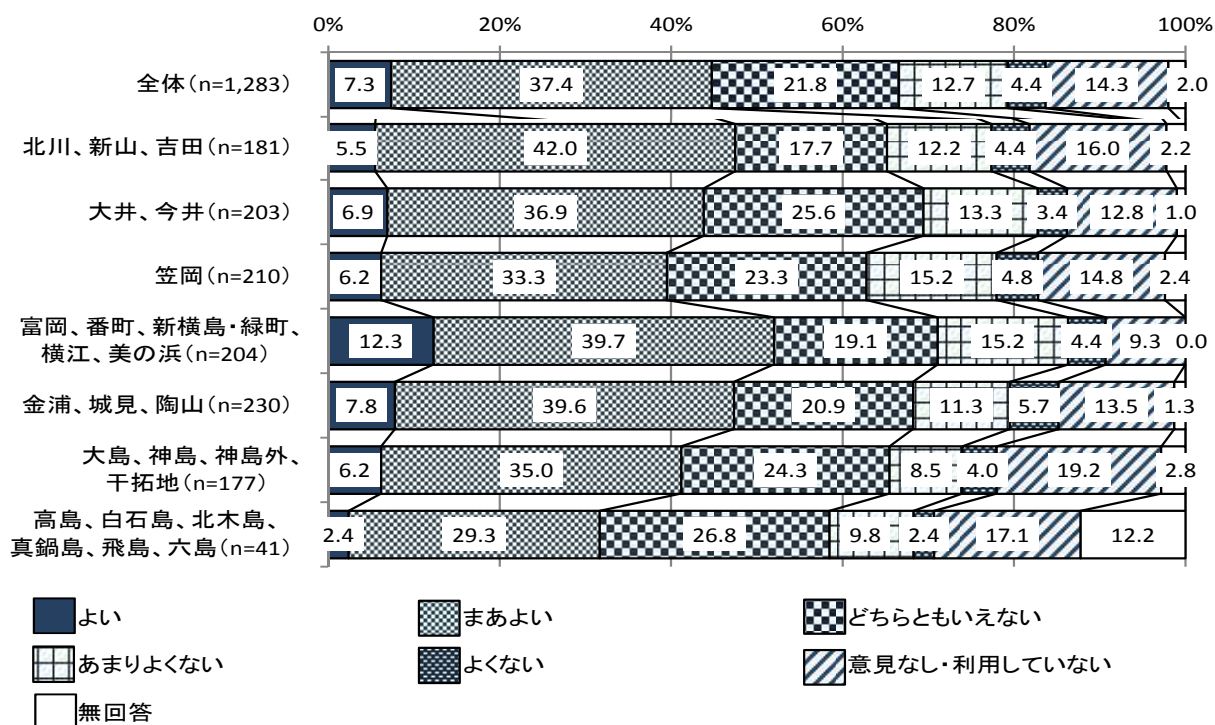
年齢別にみると、「40～49 歳」から「70 歳以上」にかけて年齢が上がるにつれて【満足（「よい」＋「まあよい」）】が低くなっています。

【年齢別 図】



居住地域別にみると、すべての地域において【満足（「よい」＋「まあよい」）】が高くなっています。

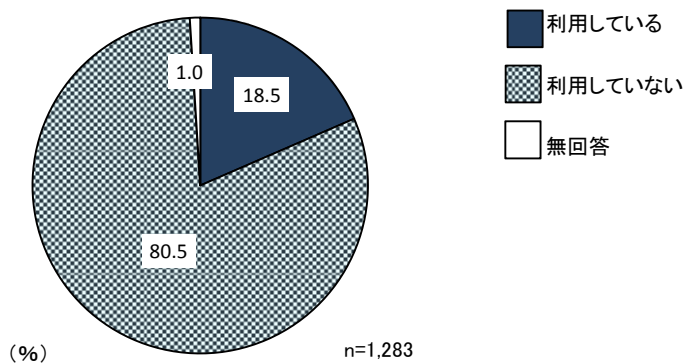
【居住地域別 図】



(3)あなたは、笠岡市内の公共交通機関(路線バス、デマンド型乗合タクシー、旅客船、フェリー)を利用していますか。

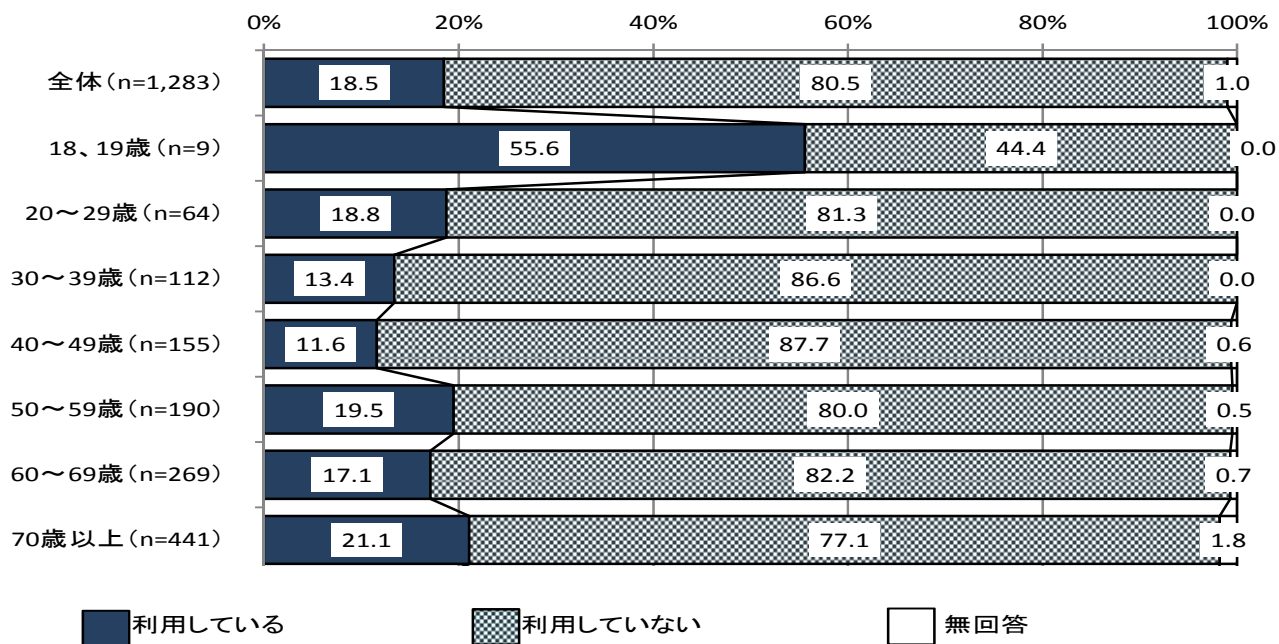
笠岡市内の公共交通機関を利用について、「利用している」が18.5%、「利用していない」が80.5%、となっています。

【全体 図】



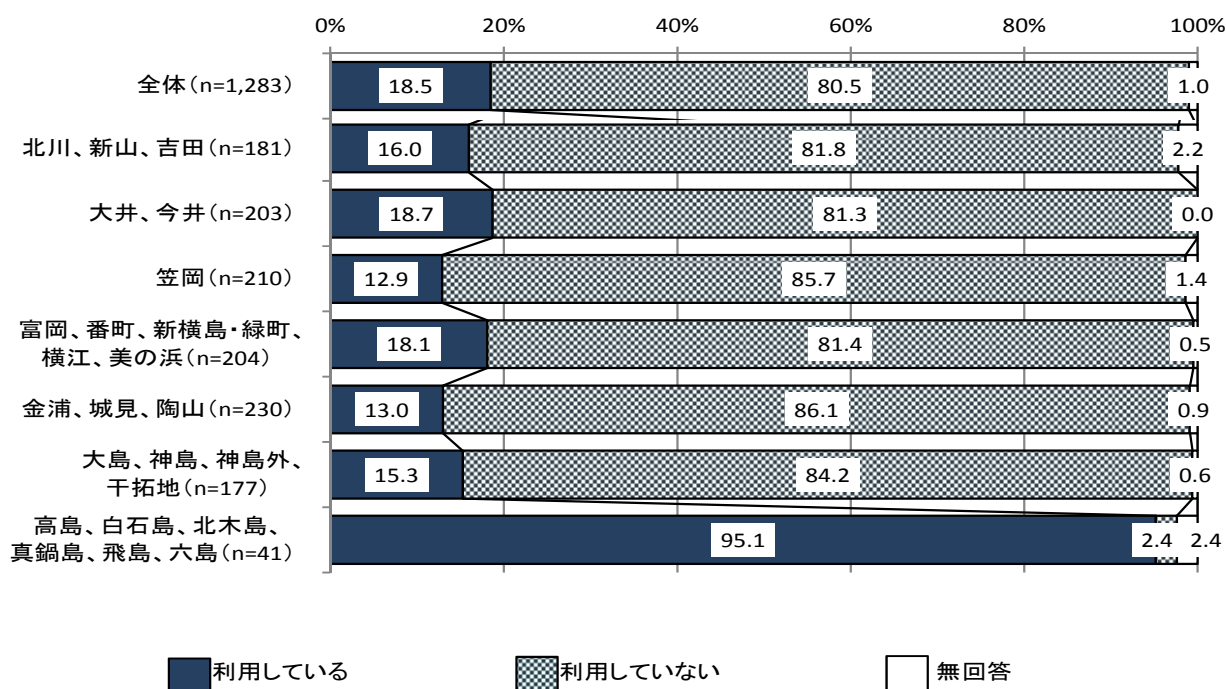
年齢別にみると、「18、19歳」から「40～49歳」にかけて年齢が上がるにつれて「利用している」が低くなっています。

【年齢別 図】



居住地域別にみると、「高島、白石島、北木島、真鍋島、飛島、六島」(95.1%)は他の地域に比べて「利用している」が高くなっています。それ以外の地域は「利用していない」が高くなっています。

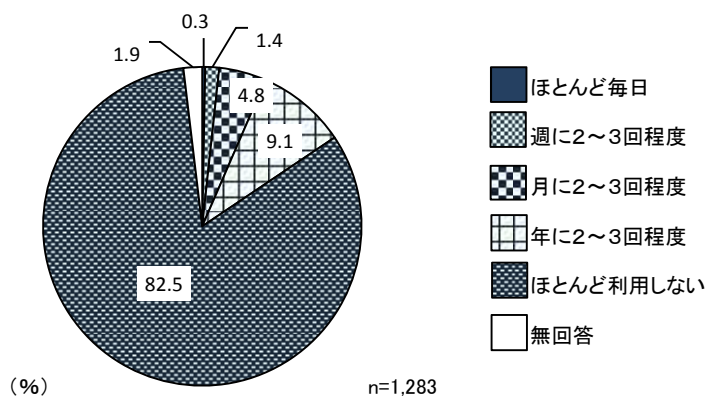
【居住地域別 図】



(4) 笠岡市内の路線バスの利用状況について伺います。あなたは、笠岡市内の路線バスをどのくらい利用していますか。

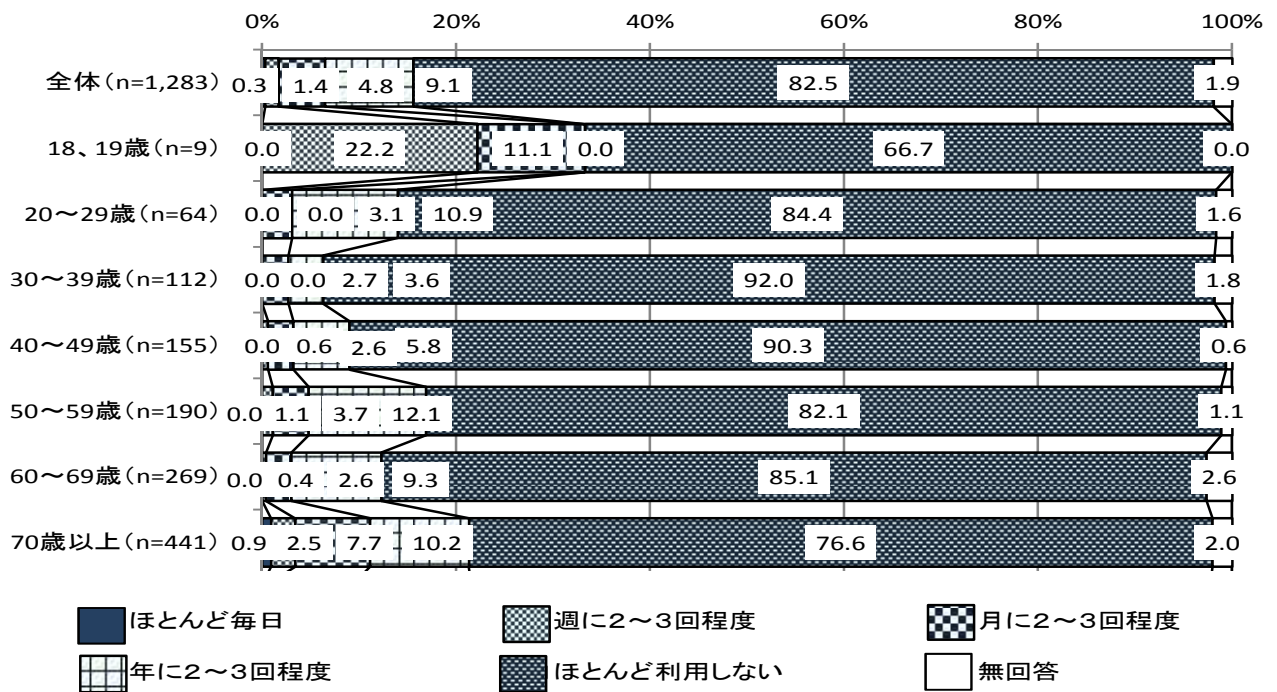
笠岡市内の路線バスの利用状況について、「ほとんど利用していない」と回答した割合が82.5%と最も高くなっています。ついで、「年に2～3回程度」が9.1%、「月に2～3回程度」が4.8%となっています。

【全体 図】



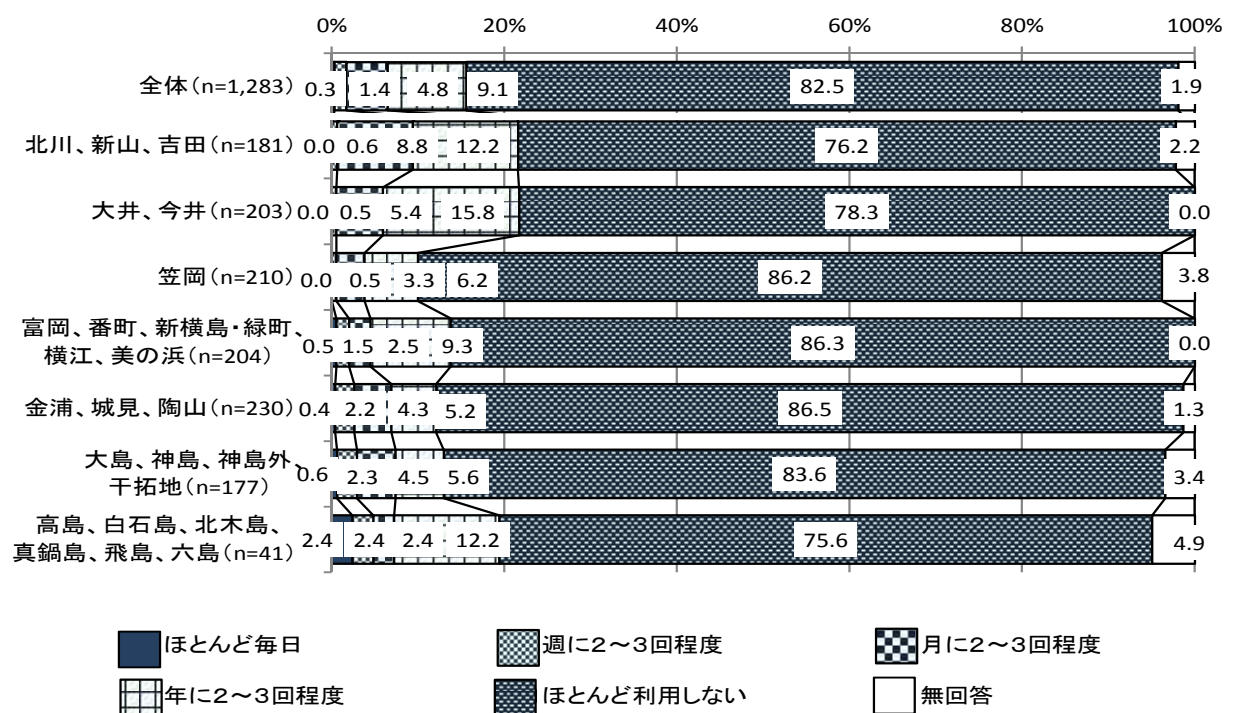
年齢別にみると、「30～39 歳」から「50～49 歳」にかけて年齢が上がるにつれて「年に2～3回程度」が高くなっており、「ほとんど利用しない」が低くなっています。

【年齢別 図】



居住地域別にみると、すべての地域において「ほとんど利用しない」が高くなっています。

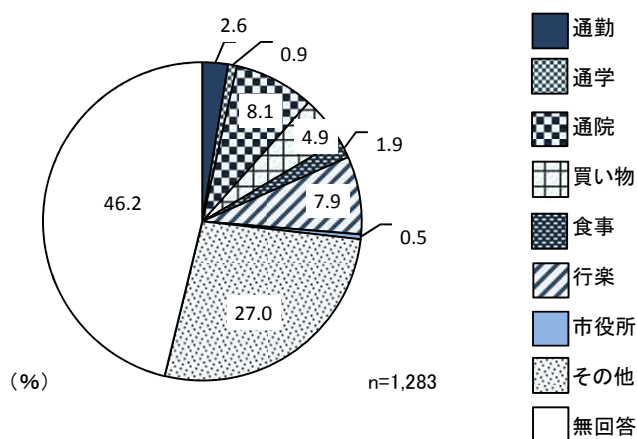
【居住地域別 図】



(5)あなたが、笠岡市内の路線バスを利用する主な目的は何ですか。

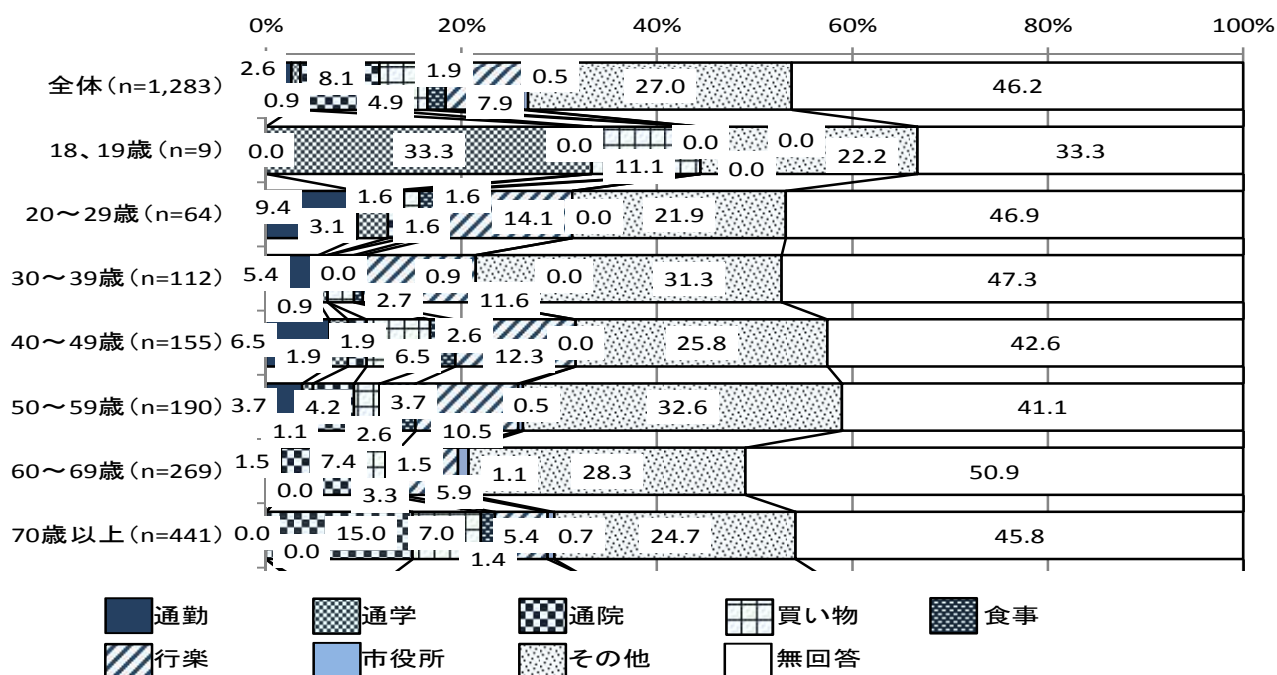
笠岡市内の路線バスを利用する主な目的について、「通院」と回答した割合が8.1%と最も高くなっています。ついで、「行楽」が7.9%、「買い物」が4.9%となっています。

【全体 図】



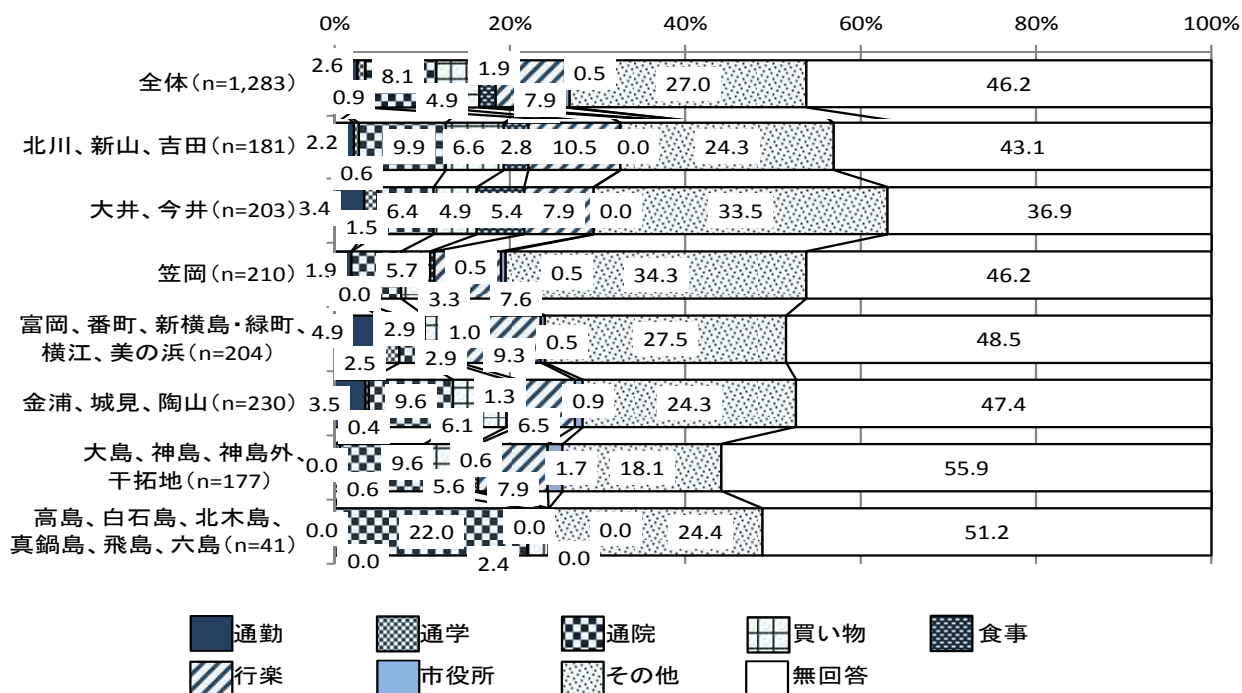
年齢別にみると、「40～49歳」から「70歳以上」にかけて年齢が上がるにつれて「行楽」が低くなっています。

【年齢別 図】



居住地域別にみると、「北川、新山、吉田」(10.5%)、「大井、今井」(7.9%)、「笠岡」(7.6%)、「富岡、番町、新横島・緑町、横江、美の浜」(9.3%)は他の地域に比べて「行楽」が高くなっています。また、「金浦、城見、陶山」(9.6%)、「大島、神島、神島外、干拓地」(9.6%)、「高島、白石島、北木島、真鍋島、飛島、六島」(22.0%)は他の地域に比べて「通院」が高くなっています。

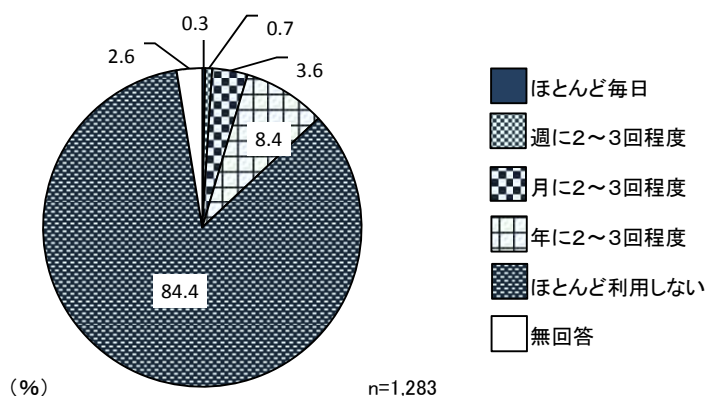
【居住地域別 図】



(6)あなたは、笠岡市内の海上交通(旅客船、フェリー)を利用していますか。

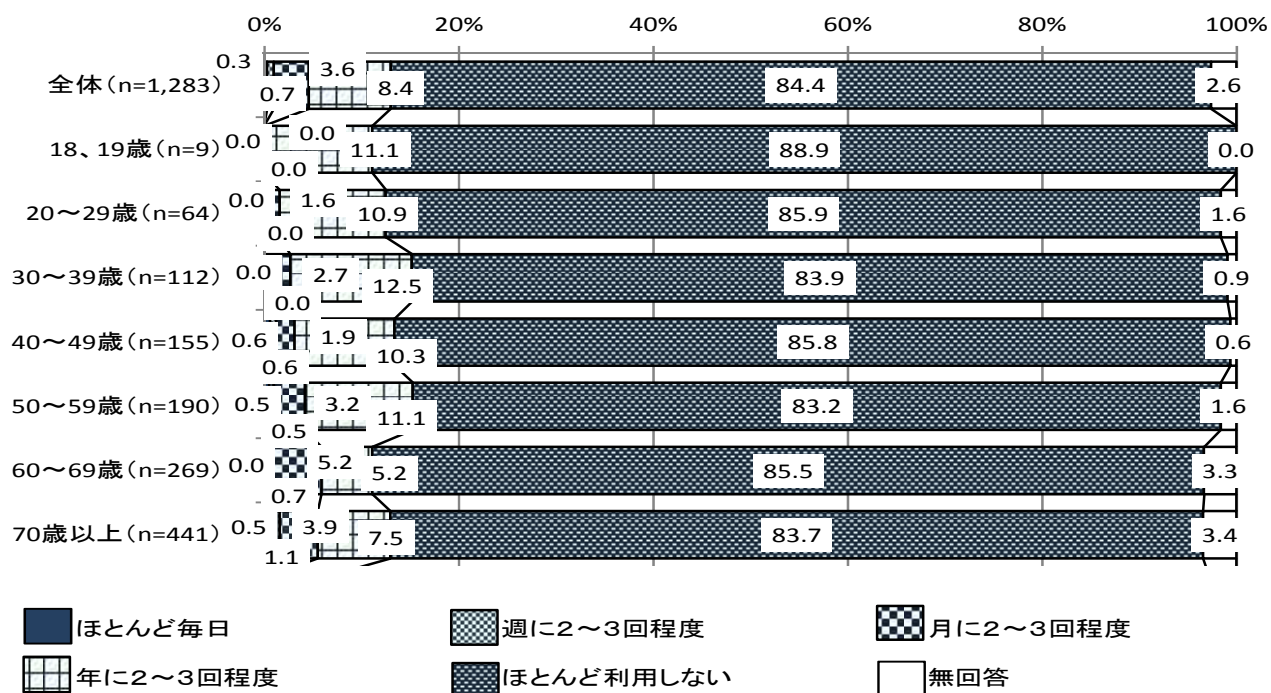
笠岡市内の海上交通を利用について、「ほとんど利用しない」と回答した割合が84.4%と最も高くなっています。ついで、「年に2～3回程度」が8.4%、「月に2～3回程度」が3.6%となっています。

【全体 図】



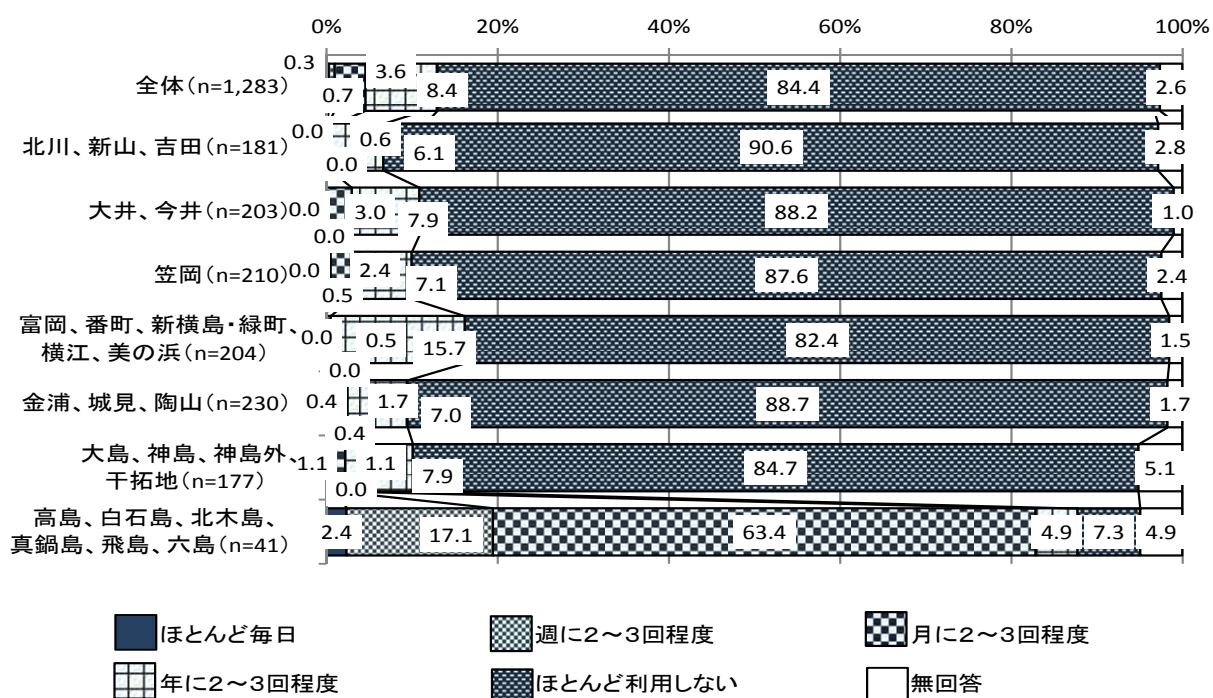
年齢別にみると、「18、19歳」から「30～39歳」にかけて年齢が上がるにつれて「ほとんど利用しない」が低くなっており、また「月に2～3回程度」が高くなっています。

【年齢別 図】



居住地域別にみると、「高島、白石島、北木島、真鍋島、飛島、六島」(63.4%)は他の地域に比べて「月に2～3回程度」が高くなっています。それ以外の地域は「ほとんど利用しない」が高くなっています。

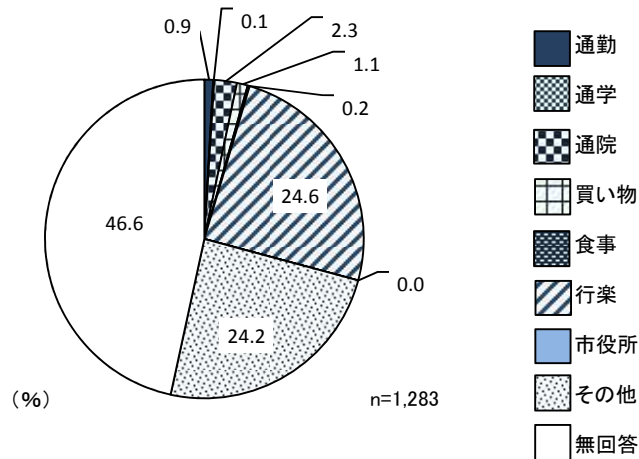
【居住地域別 図】



(7)あなたが、笠岡市内の海上交通(旅客船、フェリー)を利用する主な目的は何ですか。

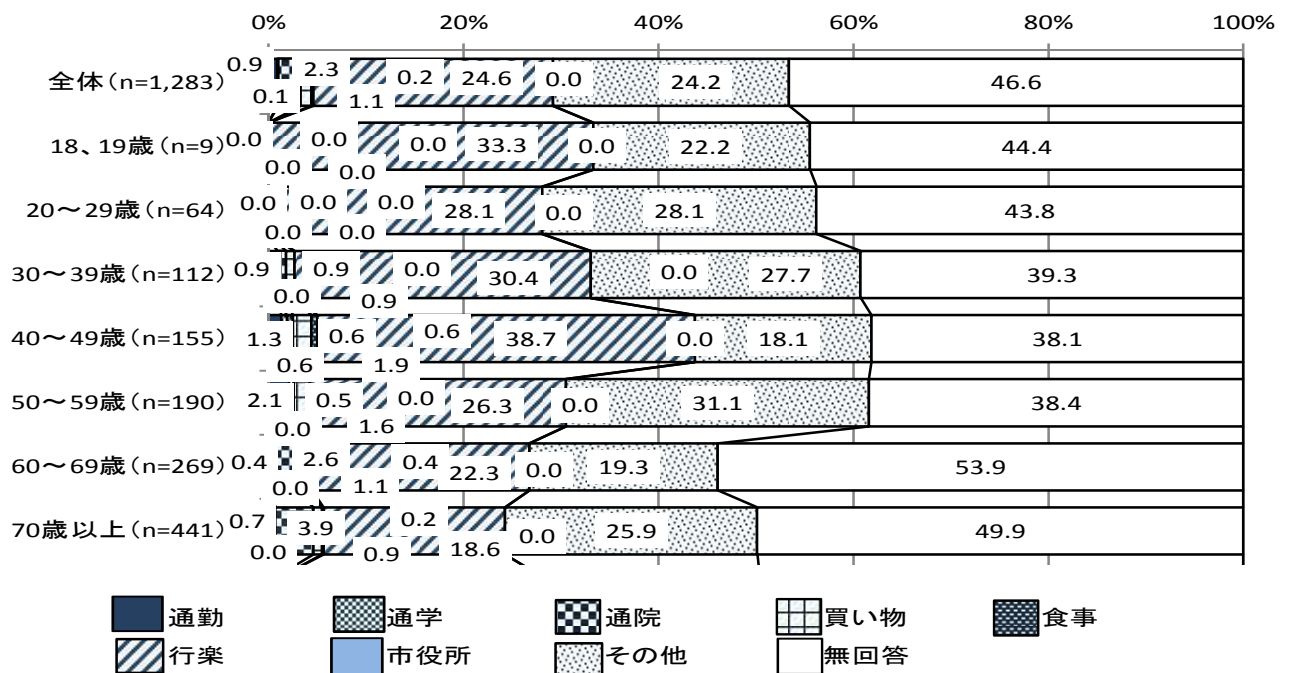
笠岡市内の海上交通を利用する主な目的について、「行楽」と回答した割合が24.6%と最も高くなっています。ついで、「通院」が2.3%、「買い物」が1.1%となっています。

【全体 図】



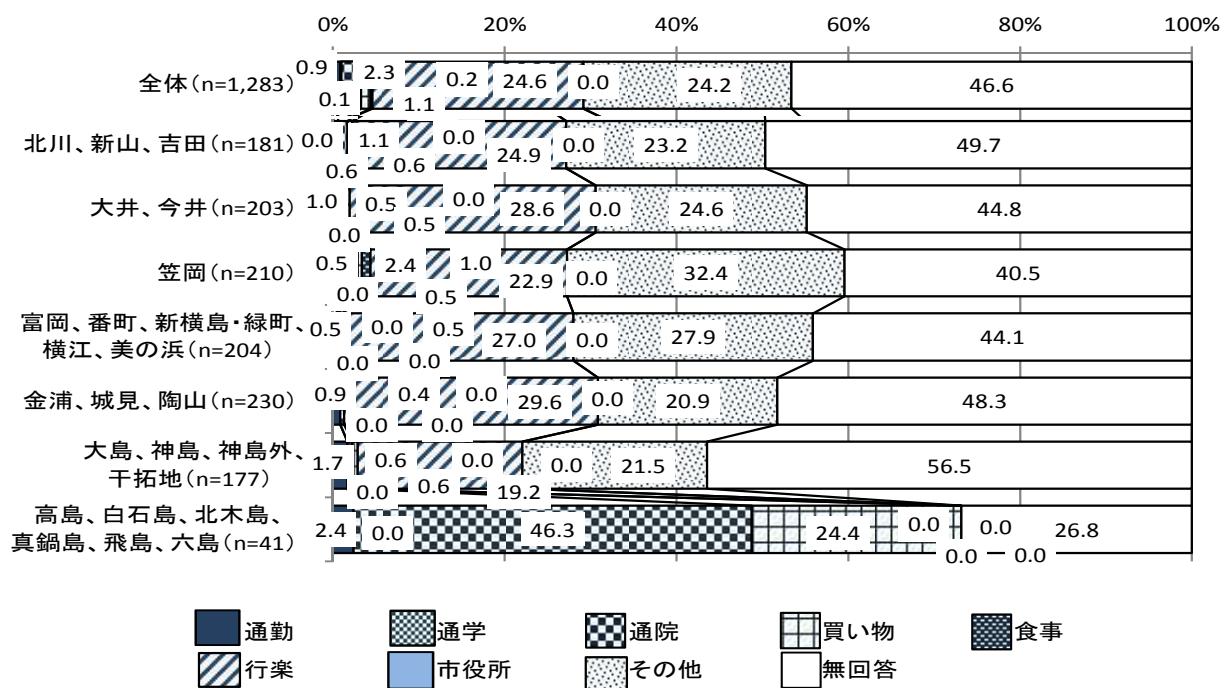
年齢別にみると、「40～49歳」から「70歳以上」にかけて年齢が上がるにつれて「買い物」と「行楽」が低くなっています。

【年齢別 図】



居住地域別にみると、「高島、白石島、北木島、真鍋島、飛島、六島」(46.3%)は他の地域に比べて「通院」が高くなっています。それ以外の地域は「行楽」が高くなっています。

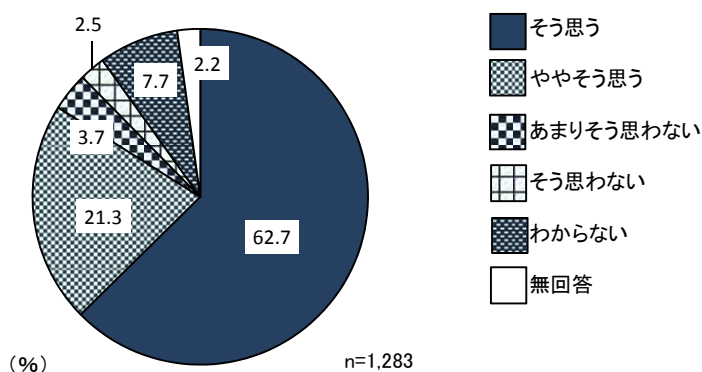
【居住地域別 図】



(8)あなたは、公共交通機関(路線バス、デマンド型乗合タクシー、旅客船、フェリー)を維持していくことは必要だと思いますか。

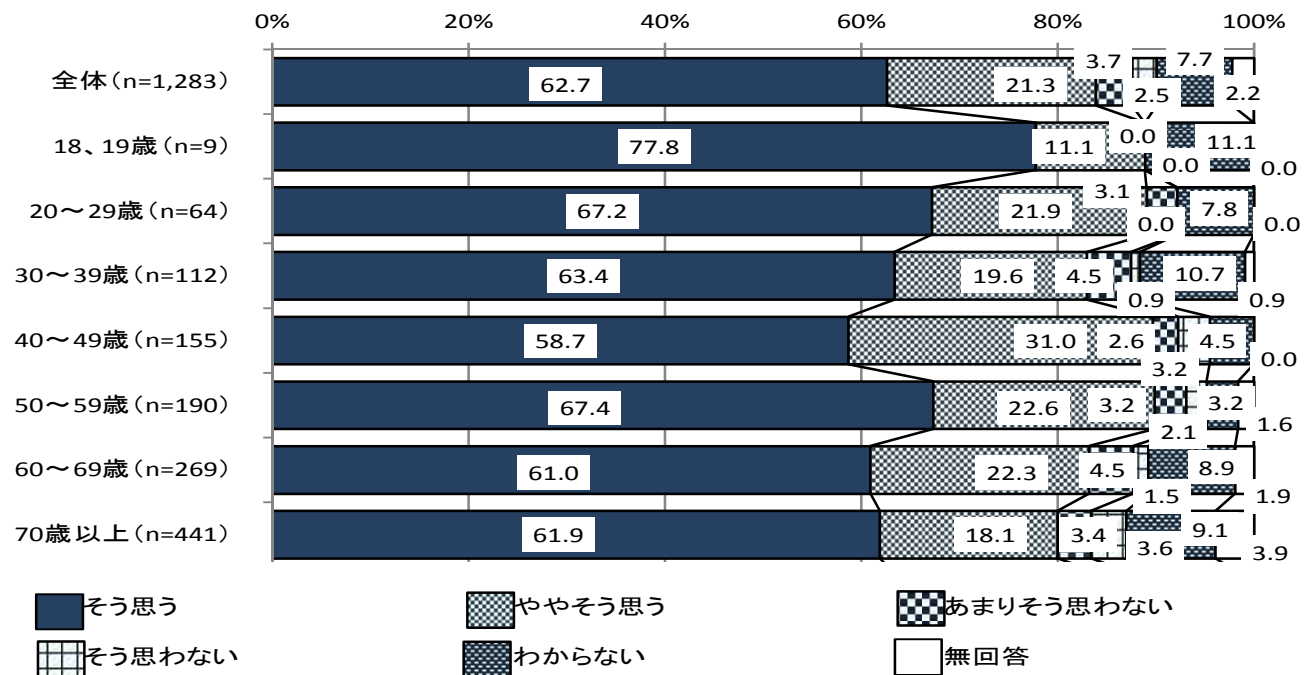
笠岡市内の公共交通機関の維持について、【思う(「そう思う」+「ややそう思う」)】と回答した割合が84.0%と最も高くなっています。ついで、【思わない(「あまりそう思わない」+「そう思わない」)】が6.2%となっています。

【全体 図】



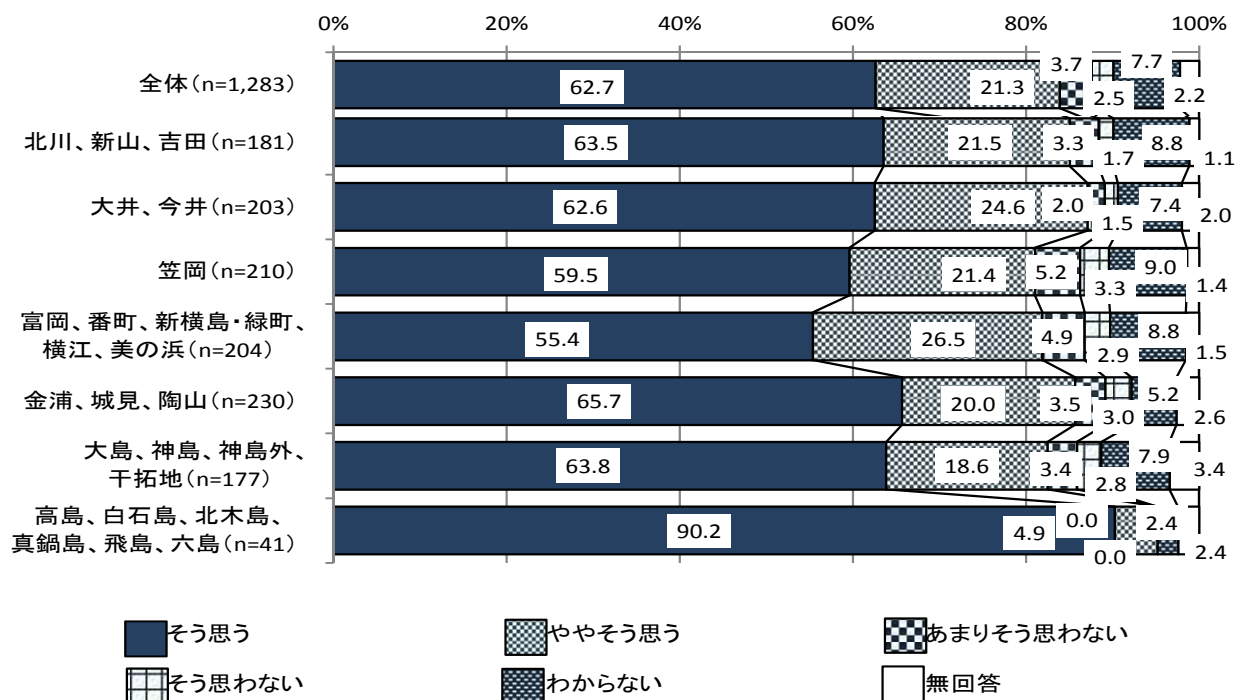
年齢別にみると、「30～39 歳」から「50～59 歳」にかけて年齢が上がるにつれて【思う（「そう思う」＋「ややそう思う」）】が高くなっています。

【年齢別 図】



居住地域別にみると、すべての地域において【思う（「そう思う」＋「ややそう思う」）】が高くなっています。

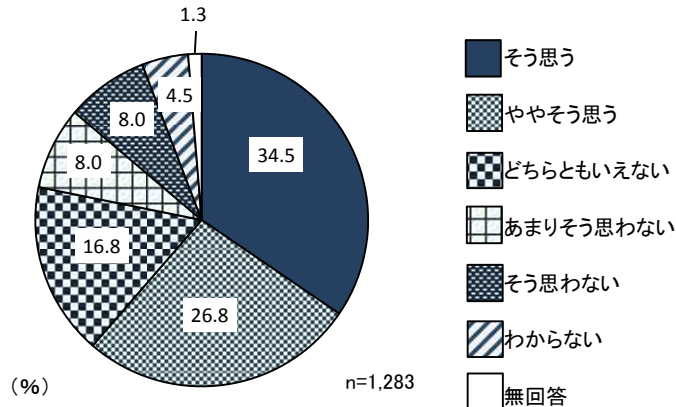
【居住地域別 図】



(9)あなたは、笠岡市内で水道水を安心して使用できると思いますか。

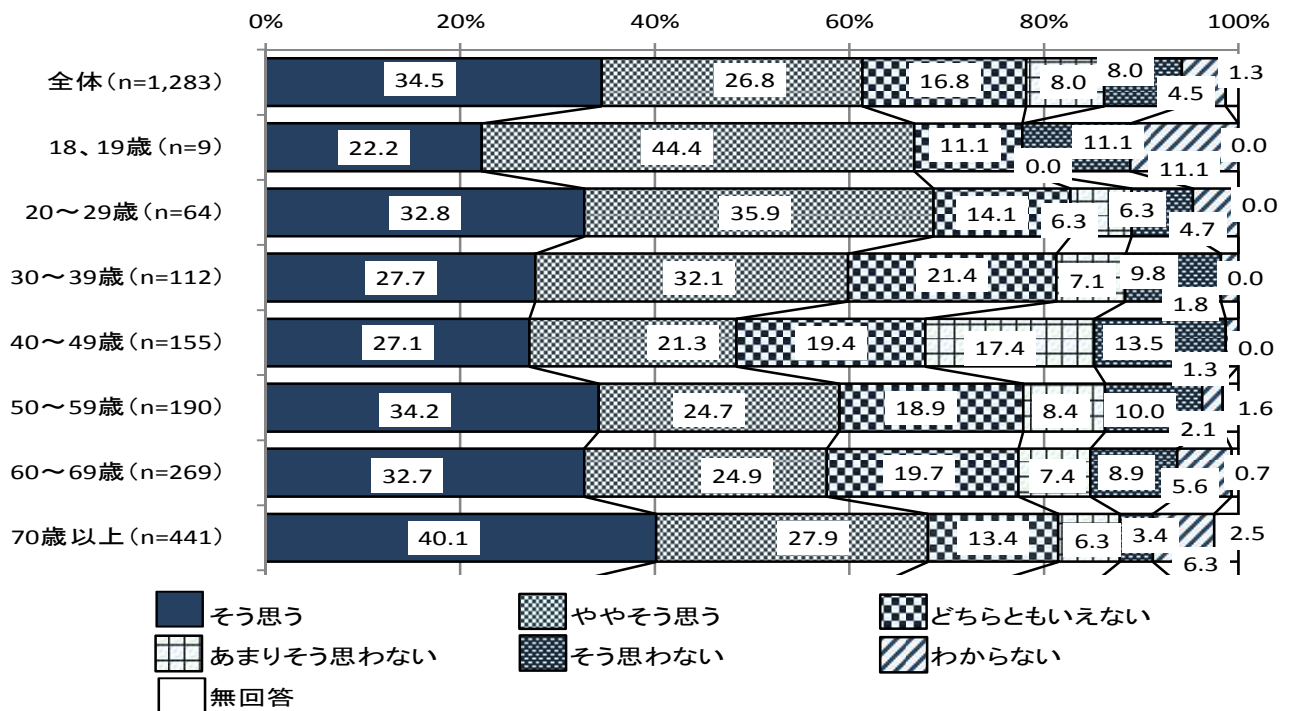
笠岡市内で水道水を安心して使用できるかについて、【思う（「思う」＋「やや思う」）】と回答した割合が61.3%と最も高くなっています。ついで、【思わない（「あまりそう思わない」＋「そう思わない」）】が16.0%となっています。

【全体 図】



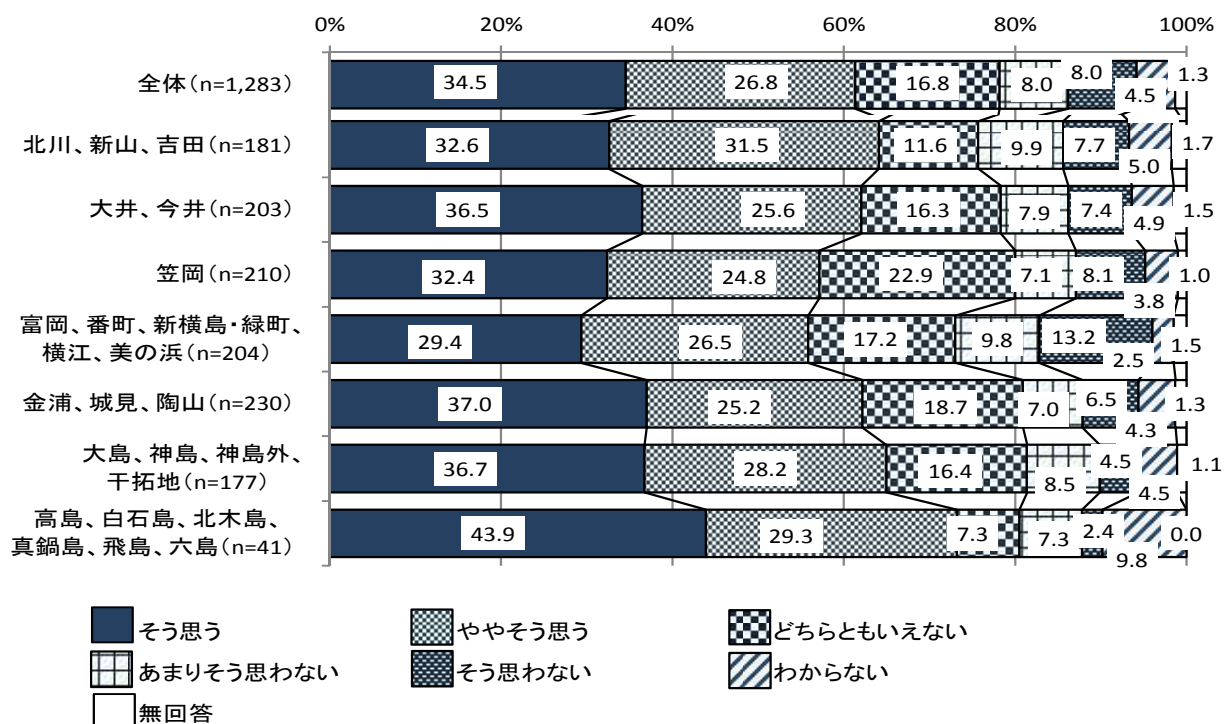
年齢別にみると、「40～49歳」から「70歳以上」にかけて年齢が上がるにつれて【思わない（「あまりそう思わない」＋「そう思わない」）】が低くなっています。

【年齢別 図】



居住地域別にみると、すべての地域において【思う（「思う」＋「やや思う」）】が高くなっています。

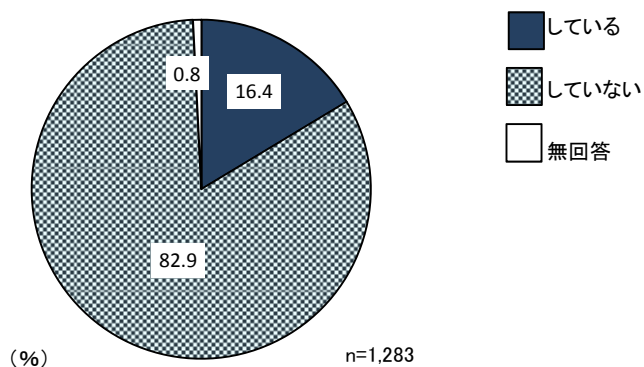
【居住地域別 図】



(10)あなたは、災害などの非常時の持出品(食飲料3日分)を準備していますか。

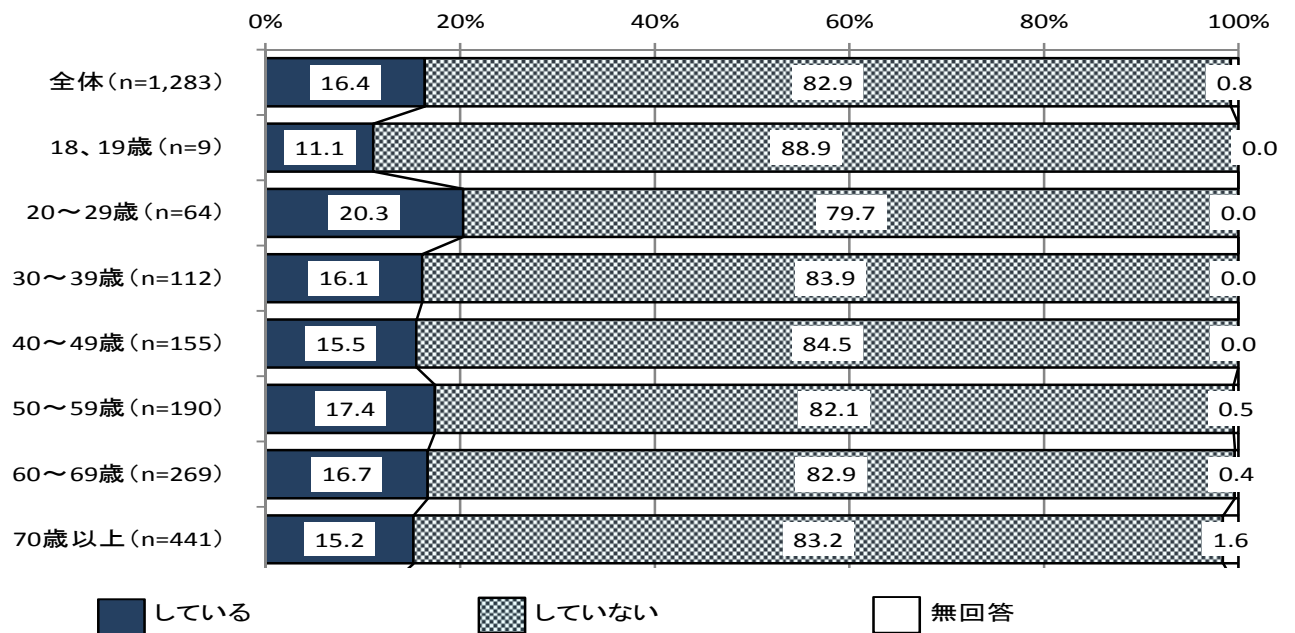
災害などの非常時の持出品の準備について、「している」が16.4%、「していない」が82.9%となっています。

【全体 図】



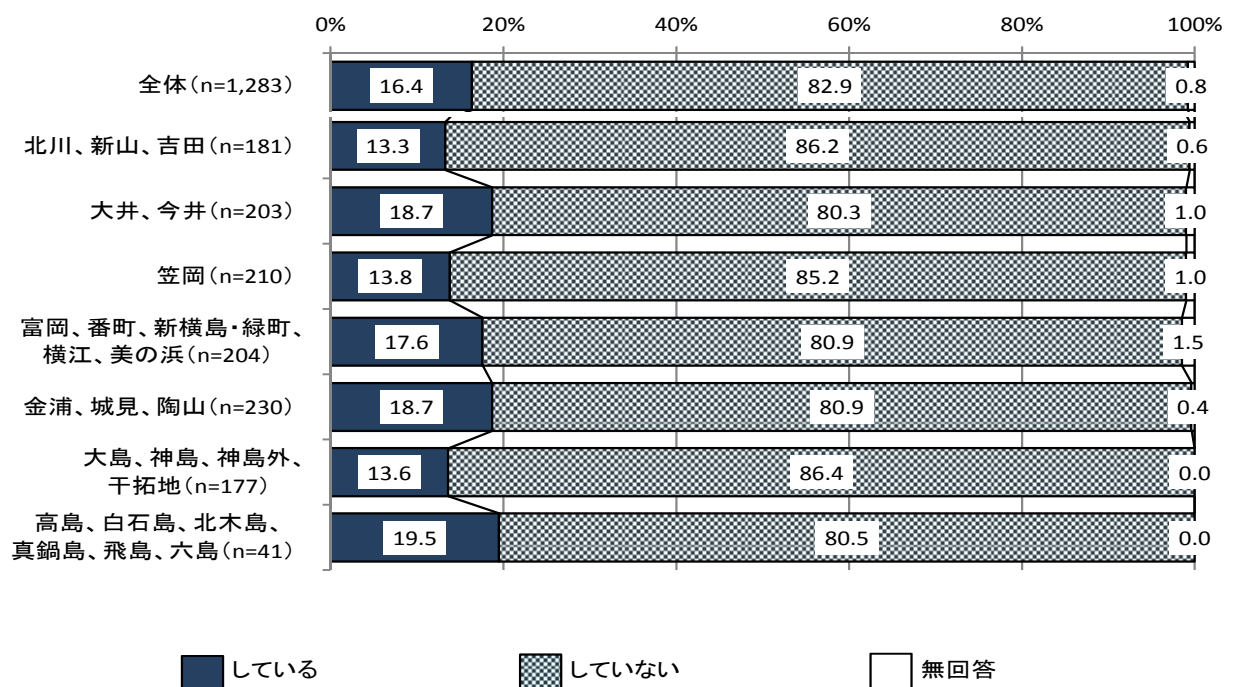
年齢別にみると、「20～29 歳」から「40～49 歳」にかけて年齢が上がるにつれて「していない」が高くなっています。

【年齢別 図】



居住地域別にみると、すべての地域において「していない」が高くなっています。

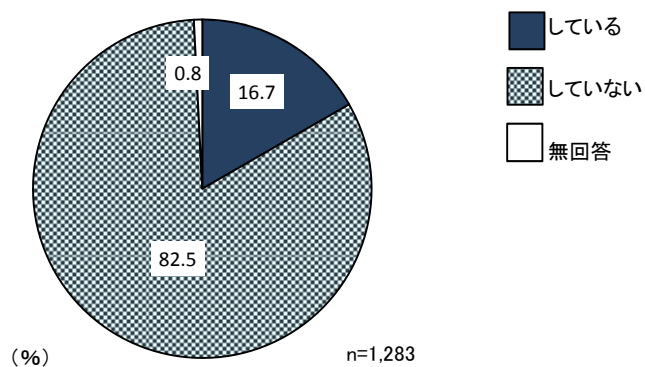
【居住地域別 図】



(11)あなたは、自宅で家具の転倒防止やガラスの飛散防止などの防災対策をしていますか。

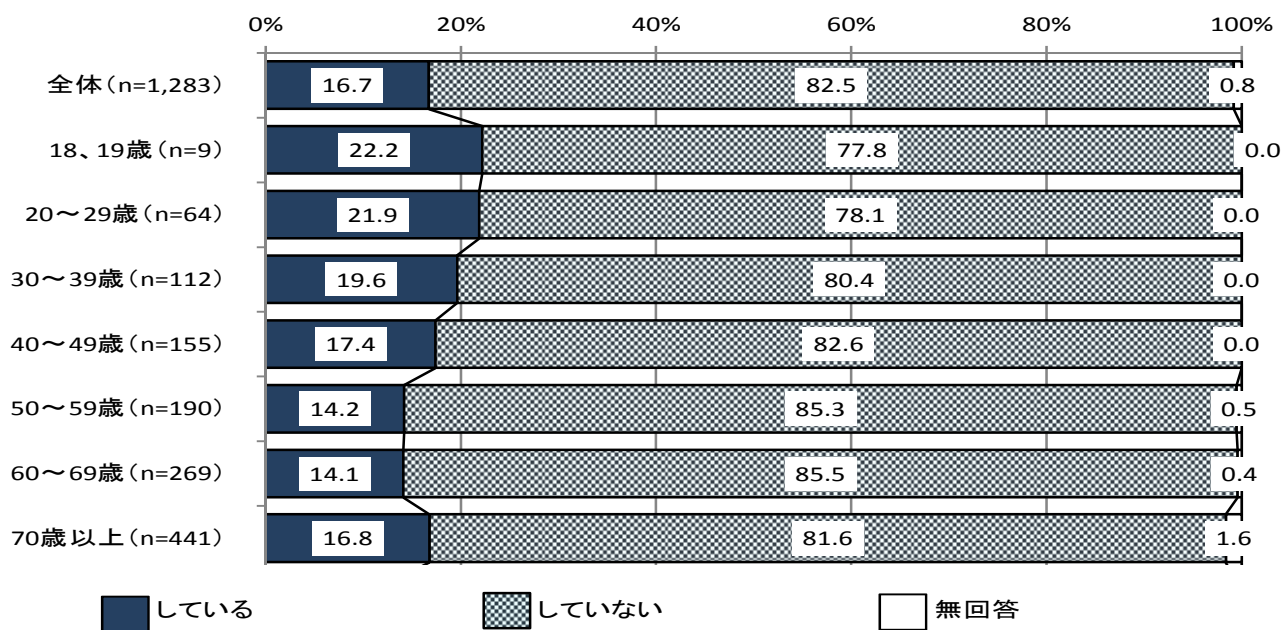
自宅での防災対策について、「している」が16.7%、「していない」が82.5%となっています。

【全体 図】



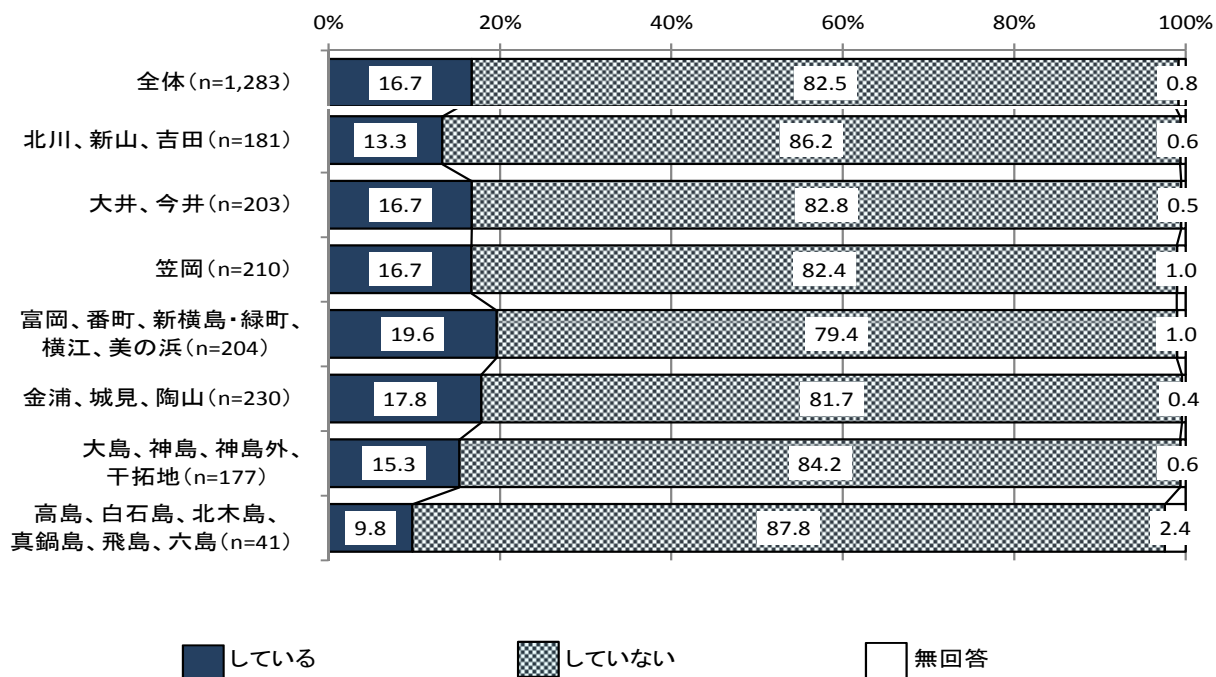
年齢別にみると、「18、19歳」から「60～69歳」にかけて年齢が上がるにつれて「している」が低くなっています。

【年齢別 図】



居住地域別にみると、すべての地域において「していない」が高くなっています。

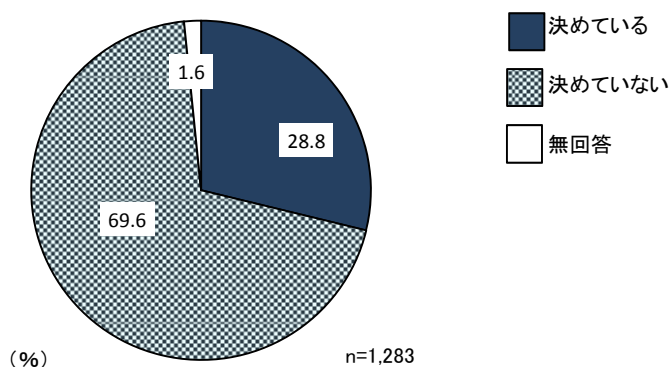
【居住地域別 図】



(12)あなたは、ご家族で防災について話し合い、非常時の集合場所や連絡網を決めていますか。

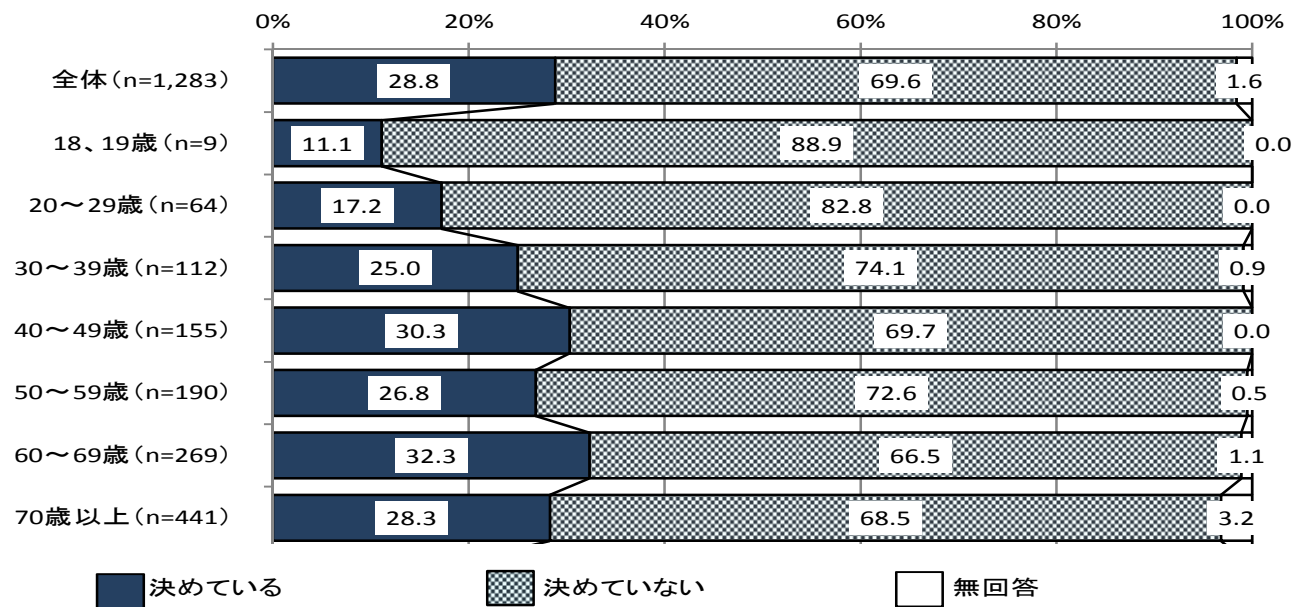
非常時の集合場所や連絡網について、「決めている」が28.8%、「決めていない」が69.6%となっています。

【全体 図】



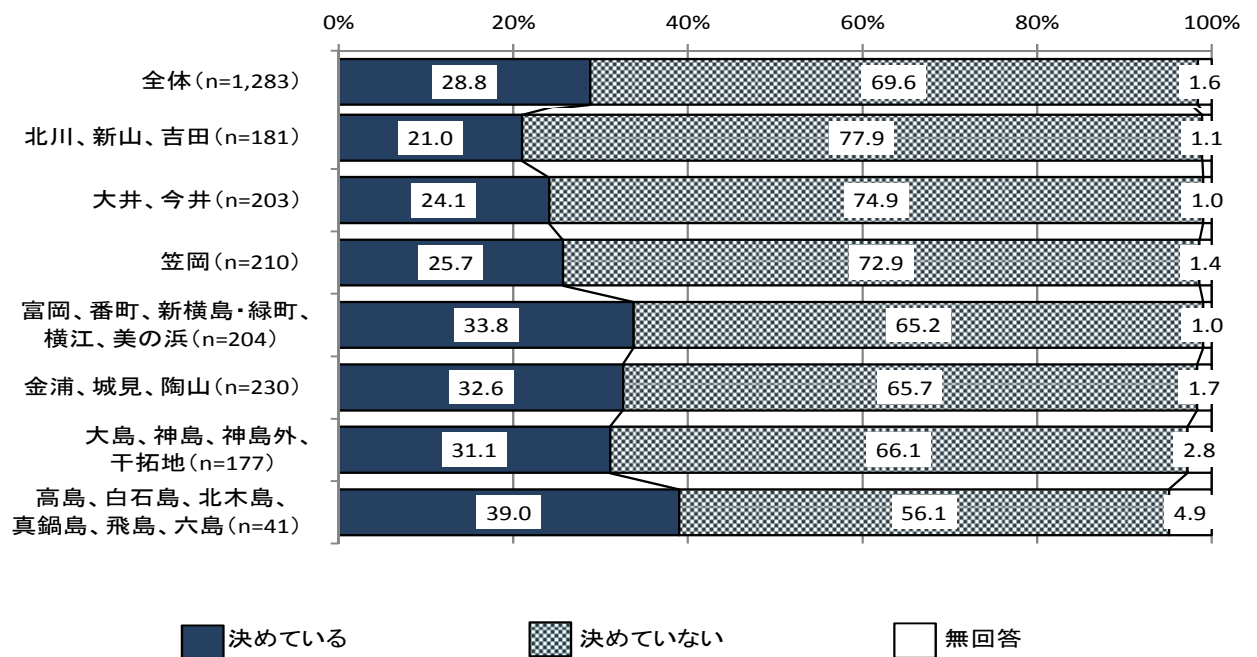
年齢別にみると、「18、19歳」から「40～49歳」にかけて年齢が上がるにつれて「決めている」が高くなっています。

【年齢別 図】



居住地域別にみると、すべての地域において「決めていない」が高くなっています。

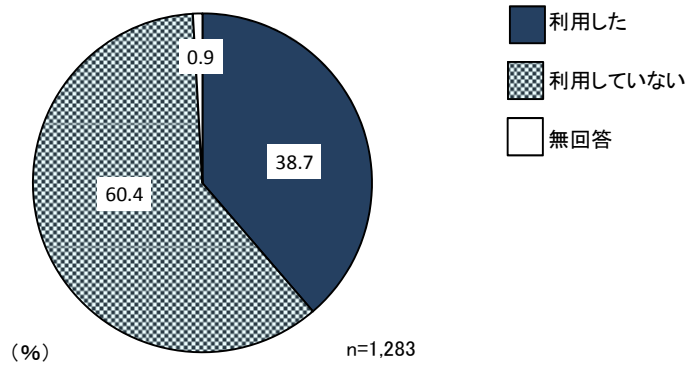
【居住地域別 図】



(13)あなたは、最近1年間で公民館を利用したことがありますか。

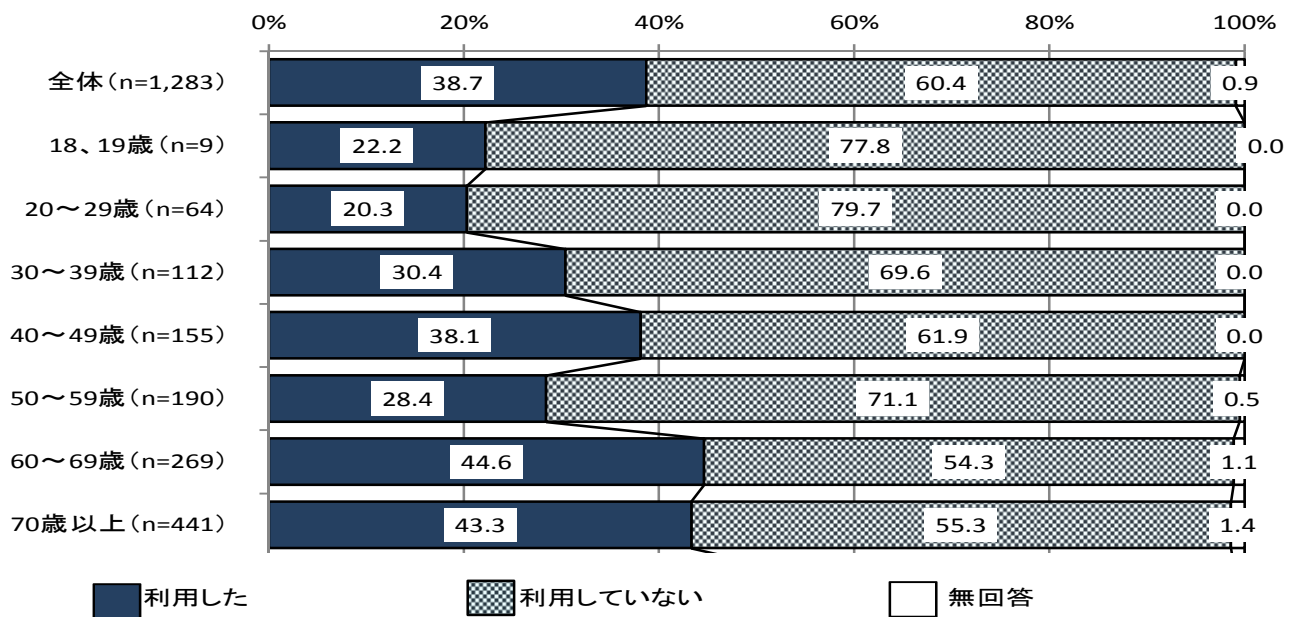
最近1年間で公民館を利用したことの有無について、「利用した」が38.7%、「利用していない」が60.4%となっています。

【全体 図】



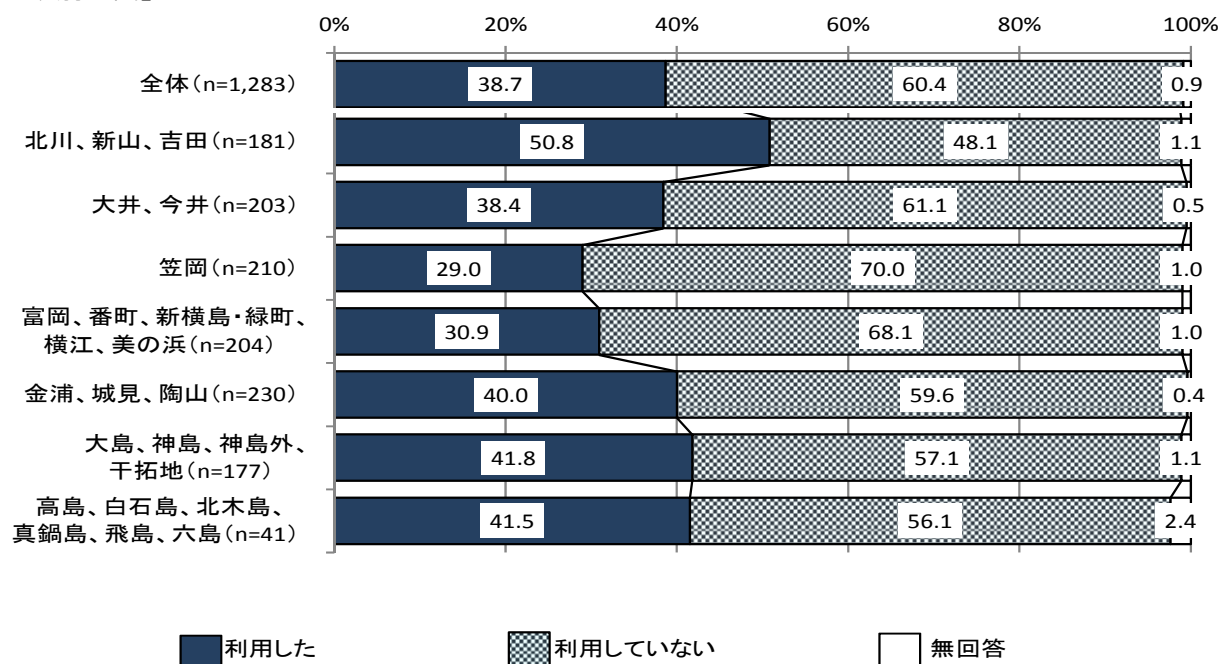
年齢別にみると、「20～29歳」から「40～49歳」にかけて年齢が上がるにつれて「利用した」が高くなっています。

【年齢別 図】



居住地域別にみると、「北川、新山、吉田」(50.8%)は他の地域に比べて「利用した」が高くなっています。それ以外の地域は「利用していない」が高くなっています。

【居住地域別 図】

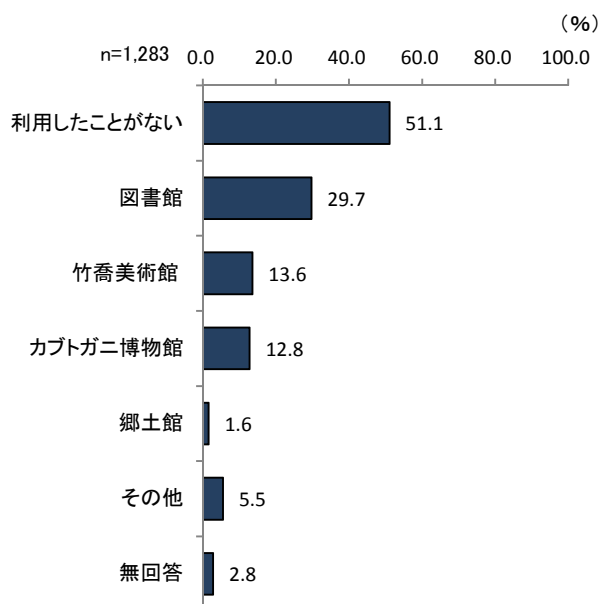


(14)あなたは、最近1年間で市内のどの文化施設を利用したことがありますか。

あてはまる番号全てに○をつけてください。

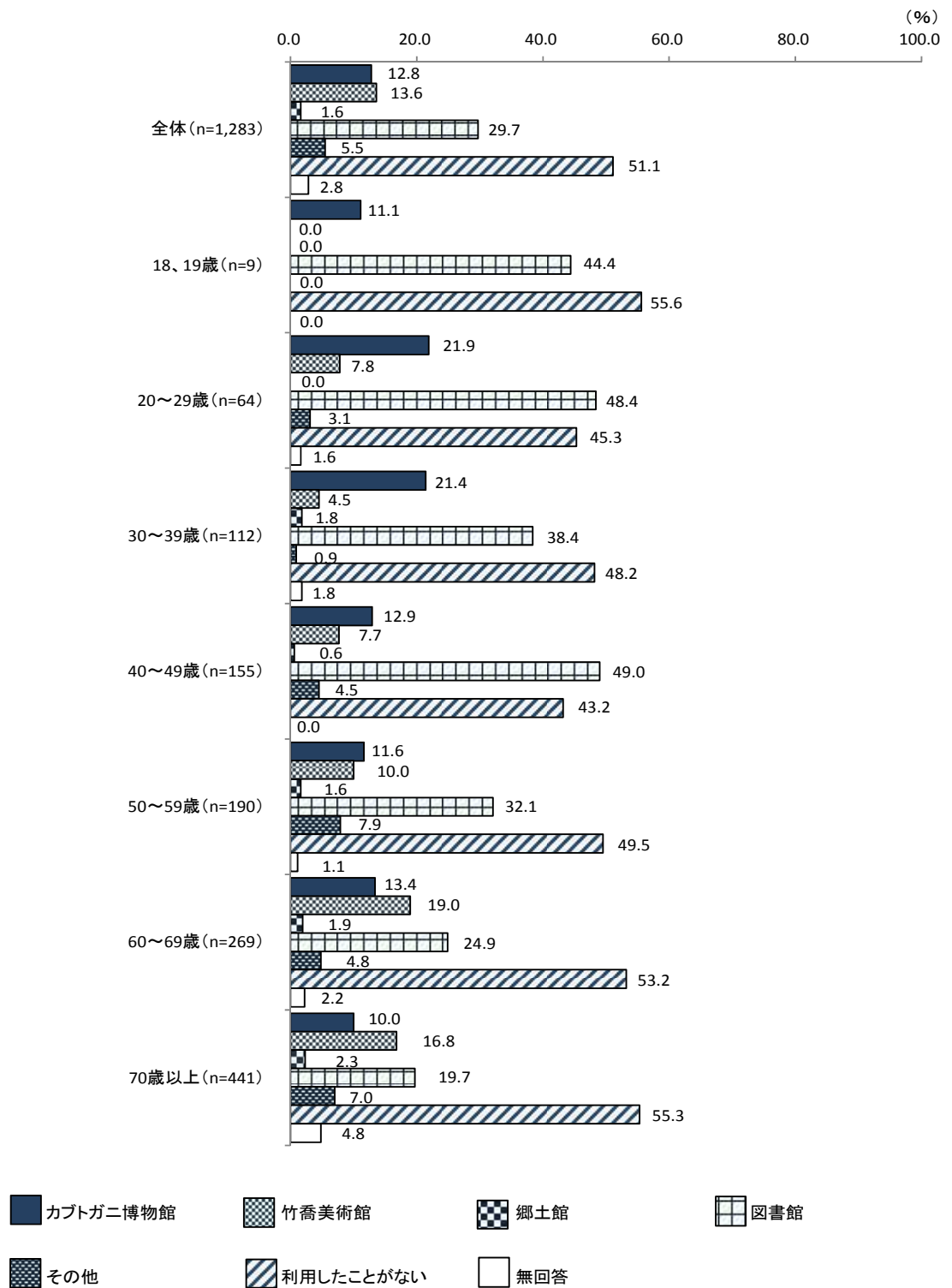
最近1年間で市内のどの文化施設を利用したことがあるかについて、「利用したことがない」と回答した割合が51.1%と最も高くなっています。ついで、「図書館」が29.7%、「竹喬美術館」が13.6%となっています。

【全体 図】



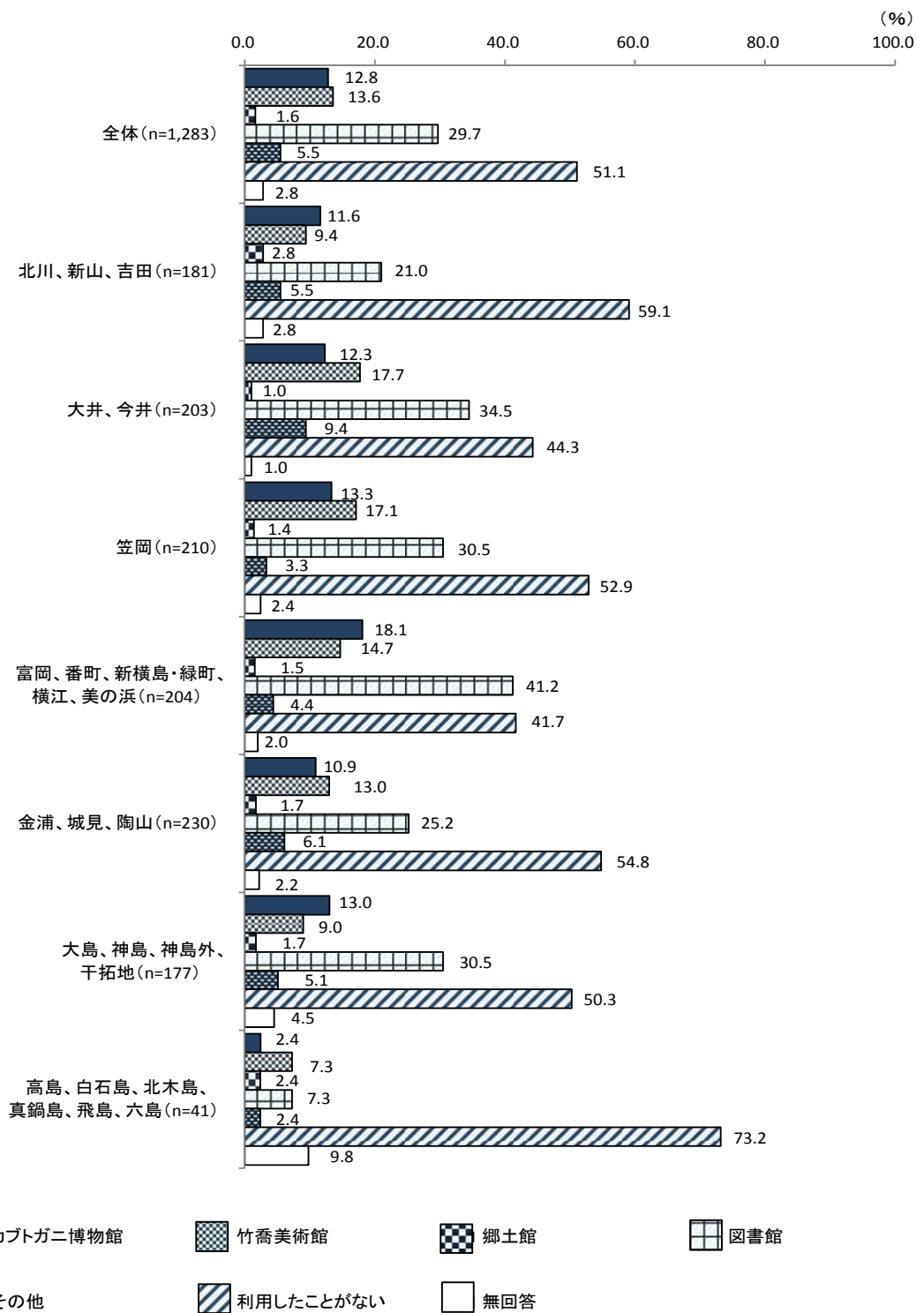
年齢別にみると、「20～29 歳」から「50～59 歳」にかけて年齢が上がるにつれて「カプトガニ博物館」が低くなっています。また、「30～39 歳」から「60～69 歳」にかけて年齢が上がるにつれて「竹喬美術館」が高くなっています。また、「40～49 歳」から「70 歳以上」にかけて年齢が上がるにつれて「図書館」が低くなっており、「利用したことがない」が高くなっています。

【年齢別 図】



居住地域別にみると、すべての地域において「利用したことがない」が高くなっています。

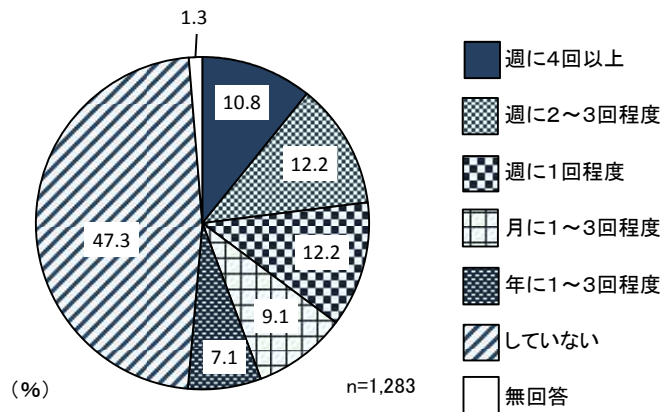
【居住地域別 図】



(15)あなたは、どのくらい運動やスポーツをしていますか。

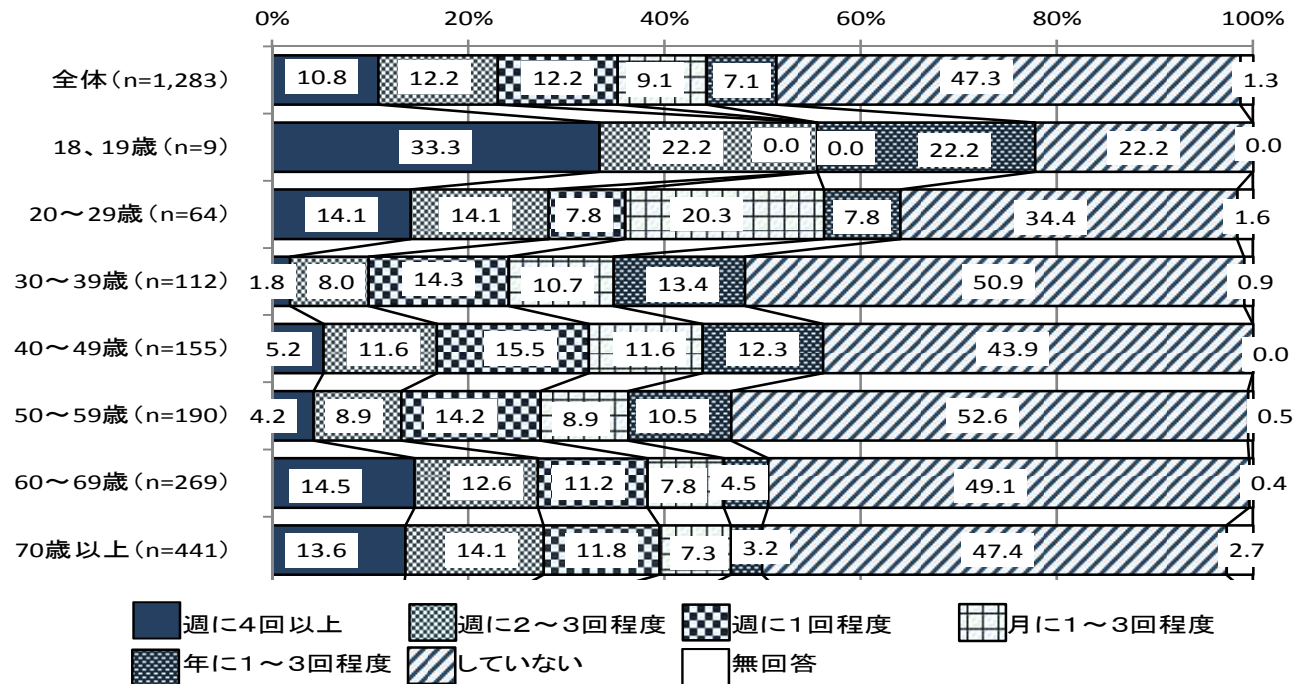
どのくらい運動やスポーツをしていますかについて、「していない」と回答した割合が47.3%と最も高くなっています。ついで、「週に2～3回程度」と「週に1回程度」がともに12.2%、「週に4回以上」が10.8%となっています。

【全体 図】



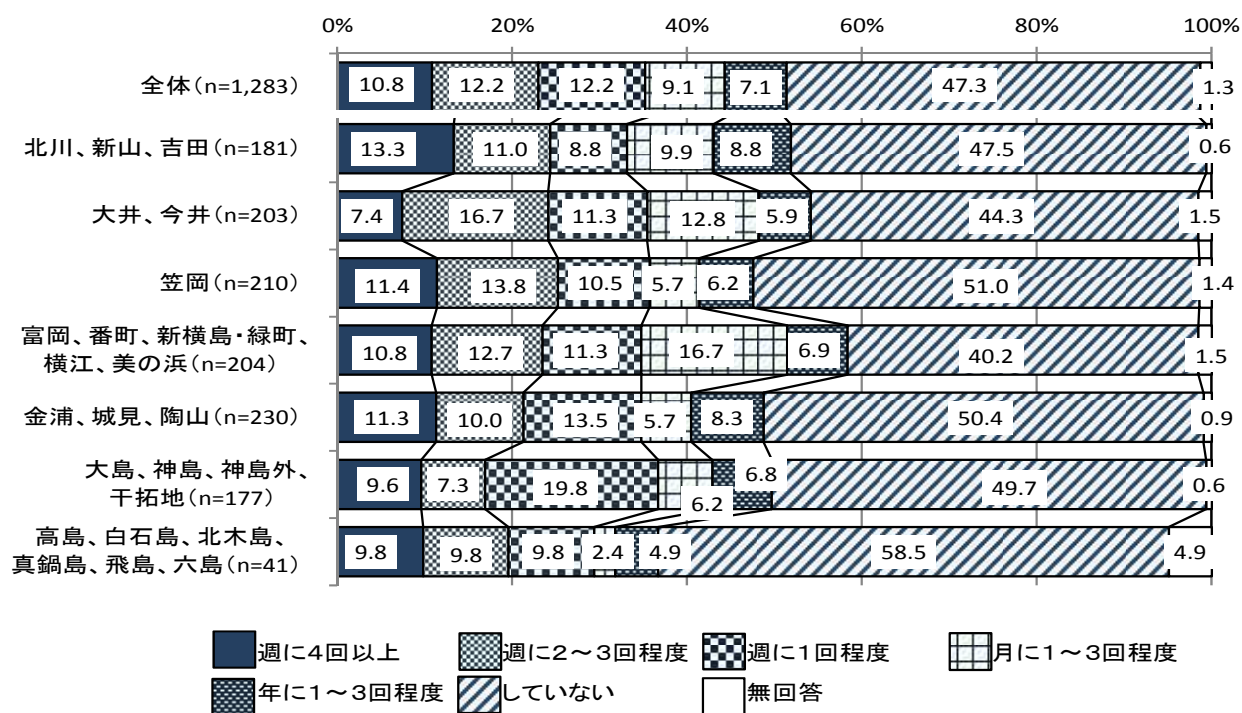
年齢別にみると、「30～39歳」から「70歳以上」にかけて年齢が上がるにつれて「年に1～3回程度」が低くなっています。

【年齢別 図】



居住地域別にみると、すべての地域において「していない」が高くなっています。

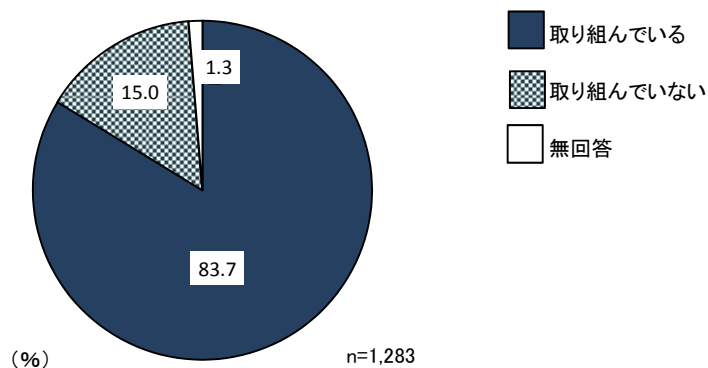
【居住地域別 図】



(16)あなたは、ごみの減量化・資源化に取り組んでいますか。

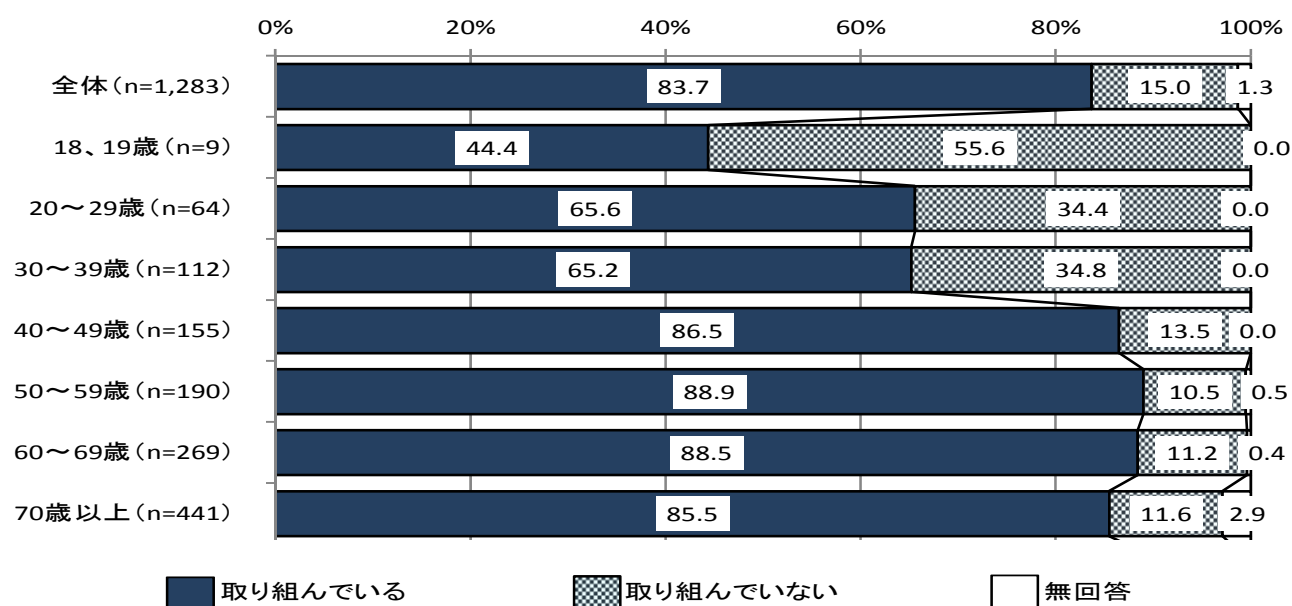
ごみの減量化・資源化に取り組んでいますかについて、「取り組んでいる」が83.7%、「取り組んでいない」が15.0%となっています。

【全体 図】



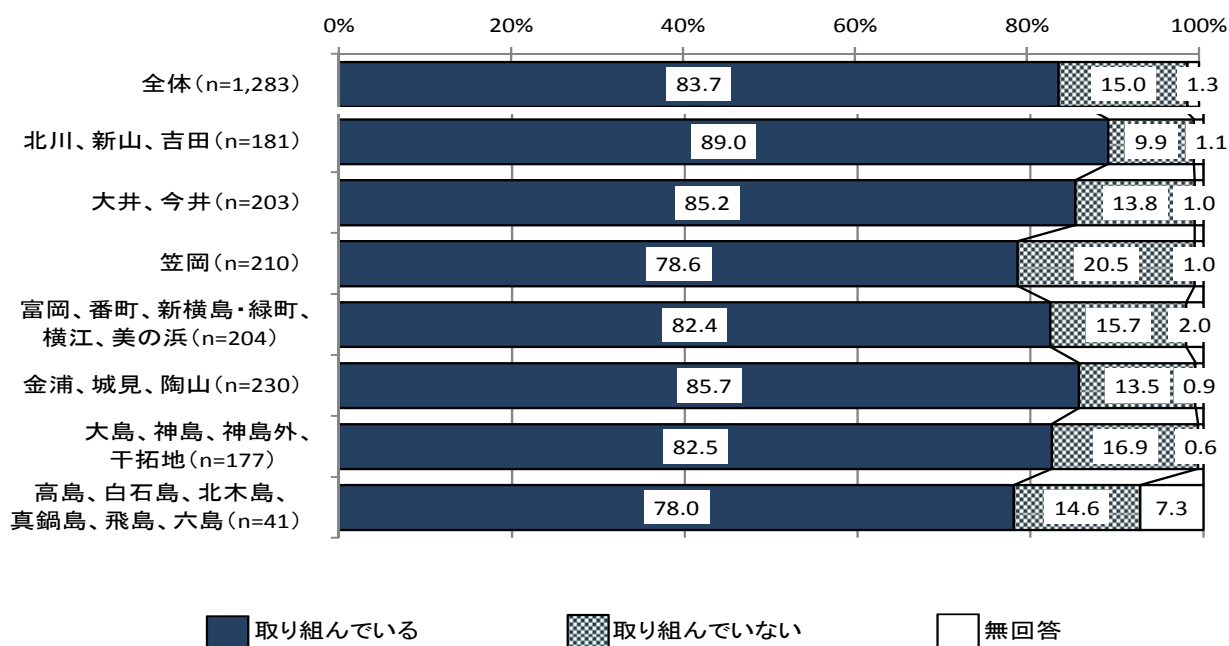
年齢別にみると、「30～39 歳」から「50～59 歳」にかけて年齢が上がるにつれて「取り組んでいる」が高くなっています。

【年齢別 図】



居住地域別にみると、すべての地域において「取り組んでいる」が高くなっています。

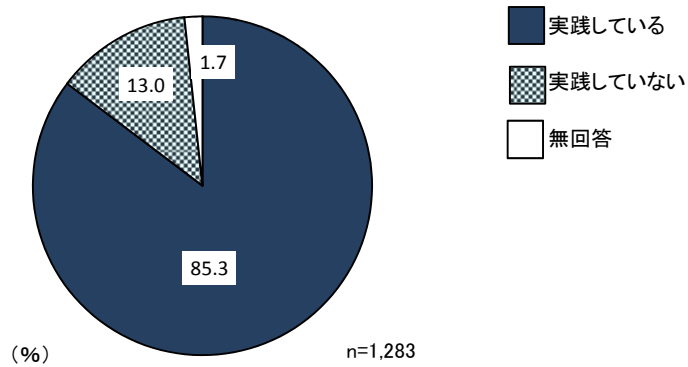
【居住地域別 図】



(17-1)あなたは、日常生活の中でエコ(節約・省エネルギー化)を実践していますか。

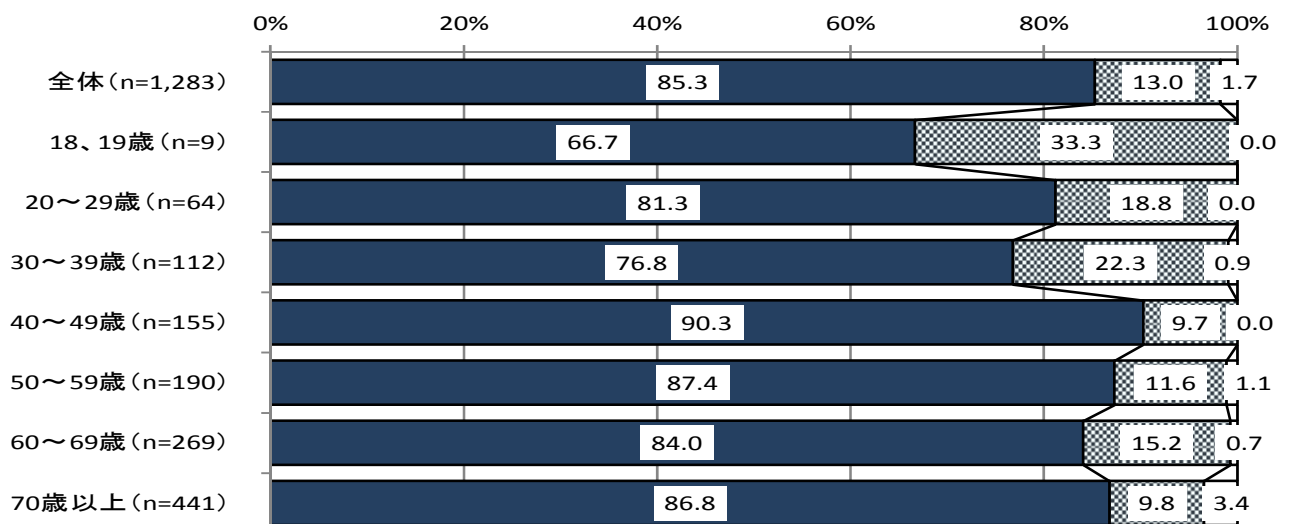
日常生活の中でエコ(節約・省エネルギー化)を実践していますかについて、「実践している」が 85.3%、「実践していない」が 13.0%となっています。

【全体 図】



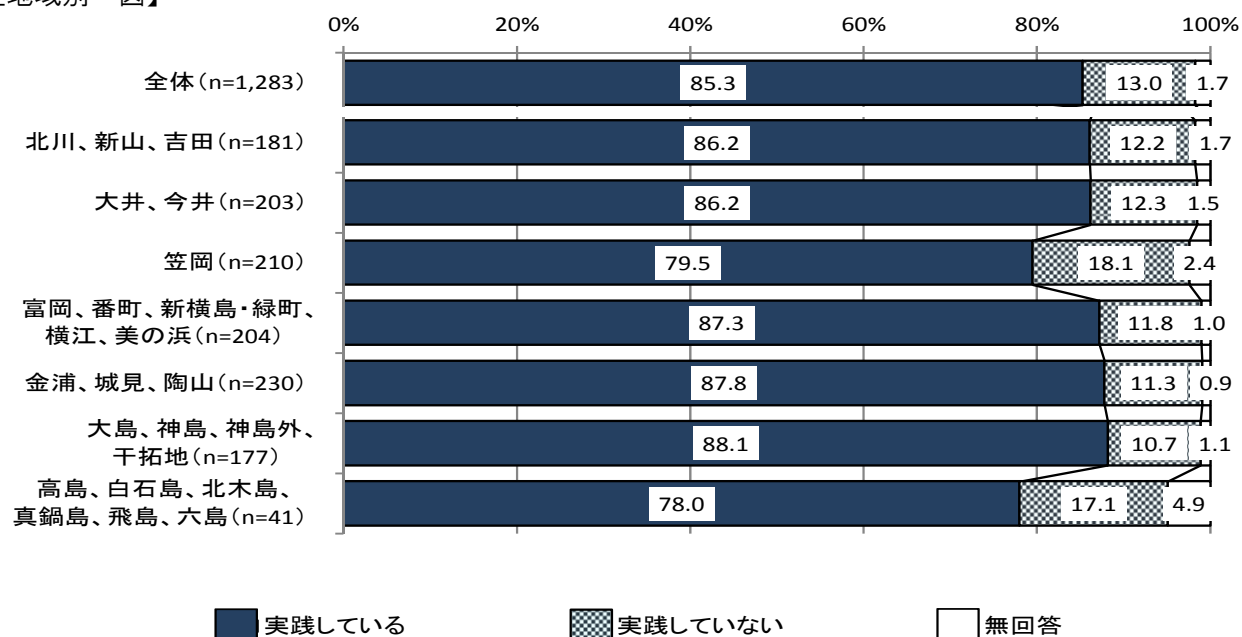
年齢別にみると、「40～49 歳」から「60～69 歳」にかけて年齢が上がるにつれて「実践している」が低くなっています。

【年齢別 図】



居住地域別にみると、すべての地域において「実践している」が高くなっています。

【居住地域別 図】

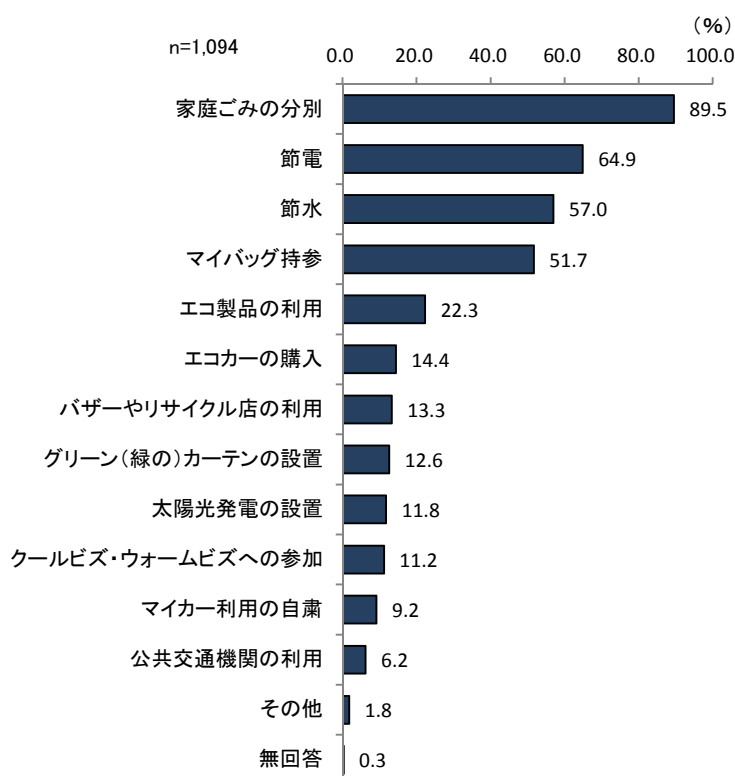


《(17-1) で「1. 実践している」を選んだ方に伺います。》

(17-2) どのようなことを実践していますか。あてはまる番号全てに○をつけてください。

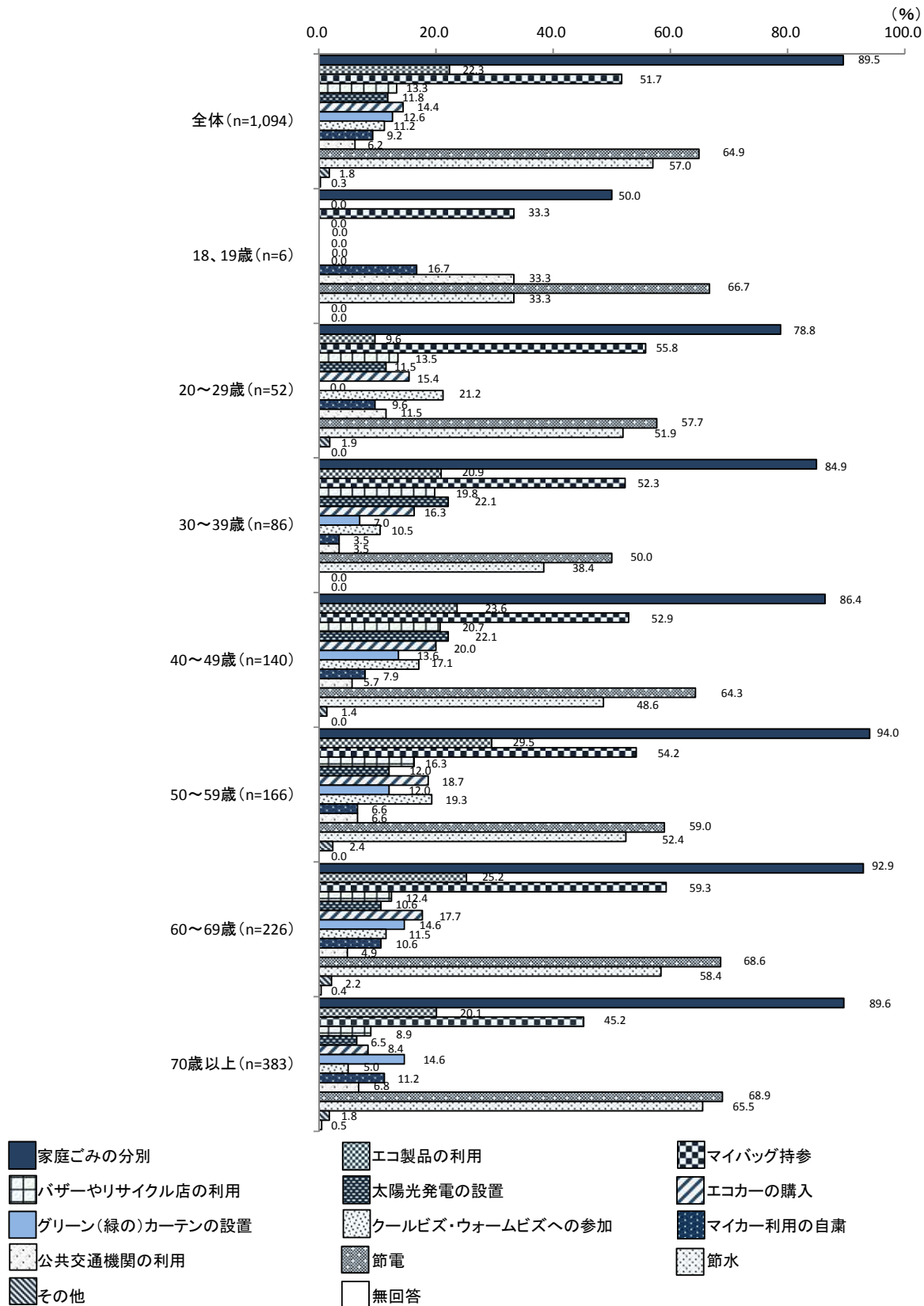
どのようなことを実践していますかについて、「家庭ごみの分別」と回答した割合が89.5%と最も高くなっています。ついで、「節電」が64.9%、「節水」が57.0%となっています。

【全体 図】



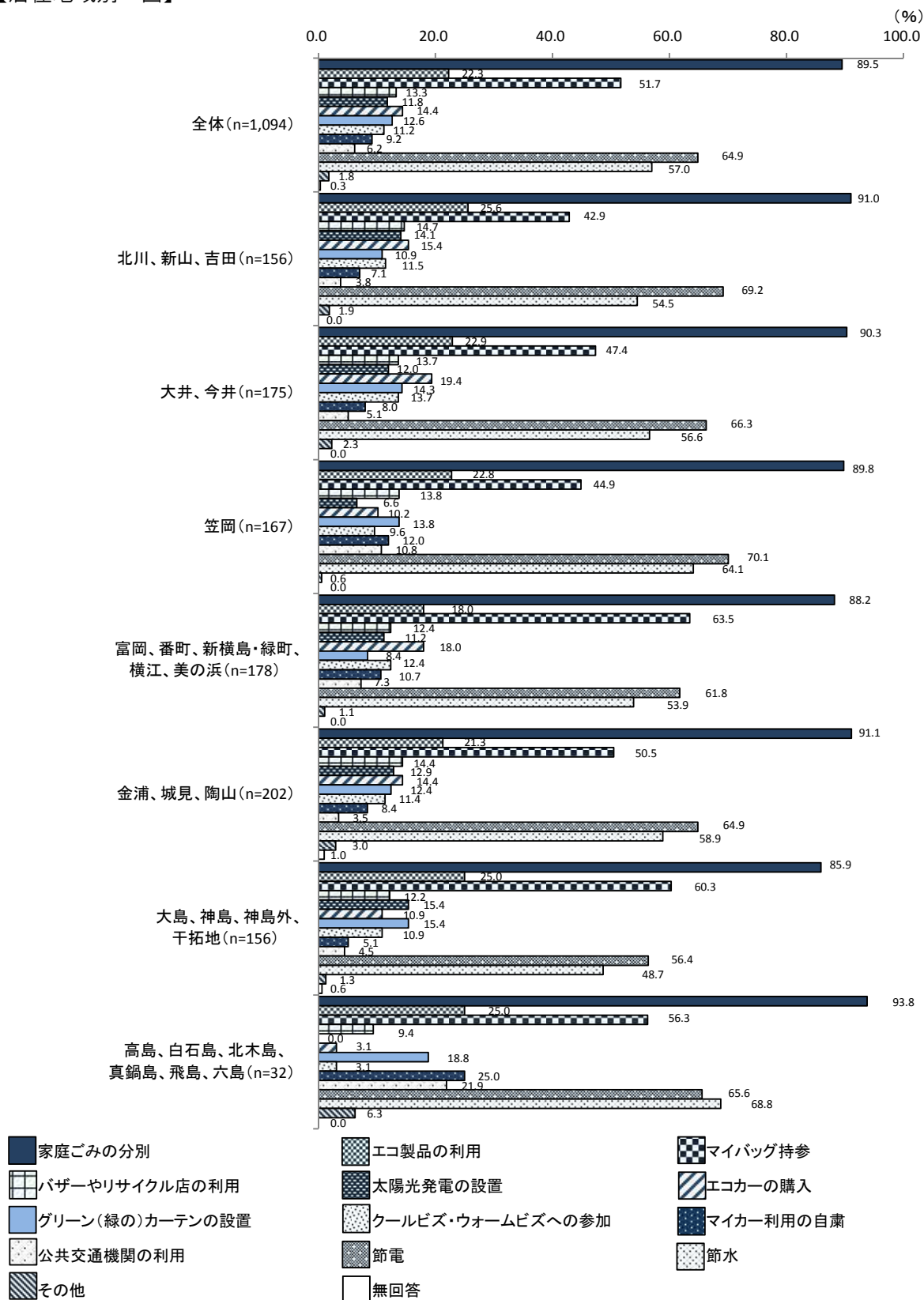
年齢別にみると、「18、19 歳」から「50～59 歳」にかけて年齢が上がるにつれて「家庭ごみの分別」が高くなっており、また「30～39 歳」から「70 歳以上」にかけて年齢が上がるにつれて「太陽光発電の設置」が低くなっています。

【年齢別 図】



居住地域別にみると、すべての地域において「家庭ごみの分別」が高くなっています。

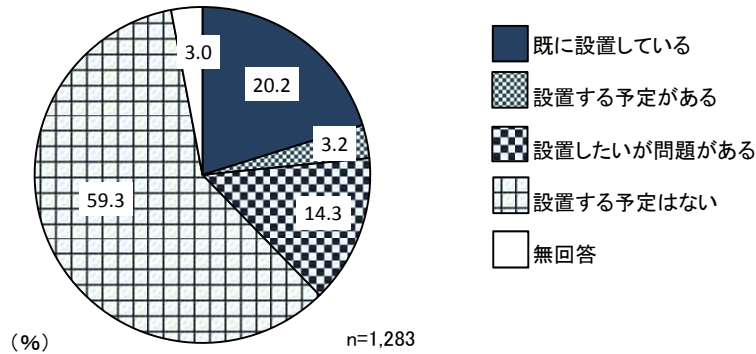
【居住地域別 図】



(18)あなたは、住宅に新エネルギー・省エネルギー設備を設置する予定がありますか。

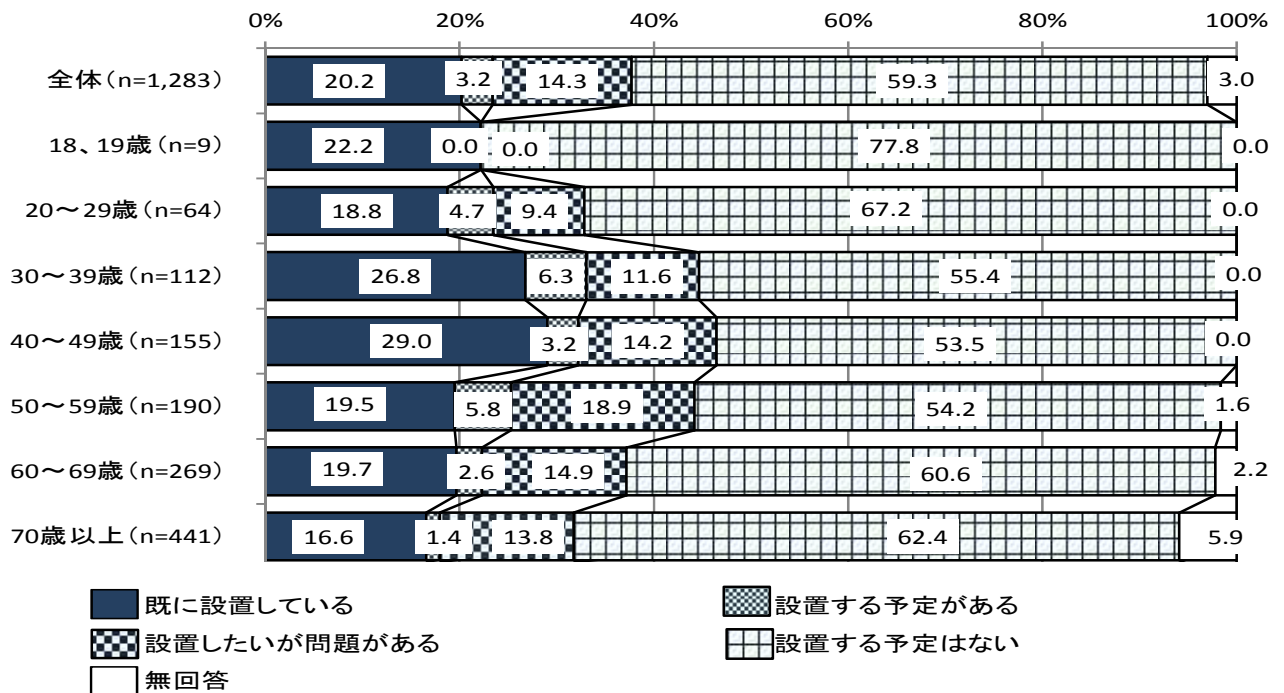
住宅に新エネルギー・省エネルギー設備を設置する予定がありますかについて、「設置する予定はない」と回答した割合が59.3%と最も高くなっています。ついで、「既に設置している」が20.2%、「設置したいが問題がある」が14.3%となっています。

【全体 図】



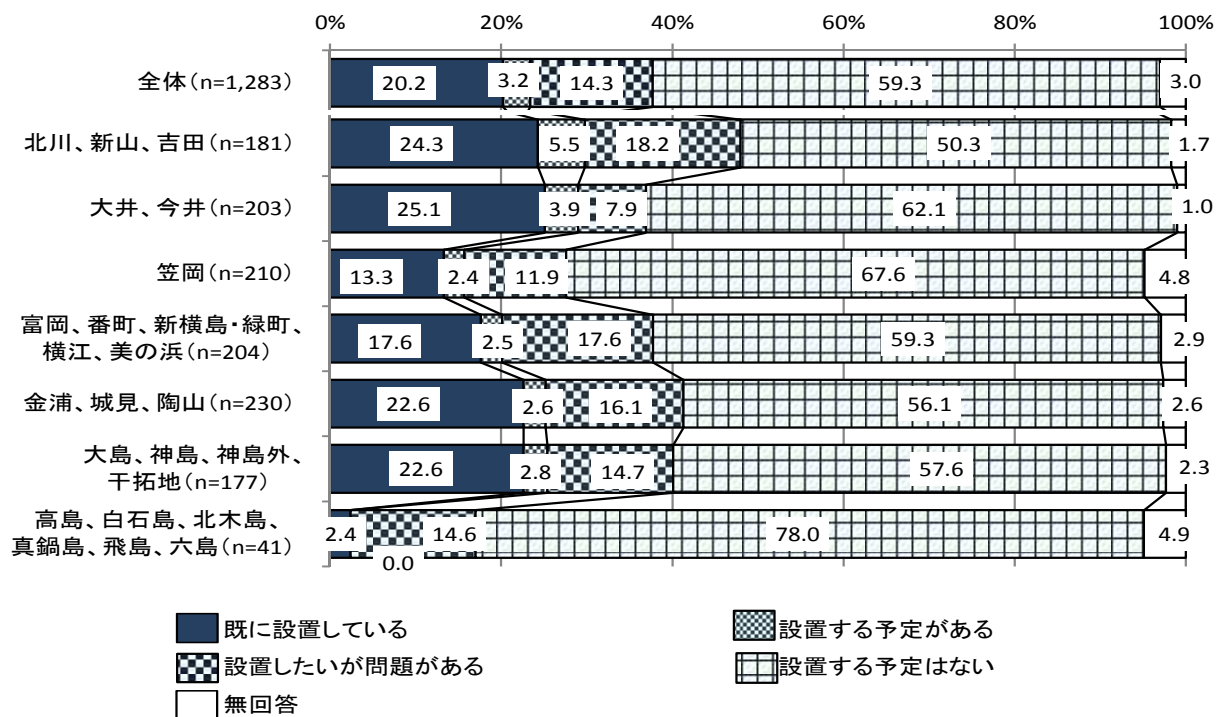
年齢別にみると、「20～29歳」から「50～59歳」にかけて年齢が上がるにつれて「設置したいが問題がある」が高くなっており、また「40～49歳」から「70歳以上」にかけて年齢が上がるにつれて「設置する予定はない」が高くなっています。

【年齢別 図】



居住地域別にみると、すべての地域において「設置する予定はない」が高くなっています。

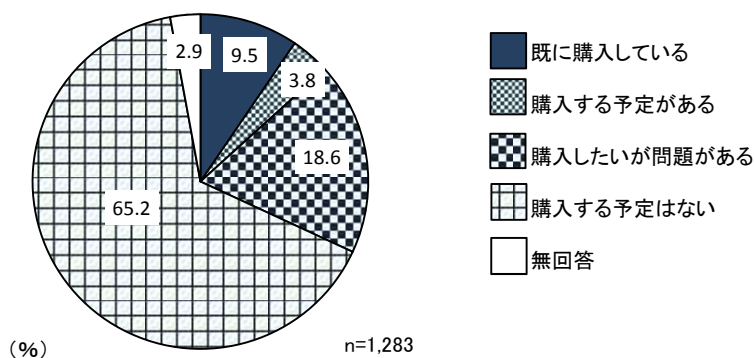
【居住地域別 図】



(19)あなたは、ハイブリッド車や電気自動車等のクリーンエネルギー自動車の購入を検討していますか。

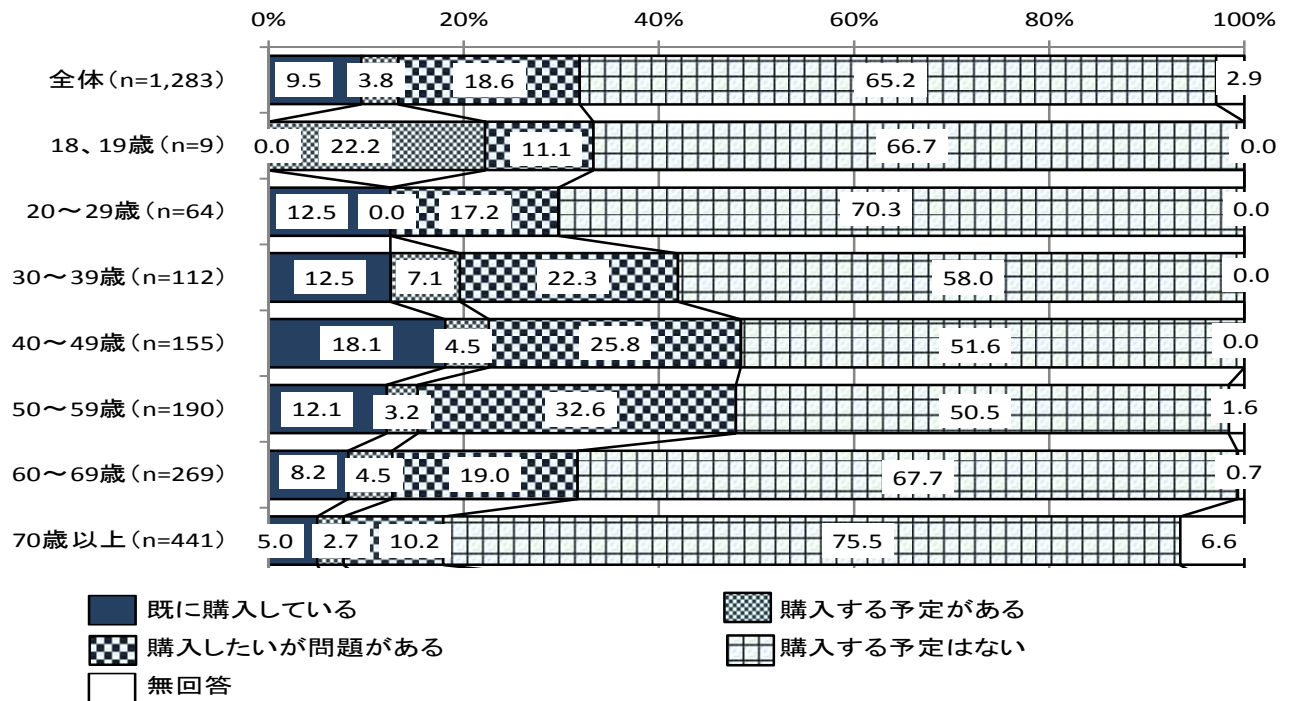
ハイブリッド車や電気自動車等のクリーンエネルギー自動車の購入を検討していますかについて、「購入する予定はない」と回答した割合が65.2%と最も高くなっています。ついで、「購入したいが問題がある」が18.6%、「既に購入している」が9.5%となっています。

【全体 図】



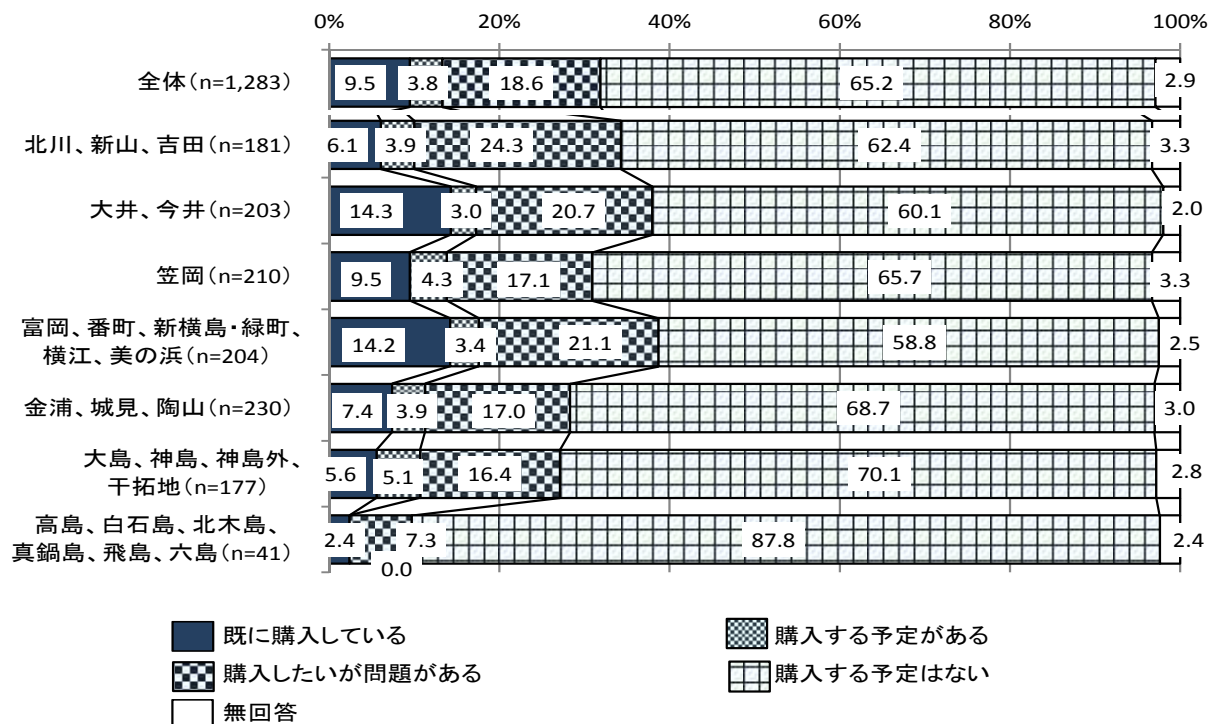
年齢別にみると、「20～29歳」から「50～59歳」にかけて年齢が上がるにつれて「購入したいが問題がある」が高くなっており、「購入する予定はない」が低くなっています。

【年齢別 図】



居住地域別にみると、すべての地域において「購入する予定はない」が高くなっています。

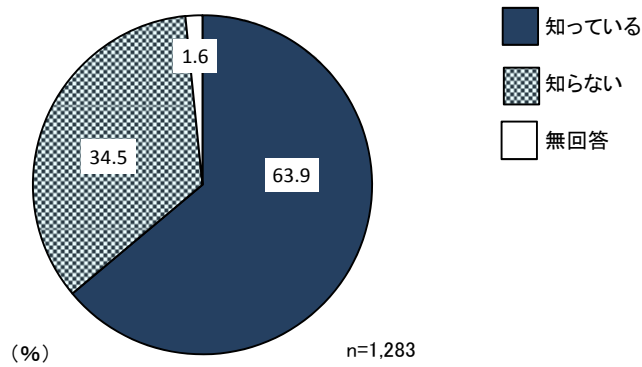
【居住地域別 図】



(20)あなたは、笠岡市が非核平和都市宣言をしていることを知っていますか。

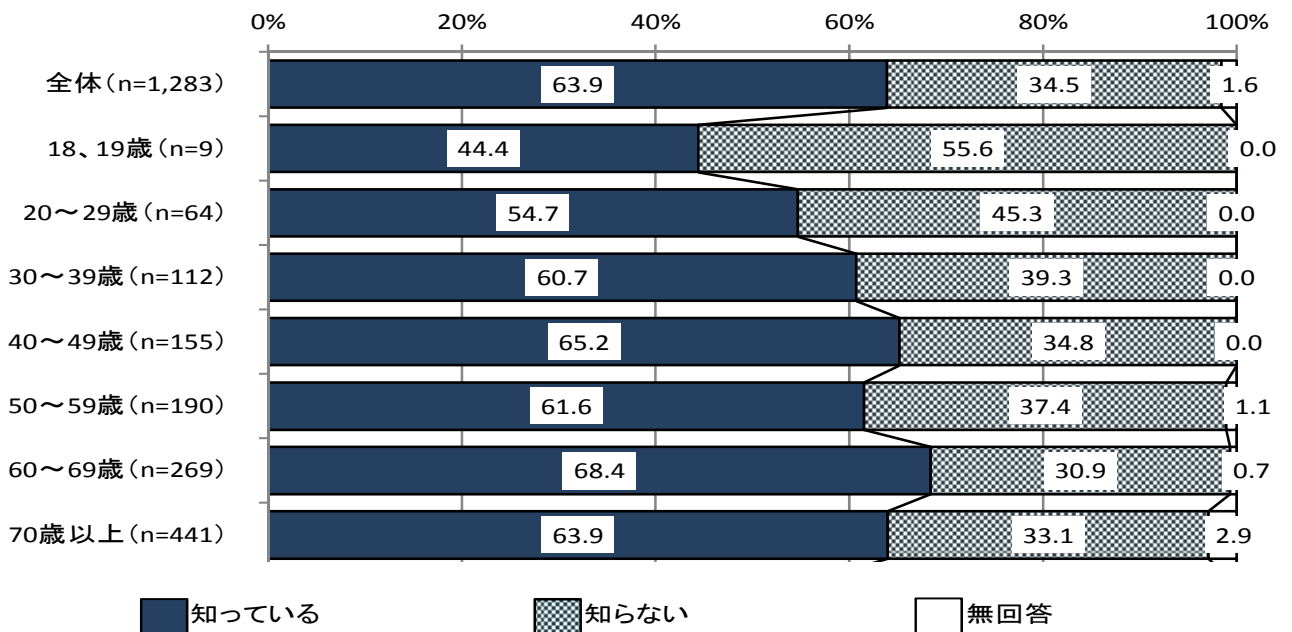
笠岡市が非核平和都市宣言をしていることを知っていますかについて、「知っている」が63.9%、「知らない」が34.5%となっています。

【全体 図】



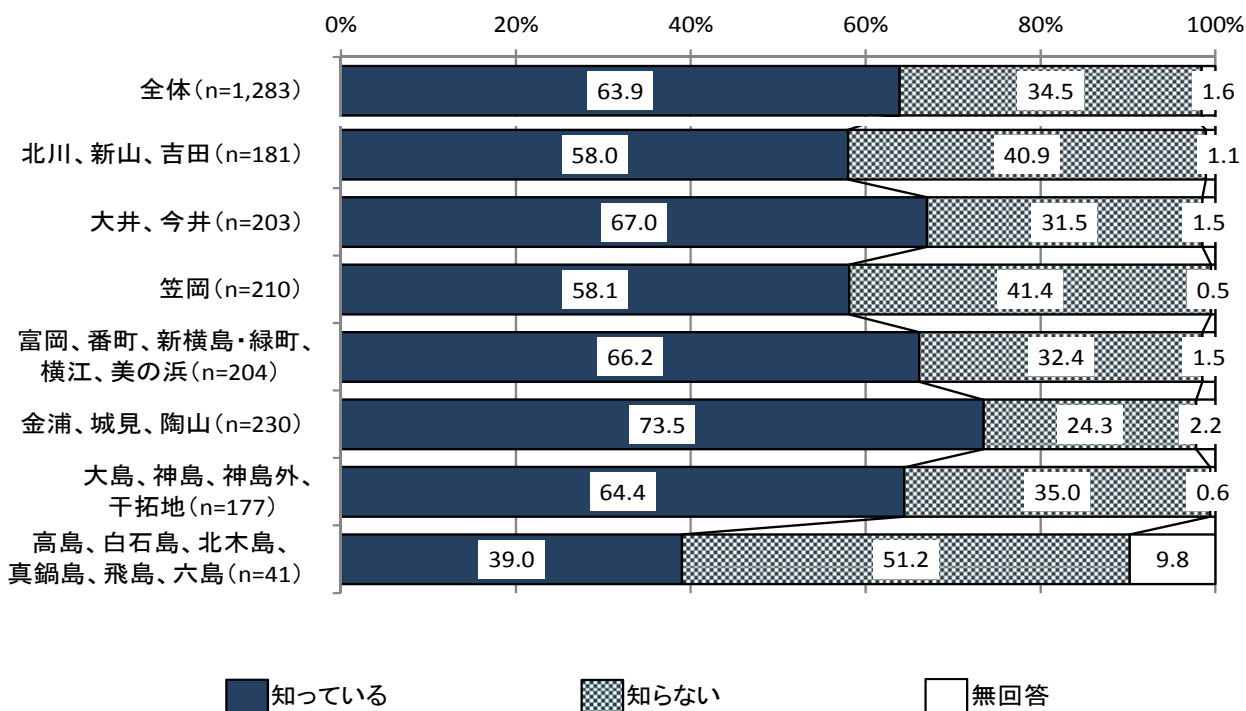
年齢別にみると、「18、19歳」から「40～49歳」にかけて年齢が上がるにつれて「知っている」が高くなっています。

【年齢別 図】



居住地域別にみると、「高島、白石島、北木島、真鍋島、飛島、六島」(39.0%)は他の地域に比べて「知らない」が高くなっています。それ以外の地域は「知っている」が高くなっています。

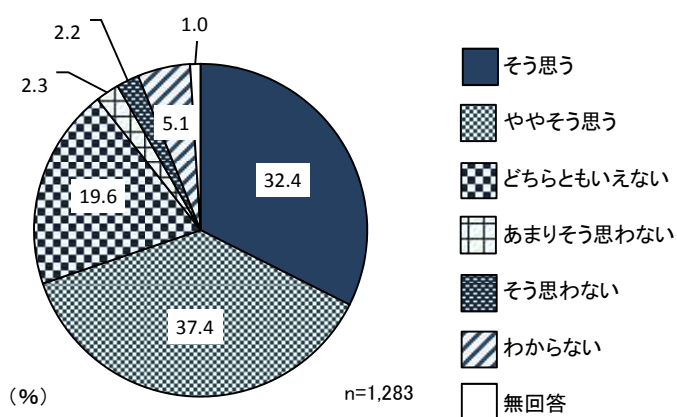
【居住地域別 図】



(21)あなたは、互いの人権を尊重しながら生活していると思いますか。

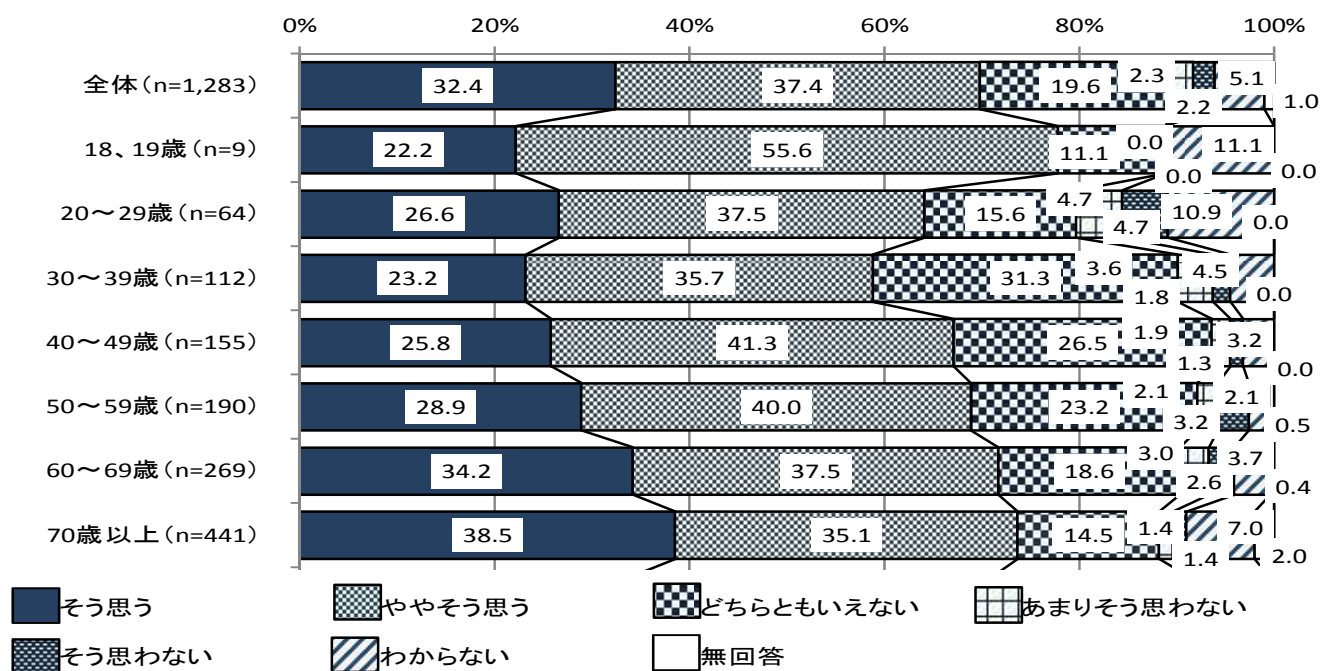
互いの人権を尊重しながら生活していると思いますかについて、【思う(「そう思う」+「ややそう思う」)】と回答した割合が69.8%と最も高くなっています。ついで、【思わない(「あまりそう思わない」+「そう思わない」)】が4.5%となっています。

【全体 図】



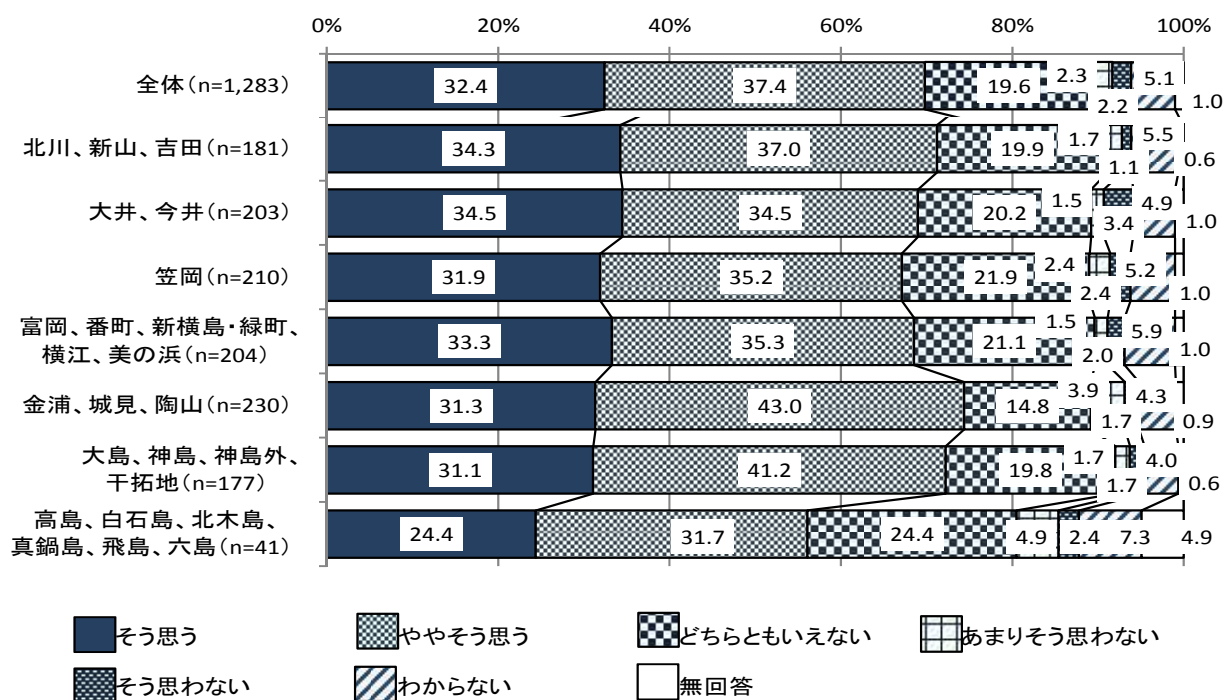
年齢別にみると、「30～39 歳」から「70 歳以上」にかけて年齢が上がるにつれて【思う（「そう思う」＋「ややそう思う」）】が高くなっています。

【年齢別 図】



居住地域別にみると、すべての地域において【思う（「そう思う」＋「ややそう思う」）】が高くなっています。

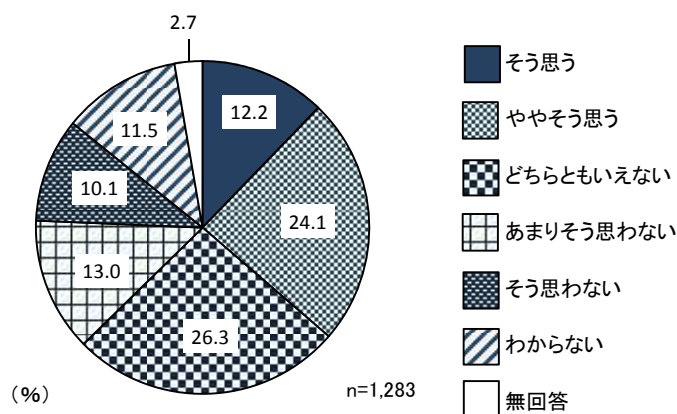
【居住地域別 図】



(22)あなたは、お住まいの地域や職場で男女が対等に活躍できていると思いますか。

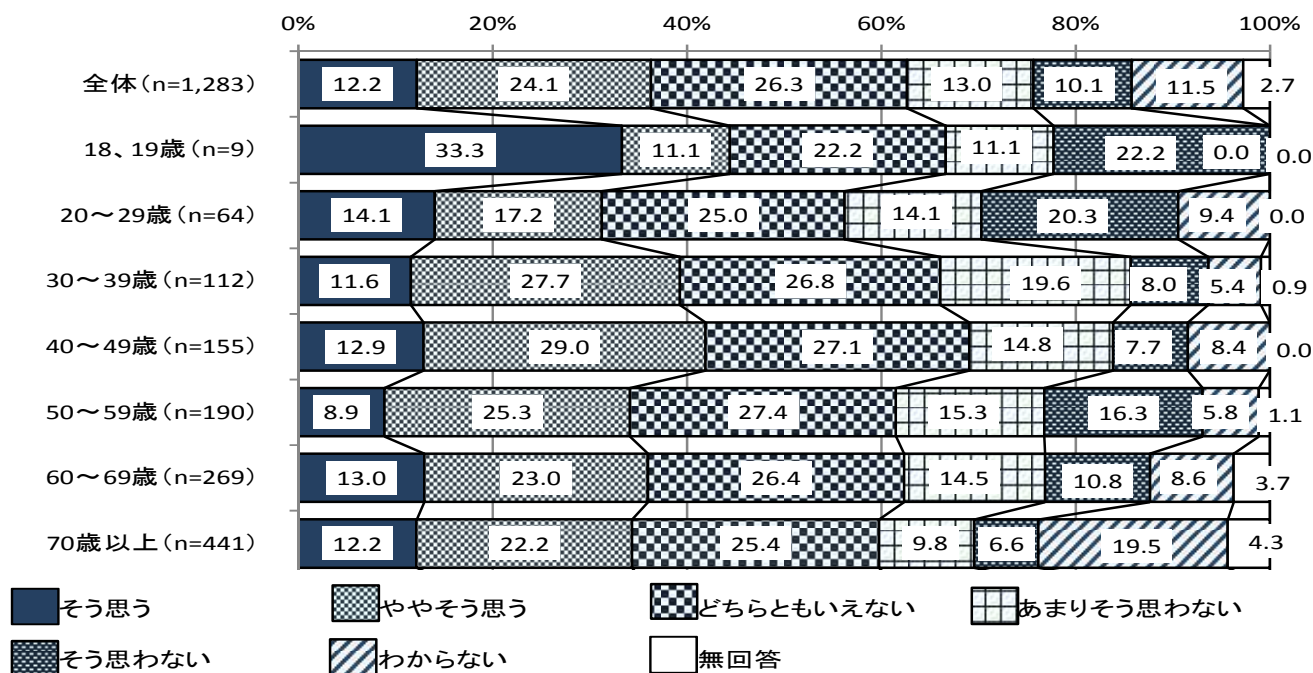
お住まいの地域や職場で男女が対等に活躍できていると思いますかについて、【思う（「そう思う」＋「ややそう思う」）】と回答した割合が36.3%と最も高くなっています。ついで、【思わない（「あまりそう思わない」＋「そう思わない」）】が23.1%となっています。

【全体 図】



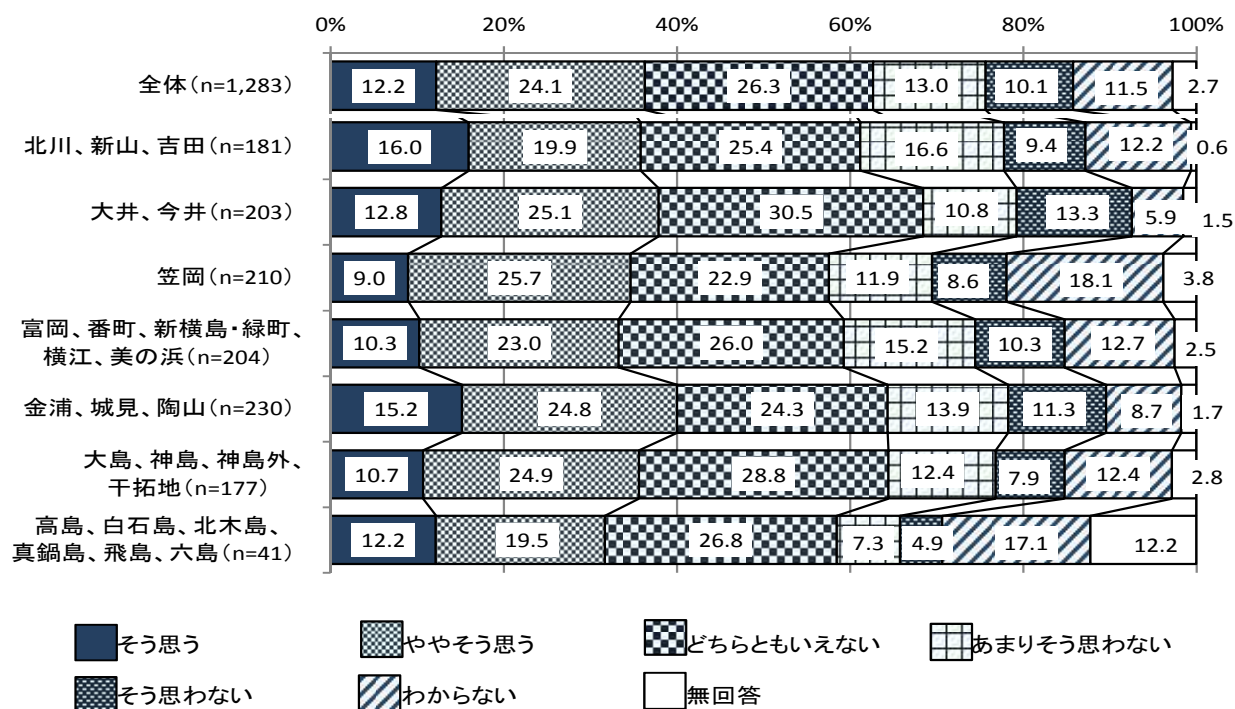
年齢別にみると、「20～29歳」から「40～49歳」にかけて年齢が上がるにつれて【思う（「そう思う」＋「ややそう思う」）】が高くなっています。

【年齢別 図】



居住地域別にみると、すべての地域において【思う（「思う」＋「やや思う」）】が高くなっています。

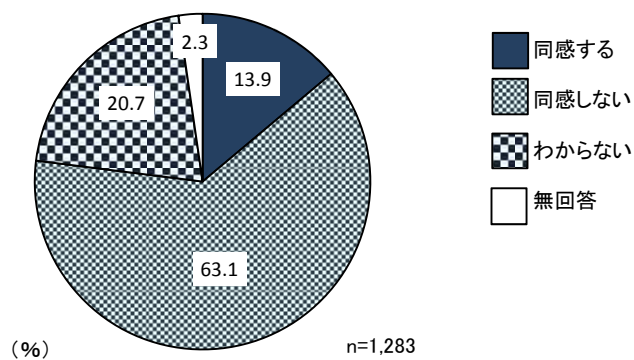
【居住地域別 図】



(23)あなたは、「男は仕事、女は家庭」という考え方をどう思いますか。

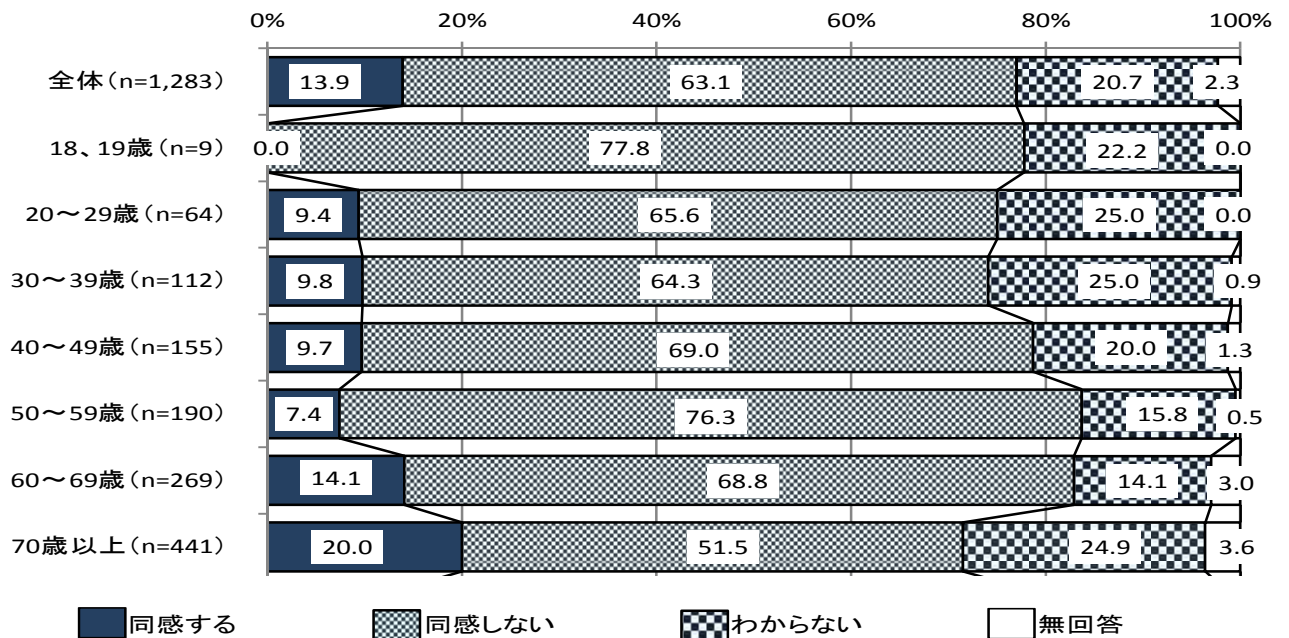
「男は仕事、女は家庭」という考え方をどう思いますかについて、「同感する」が13.9%、「同感しない」が63.1%となっています。

【全体 図】



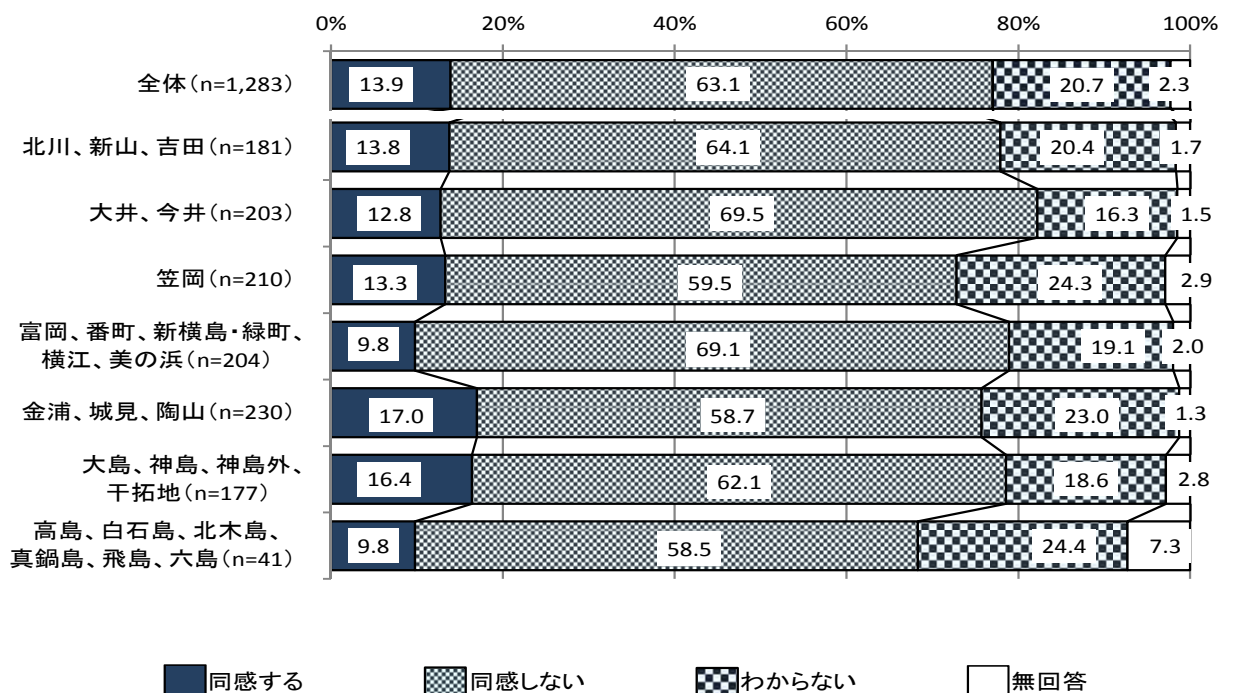
年齢別にみると、「50～59 歳」から「70 歳以上」にかけて年齢が上がるにつれて「同感する」が高くなっており、また「18、19 歳」から「30～39 歳」にかけて年齢が上がるにつれて「同感しない」が低くなっています。

【年齢別 図】



居住地域別にみると、すべての地域において「同感しない」が高くなっています。

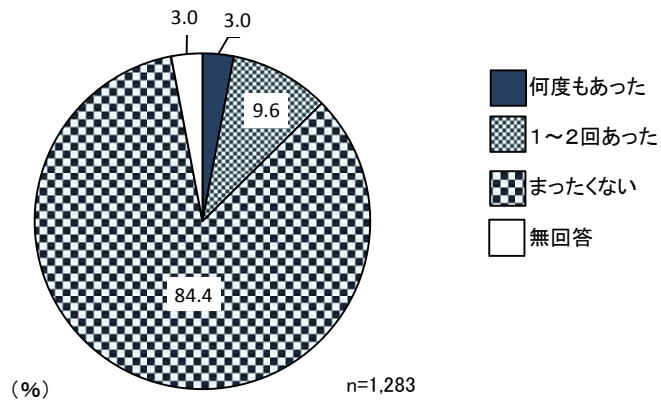
【居住地域別 図】



(24)あなたは、配偶者や恋人等親しい関係にある人から暴力(なぐる、ける、物を投げつける、危害を加えられる恐れがある脅迫、暴言、行動の監視、望まない性的行為の強要)を受けたことがありますか。

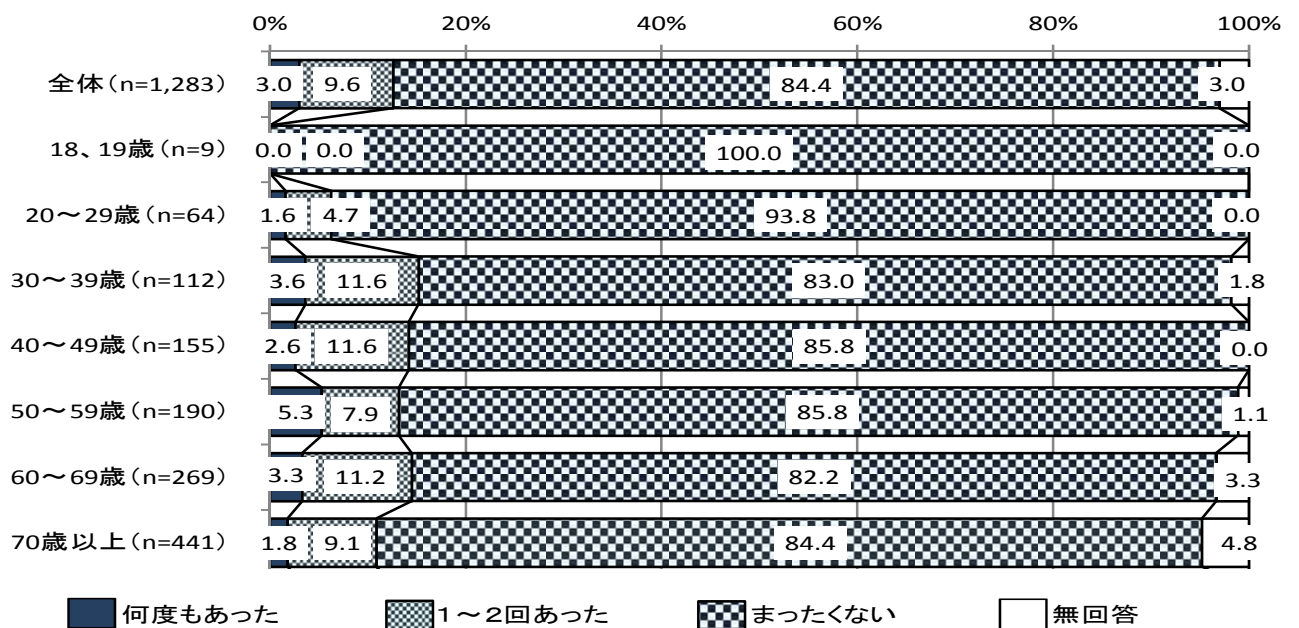
配偶者や恋人等親しい関係にある人から暴力を受けたことがありますかについて、「まったくない」と回答した割合が84.4%と最も高くなっています。ついで、「1～2回あった」が9.6%、「何でもあった」が3.0%となっています。

【全体 図】



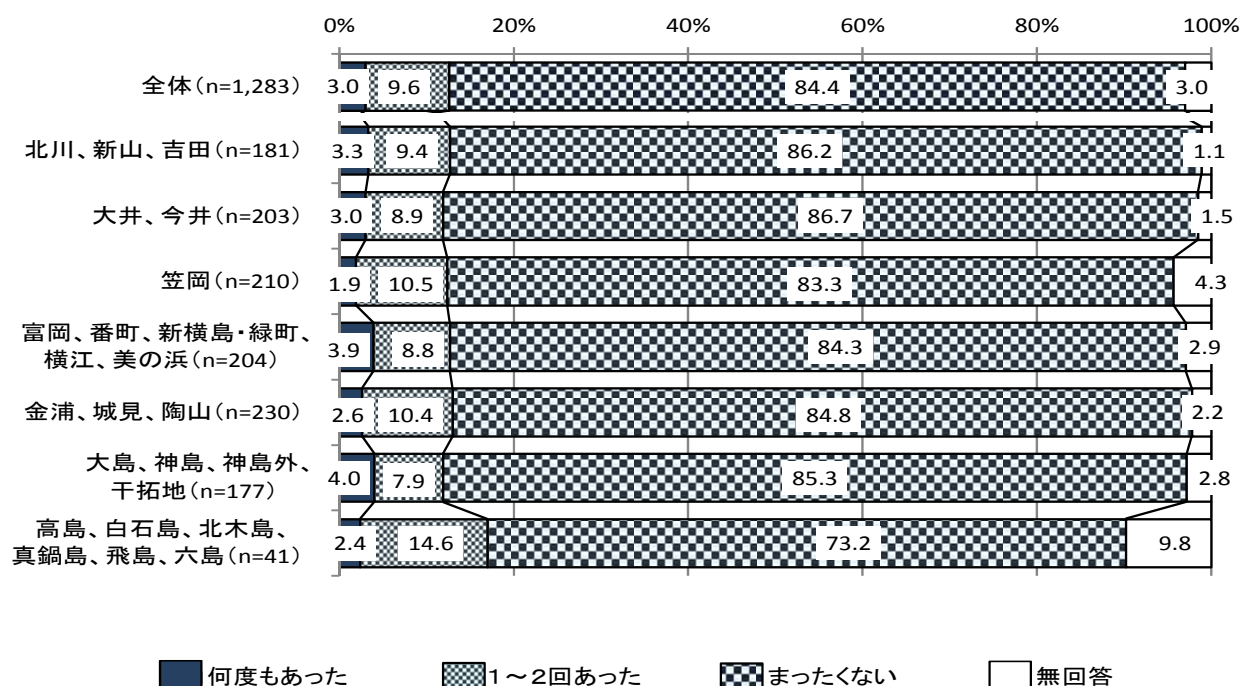
年齢別にみると、「18、19歳」から「40～49歳」にかけて年齢が上がるにつれて「1～2回あった」が高くなっており、また「18、19歳」から「30～39歳」にかけて年齢が上がるにつれて「まったくない」が低くなっています。

【年齢別 図】



居住地域別にみると、すべての地域において「まったくない」が高くなっています。

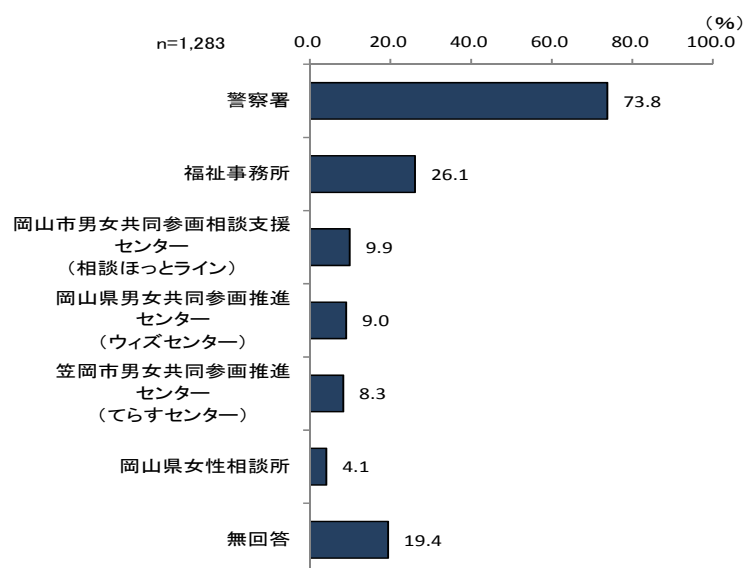
【居住地域別 図】



(25)配偶者からの暴力について公的相談機関として県内及び市内には主に次の機関がありますが、あなたは、どの機関を知っていますか。あてはまる番号全てに○をつけてください。

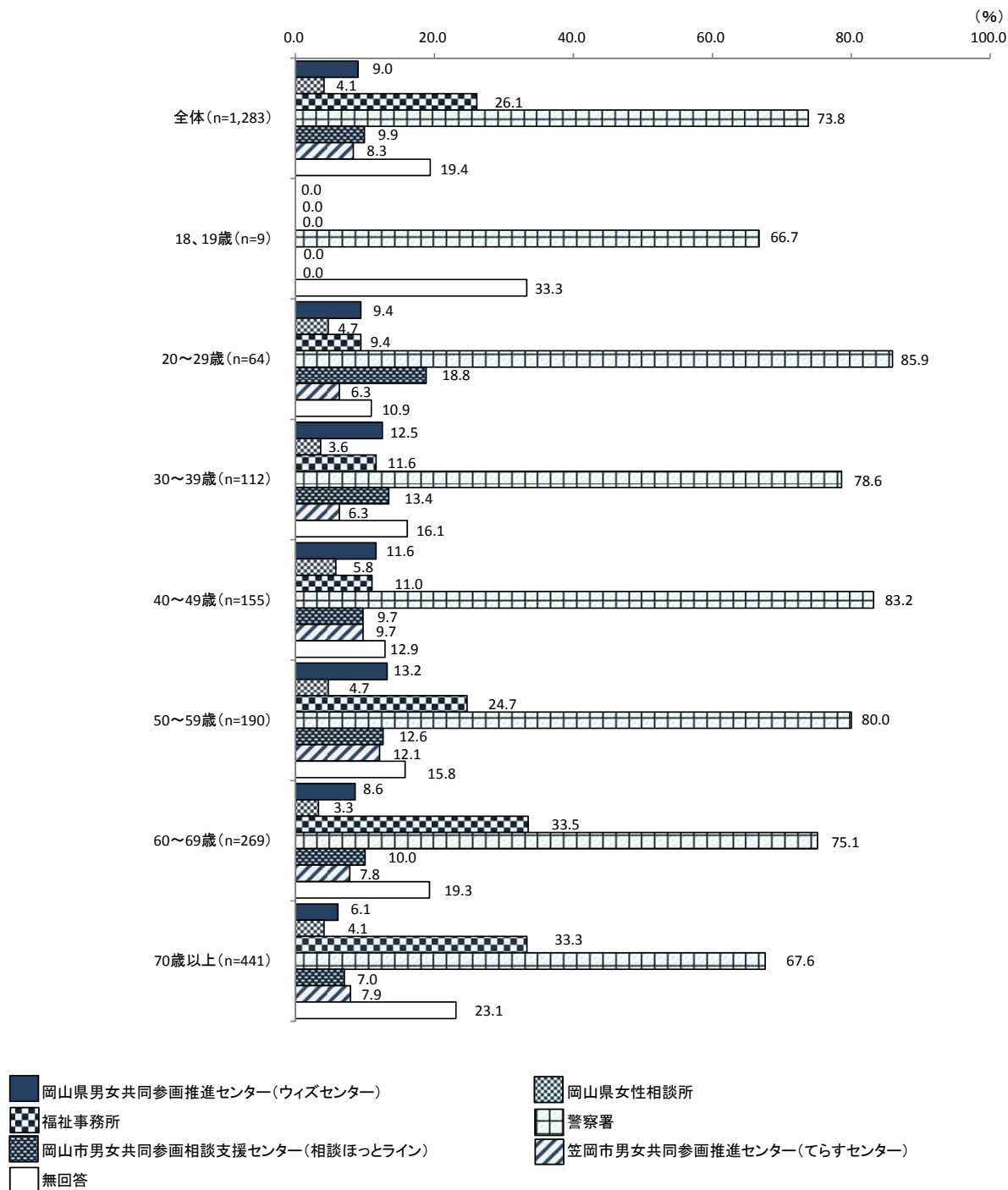
配偶者からの暴力についてどの機関を知っていますかについて、「警察署」と回答した割合が73.8%と最も高くなっています。ついで、「福祉事務所」が26.1%、「岡山市男女共同参画相談支援センター（相談ほっとライン）」が9.9%となっています。

【全体 図】



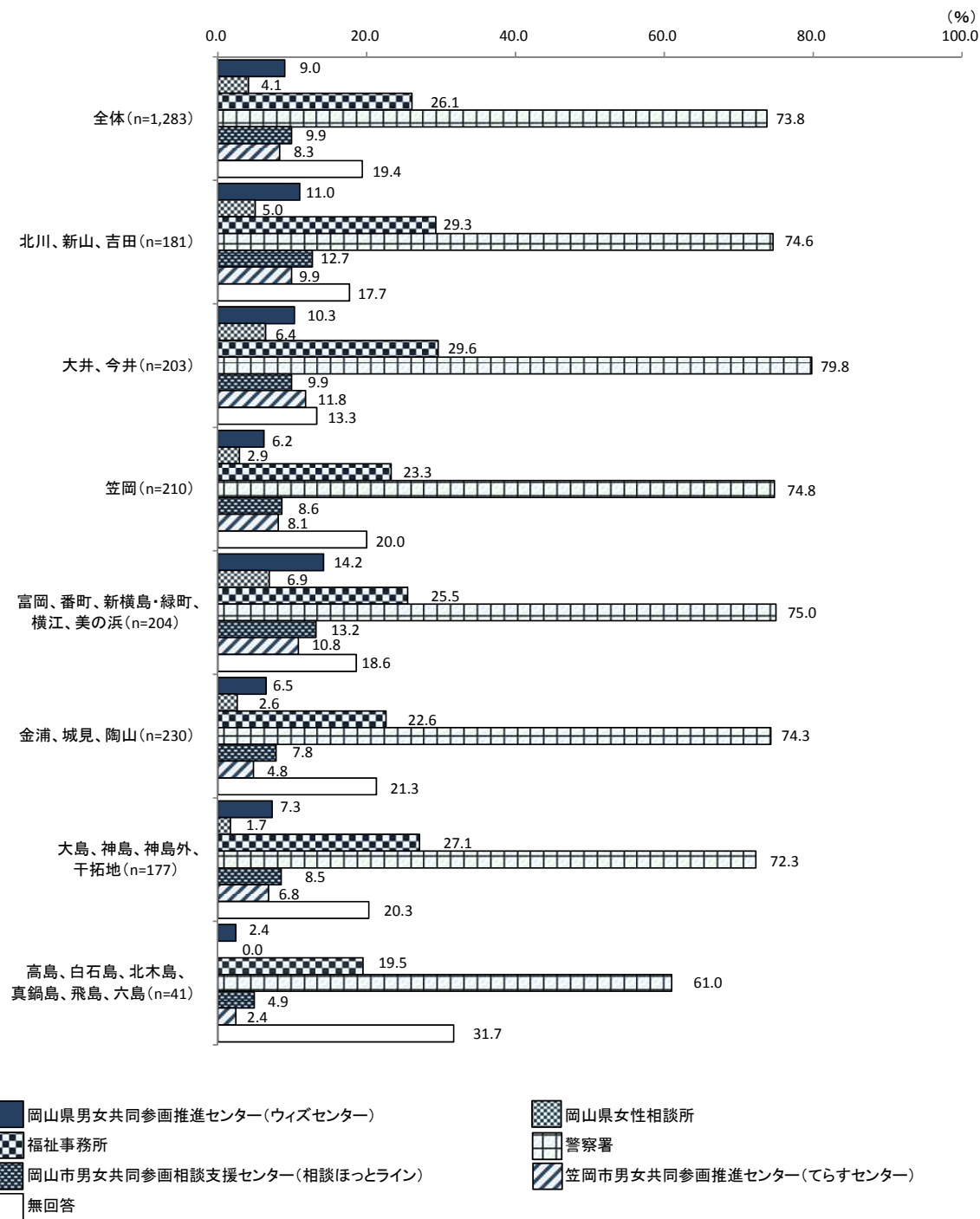
年齢別にみると、「40～49 歳」から「70 歳以上」にかけて年齢が上がるにつれて「警察署」が低くなっており、また「18、19 歳」から「50～59 歳」にかけて年齢が上がるにつれて「笠岡市男女共同参画推進センター（てらすセンター）」が高くなっています。

【年齢別 図】



居住地域別にみると、すべての地域において「警察署」が高くなっています。

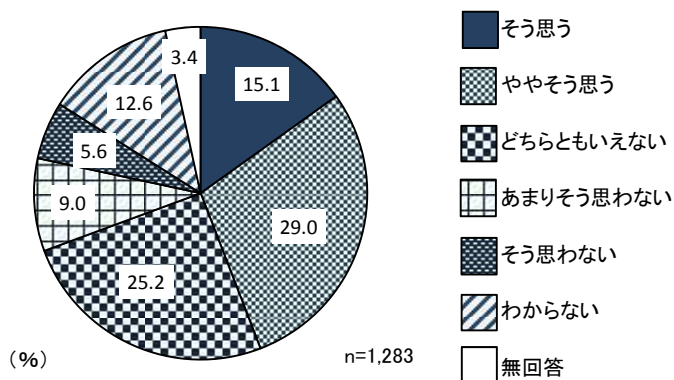
【居住地域別 図】



(26)あなたは、笠岡市内で安心して子どもを産み育てることができると思いますか。

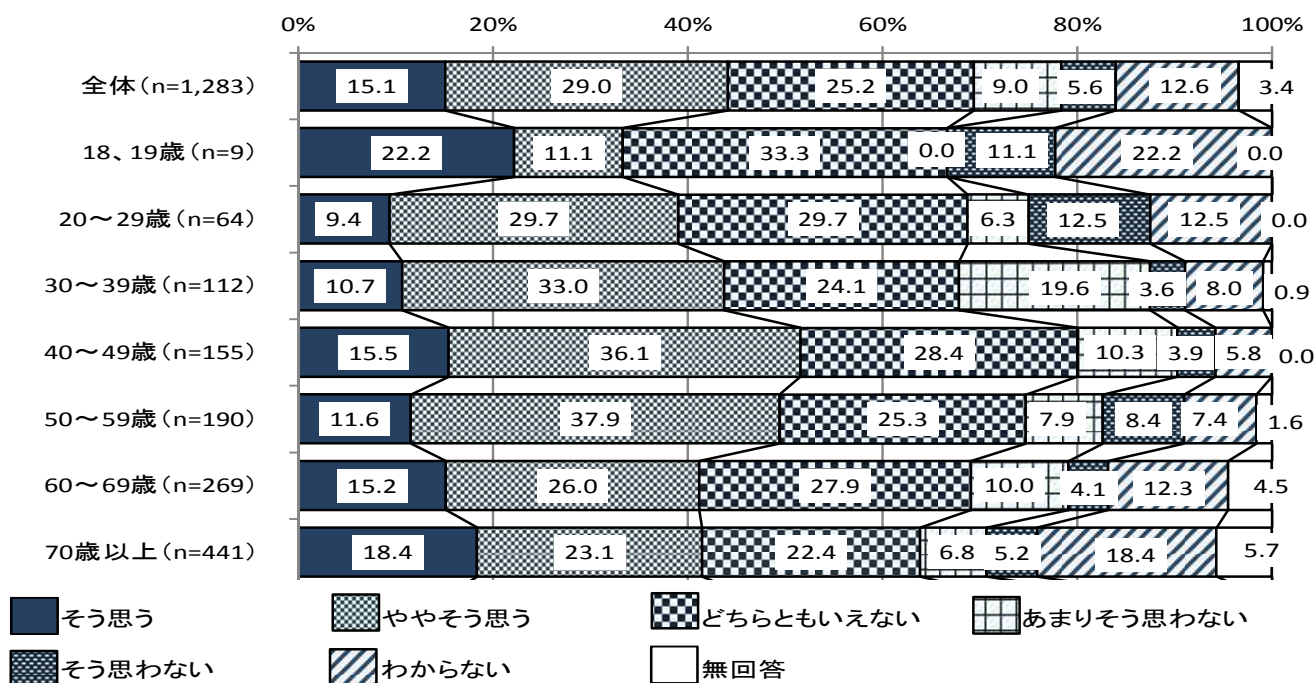
笠岡市内で安心して子どもを産み育てることができると思いますかについて、【思う（「思う」＋「やや思う」）】と回答した割合が44.1%と最も高くなっています。ついで、【思わない（「あまりそう思わない」＋「そう思わない」）】が14.6%となっています。

【全体 図】



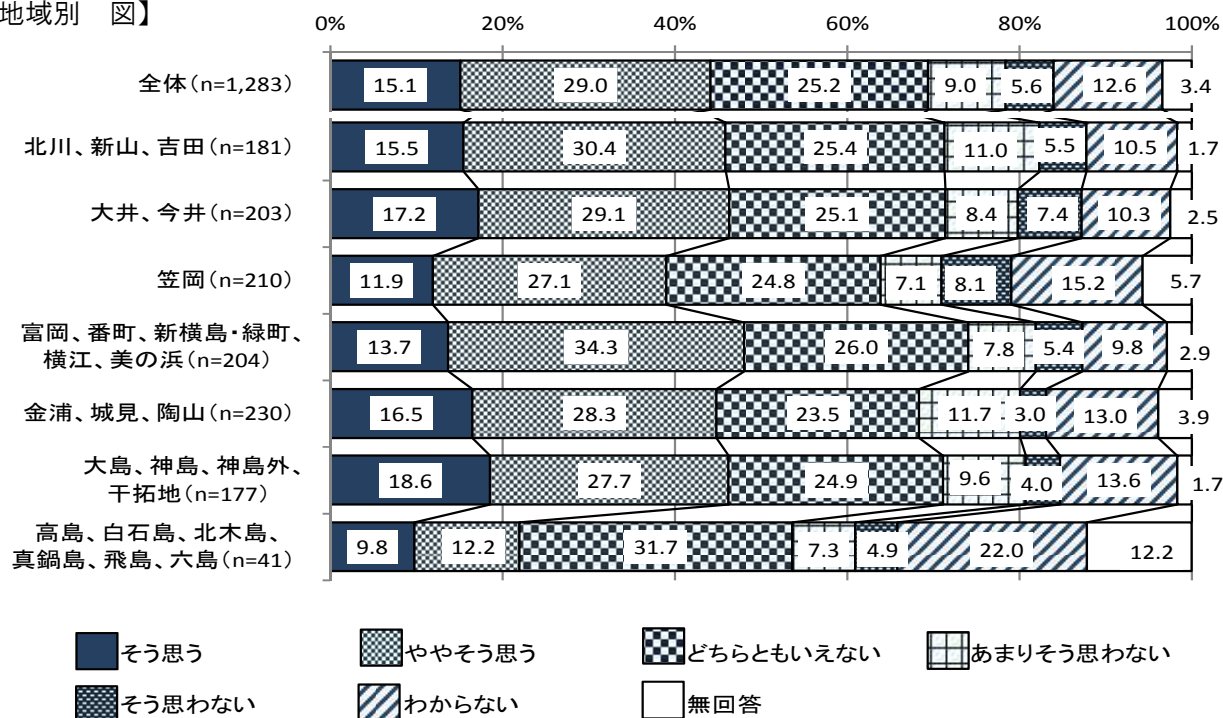
年齢別にみると、「18、19歳」から「40～49歳」にかけて年齢が上がるにつれて【思う（「思う」＋「やや思う」）】が高くなっています。

【年齢別 図】



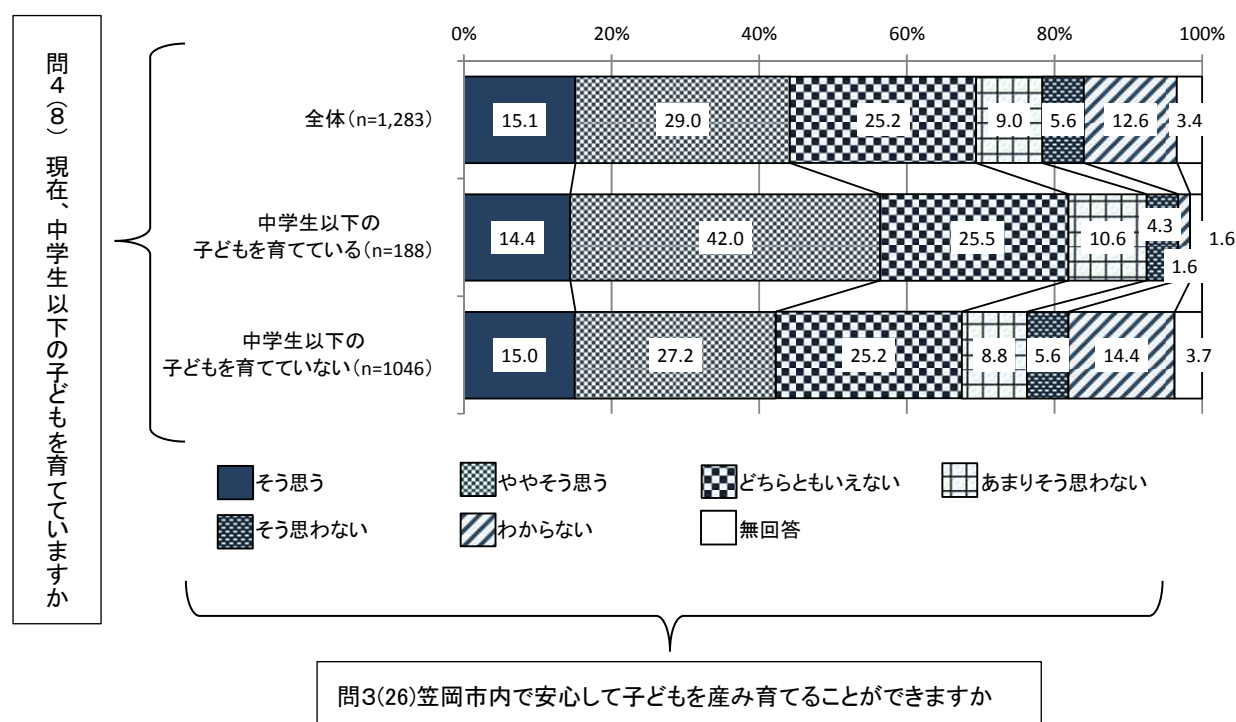
居住地域別にみると、すべての地域において【思う（「思う」＋「やや思う」）】が高くなっています。

【居住地域別 図】



《問4(8) 現在、中学生以下の子どもを育てていますか》について【中学生以下の子どもを育てている】と回答された方は、《問3(26)笠岡市内で安心して子どもを産み育てることができると思いますか》では【思う（「思う」＋「やや思う」）】が56.4%と高くなっています。

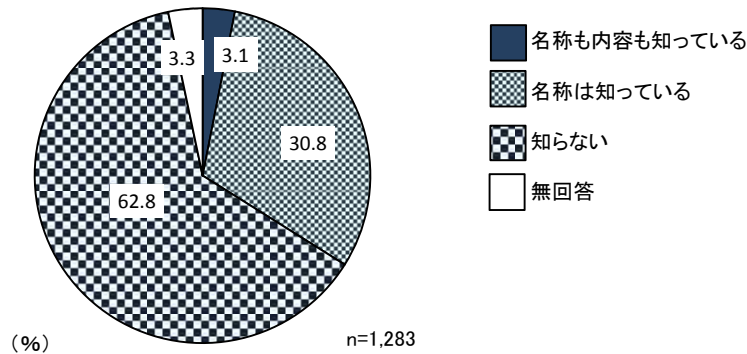
【中学生以下の子どもを産み育てていること別 図】



(27)あなたは、「笠岡市子ども条例」を知っていますか。

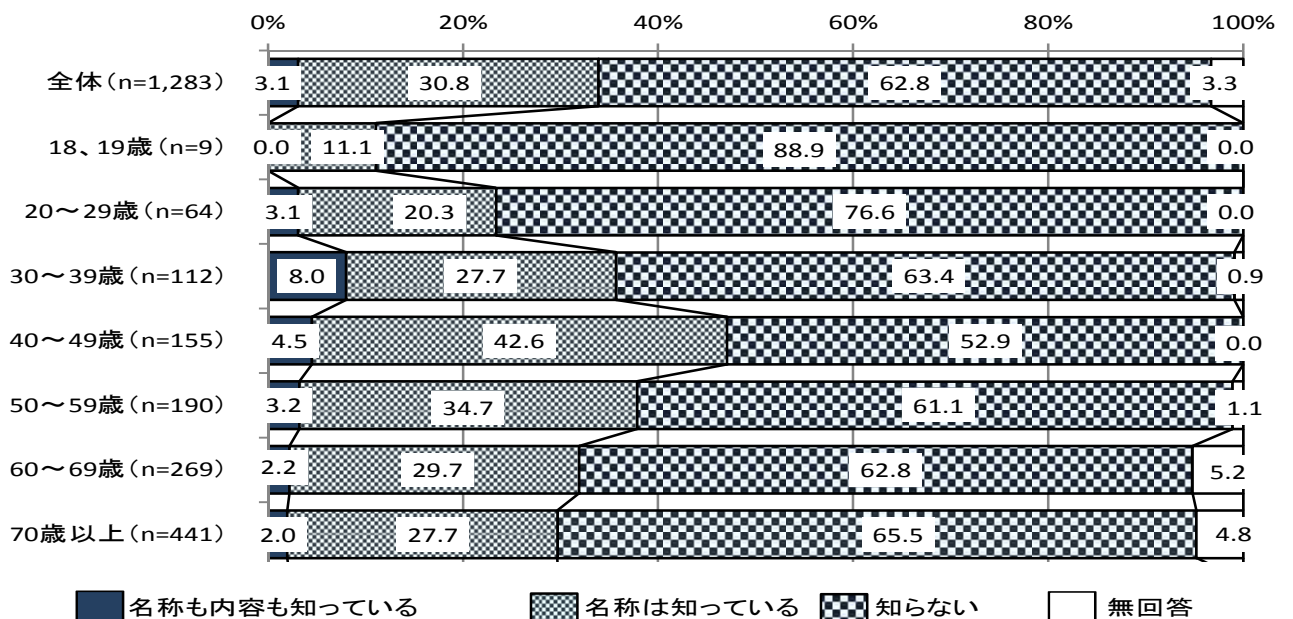
「笠岡市子ども条例」を知っていますかについて、「知らない」と回答した割合が62.8%と最も高くなっています。ついで、「名称は知っている」が30.8%、「名称も内容も知っている」が3.1%となっています。

【全体 図】



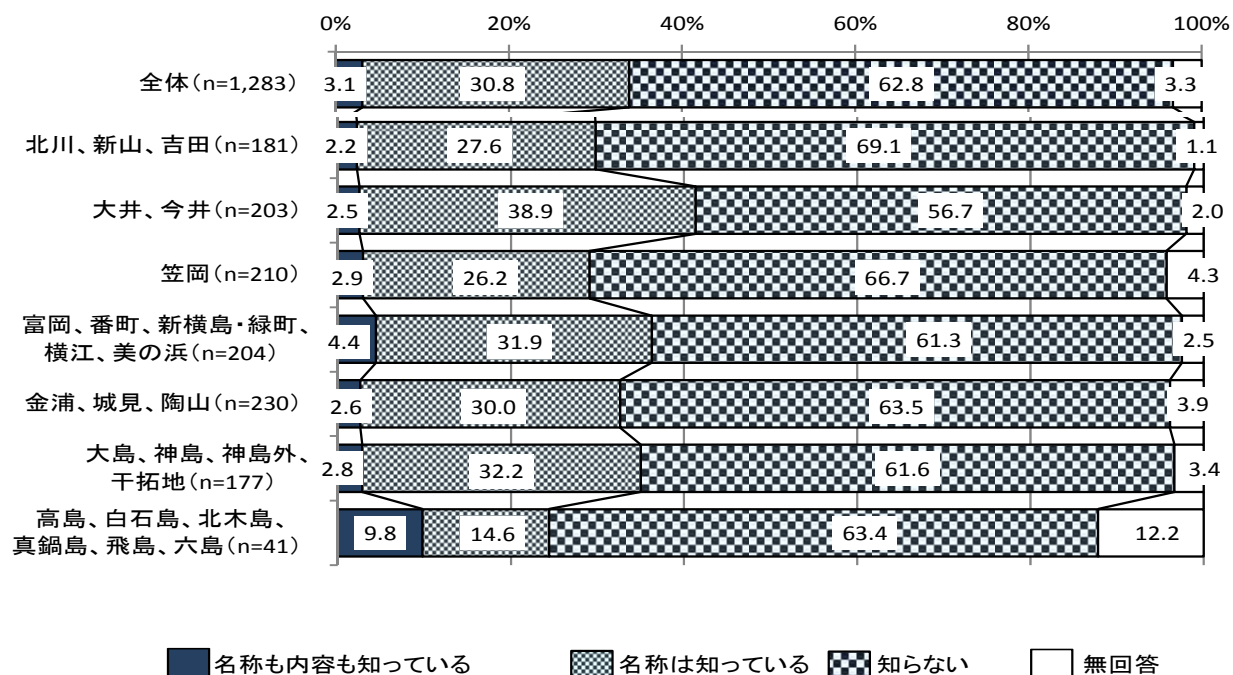
年齢別にみると、「30～39歳」から「70歳以上」にかけて年齢が上がるにつれて「名称も内容も知っている」が低くなっています。

【年齢別 図】



居住地域別にみると、すべての地域において「知らない」が高くなっています。

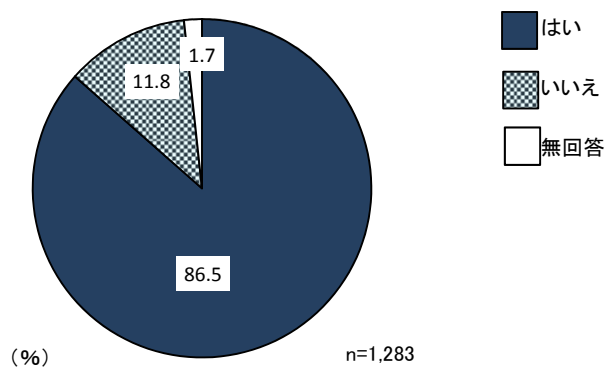
【居住地域別 図】



(28-1)あなたは、家族と一緒に住んでいますか。

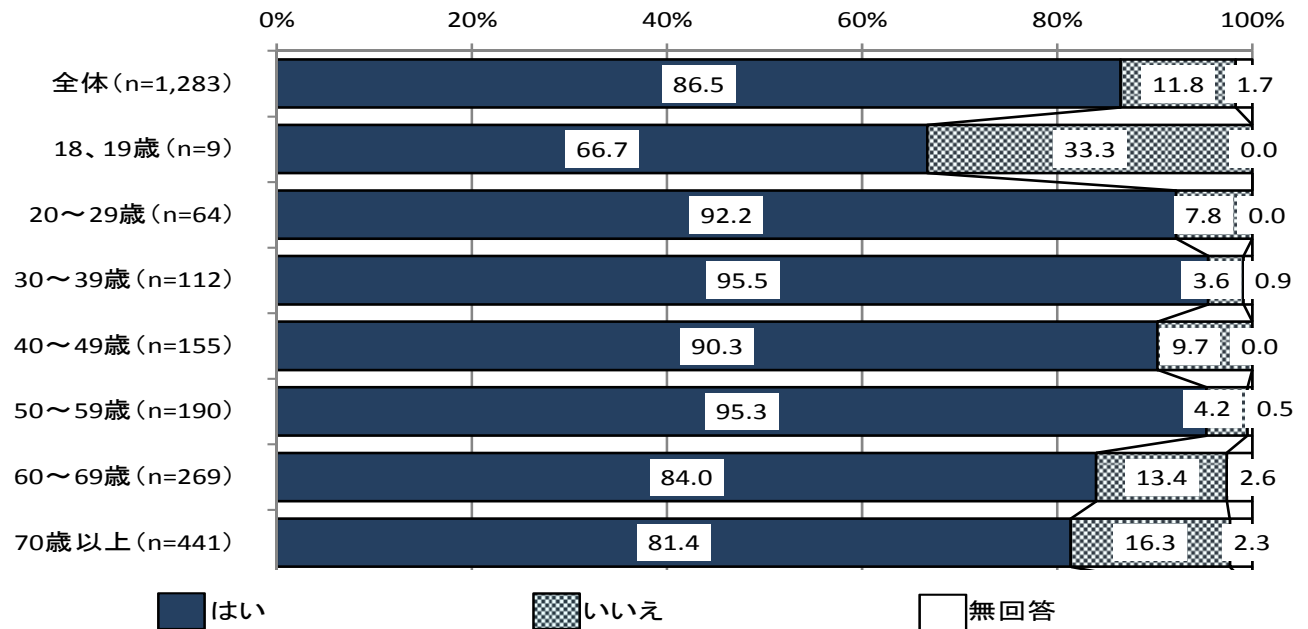
家族と一緒に住んでいますかについて、「はい」が86.5%、「いいえ」が11.8%となっています。

【全体 図】



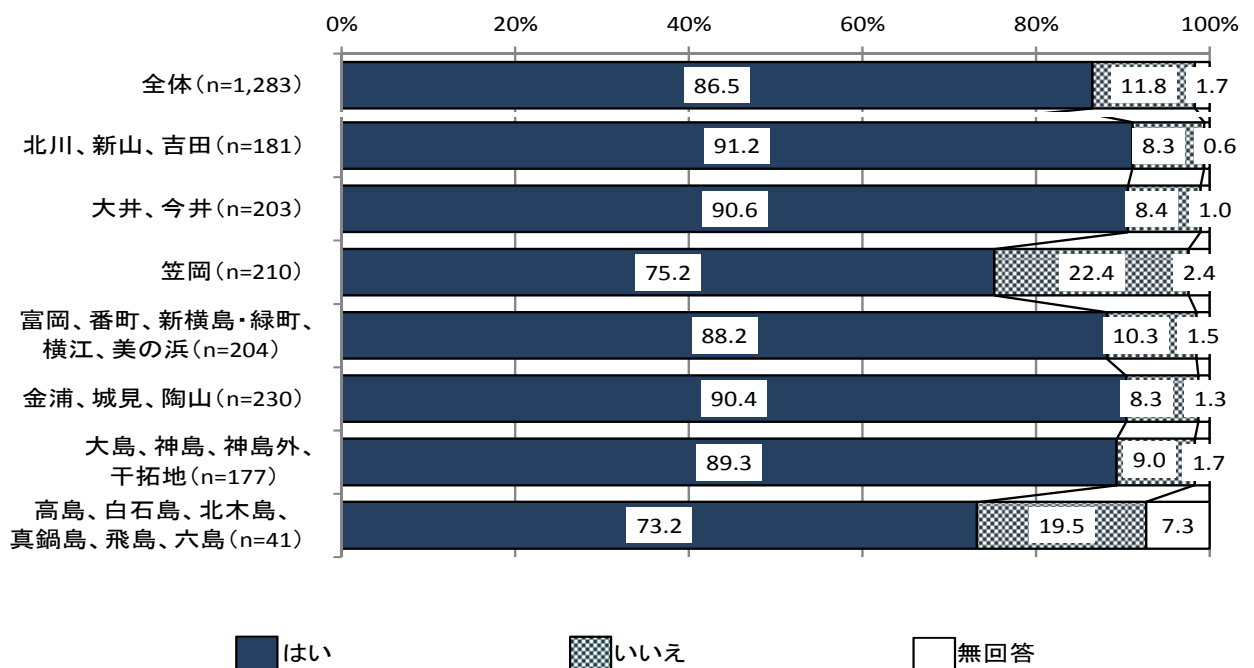
年齢別にみると、「50～59 歳」から「70 歳以上」にかけて年齢が上がるにつれて「はい」が低くなっています。

【年齢別 図】



居住地域別にみると、すべての地域において「はい」が高くなっています。

【居住地域別 図】

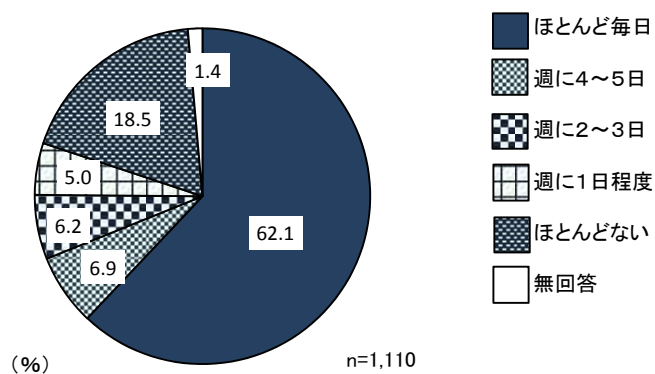


《(28-1)で「1. はい」を選んだ方に伺います。》

(28-2)朝食を家族と一緒に食べることはどのくらいありますか。

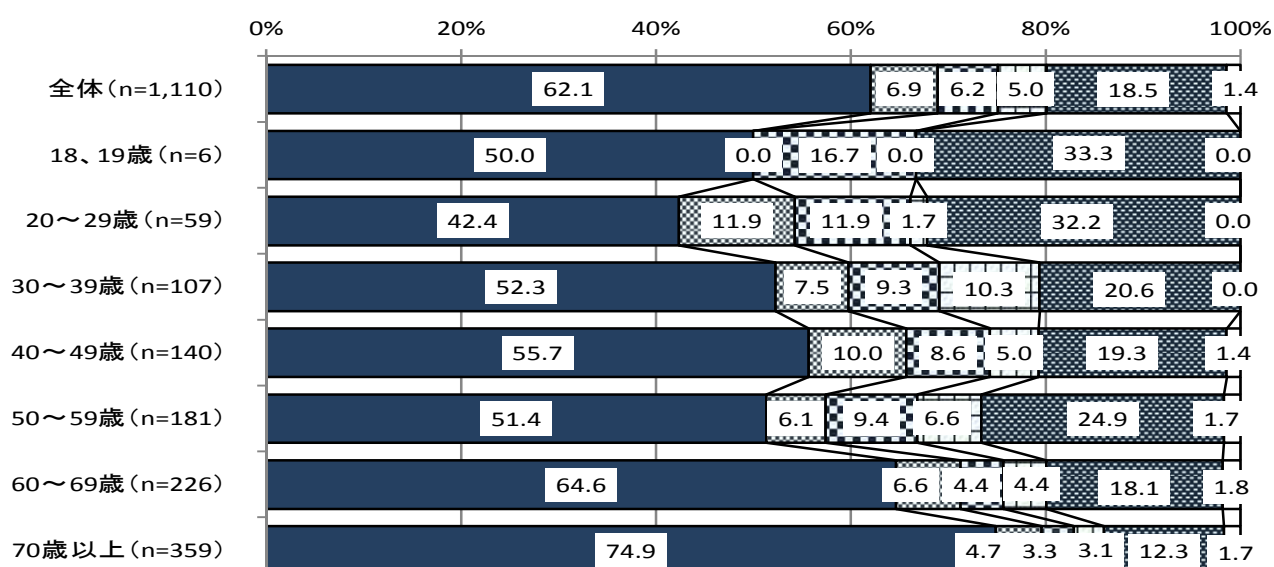
朝食を家族と一緒に食べることはどのくらいありますかについて、「ほとんど毎日」と回答した割合が62.1%と最も高くなっています。ついで、「ほとんどない」が18.5%、「週に4～5日」が6.9%となっています。

【全体 図】



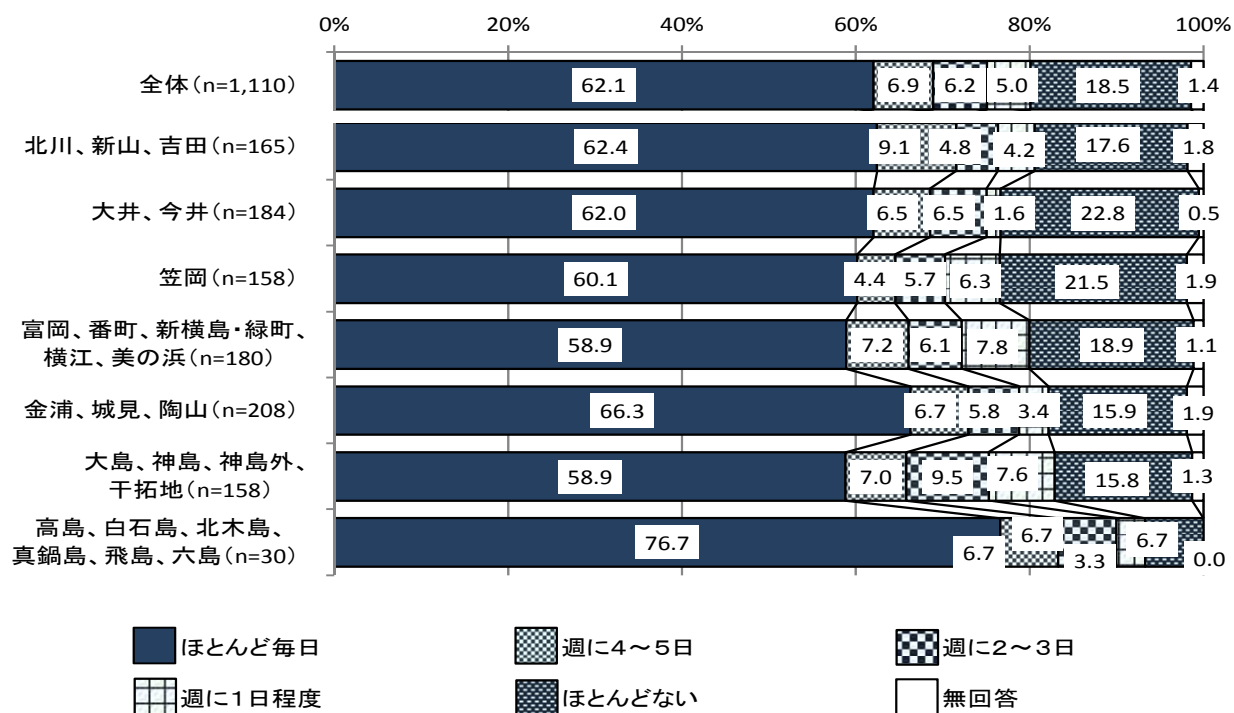
年齢別にみると、「18、19歳」から「40～49歳」にかけて年齢が上がるにつれて「週に2～3日」と「ほとんどない」が低くなっています。

【年齢別 図】



居住地域別にみると、すべての地域において「ほとんど毎日」が高くなっています。

【居住地域別 図】

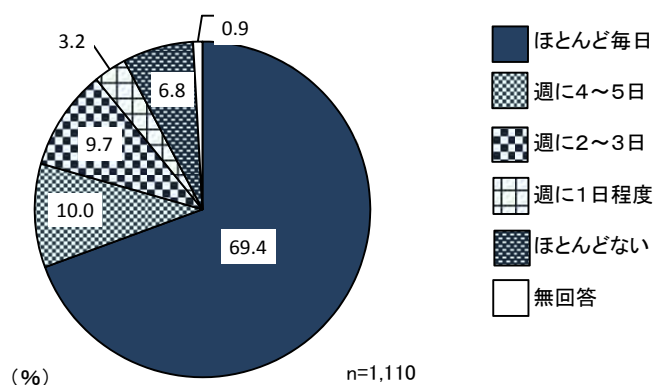


《(28-1)で「1. はい」を選んだ方に伺います。》

(28-3)夕食を家族と一緒に食べることはどのくらいありますか。

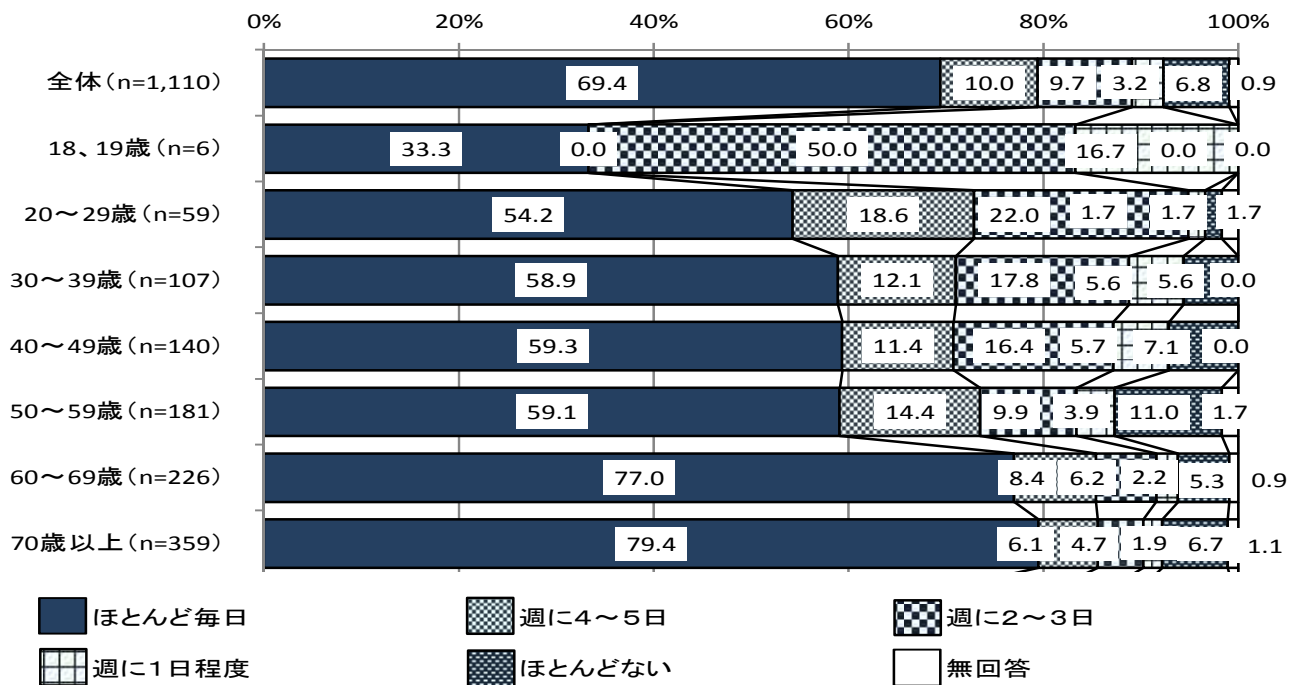
夕食を家族と一緒に食べることはどのくらいありますかについて、「ほとんど毎日」と回答した割合が69.4%と最も高くなっています。ついで、「週に4～5日」が10.0%、「週に2～3日」が9.7%となっています。

【全体 図】



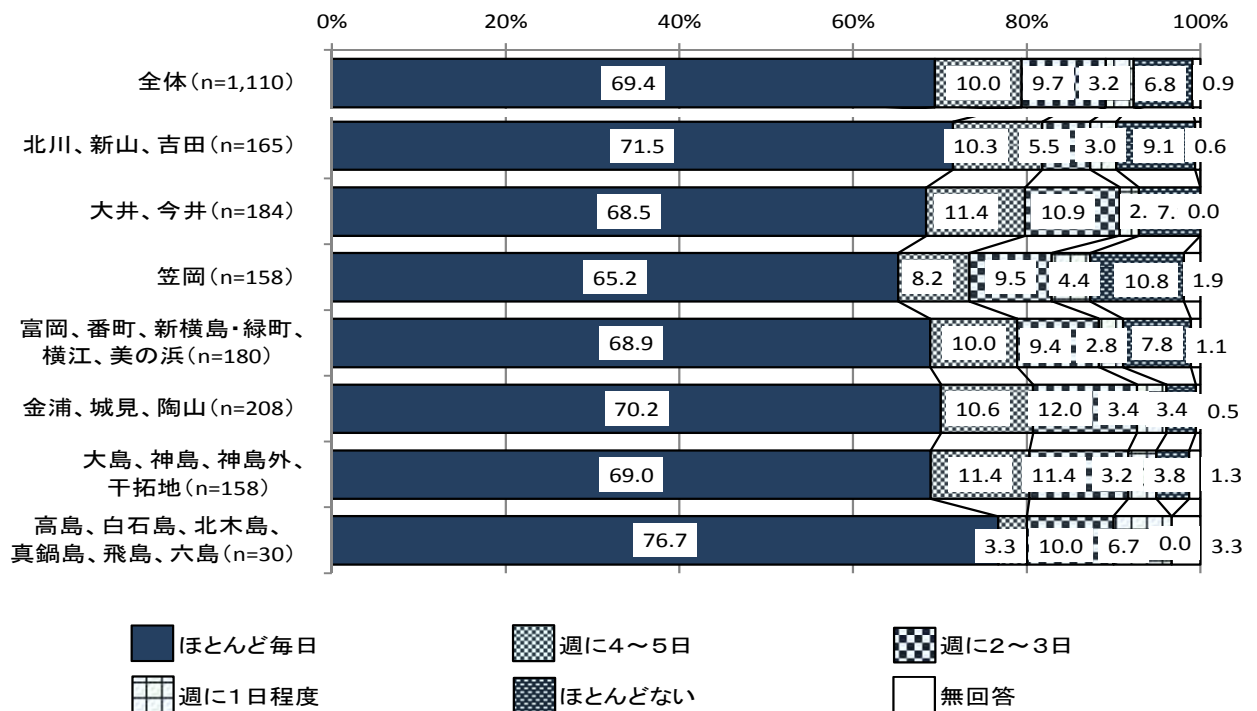
年齢別にみると、「18、19歳」から「70歳以上」にかけて年齢が上がるにつれて「週に2～3日」が低くなっています。

【年齢別 図】



居住地域別にみると、すべての地域において「ほとんど毎日」が高くなっています。

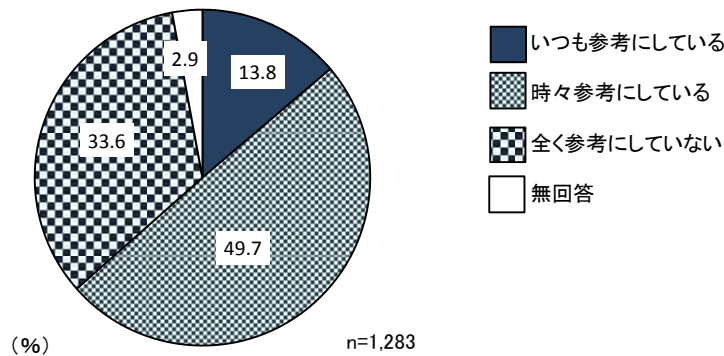
【居住地域別 図】



(29)あなたは、普段、外食や食品を購入する時に、「栄養成分表示」の「エネルギー(kcal)表示」を参考にしていますか。

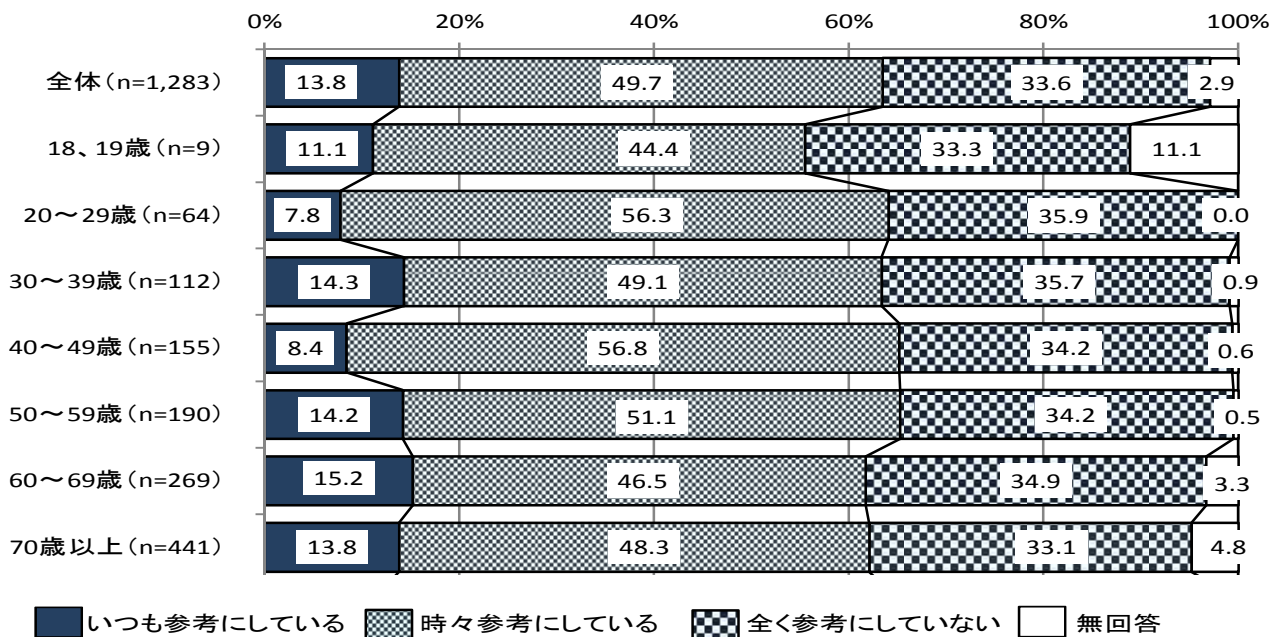
普段、外食や食品を購入する時に、「栄養成分表示」の「エネルギー(kcal)表示」を参考にしていますかについて、「時々参考にしている」と回答した割合が49.7%と最も高くなっています。ついで、「全く参考にしていない」が33.6%、「いつも参考にしている」が13.8%となっています。

【全体 図】



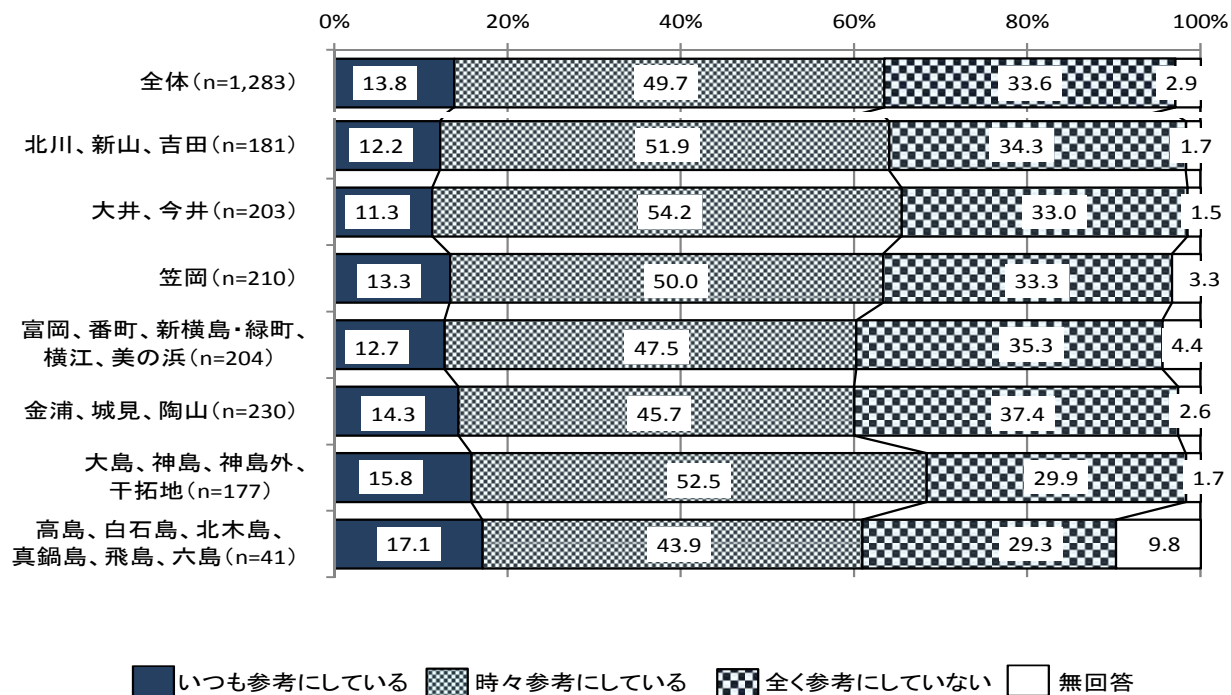
年齢別にみると、「20～29歳」から「50～59歳」にかけて年齢が上がるにつれて「全く参考にしていない」が低くなっています。

【年齢別 図】



居住地域別にみると、すべての地域において「時々参考になっている」が高くなっています。

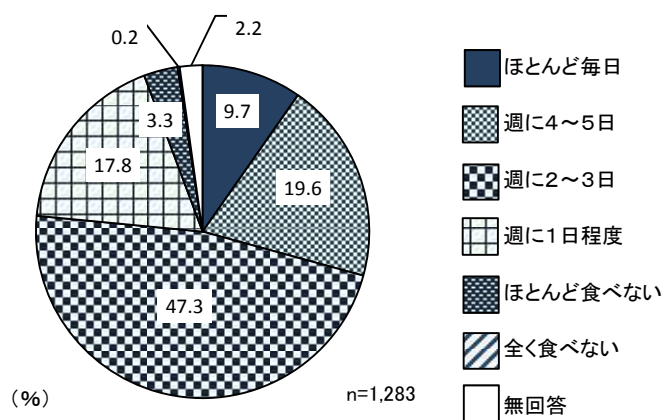
【居住地域別 図】



(30-1)あなたは、魚介類をどのくらい食べていますか。

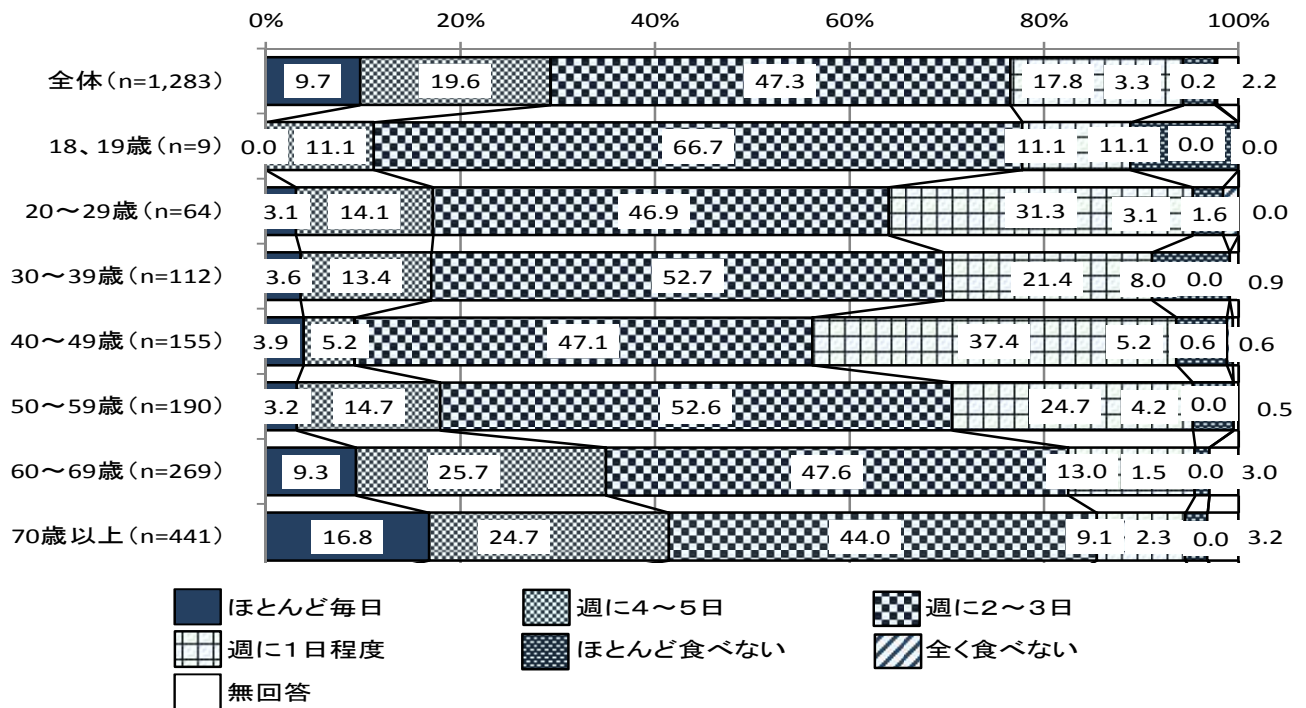
魚介類をどのくらい食べていますかについて、「週に2～3日」と回答した割合が47.3%と最も高くなっています。ついで、「週に4～5日」が19.6%、「週に1日程度」が17.8%となっています。

【全体 図】



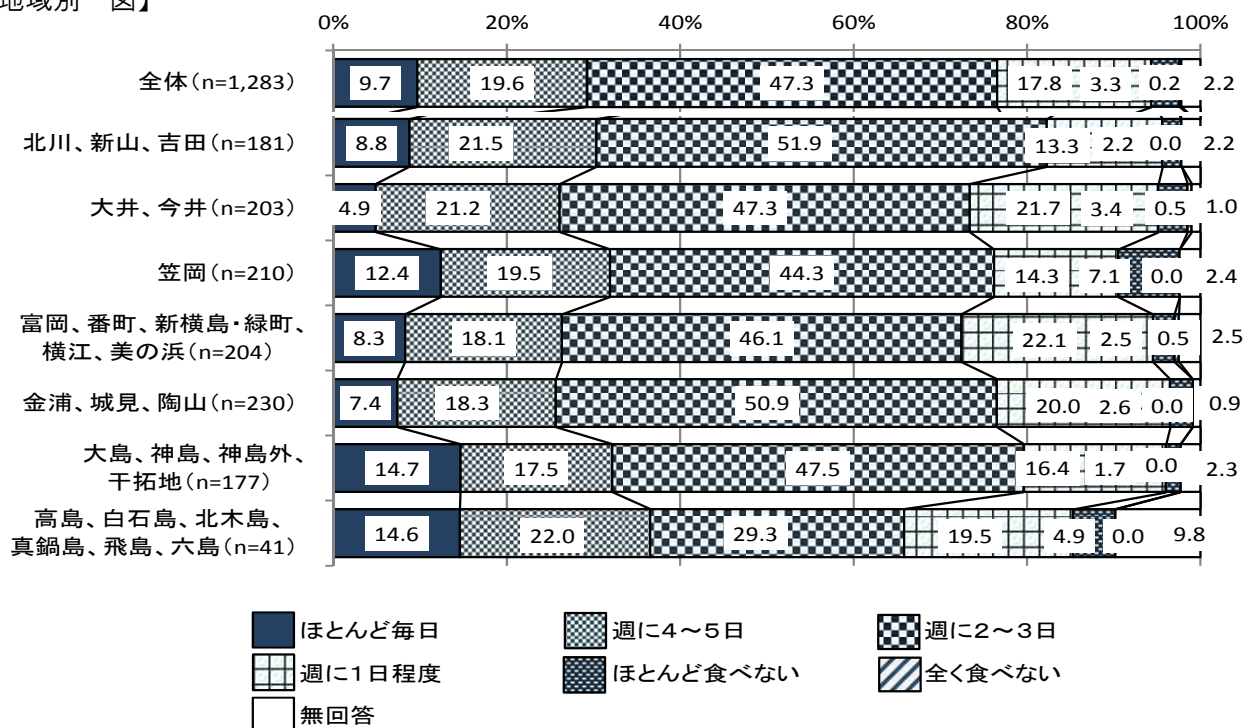
年齢別にみると、「40～49 歳」から「70 歳以上」にかけて年齢が上がるにつれて「週に 1 日程度」が低くなっており、また「40～49 歳」から「60～69 歳」にかけて年齢が上がるにつれて「週に 4～5 日」が高くなっています。

【年齢別 図】



居住地域別にみると、すべての地域において「週に 2～3 日」が高くなっています。

【居住地域別 図】

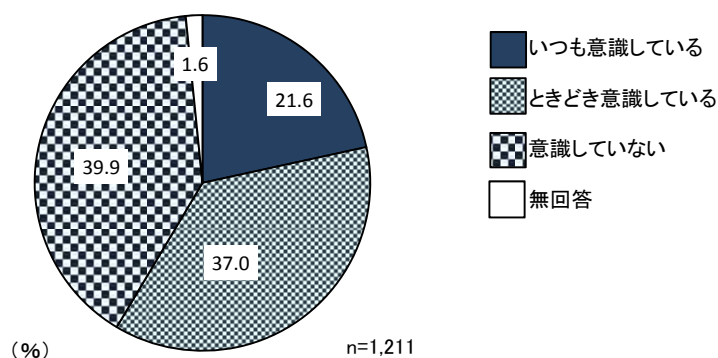


《(30-1)で「1.ほとんど毎日～4.週に1日程度」を選んだ方に伺います。》

(30-2)あなたが、魚介類を食べるときに「笠岡産」を意識していますか。

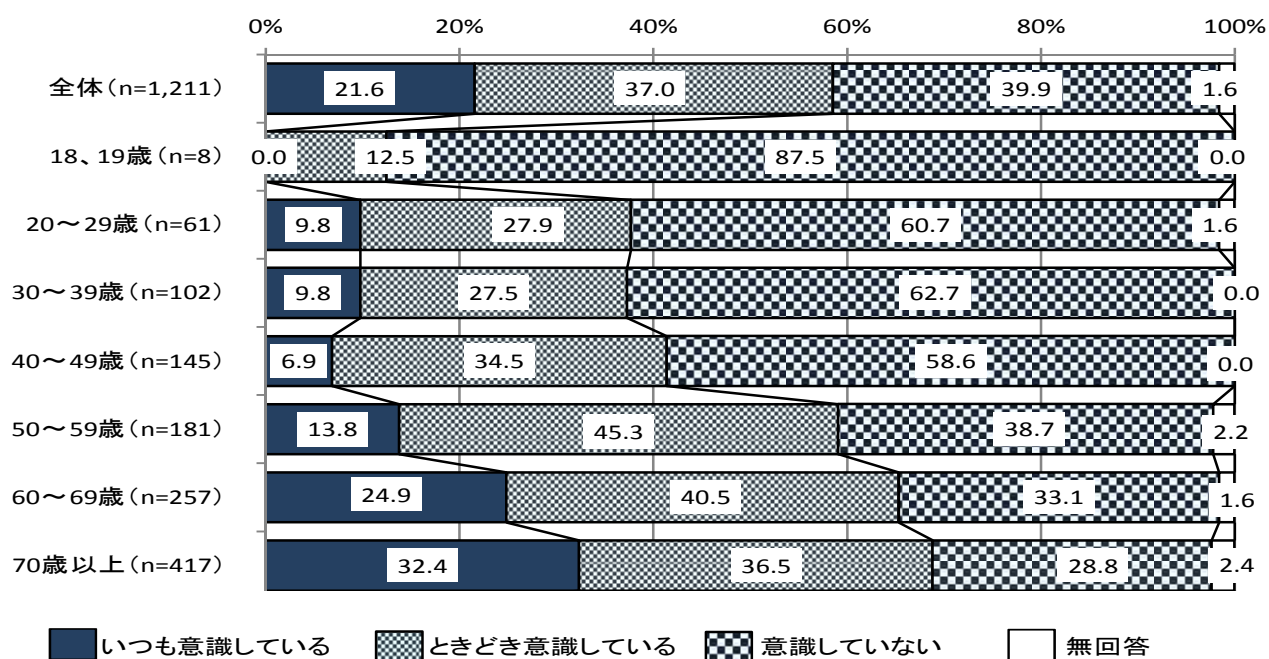
魚介類を食べるときに「笠岡産」を意識していますかについて、「意識していない」と回答した割合が39.9%と最も高くなっています。ついで、「ときどき意識している」が37.0%、「いつも意識している」が21.6%となっています。

【全体 図】



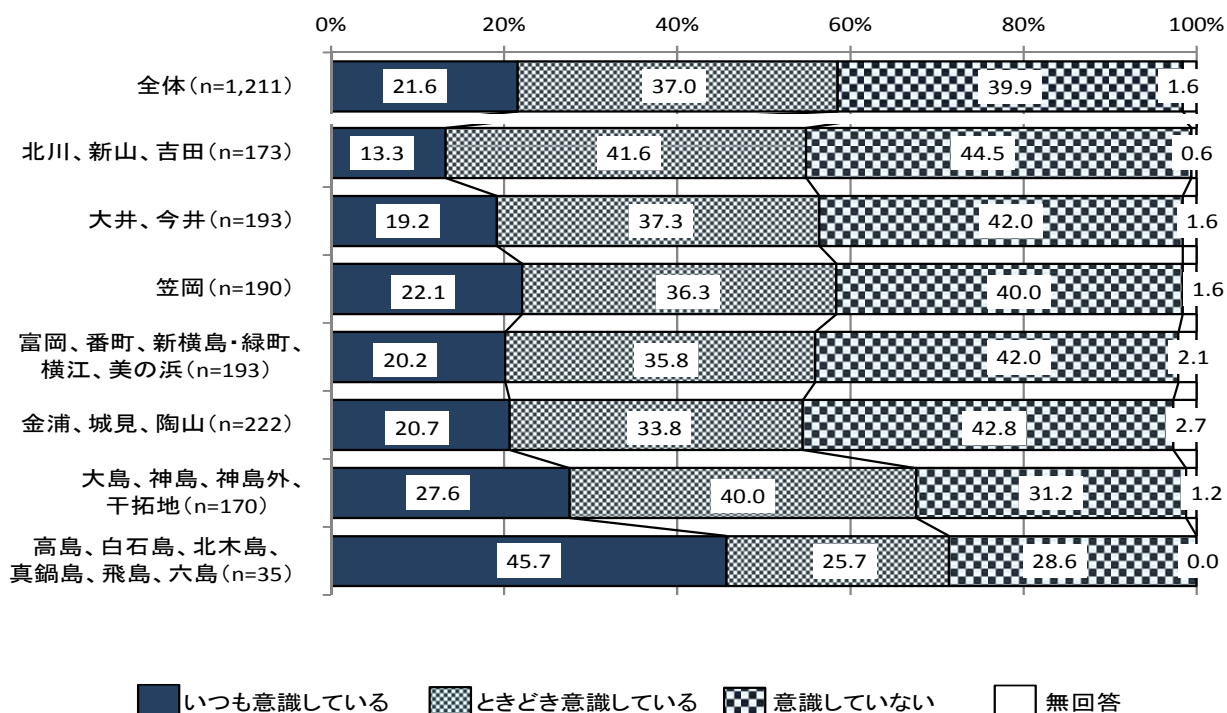
年齢別にみると、「30～39歳」から「70歳以上」にかけて年齢が上がるにつれて「意識していない」が低くなっています。

【年齢別 図】



居住地域別にみると、「大島、神島、神島外、干拓地」（40.0％）は他の地域に比べて「ときどき意識している」が高くなっており、「高島、白石島、北木島、真鍋島、飛島、六島」（45.7％）は他の地域に比べて「いつも意識している」が高くなっており、それ以外の地域は「意識していない」が高くなっています。

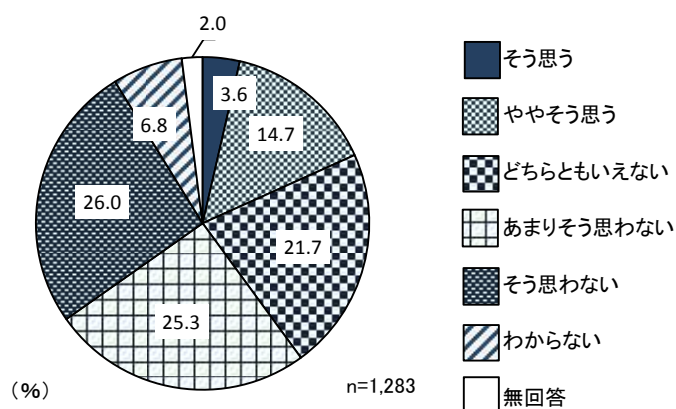
【居住地域別 図】



(31)あなたは、笠岡市が観光客にとって魅力的だと思いますか。

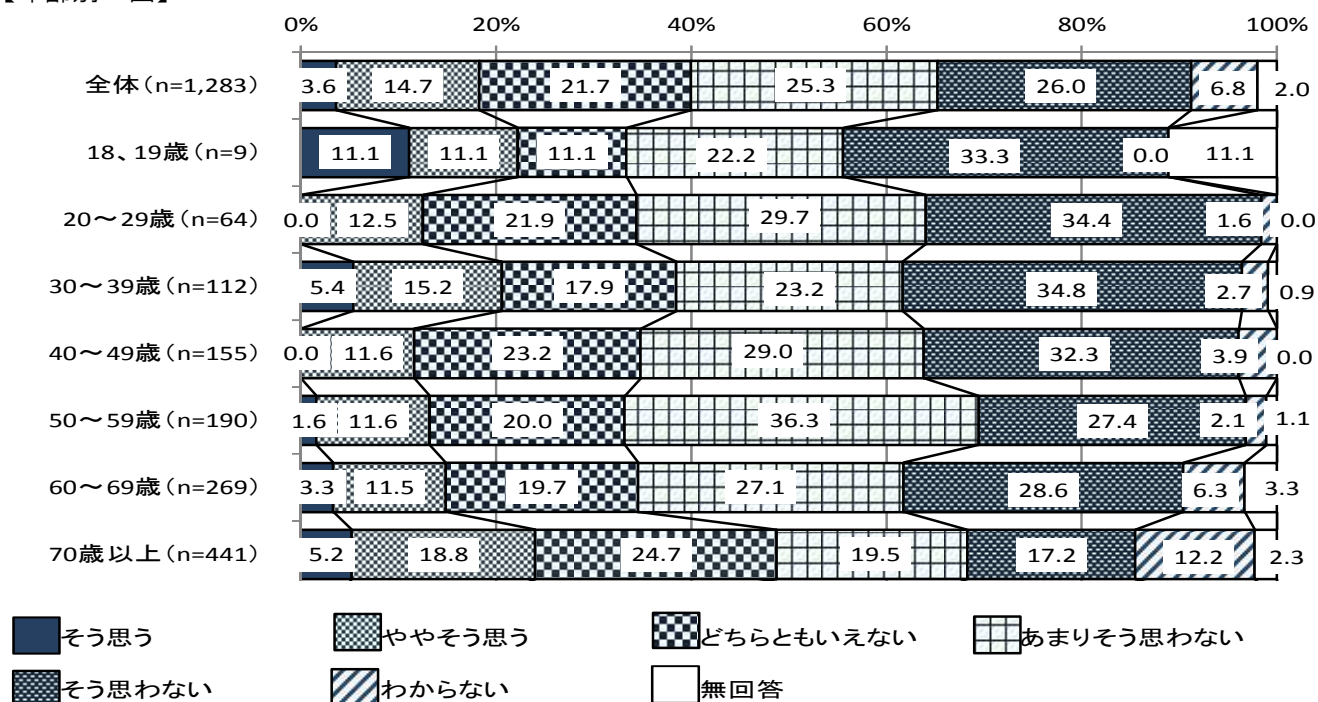
笠岡市が観光客にとって魅力的だと思いますかについて、【思わない（「あまりそう思わない」＋「そう思わない」）】と回答した割合が51.3%と最も高くなっています。ついで、【思う（「そう思う」＋「ややそう思う」）】が18.3%となっています。

【全体 図】



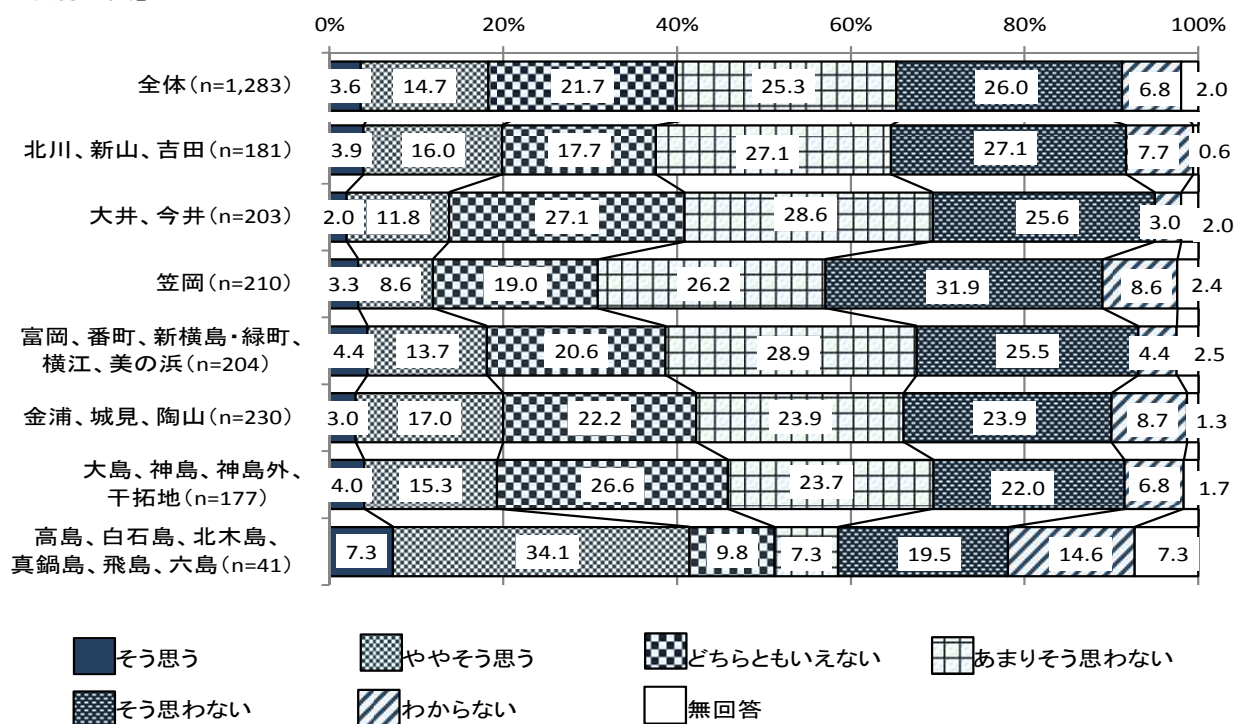
年齢別にみると、「40～49 歳」から「70 歳以上」にかけて年齢が上がるにつれて【思う（「そう思う」＋「ややそう思う」）】が高くなっています。

【年齢別 図】



居住地域別にみると、「高島、白石島、北木島、真鍋島、飛島、六島」（41.4％）は他の地域に比べて【思う（「そう思う」＋「ややそう思う」）】が高くなっており、それ以外の地域は【思わない（「あまりそう思わない」＋「そう思わない」）】が高くなっています。

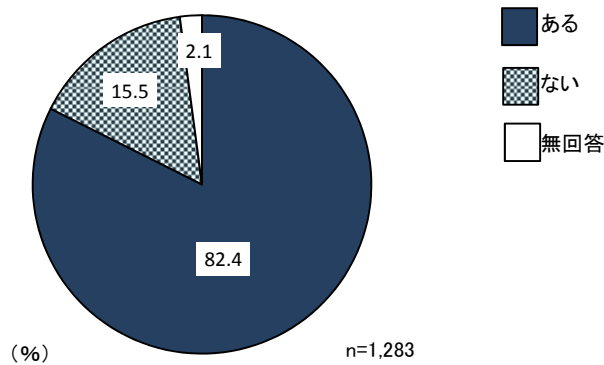
【居住地域別 図】



(32)あなたは、道の駅「笠岡ベイファーム」を利用したことがありますか。

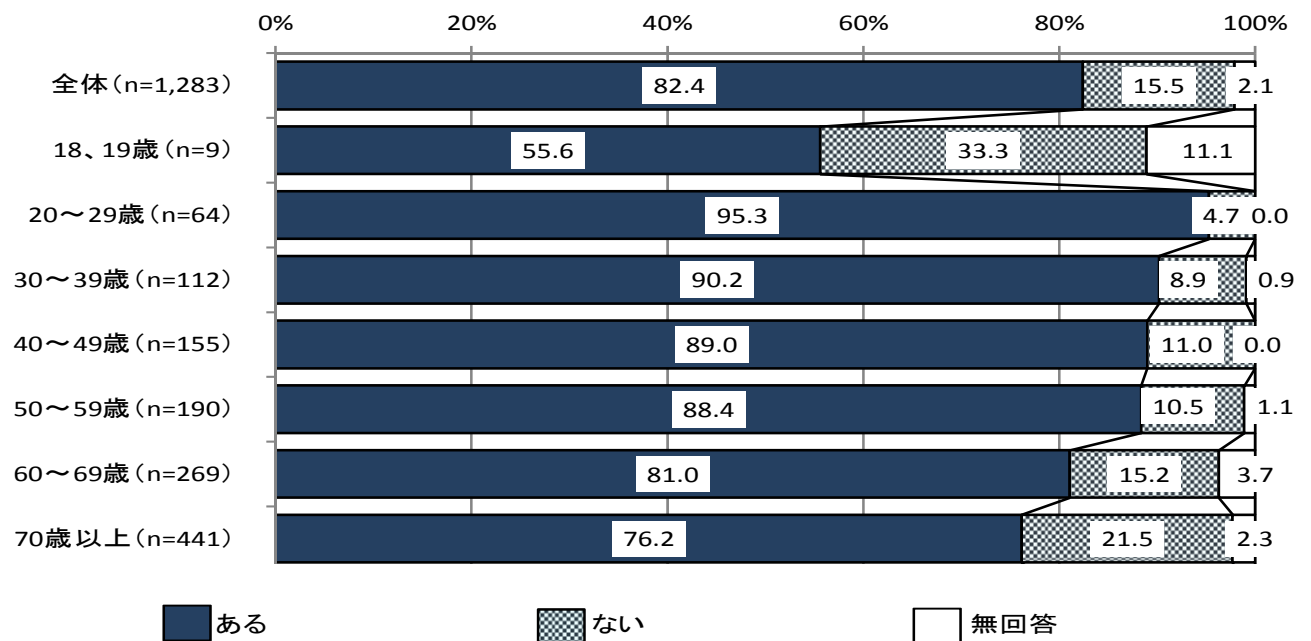
道の駅「笠岡ベイファーム」を利用したことがありますかについて、「ある」が82.4%、「ない」が15.5%となっています。

【全体 図】



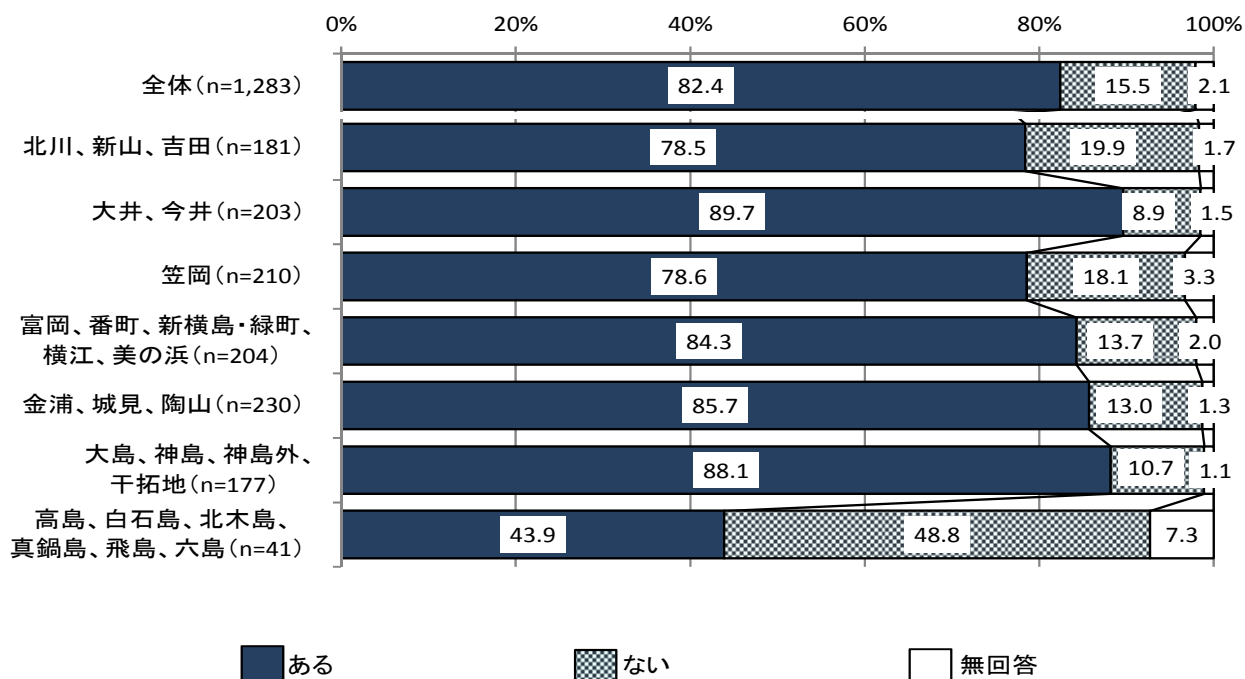
年齢別にみると、「20～29 歳」から「70 歳以上」にかけて年齢が上がるにつれて「ある」が低くなっています。

【年齢別 図】



居住地域別にみると、「高島、白石島、北木島、真鍋島、飛島、六島」(48.8%)は他の地域に比べて「ない」が高くなっており、それ以外の地域は「ある」が高くなっています。

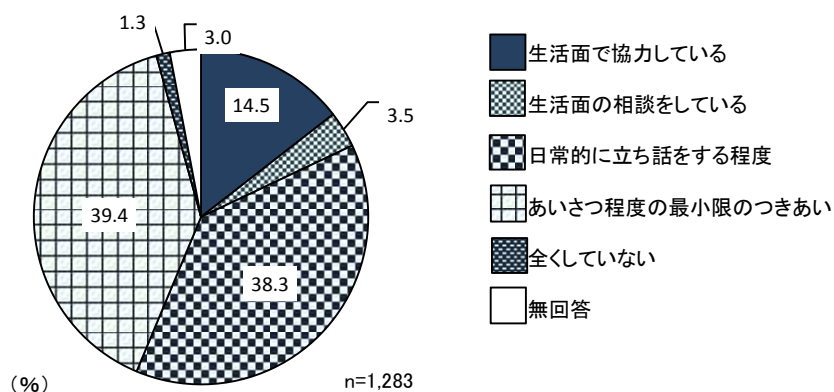
【居住地域別 図】



(33)あなたは、ご近所の方とどのようなおつきあいをしていますか。

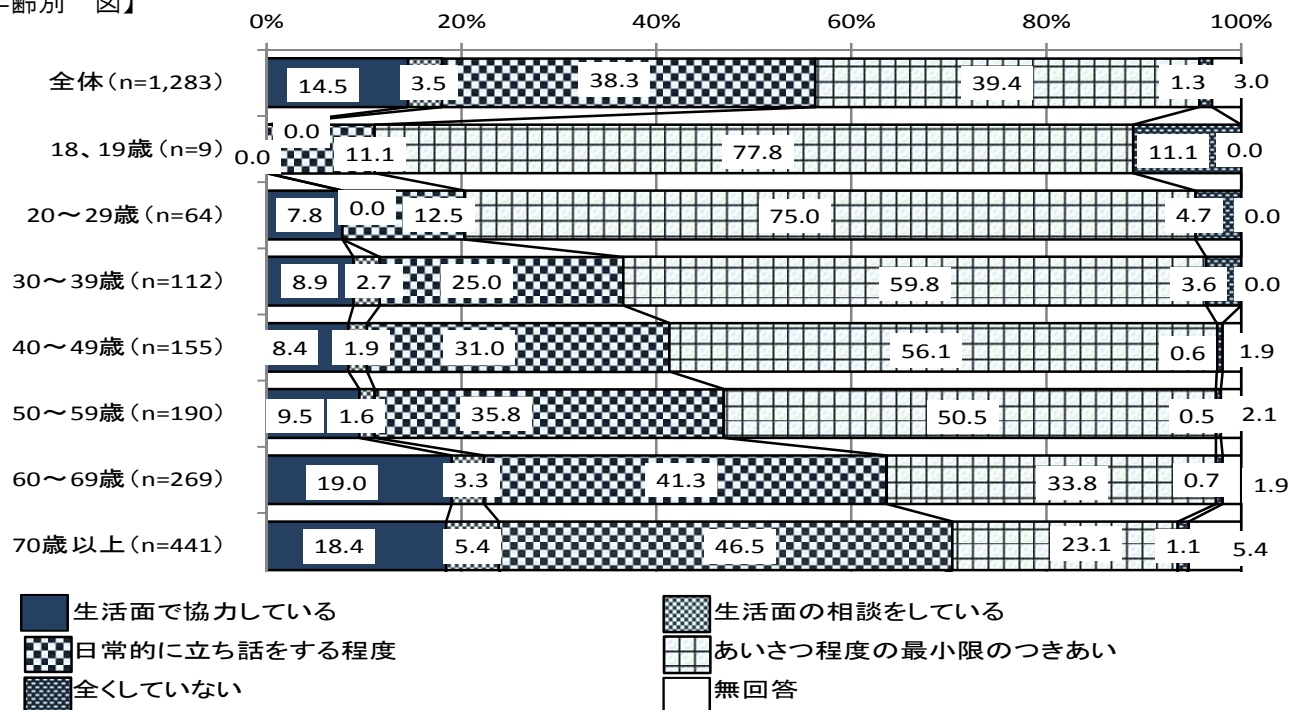
ご近所の方とどのようなおつきあいをしていますかについて、「あいさつ程度の最小限のつきあい」と回答した割合が39.4%と最も高くなっています。ついで、「日常的に立ち話をする程度」が38.3%、「生活面で協力している」が14.5%となっています。

【全体 図】



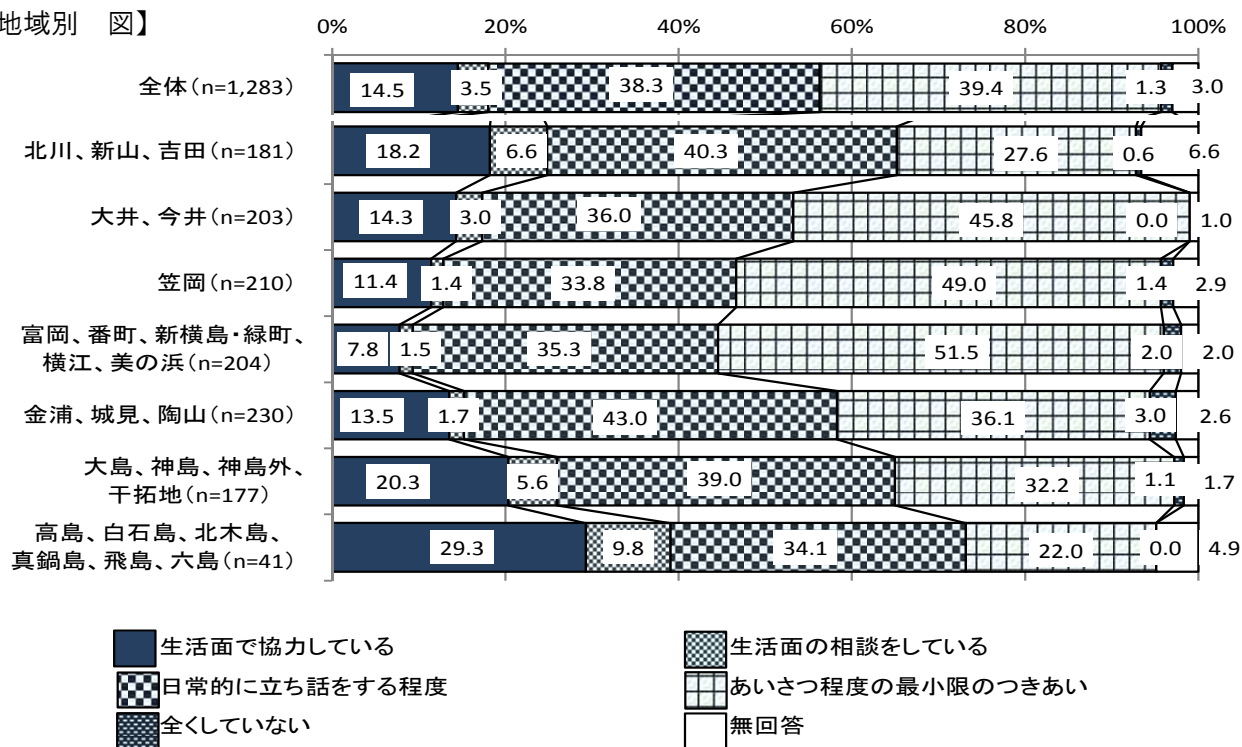
年齢別にみると、「18、19歳」から「70歳以上」にかけて年齢が上がるにつれて「日常的に立ち話をする程度」が高くなっており、「あいさつ程度の最小限のつきあい」が低くなっています。

【年齢別 図】



居住地域別にみると、「北川、新山、吉田」(40.3%)、「金浦、城見、陶山」(43.0%)、「大島、神島、神島外、干拓地」(39.0%)、「高島、白石島、北木島、真鍋島、飛島、六島」(34.1%)は他の地域に比べて「日常的に立ち話をする程度」が高くなっており、それ以外の地域は「あいさつ程度の最小限のつきあい」が高くなっています。

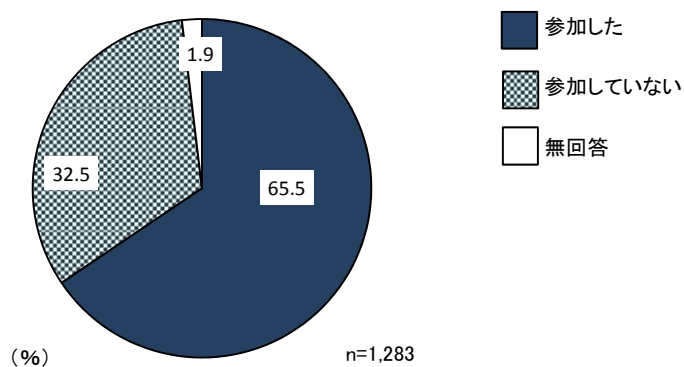
【居住地域別 図】



(34)あなたは、最近1年間で自治会・町内会の活動や市民活動に参加しましたか。

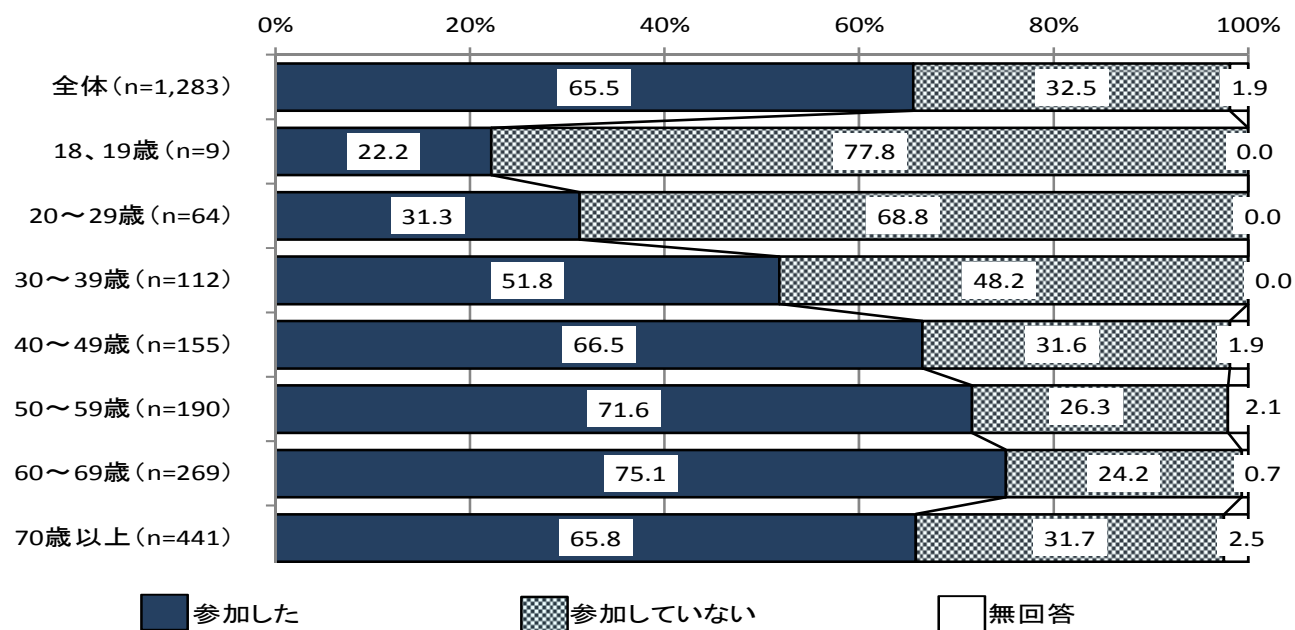
最近1年間で自治会・町内会の活動や市民活動に参加しましたかについて、「参加した」が65.5%、「参加していない」が32.5%となっています。

【全体 図】



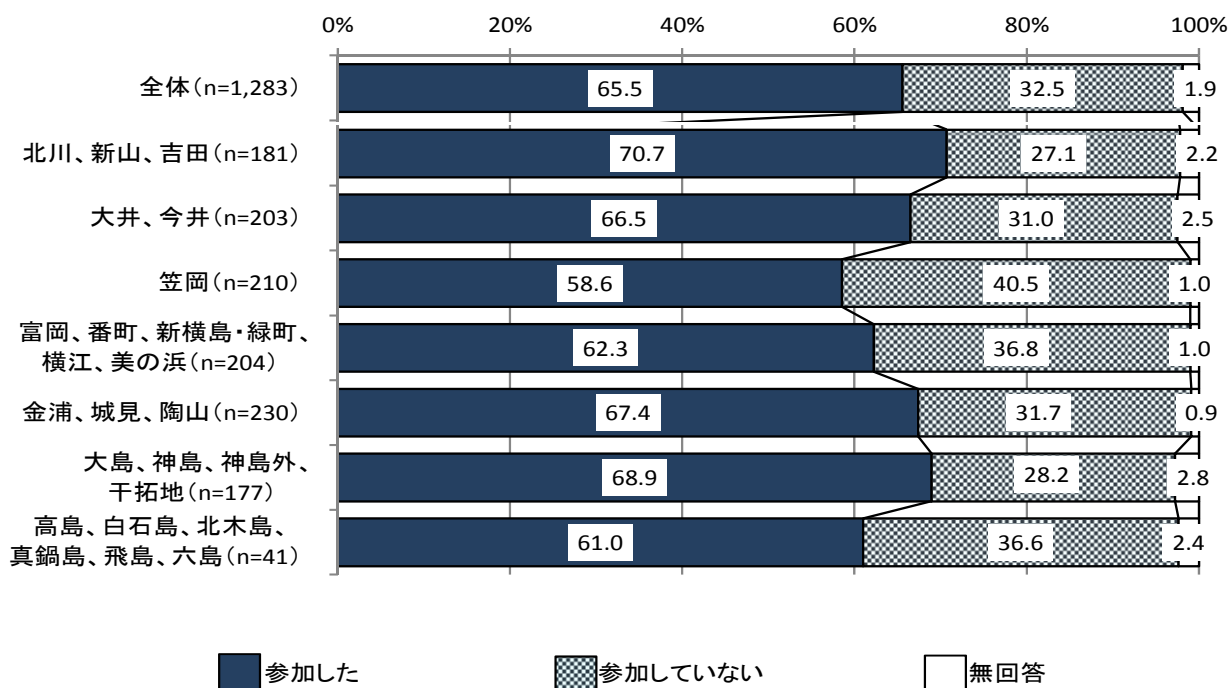
年齢別にみると、「18、19歳」から「60～69歳」にかけて年齢が上がるにつれて「参加した」が高くなっています。

【年齢別 図】



居住地域別にみると、すべての地域において「参加した」が高くなっています。

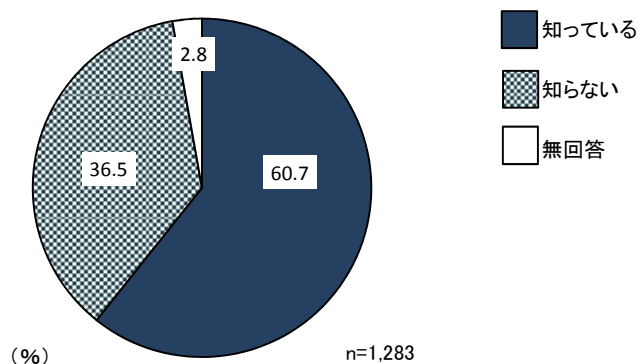
【居住地域別 図】



(35-1)あなたは、まちづくり協議会の存在をご存じですか。

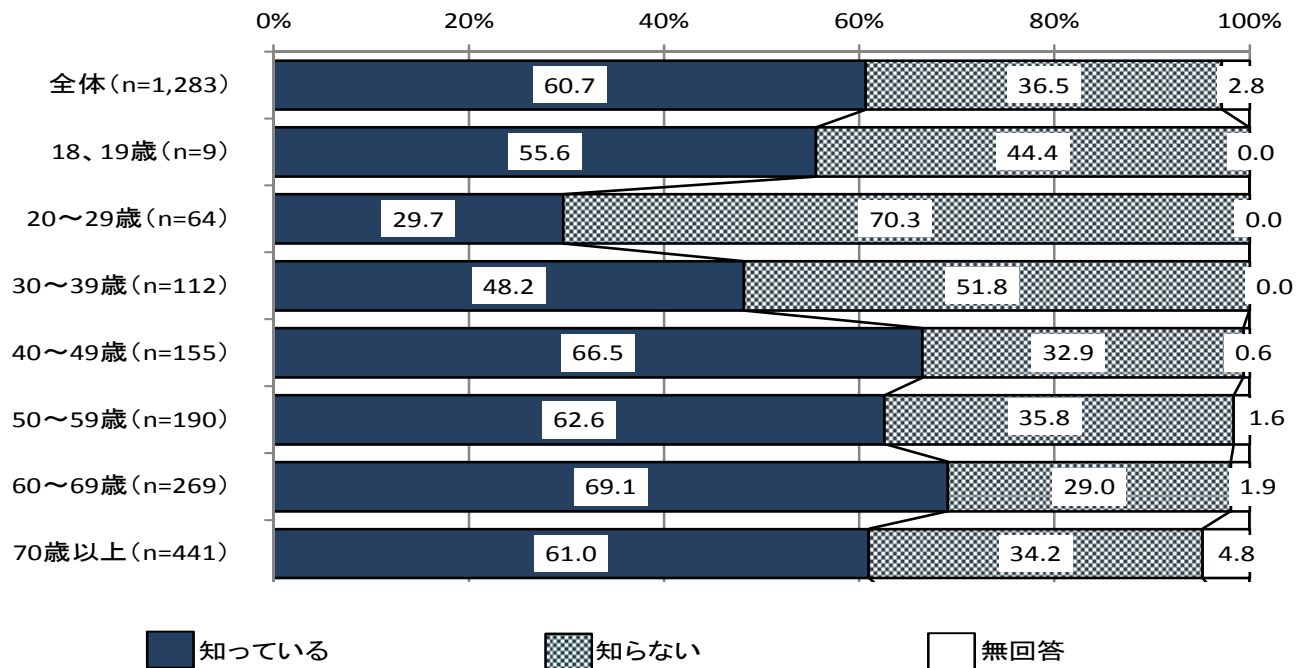
まちづくり協議会の存在をご存じですかについて、「知っている」が60.7%、「知らない」が36.5%となっています。

【全体 図】



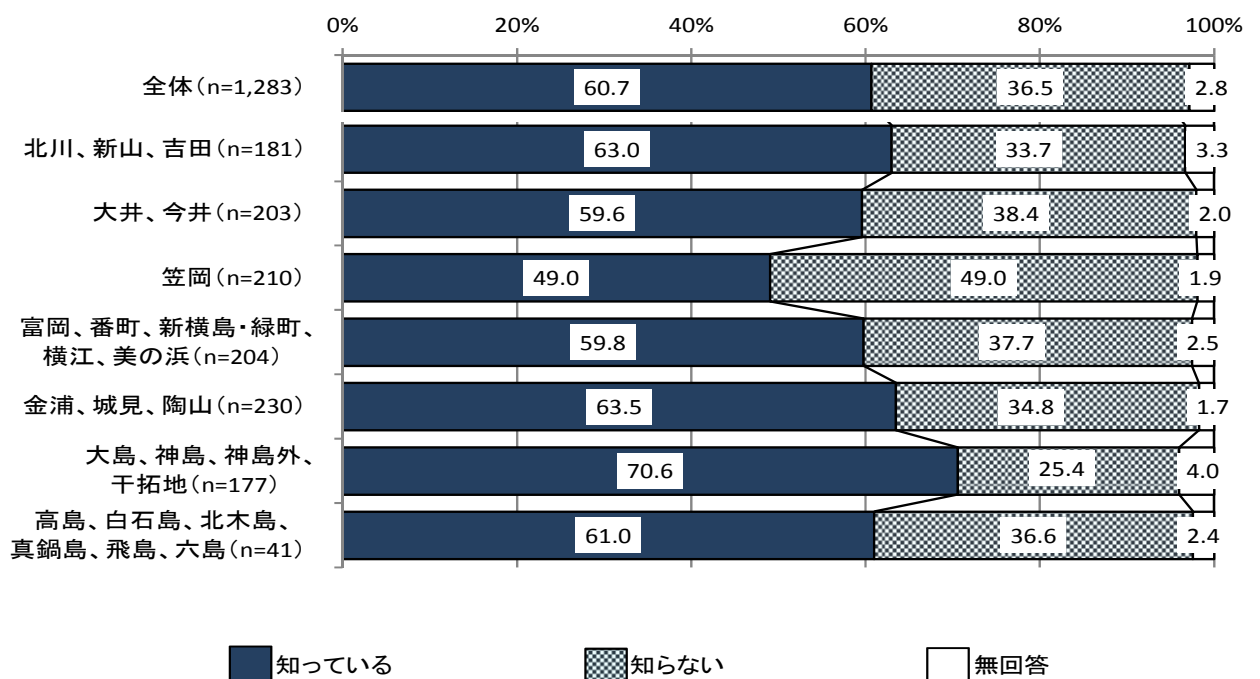
年齢別にみると、「20～29 歳」から「40～49 歳」にかけて年齢が上がるにつれて「知っている」が高くなっています。

【年齢別 図】



居住地域別にみると、すべての地域において「知っている」が高くなっています。なお、「笠岡」は「知っている」と「知らない」がともに（49.0%）となっています。

【居住地域別 図】

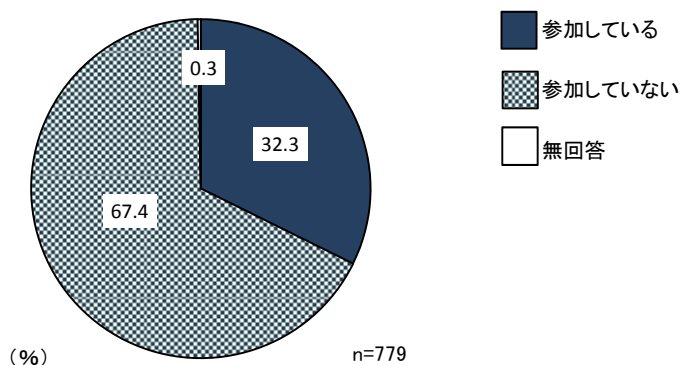


《(35-1)で「1. 知っている」を選んだ方に伺います。》

(35-2)現在、あなたの地域のまちづくり協議会の活動に参加していますか。

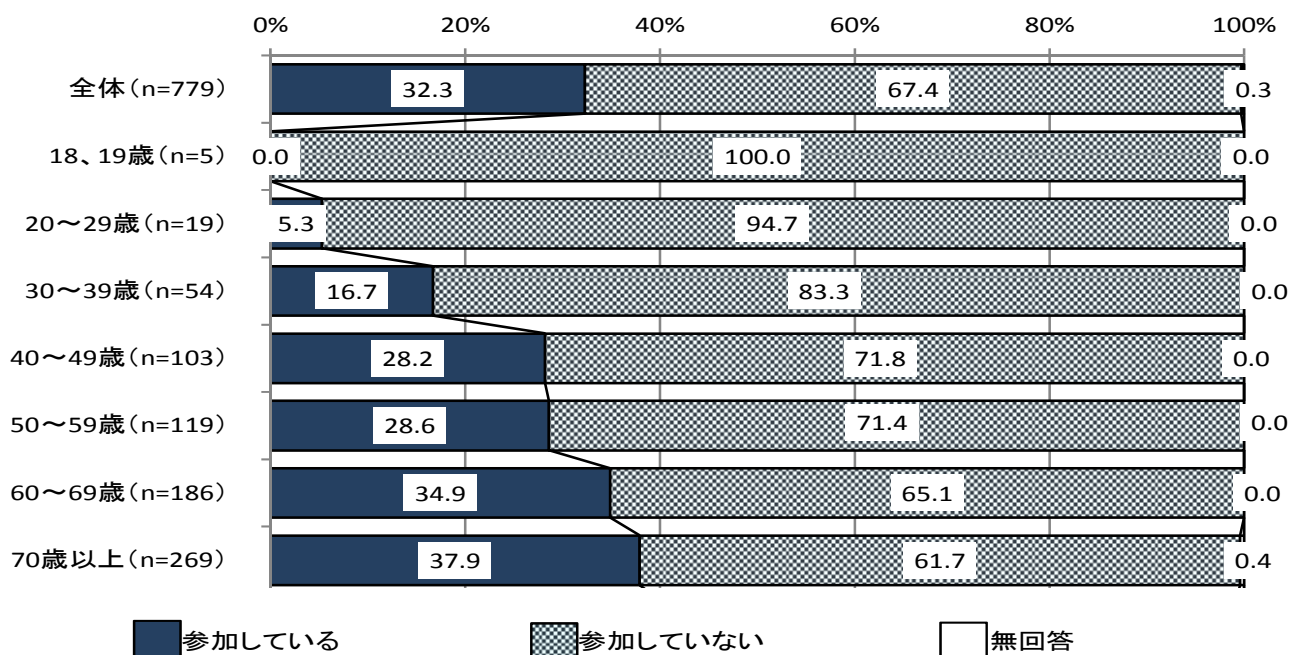
現在、あなたの地域のまちづくり協議会の活動に参加していますかについて、「参加している」が32.3%、「参加していない」が67.4%となっています。

【全体 図】



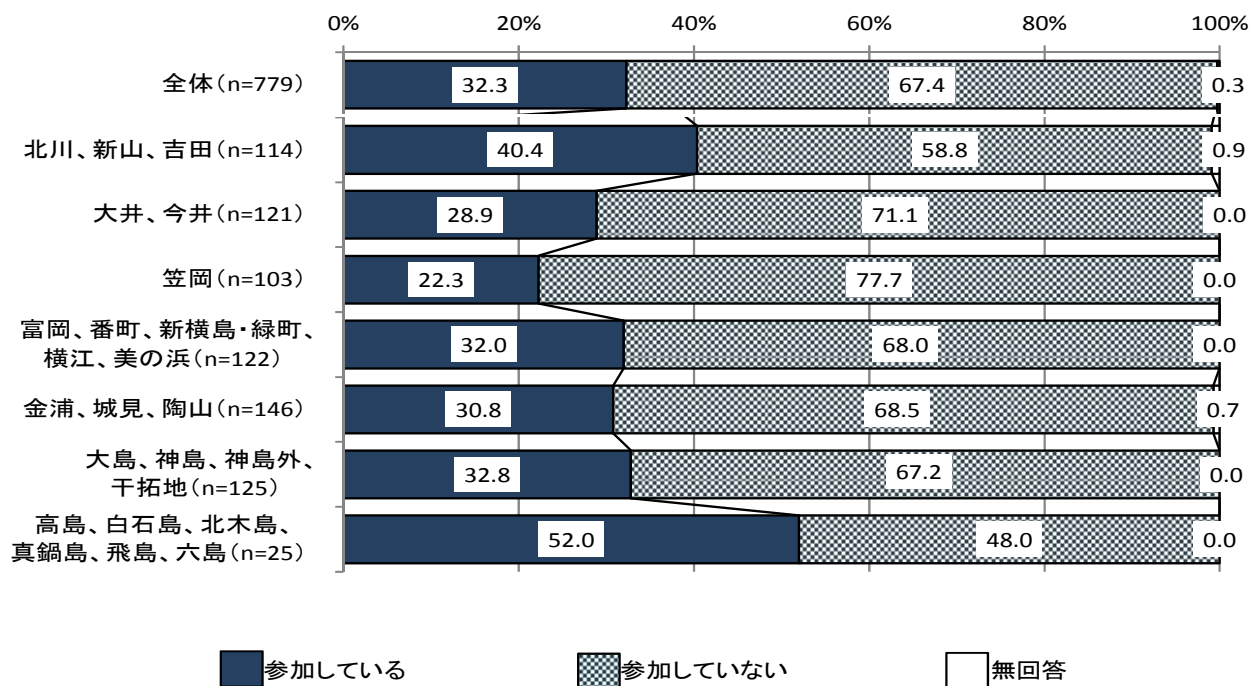
年齢別にみると、「20～29 歳」から「70 歳以上」にかけて年齢が上がるにつれて「参加している」が高くなっています。

【年齢別 図】



居住地域別にみると、「高島、白石島、北木島、真鍋島、飛島、六島」(52.0%)は他の地域に比べて「参加している」が高くなっており、それ以外の地域は「参加していない」が高くなっています。

【居住地域別 図】

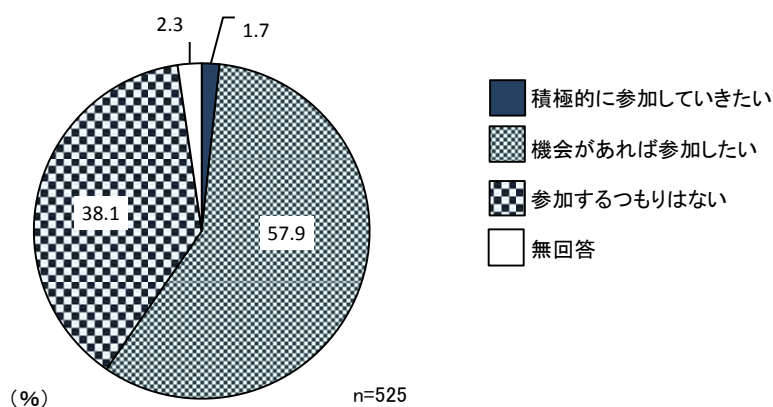


《(35-2)で「2. 参加していない」を選んだ方に伺います。》

(35-3)今後、地域のまちづくり協議会の活動に参加しようと思いますか。

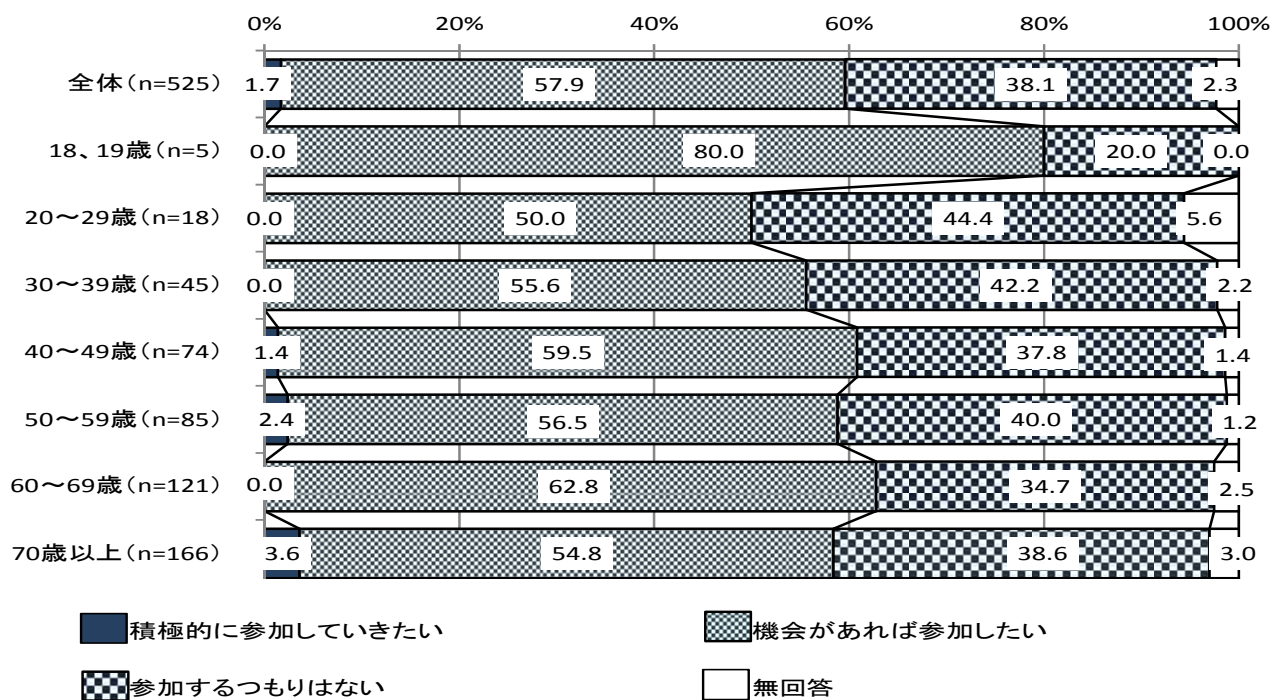
今後、地域のまちづくり協議会の活動に参加しようと思いますかについて、「機会があれば参加したい」と回答した割合が57.9%と最も高くなっています。ついで、「参加するつもりはない」が38.1%、「積極的に参加していきたい」が1.7%となっています。

【全体 図】



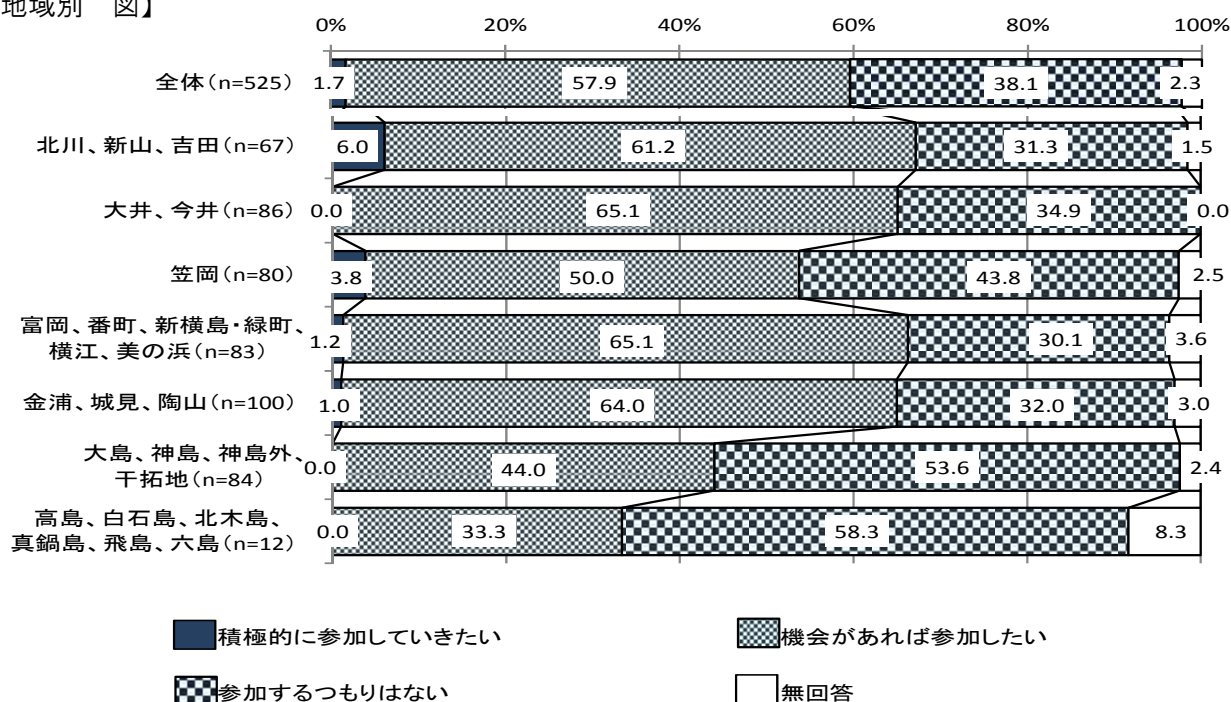
年齢別にみると、「20～29 歳」から「40～49 歳」にかけて年齢が上がるにつれて「機会があれば参加したい」が高くなっています。

【年齢別 図】



居住地域別にみると、「大島、神島、神島外、干拓地」(53.6%)、「高島、白石島、北木島、真鍋島、飛島、六島」(58.3%) は他の地域に比べて「参加するつもりはない」が高くなっており、それ以外の地域は「機会があれば参加したい」が高くなっています。

【居住地域別 図】



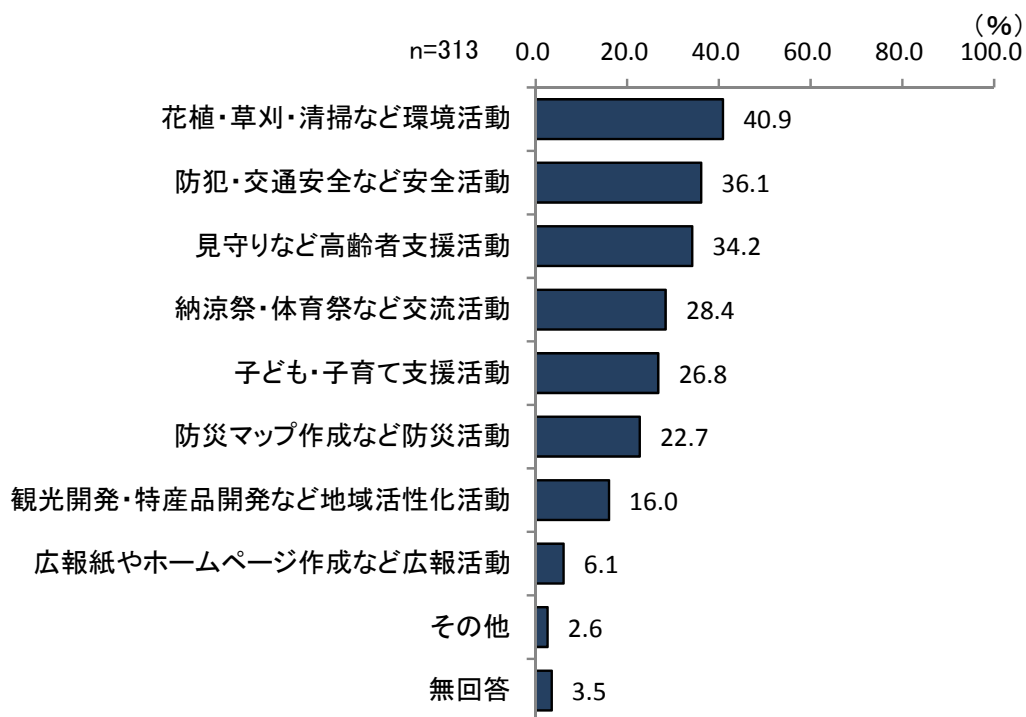
《(35-3)で「1. 積極的に参加していきたい」「2. 機会があれば参加したい」を選んだ方に伺います》

(35-4)今後、参加したい活動・取り組んでほしい活動は、具体的にどんな活動ですか。

あてはまる番号全てに○をつけてください。

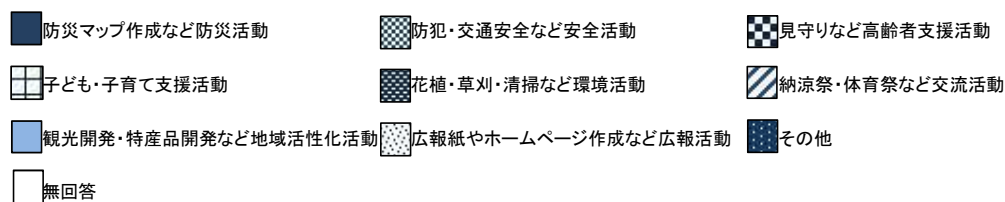
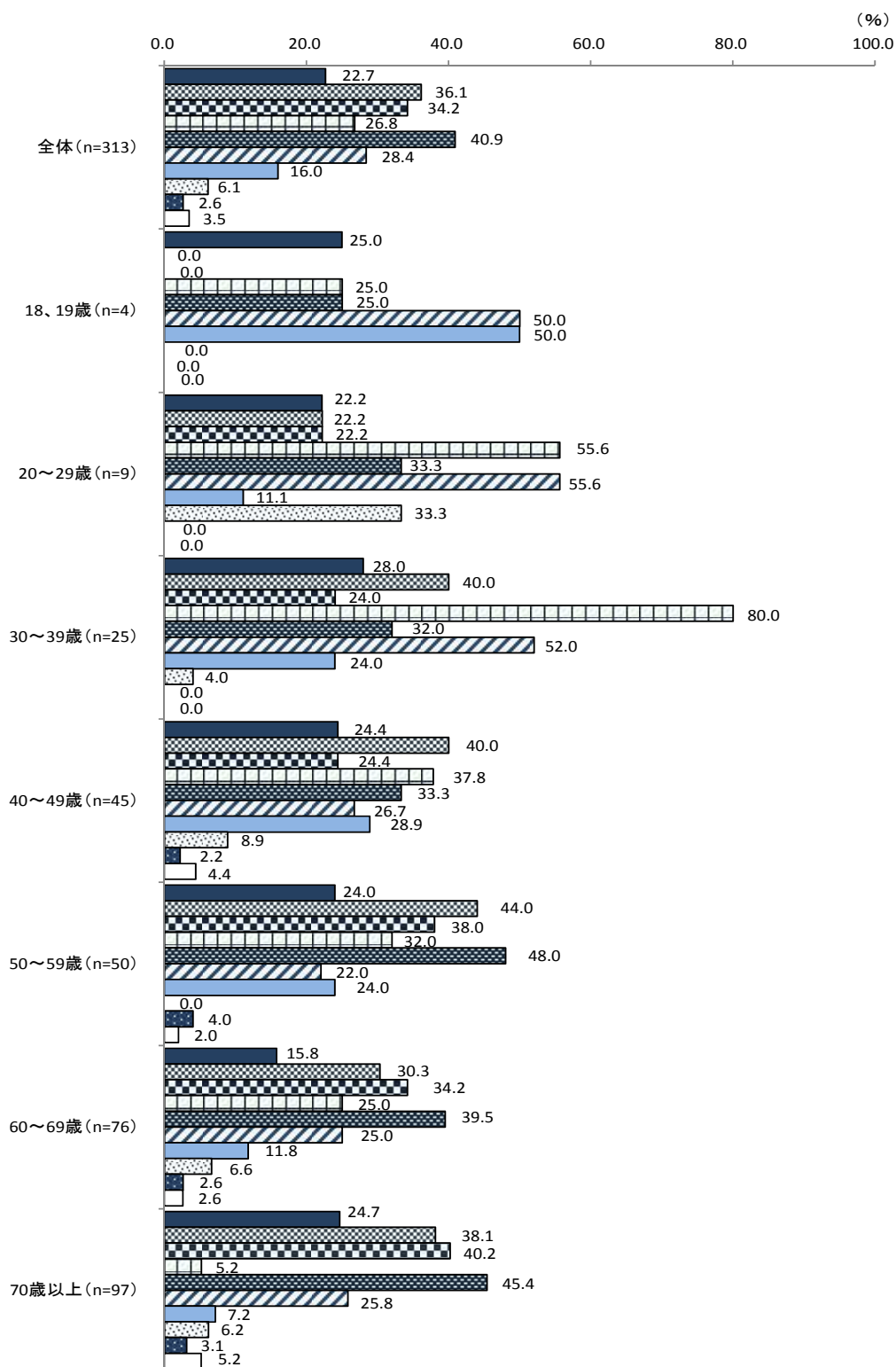
今後、参加したい活動・取り組んでほしい活動は、具体的にどんな活動ですかについて、「花植・草刈・清掃など環境活動」と回答した割合が40.9%と最も高くなっています。ついで、「防犯・交通安全など安全活動」が36.1%、「見守りなど高齢者支援活動」が34.2%となっています。

【全体 図】

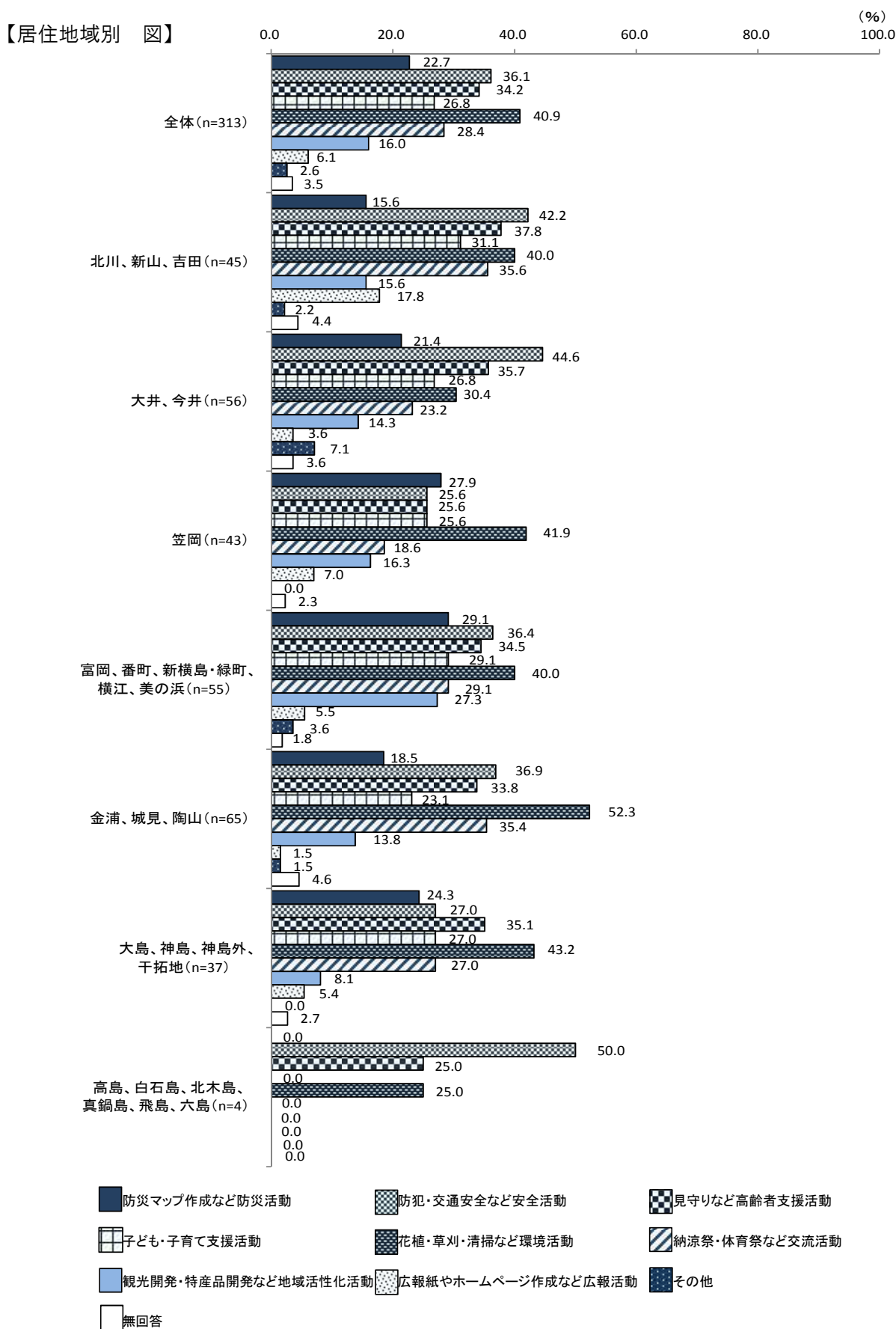


年齢別にみると、「30～39 歳」から「70 歳以上」にかけて年齢が上がるにつれて「子ども・子育て支援活動」が低くなっています。

【年齢別 図】



居住地域別にみると、「北川、新山、吉田」(42.2%)、「大井、今井」(44.6%)、「高島、白石島、北木島、真鍋島、飛島、六島」(50.0%)は他の地域に比べて「防犯・交通安全など安全活動」が高くなっており、それ以外の地域は「花植・草刈・清掃など環境活動」が高くなっています。

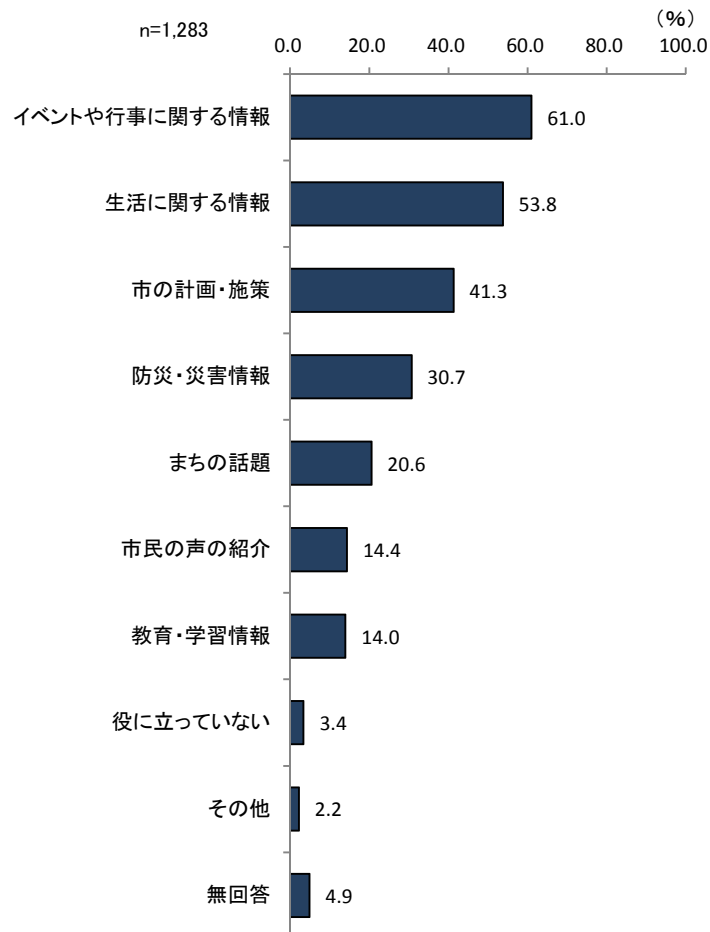


(36-1)広報かさおか(笠岡市の広報紙)では、どのような情報が役に立っていますか。

あてはまる番号全てに○をつけてください。

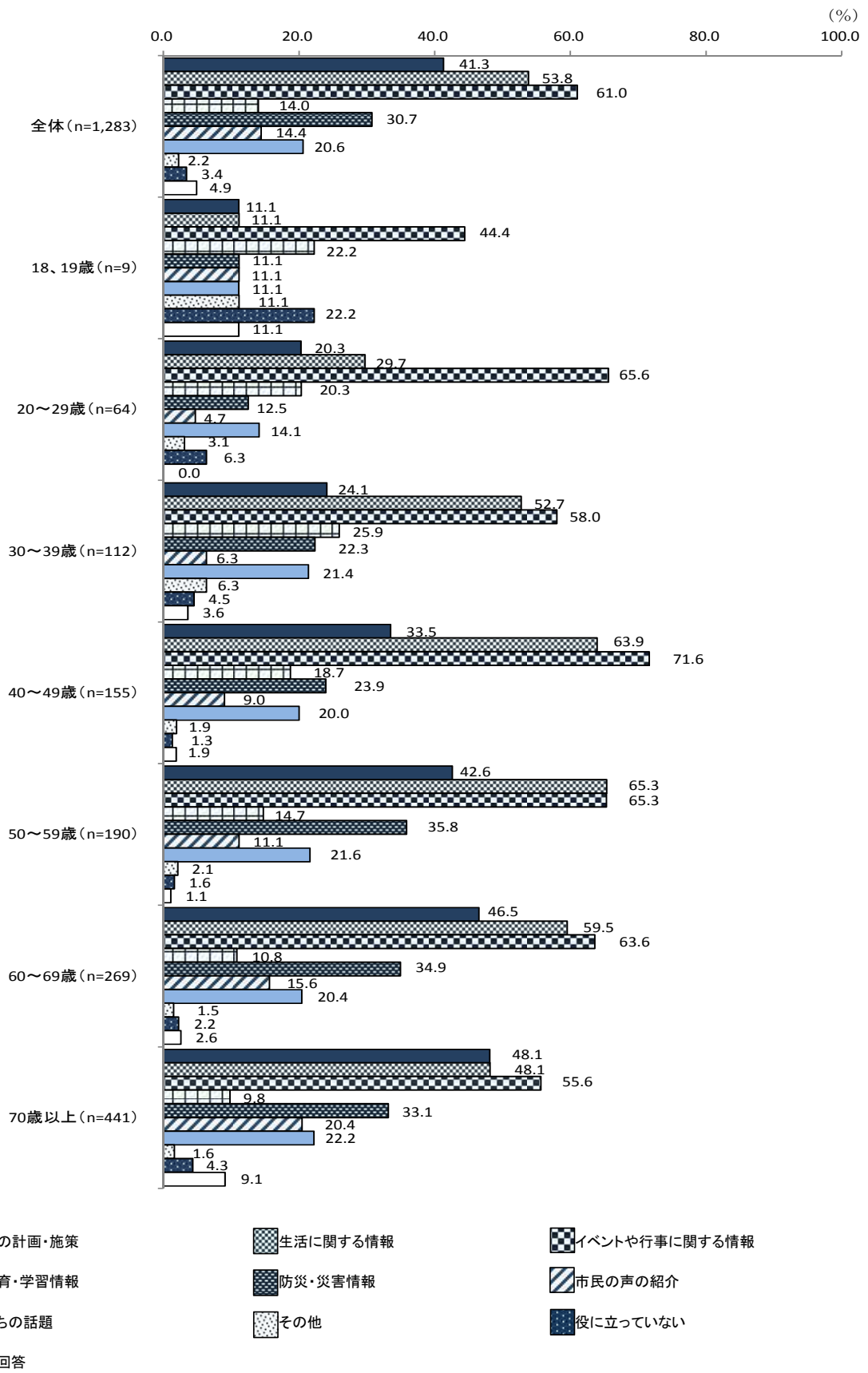
広報かさおか(笠岡市の広報紙)では、どのような情報が役に立っていますかについて、「イベントや行事に関する情報」と回答した割合が61.0%と最も高くなっています。ついで、「生活に関する情報」が53.8%、「市の計画・施策」が41.3%となっています。

【全体 図】



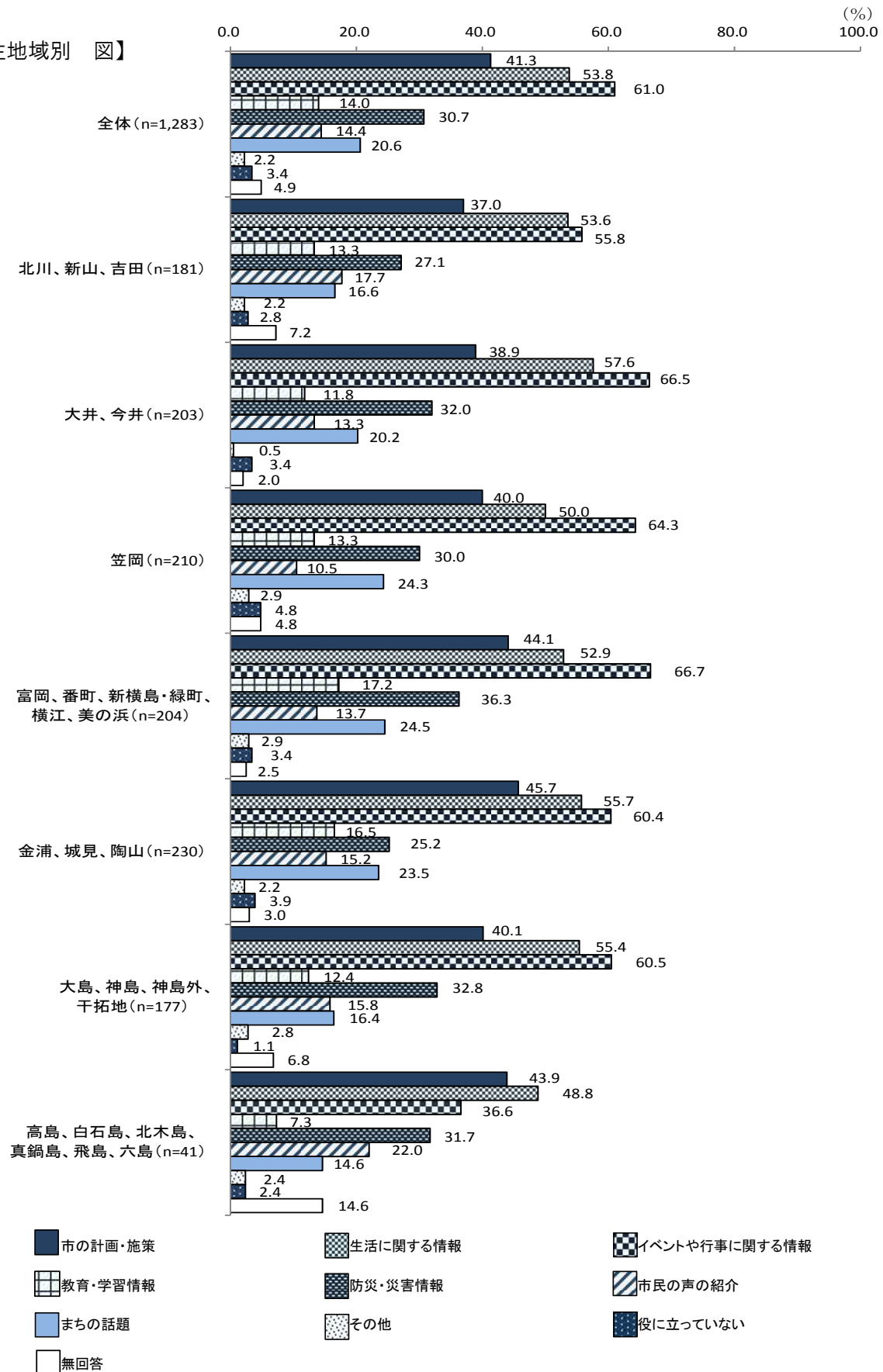
年齢別にみると、「18、19歳」から「70歳以上」にかけて年齢が上がるにつれて「市の計画・施策」が高くなっています。

【年齢別 図】



居住地域別にみると、「高島、白石島、北木島、真鍋島、飛島、六島」(48.8%)は他の地域に比べて「生活に関する情報」が低くなっており、それ以外の地域は「イベントや行事に関する情報」が高くなっています。

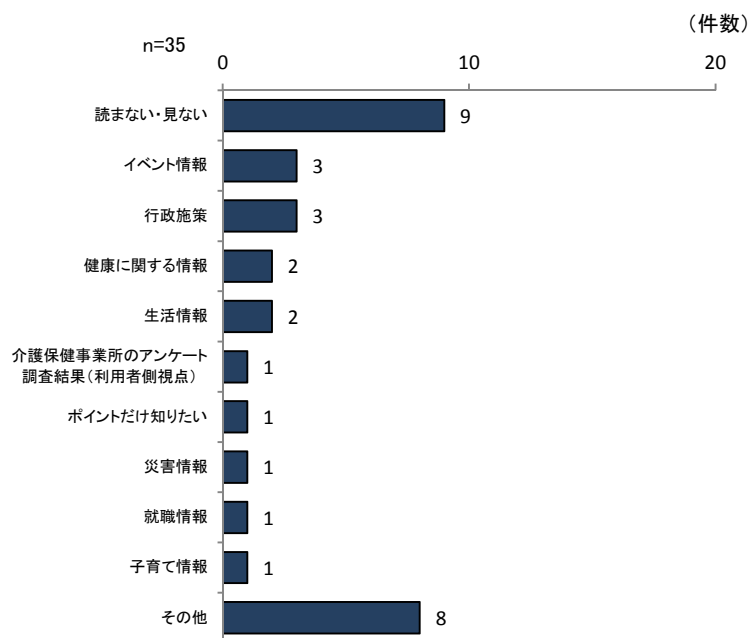
【居住地域別 図】



《(36-1)で「9.役に立っていない」を選んだ方に伺います。》

(36-2)どのような情報があれば役に立ちますか。ご自由にご記入ください。

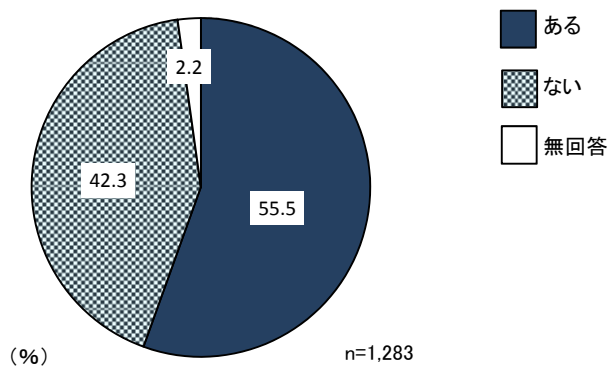
自由記述について、「読まない・見ない」に分類されるものが9件と最も高くなっています。ついで、「イベント情報」と「行政施策」がともに3件、「健康に関する情報」と「生活情報」がともに2件となっています。



(37-1)あなたは、インターネットを利用できる環境にありますか。

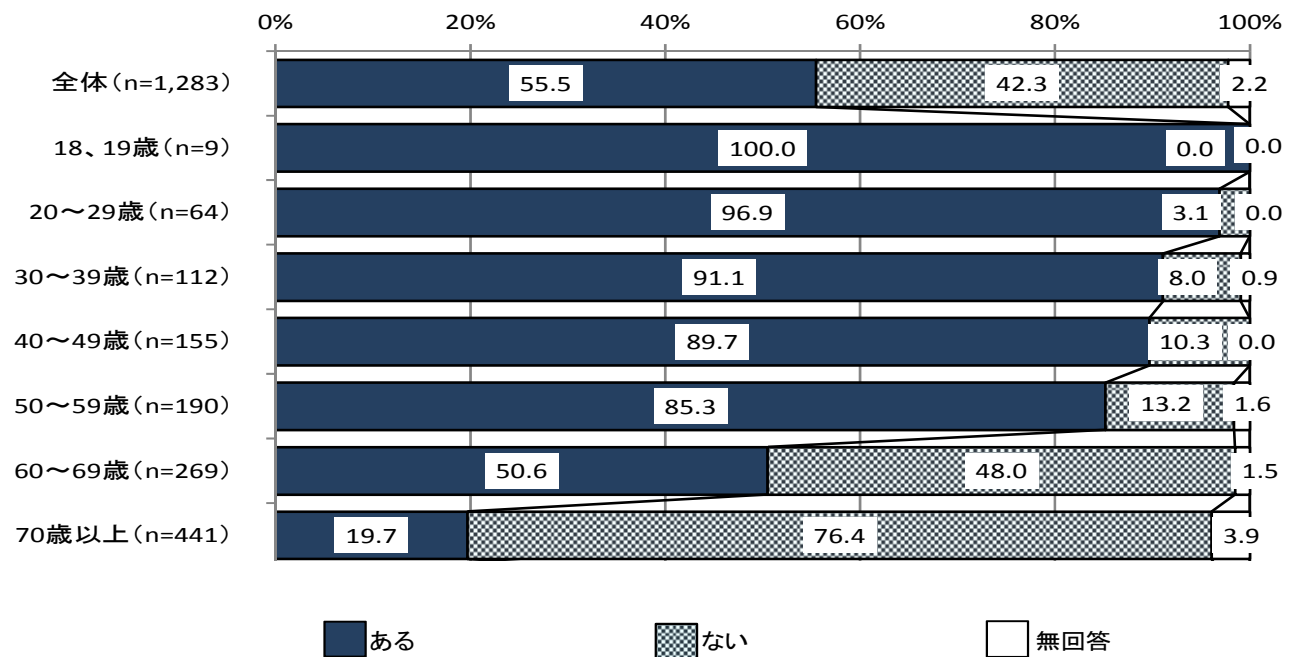
インターネットを利用できる環境にありますかについて、「ある」が55.5%、「ない」が42.3%となっています。

【全体 図】



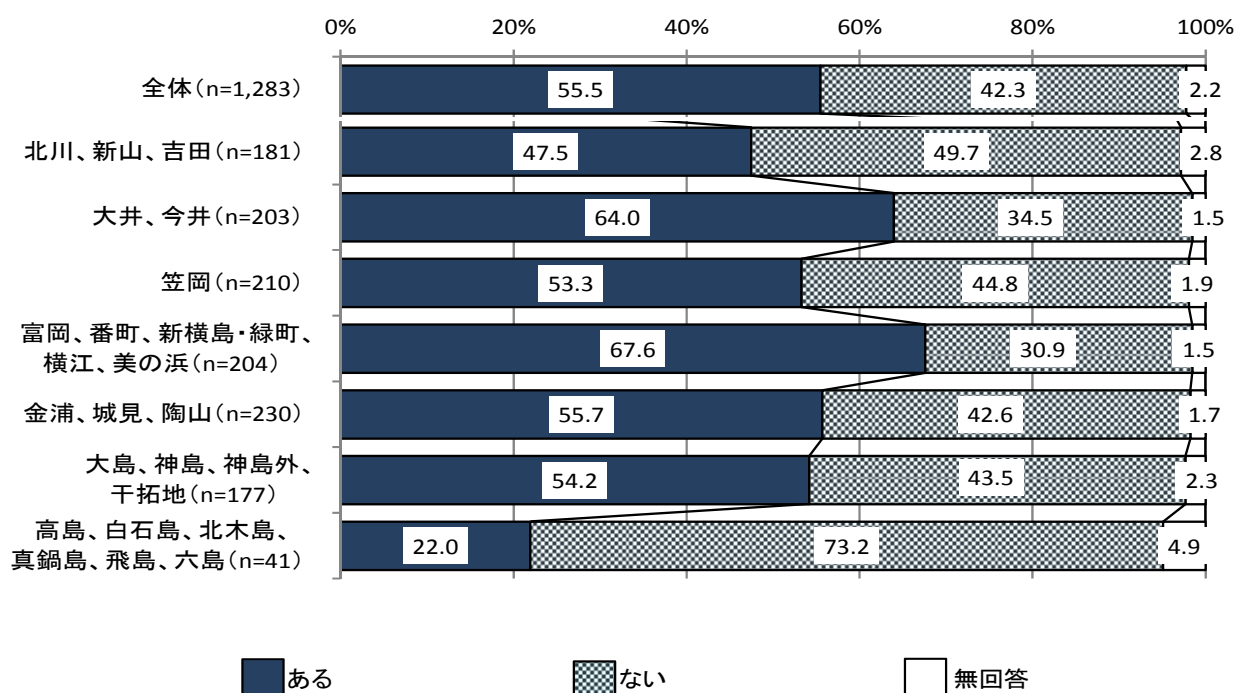
年齢別にみると、「18、19歳」から「70歳以上」にかけて年齢が上がるにつれて「ある」が低くなっています。

【年齢別 図】



居住地域別にみると、「北川、新山、吉田」(49.7%)、「高島、白石島、北木島、真鍋島、飛島、六島」(73.2%)は他の地域に比べて「ない」が高くなっており、それ以外の地域は「ある」が高くなっています。

【居住地域別 図】



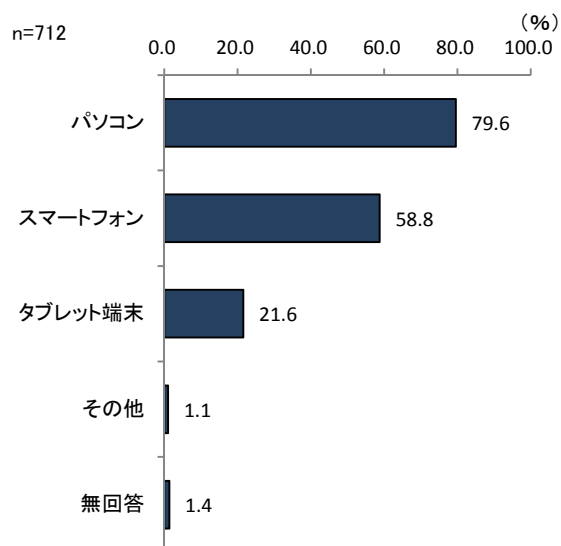
《(37-1)で「1. ある」を選んだ方に伺います。》

(37-2)インターネットを利用する時に使う機器は、どれですか。

あてはまる番号全てに○をしてください。

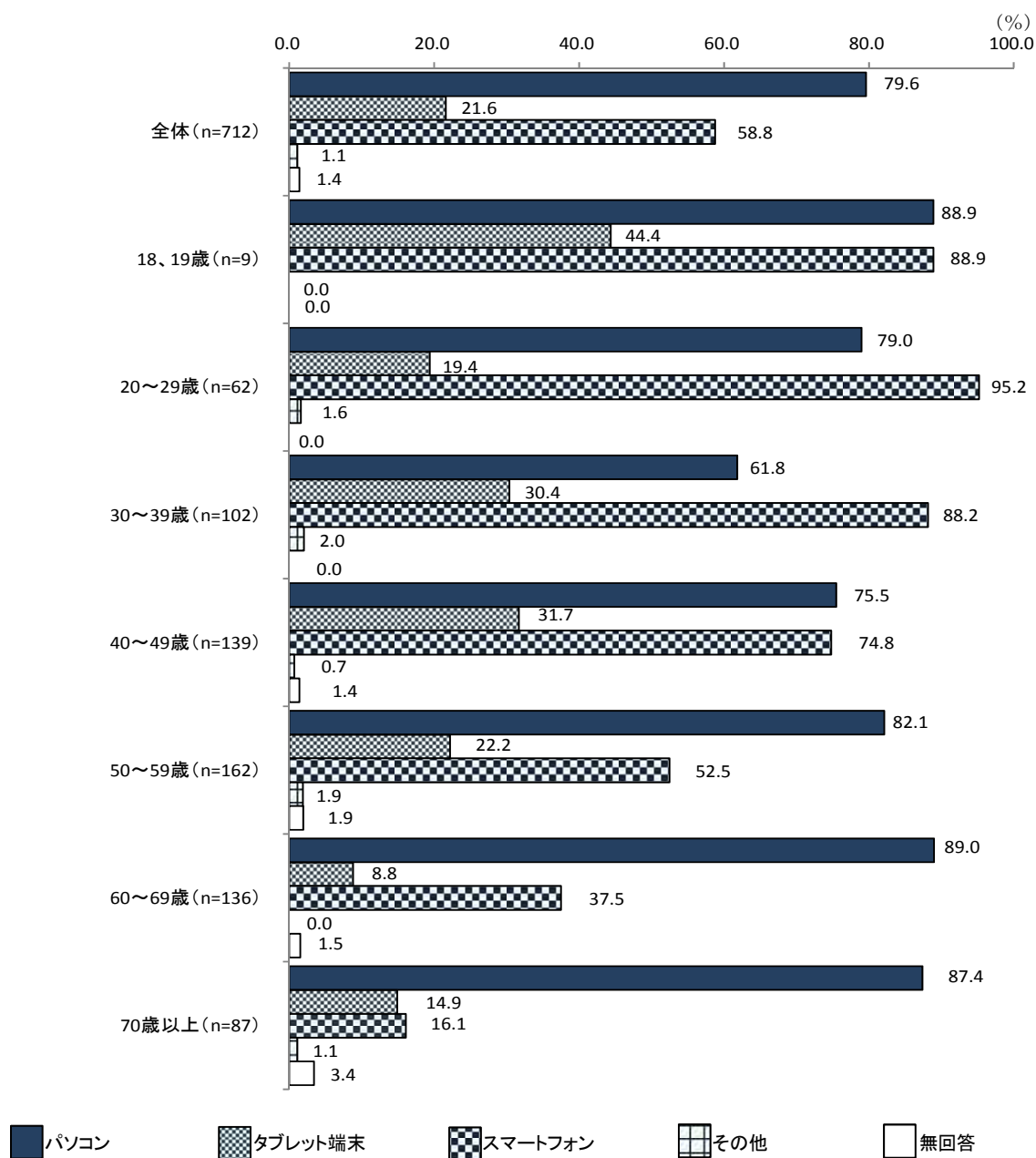
インターネットを利用する時に使う機器について、「パソコン」と回答した割合が79.6%と最も高くなっています。ついで、「スマートフォン」が58.8%、「タブレット端末」が21.6%となっています。

【全体 図】



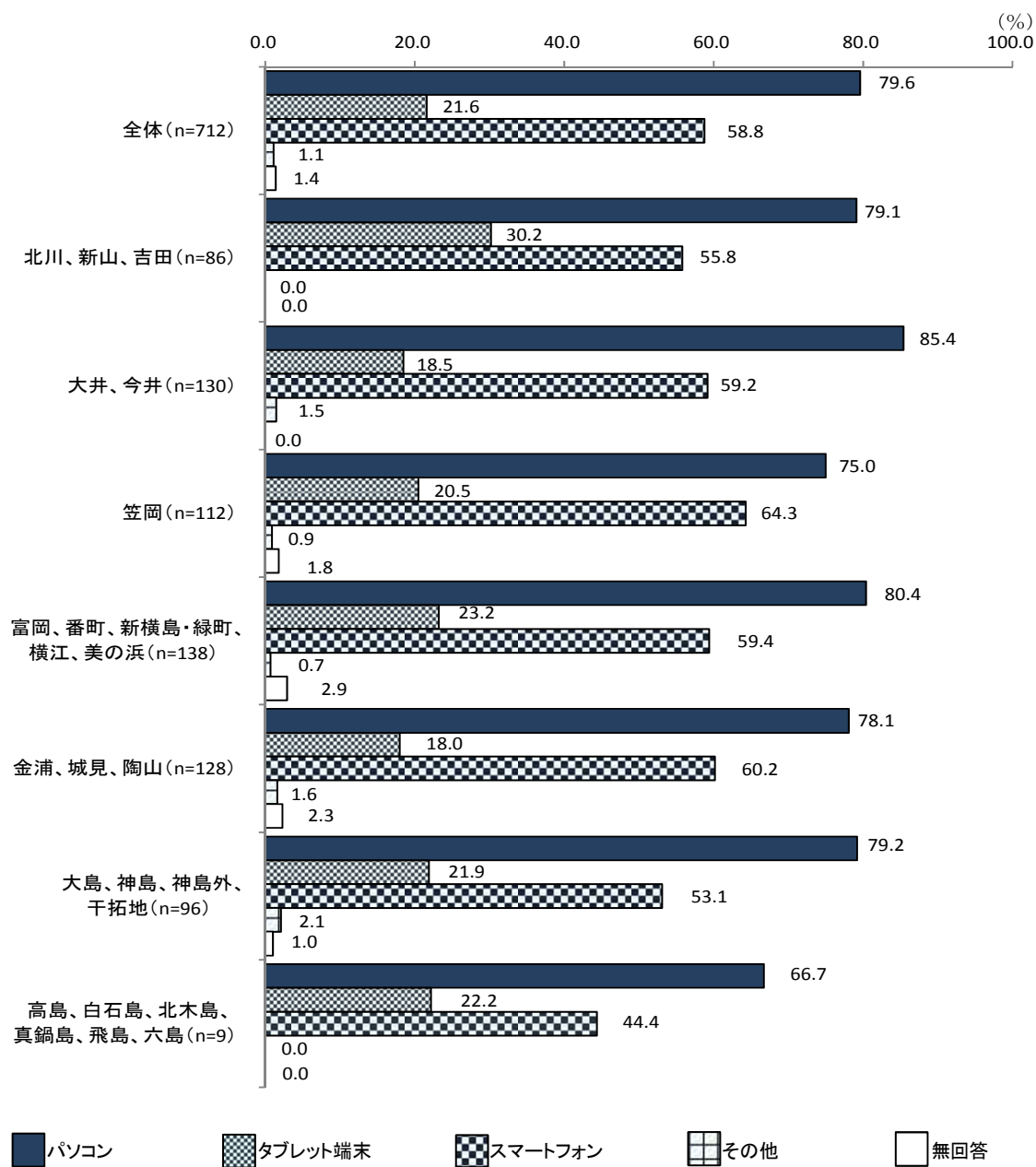
年齢別にみると、「20～29 歳」から「70 歳以上」にかけて年齢が上がるにつれて「スマートフォン」が低くなっています。

【年齢別 図】



居住地域別にみると、すべての地域において「パソコン」が高くなっています。

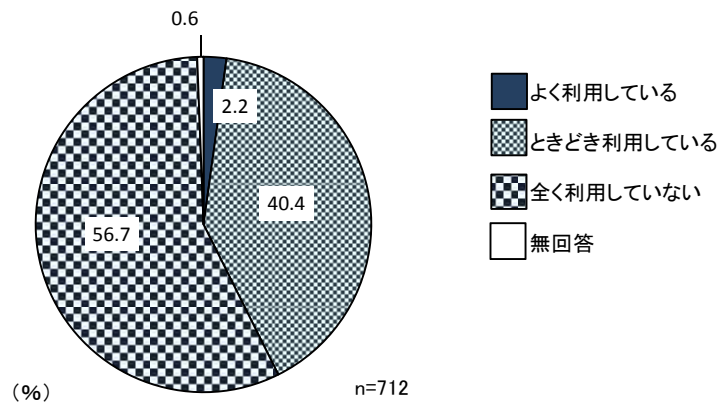
【居住地域別 図】



(37-3)あなたは、笠岡市のホームページをどの程度利用していますか。

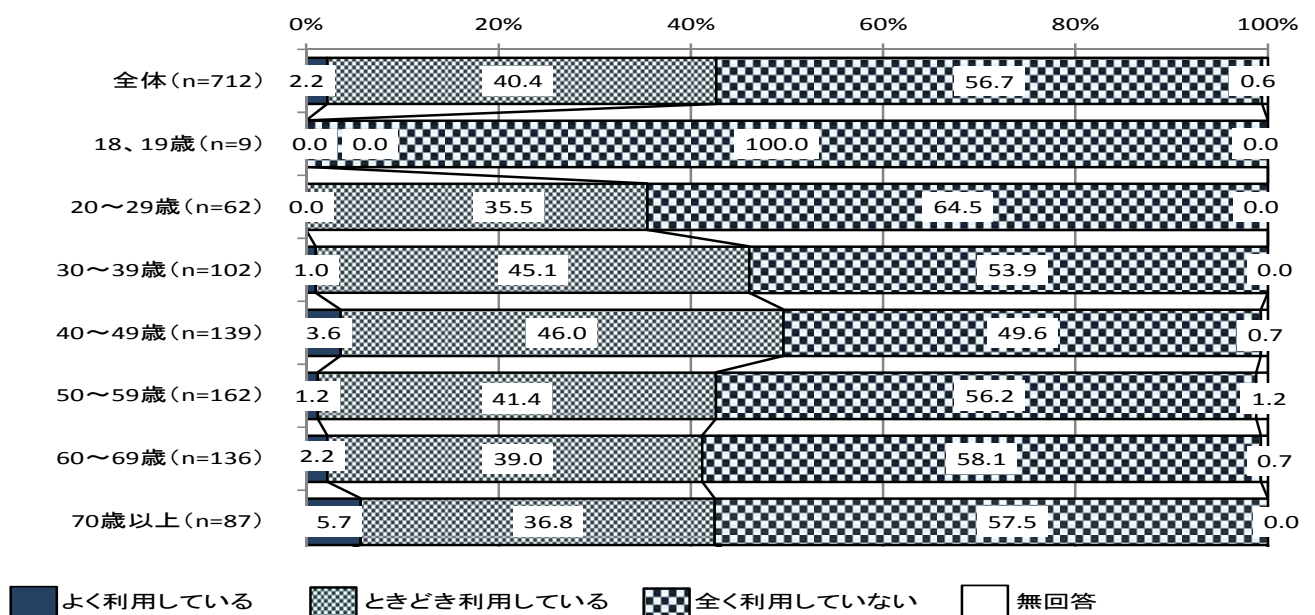
笠岡市のホームページをどの程度利用していますかについて、「全く利用していない」と回答した割合が56.7%と最も高くなっています。ついで、「ときどき利用している」が40.4%、「よく利用している」が2.2%となっています。

【全体 図】



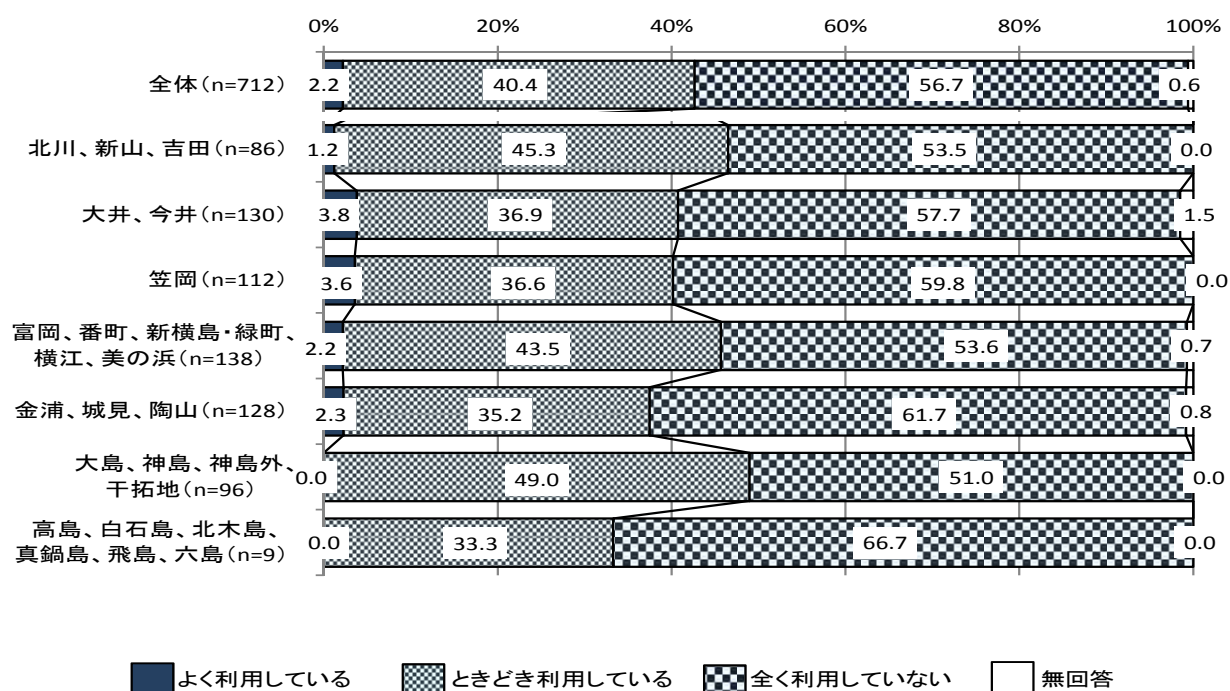
年齢別にみると、「40～49歳」から「70歳以上」にかけて年齢が上がるにつれて「ときどき利用している」が低くなっています。

【年齢別 図】



居住地域別にみると、すべての地域において「全く利用していない」が高くなっています。

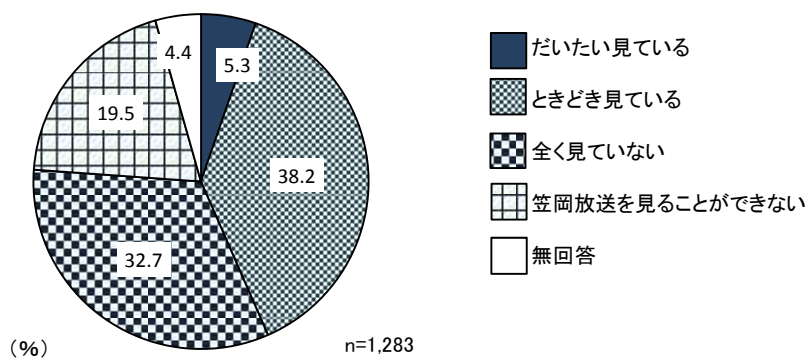
【居住地域別 図】



(38)あなたは、笠岡放送で放送している行政番組「テレビ広報かさおか」をどの程度見てますか。※年に5～6番組を放送。番組は笠岡市ホームページからもご覧いただけます。

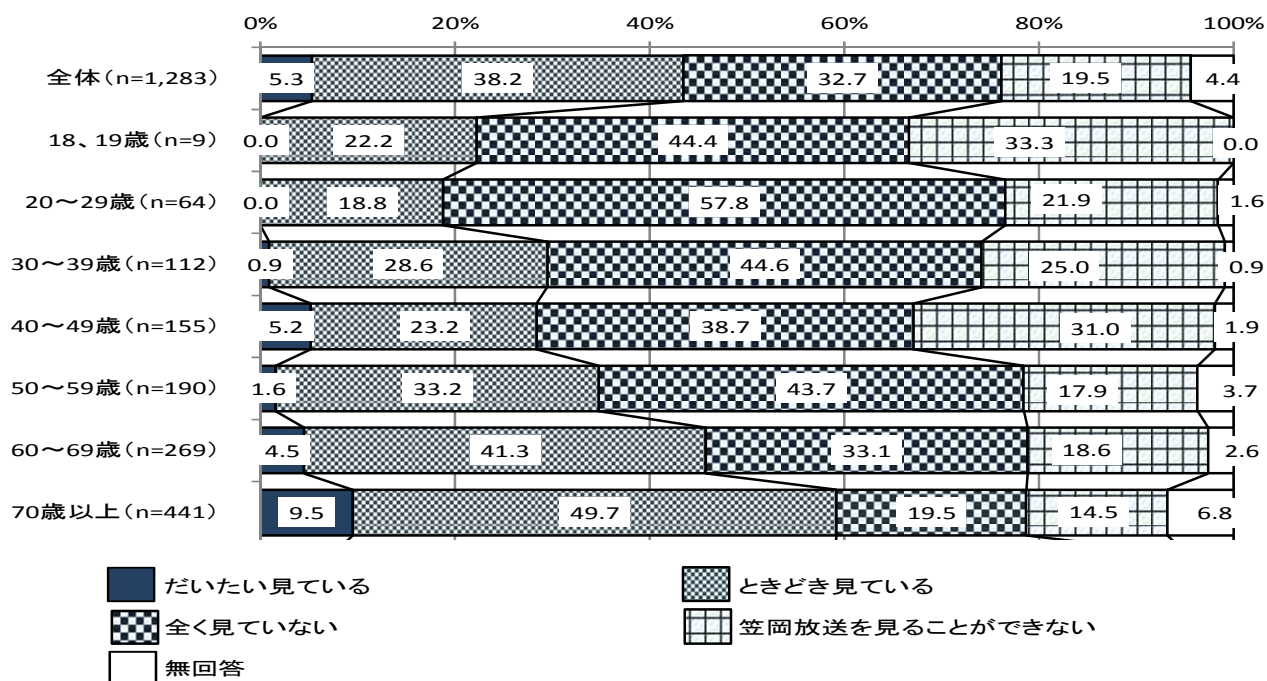
笠岡放送で放送している行政番組「テレビ広報かさおか」をどの程度見てますかについて、「ときどき見ている」と回答した割合が38.2%と最も高くなっています。ついで、「全く見ていない」が32.7%、「笠岡放送を見ることができない」が19.5%となっています。

【全体 図】



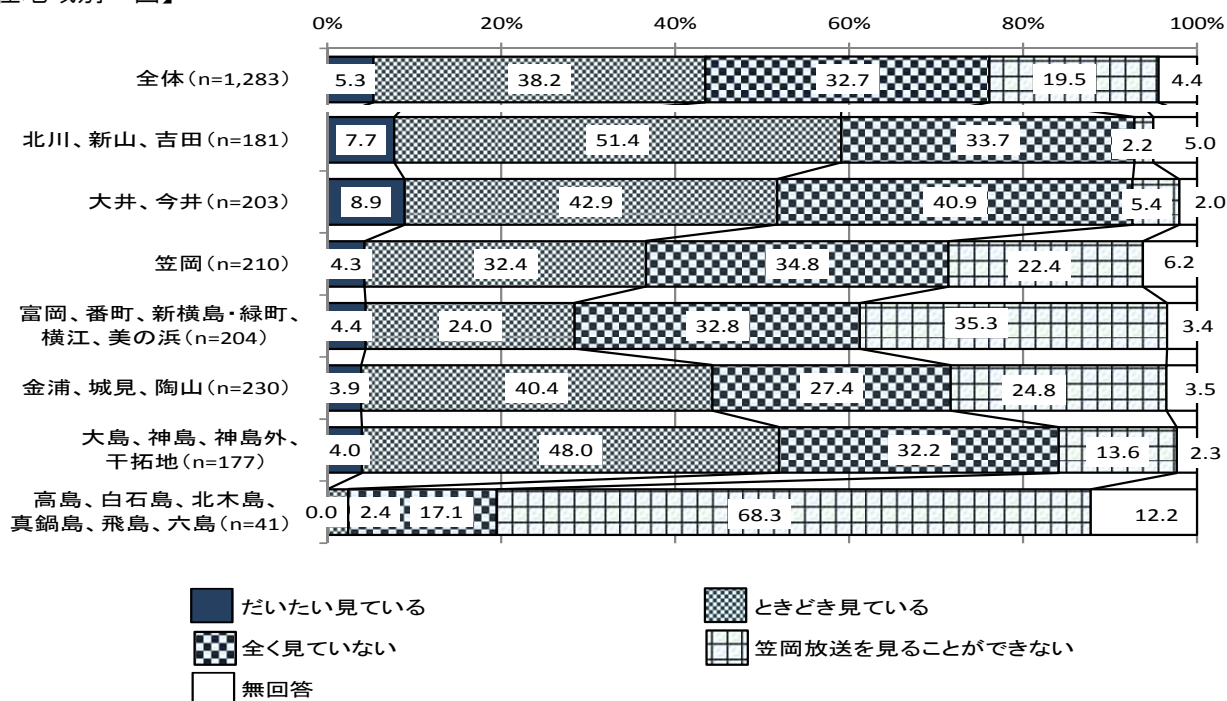
年齢別にみると、「40～49 歳」から「70 歳以上」にかけて年齢が上がるにつれて「ときどき見ている」が高くなっています。

【年齢別 図】



居住地域別にみると、「北川、新山、吉田」(51.4%)、「大井、今井」(42.9%)、「大島、神島、神島外、干拓地」(48.0%)、「金浦、城見、陶山」(40.4%)は、「ときどき見ている」が高くなっており、「笠岡」(34.8%)、「富岡、番町、新横島・緑町、横江、美の浜」(32.8%)は「全く見ていない」が高くなっており、「高島、白石島、北木島、真鍋島、飛島、六島」は、「笠岡放送を見ることができない」が高くなっています。

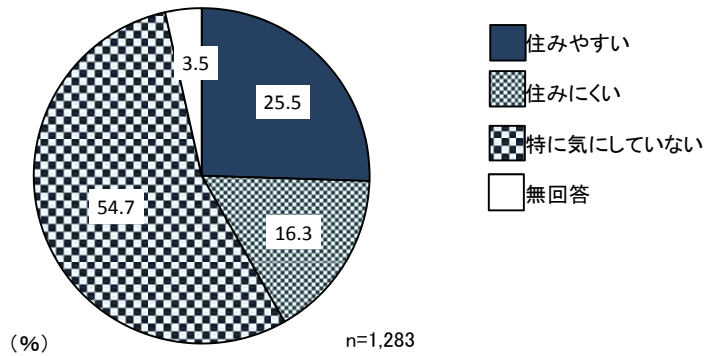
【居住地域別 図】



(39)あなたは、現在の笠岡市の住み心地についてどう思いますか。

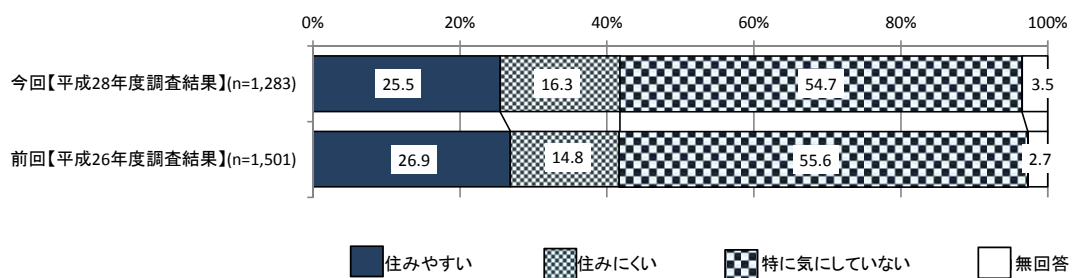
現在の笠岡市の住み心地についてどう思いますかについて、「特に気にしていない」と回答した割合が54.7%と最も高くなっています。ついで、「住みやすい」が25.5%、「住みにくい」が16.3%となっています。

【全体 図】



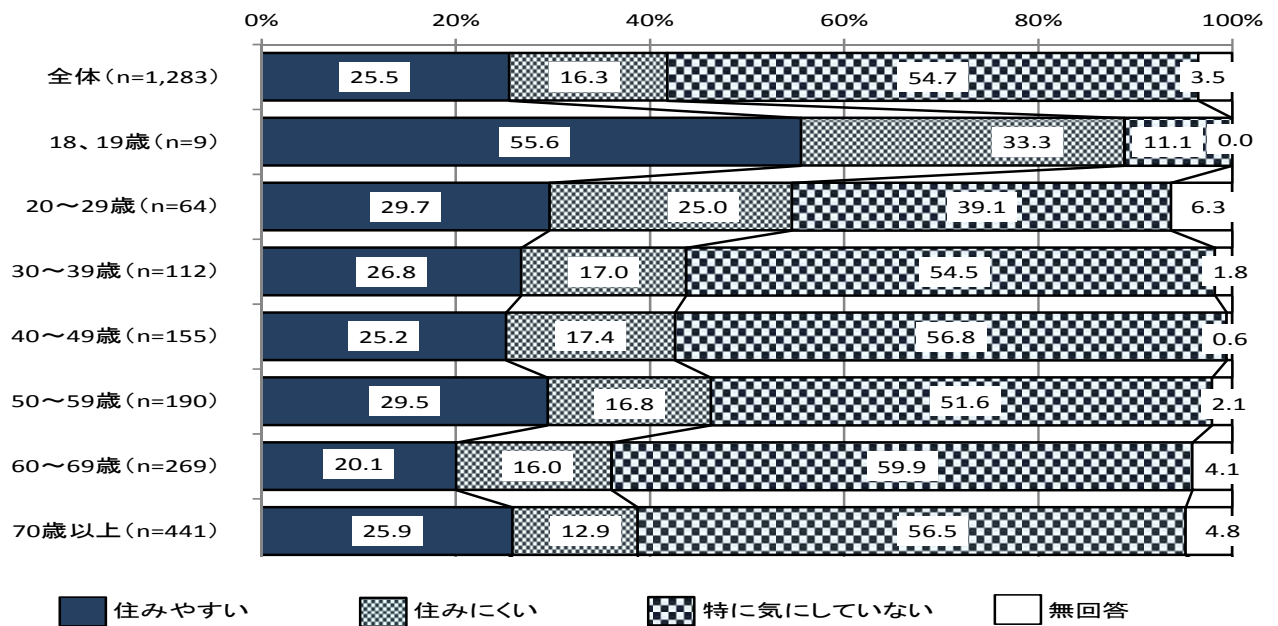
経年比較でみると、「今回【平成28年度調査結果】」と「前回【平成26年度調査結果】」では大きな差は見られません。

【経年比較 図】



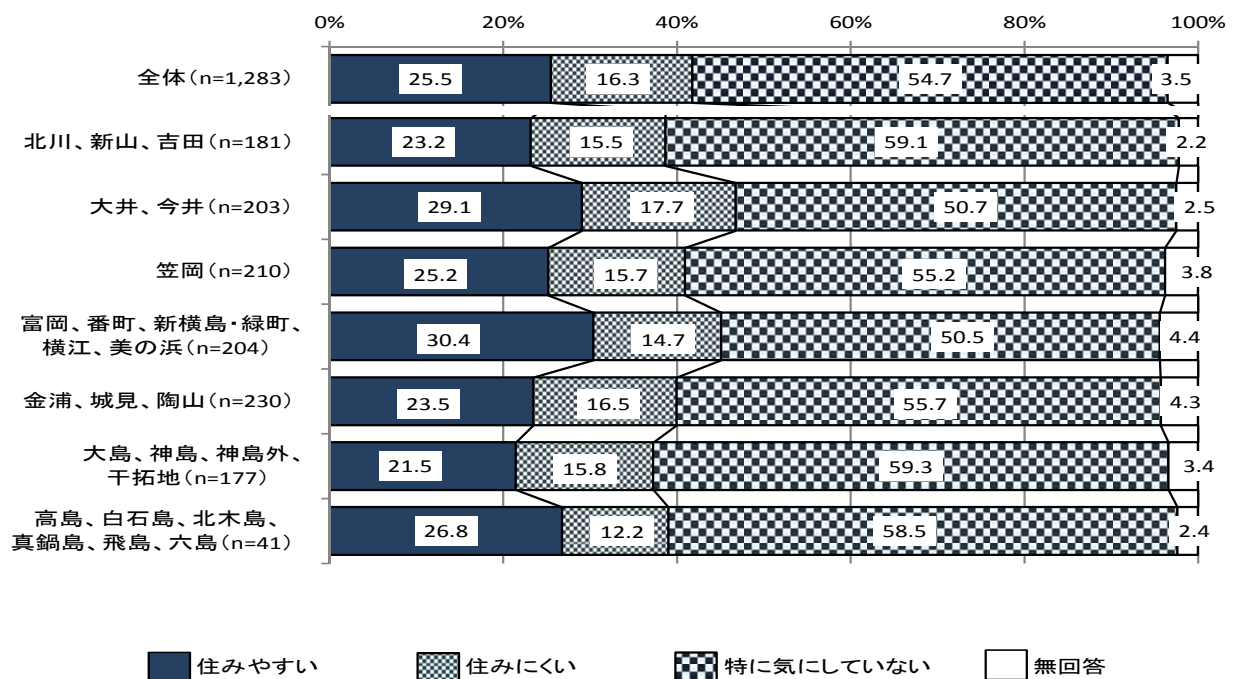
年齢別にみると、「40～49 歳」から「70 歳以上」にかけて年齢が上がるにつれて「住みにくい」が低くなっています。

【年齢別 図】



居住地域別にみると、すべての地域において「特に気にしていない」が高くなっています。

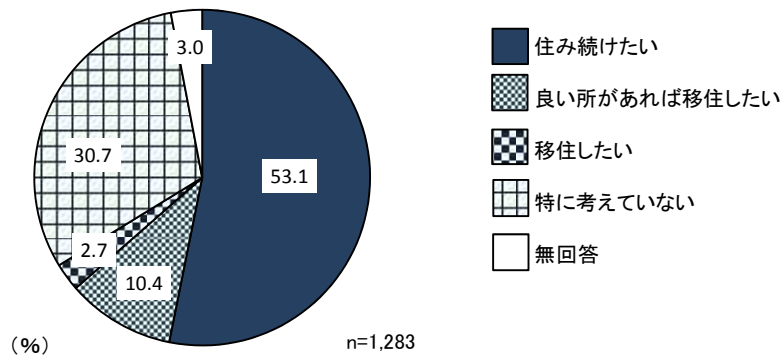
【居住地域別 図】



(40)あなたは、これからも笠岡市に住み続けたいですか。

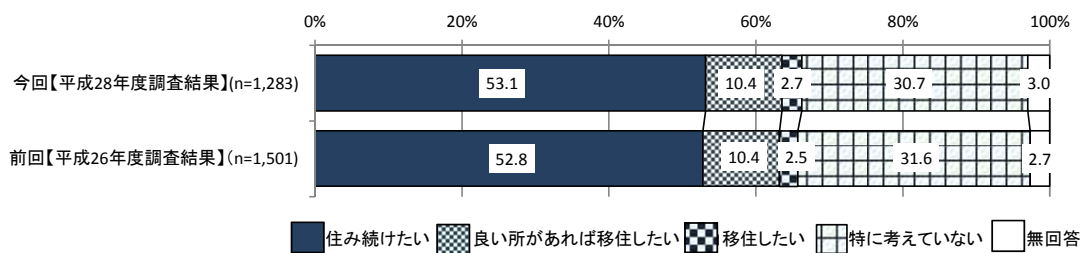
これからも笠岡市に住み続けたいですかについて、「住み続けたい」と回答した割合が53.1%と最も高くなっています。ついで、「特に考えていない」が30.7%、「良い所があれば移住したい」が10.4%となっています。

【全体 図】



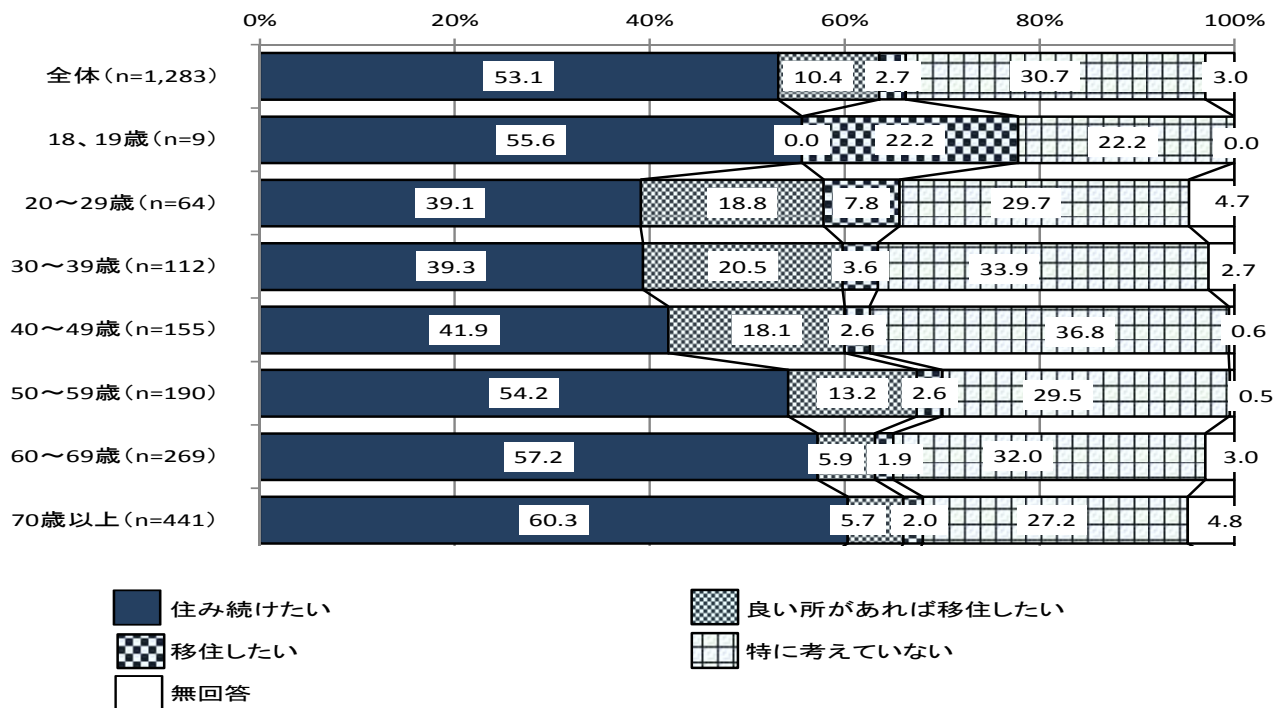
経年比較でみると、今回【平成28年度調査結果】と前回【平成26年度調査結果】では大きな差は見られません。

【経年比較 図】



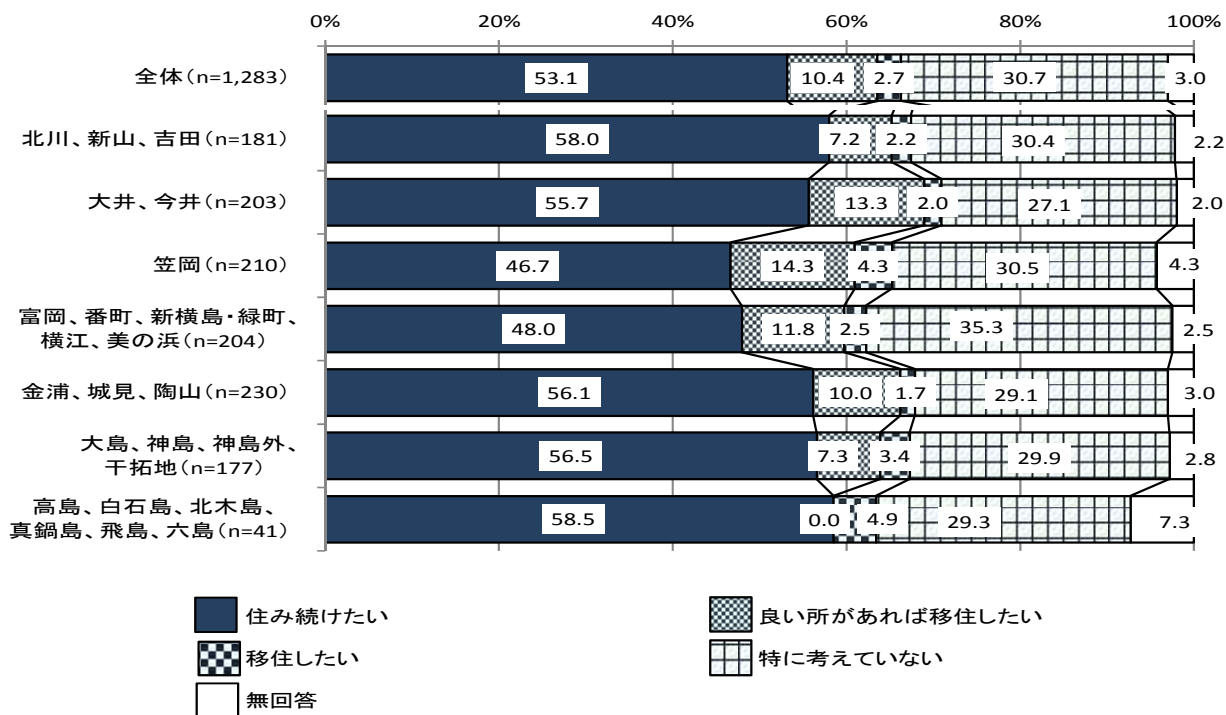
年齢別にみると、「20～29 歳」から「70 歳以上」にかけて年齢が上がるにつれて「住み続けたい」が高くなっています。

【年齢別 図】



居住地域別にみると、すべての地域において「住み続けたい」が高くなっています。

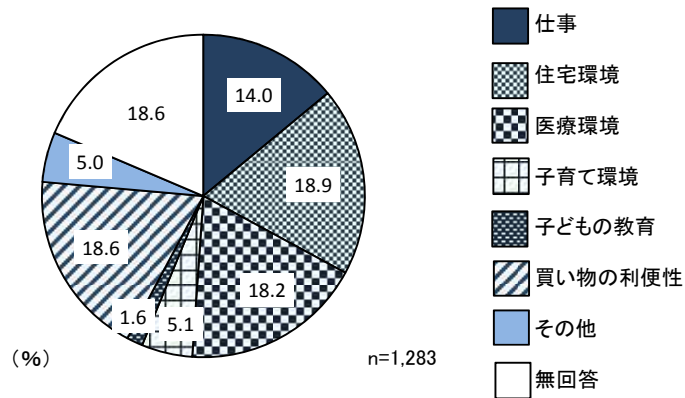
【居住地域別 図】



(41)あなたが住み続けるために、一番重視することは何ですか。

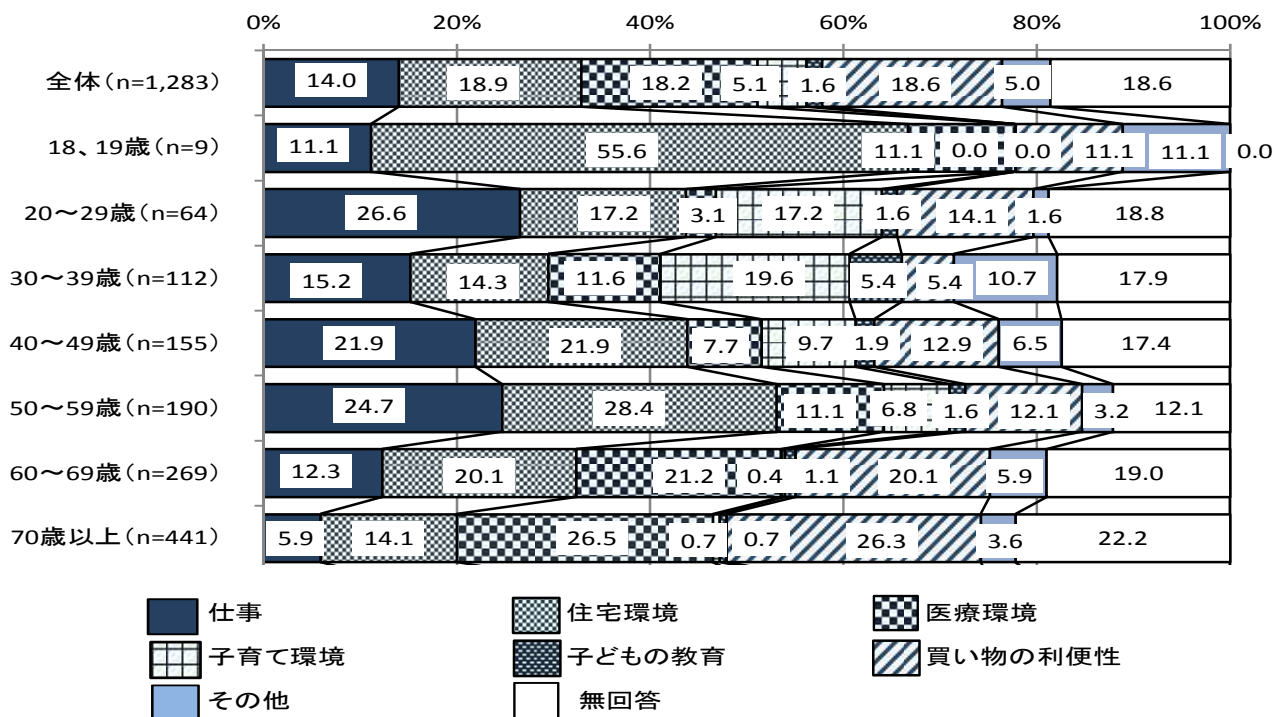
住み続けるために、一番重視することについて、「住宅環境」と回答した割合が18.9%と最も高くなっています。ついで、「買い物の利便性」が18.6%、「医療環境」が18.2%となっています。

【全体 図】



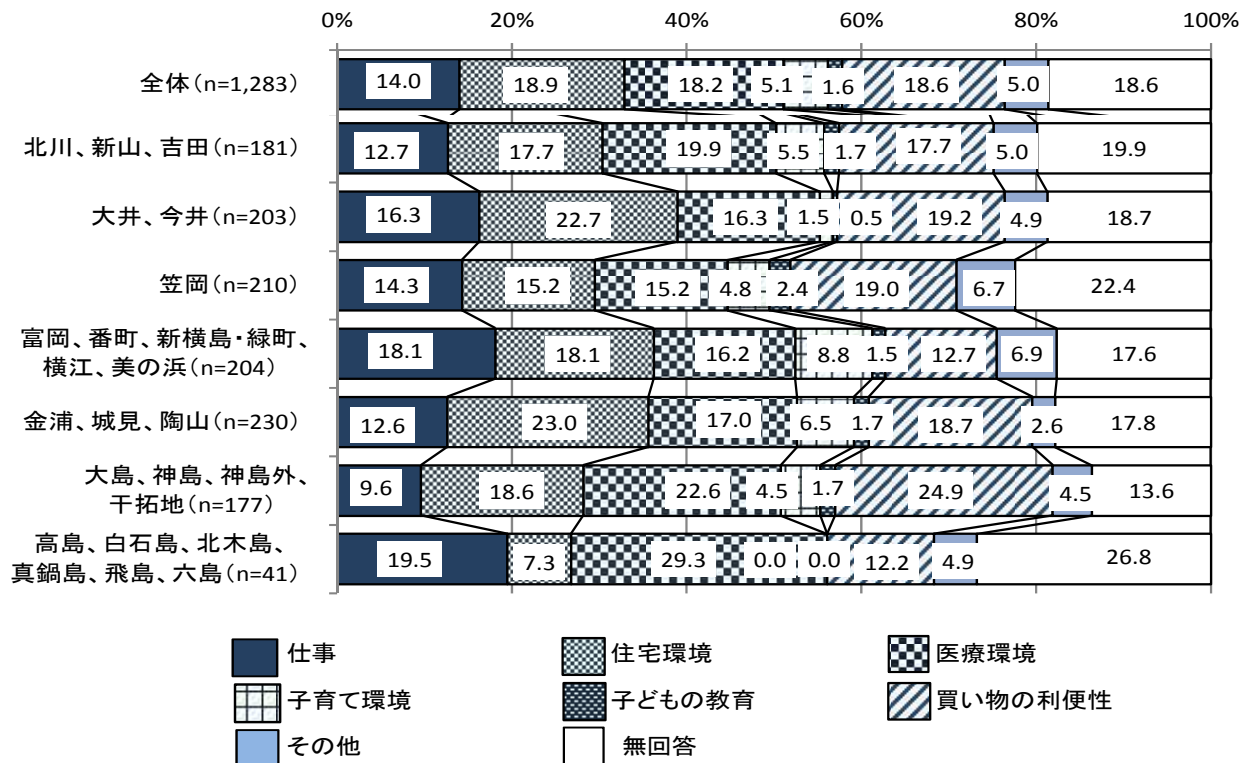
年齢別にみると、「40～49歳」から「70歳以上」にかけて年齢が上がるにつれて「医療環境」が高くなっており、「子どもの教育」が低くなっています。

【年齢別 図】



居住地域別にみると、「北川、新山、吉田」(19.9%)、「高島、白石島、北木島、真鍋島、飛島、六島」(29.3%)、は、他の地域に比べて「医療環境」が高くなっており、「大井、今井」(22.7%)、「金浦、城見、陶山」(23.0%)は「住宅環境」が高くなっており、または「富岡、番町、新横島、緑町、横江、美の浜」は、「仕事」と「住居環境」が共に高くなっており、「笠岡」(19.0%)、「大島、神島、神島外、干拓地」(24.9%)は「買い物の利便性」が高くなっています。

【居住地域別 図】

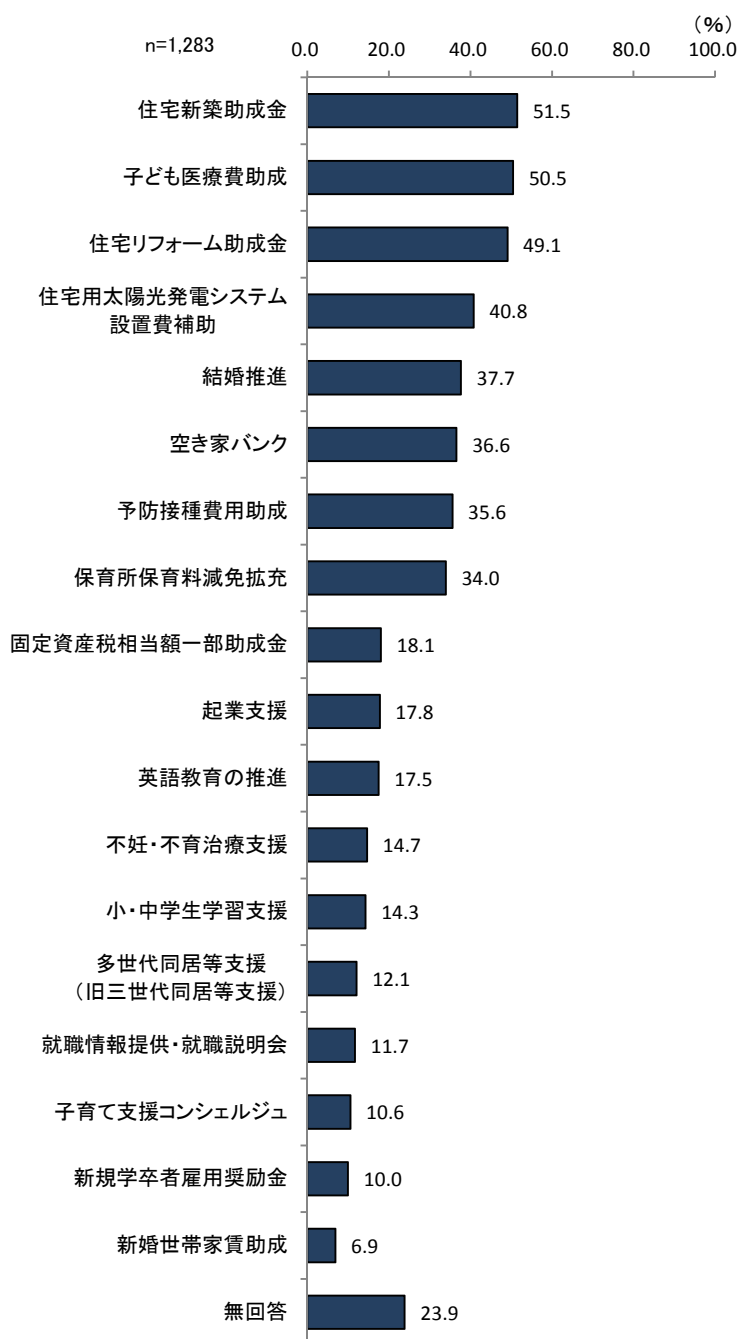


(42)笠岡市では、現在、次のような定住促進事業を行っています。

(42-①)知っている定住促進事業はどれですか。該当する事業全てに○をしてください。

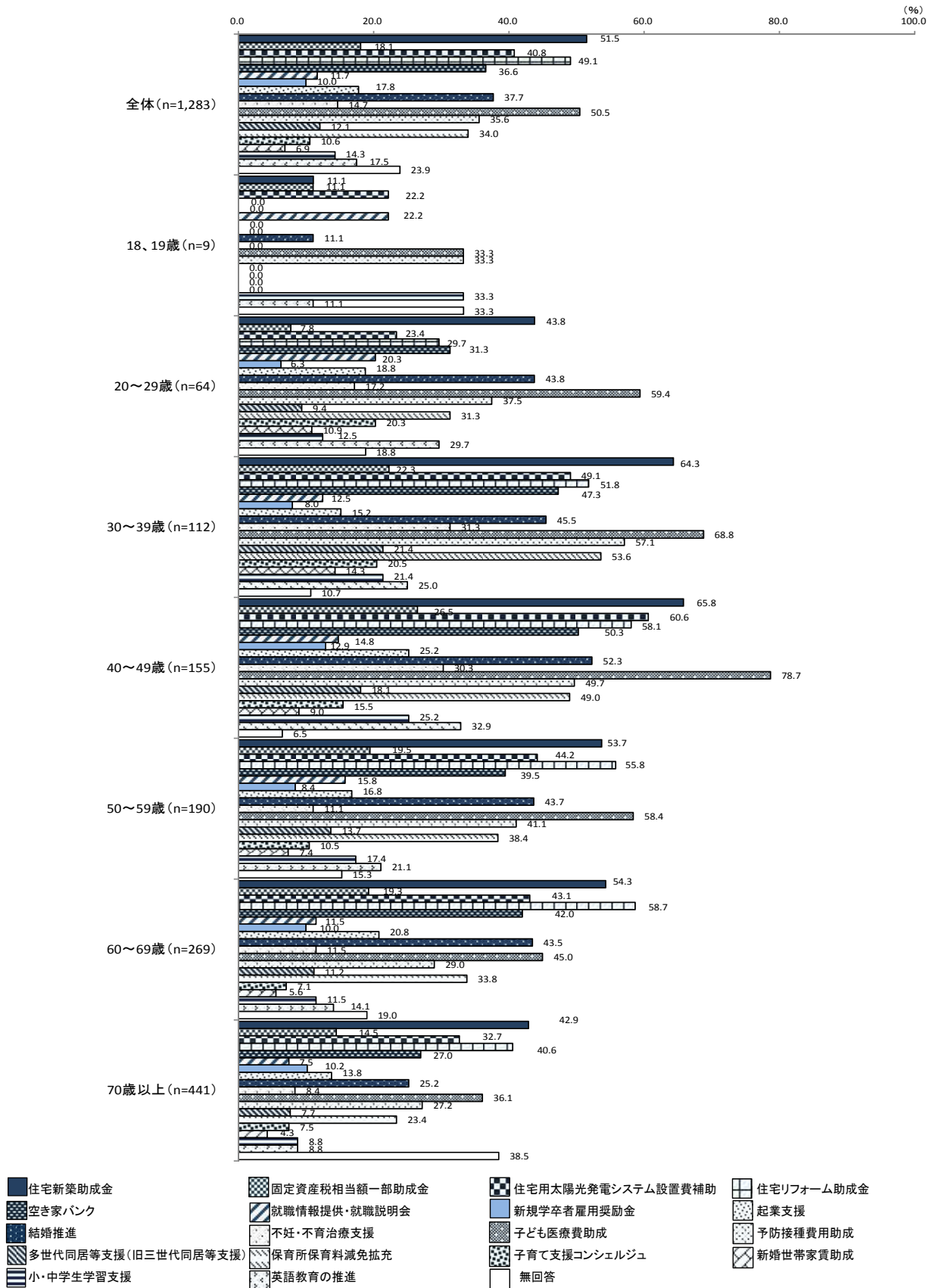
知っている定住促進事業について、「住宅新築助成金」と回答した割合が51.5%と最も高くなっています。ついで、「子ども医療費助成」が50.5%、「住宅リフォーム助成金」が49.1%となっています。

【全体 図】



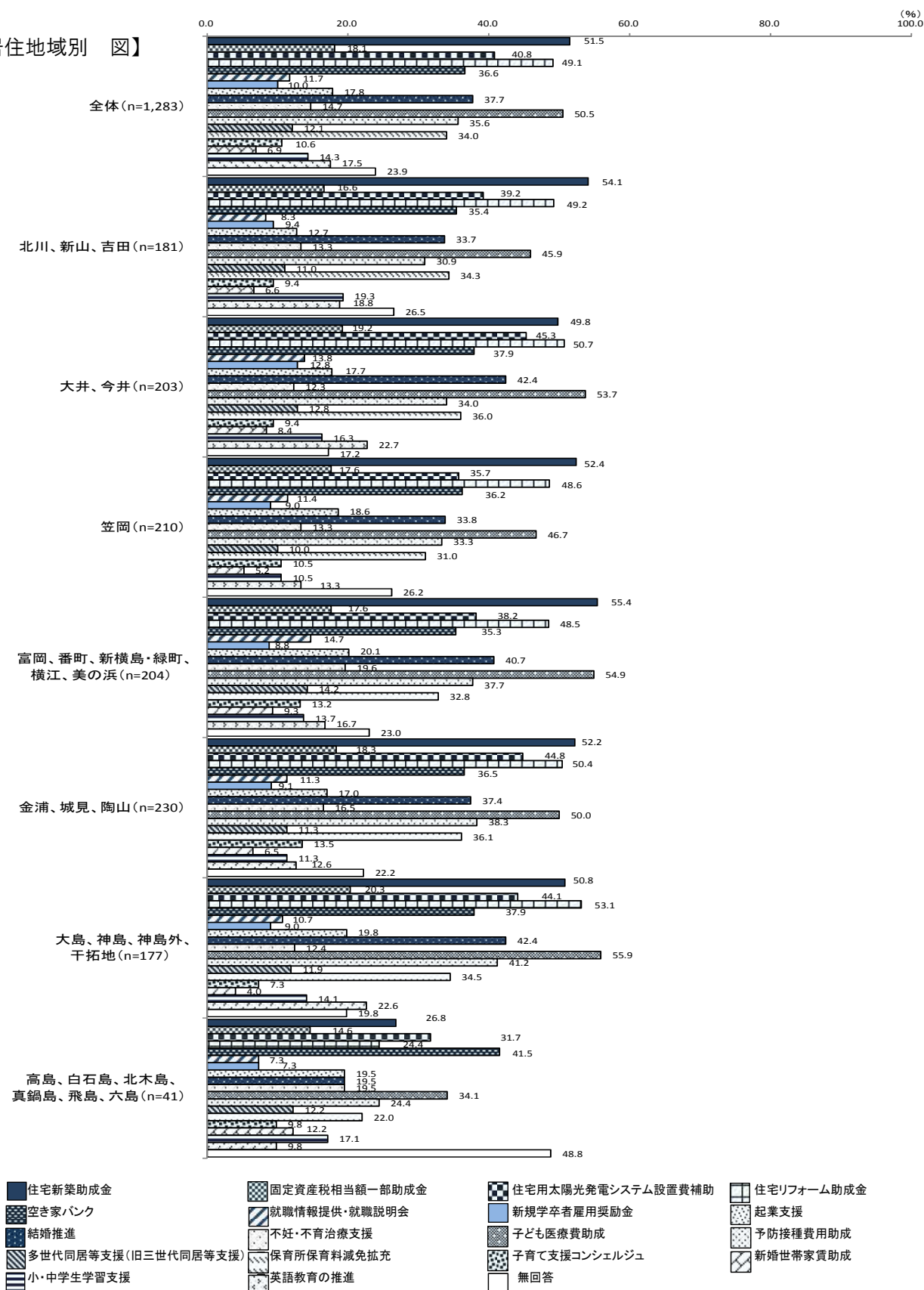
年齢別にみると、「30～39 歳」から「70 歳以上」にかけて年齢が上がるにつれて「予防接種費用助成」および「保育所保育料減免拡充」が低くなっています。

【年齢別 図】



居住地域別にみると、「大島、神島、神島外、干拓地」(55.9%)、「大井、今井」(53.7%)は、他の地域に比べて「子ども医療費助成」が高くなっており、また、「高島、白石島、北木島、真鍋島、飛島、六島」(41.5%)は他の地域に比べて「空き家バンク」が高くなっています。それ以外の地域は「住宅新築助成金」が高くなっています。

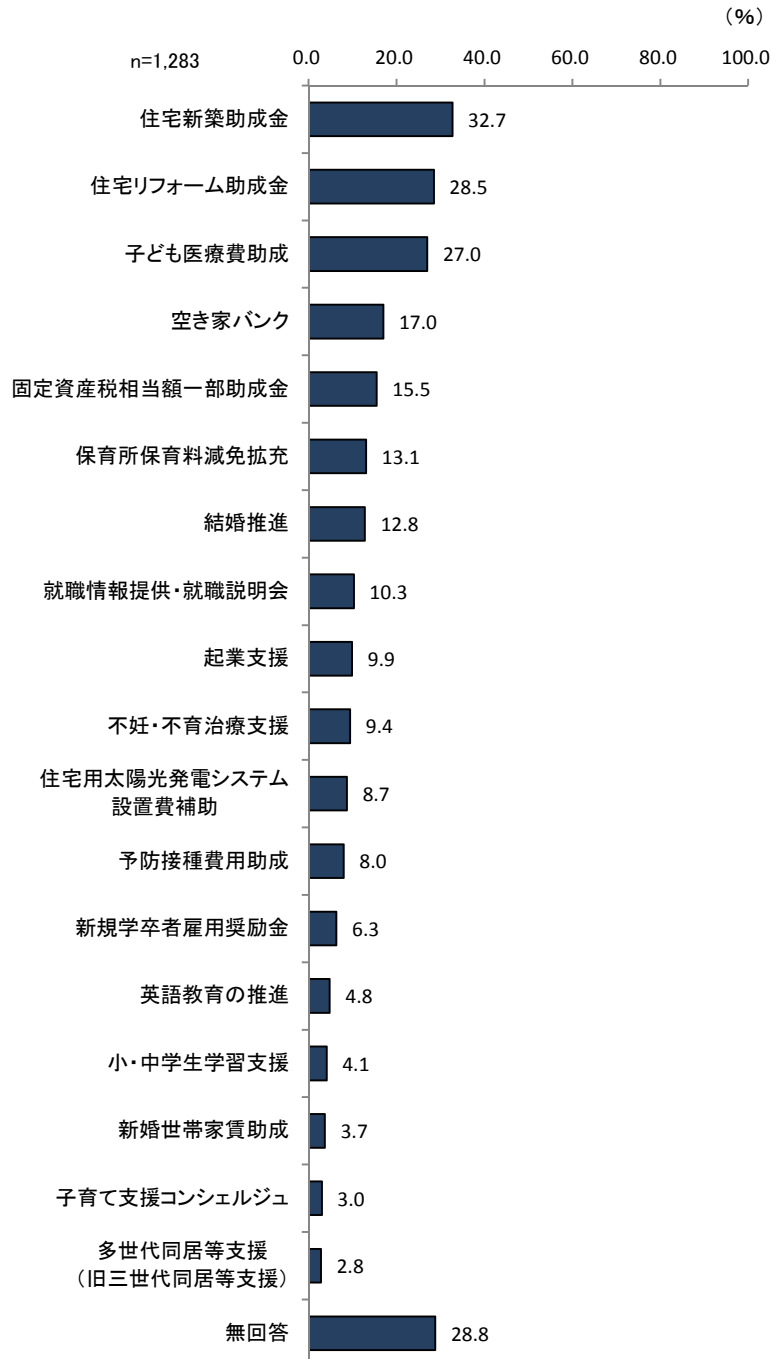
【居住地域別 図】



(42-②)効果的だと思う定住促進事業はどれですか。該当する事業を3つまで選んで○をしてください。

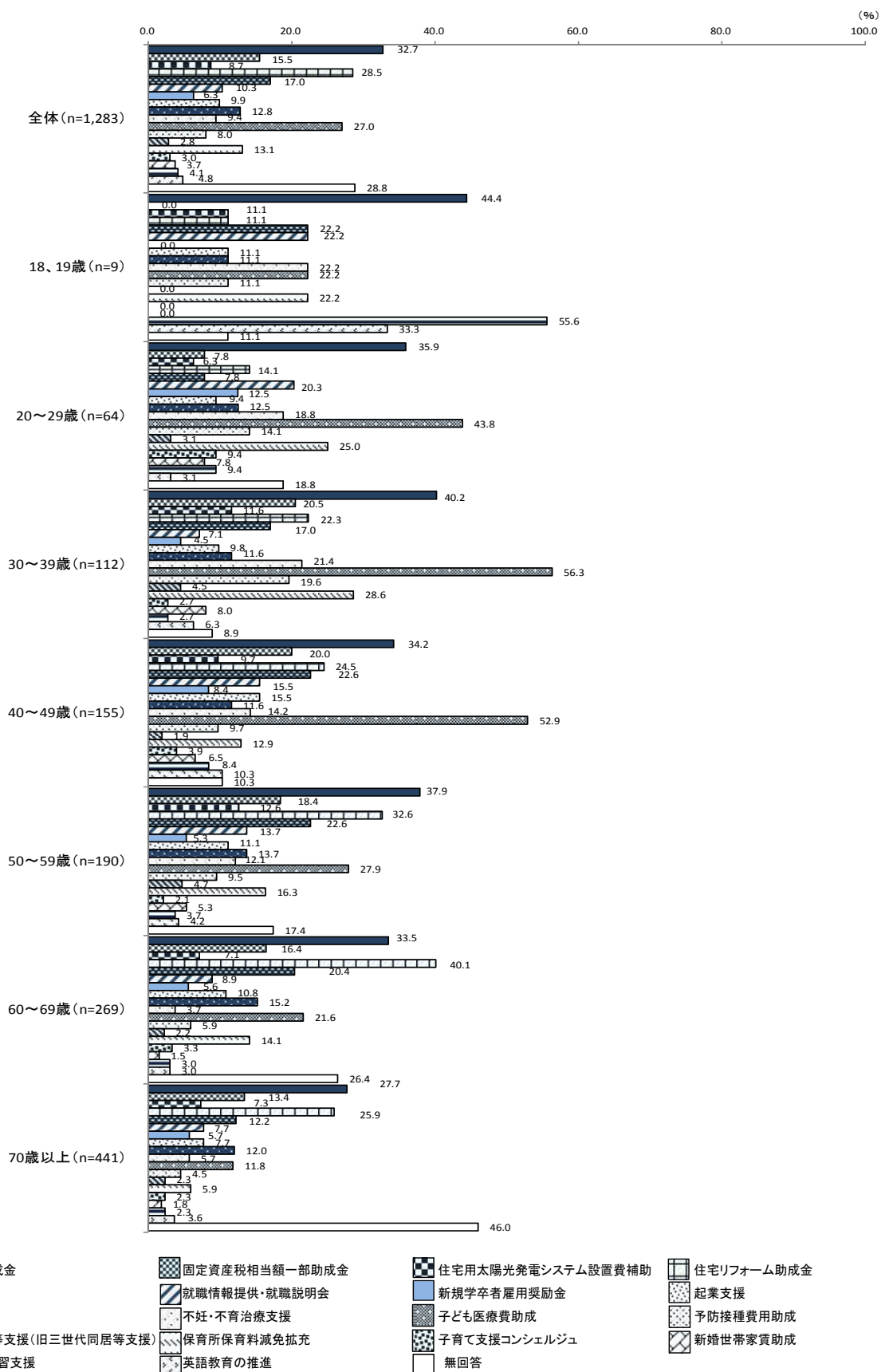
効果的だと思う定住促進事業について、「住宅新築助成金」と回答した割合が32.7%と最も高くなっています。ついで、「住宅リフォーム助成金」が28.5%、「子ども医療費助成」が27.0%となっています。

【全体 図】



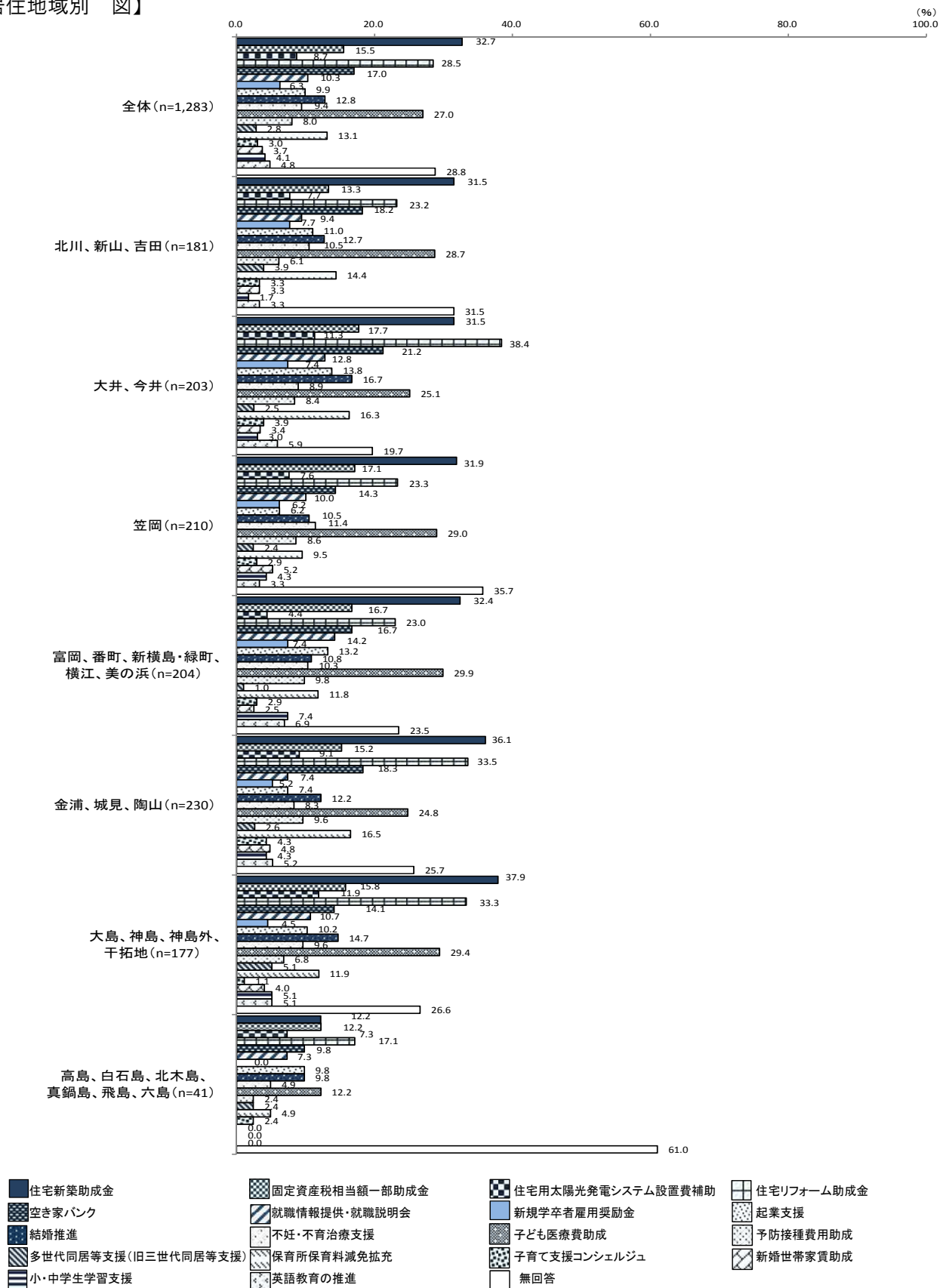
年齢別にみると、「18、19 歳」から「60～69 歳」にかけて年齢が上がるにつれて「住宅リフォーム助成金」が高くなっています。

【年齢別 図】



居住地域別にみると、「大井、今井」(38.4%)、「高島、白石島、北木島、真鍋島、飛島、六島」(17.1%)は、他の地域に比べて「住宅リフォーム助成金」が高くなっており、それ以外の地域は「住宅新築助成金」が高くなっています。

【居住地域別 図】

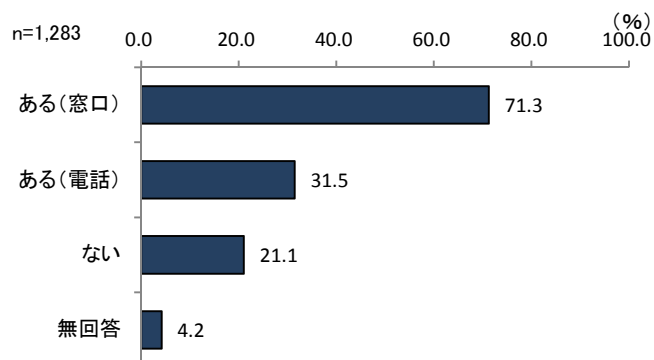


(43-1)あなたは、最近一年間で市役所を利用したことがありますか。

あてはまる番号全てに○をしてください。

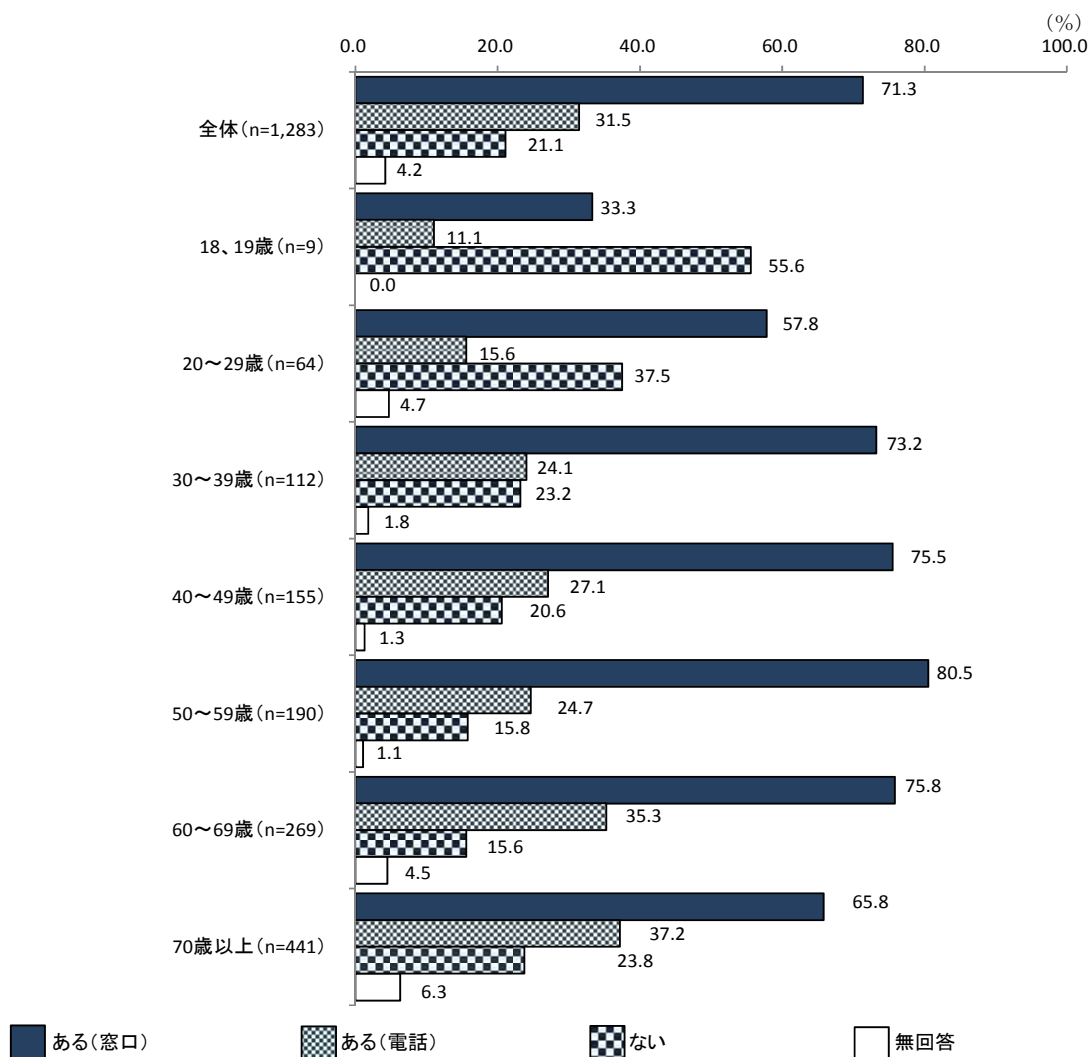
最近一年間で市役所を利用したことがありますかについて、「ある（窓口）」と回答した割合が71.3%と最も高くなっています。ついで、「ある（電話）」が31.5%、「ない」が21.1%となっています。

【全体 図】



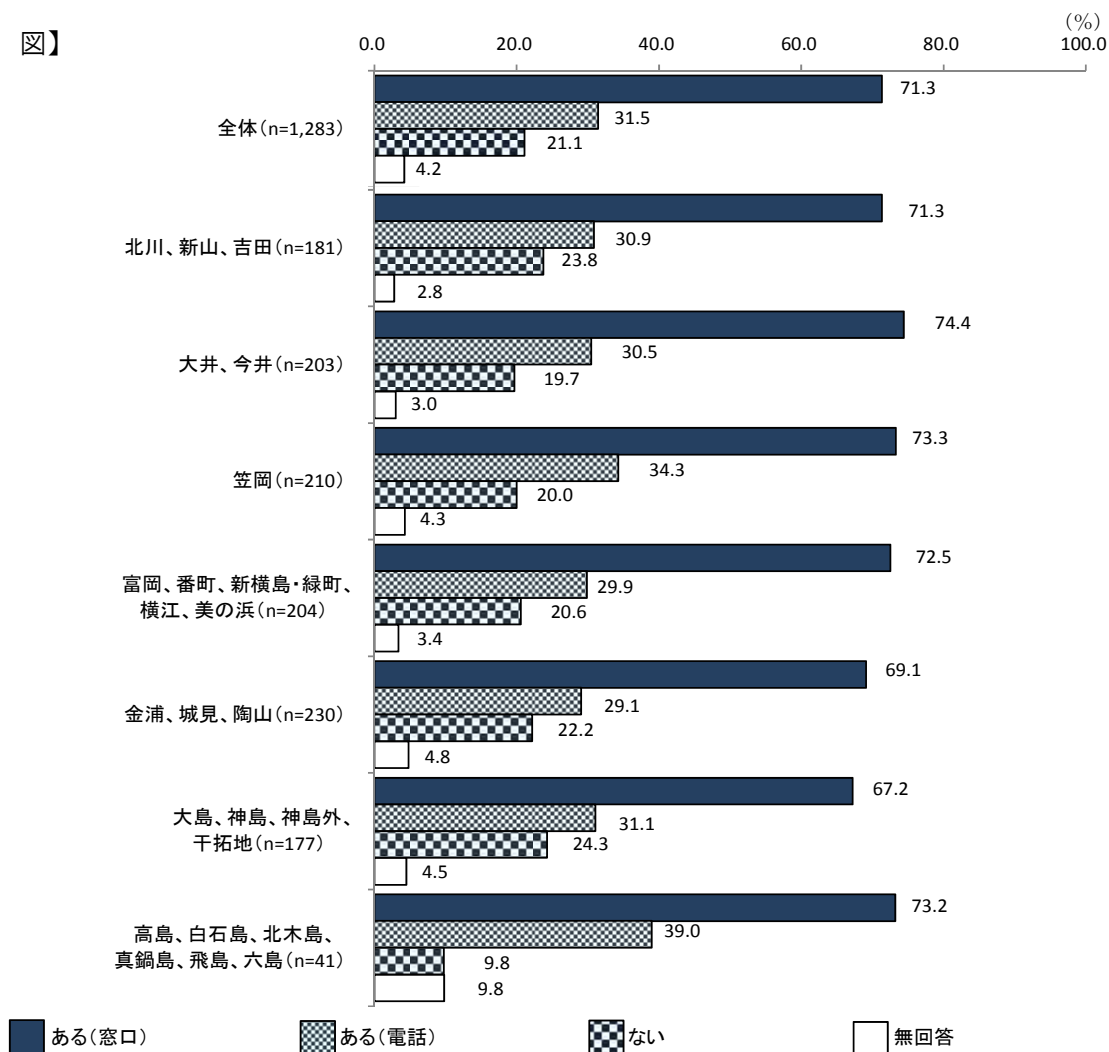
年齢別にみると、「18、19 歳」から「50～59 歳」にかけて年齢が上がるにつれて「ある（窓口）」が高くなっています。

【年齢別 図】



居住地域別にみると、すべての地域において「ある（窓口）」が高くなっています。

【居住地域別 図】



《(43-1)で「1. ある(窓口)」を選んだ方に伺います。》

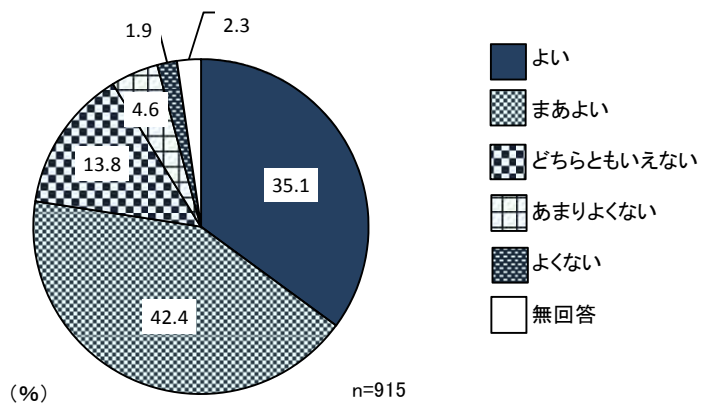
(43-2)次の各項目における窓口での職員の対応についてどのように感じましたか。

【〇は(1)～(5)それぞれに1つ】

(1) あいさつや声かけ

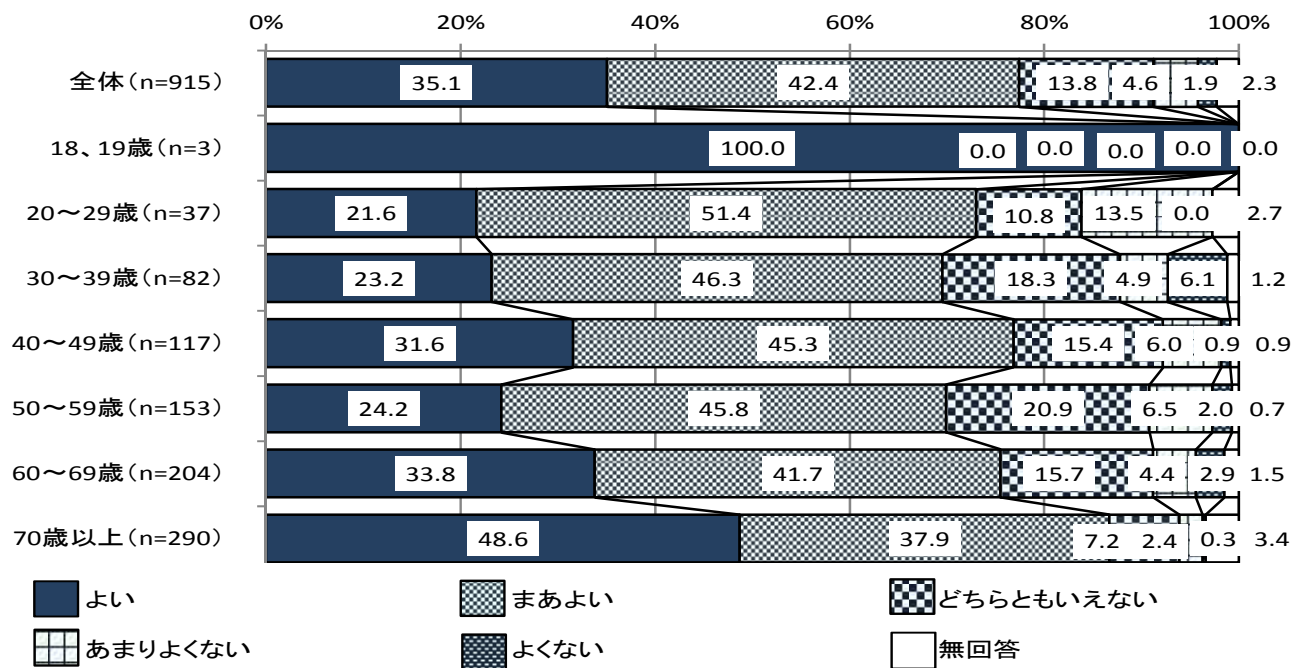
あいさつや声かけについて、【よい（「よい」＋「まあよい」）】と回答した割合が77.5%と最も高くなっています。ついで、【よくない（「あまりよくない」＋「よくない」）】が6.5%となっています。

【全体 図】



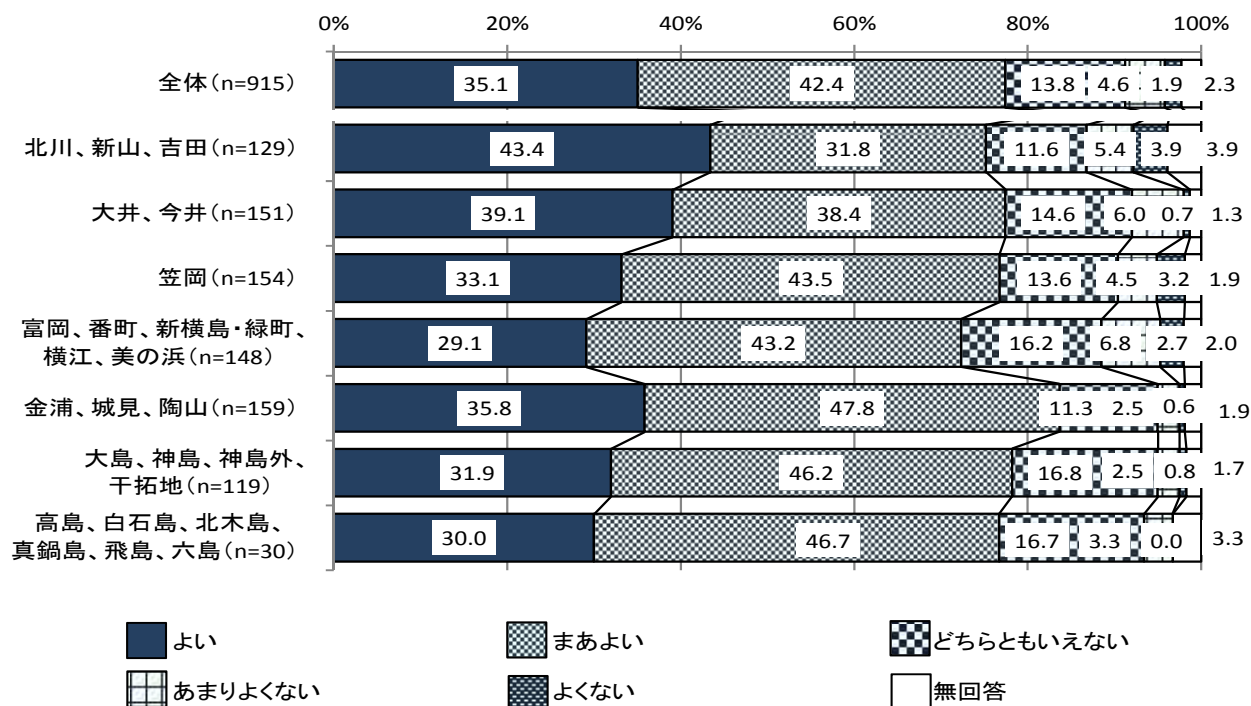
年齢別にみると、「50～59 歳」から「70 歳以上」にかけて年齢が上がるにつれて【よい（「よい」＋「まあよい」）】が高くなっています。

【年齢別 図】



居住地域別にみると、すべての地域において【よい（「よい」＋「まあよい」）】が高くなっています。

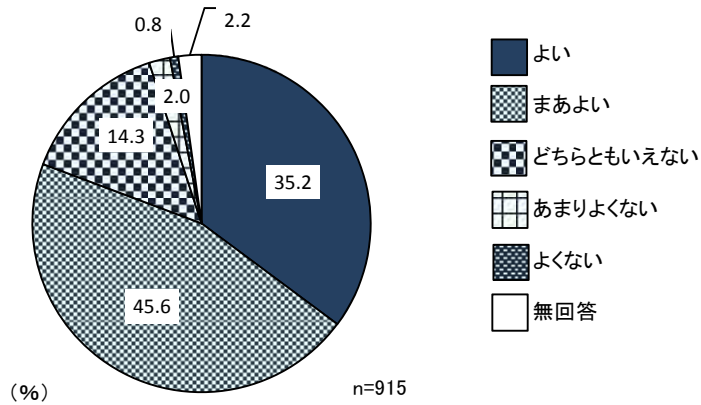
【居住地域別 図】



(2) 身だしなみ

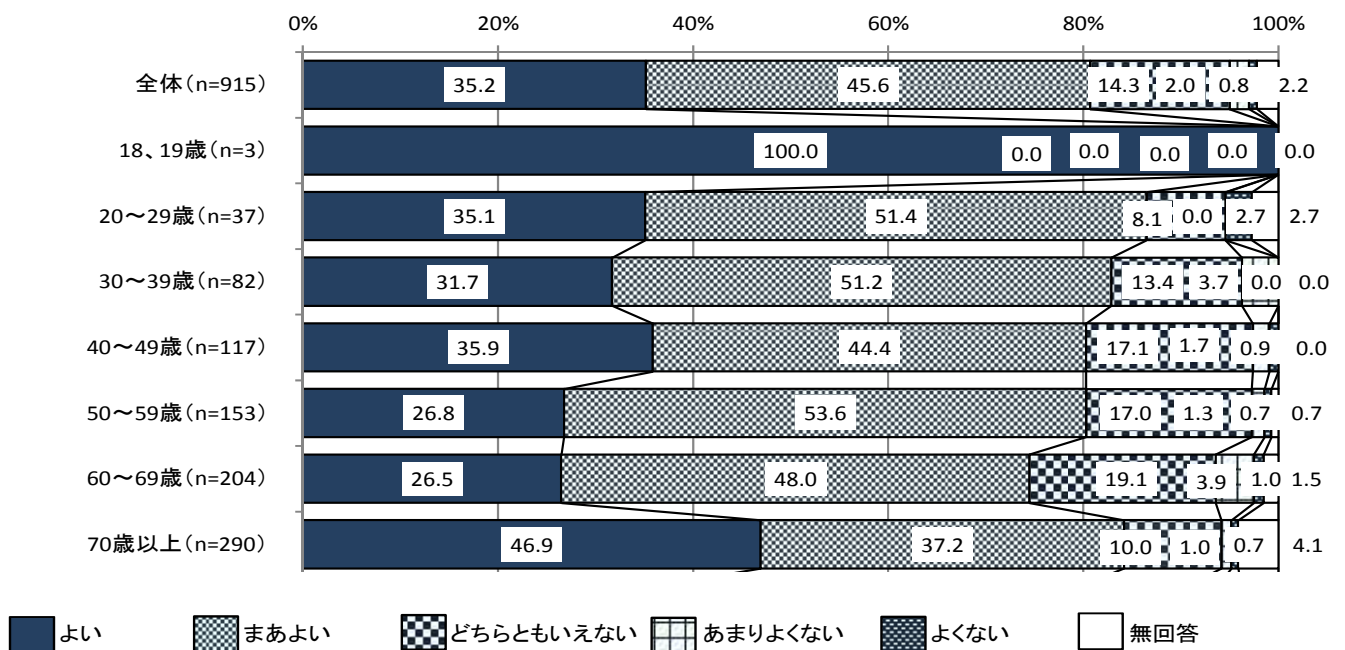
身だしなみについて、【よい(「よい」+「まあよい」)】と回答した割合が80.8%と最も高くなっています。ついで、【よくない(「あまりよくない」+「よくない」)】が2.8%となっています。

【全体 図】



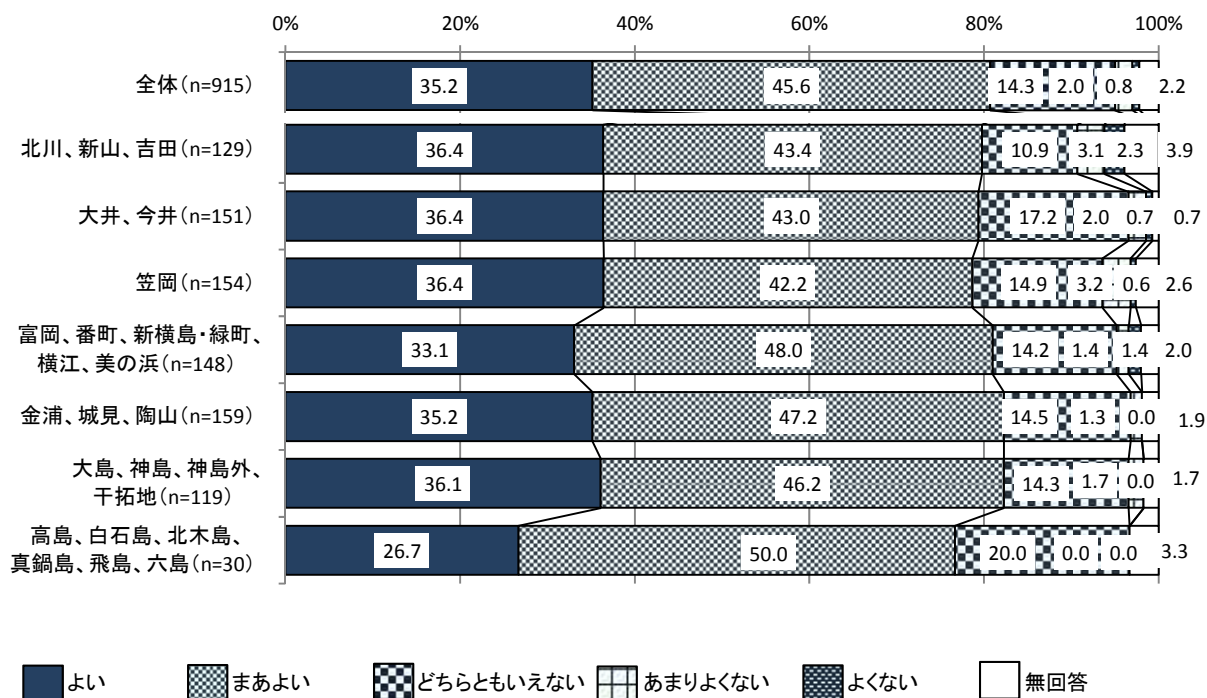
年齢別にみると、「40～49 歳」から「50～59 歳」にかけて年齢が上がるにつれて【よい(「よい」+「まあよい」)】が高くなっています。

【年齢別 図】



居住地域別にみると、すべての地域において【よい（「よい」＋「まあよい」）】が高くなっています。

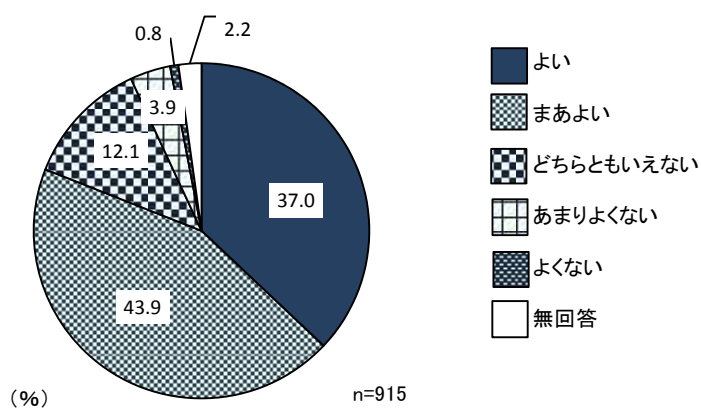
【居住地域別 図】



(3) 言葉づかい

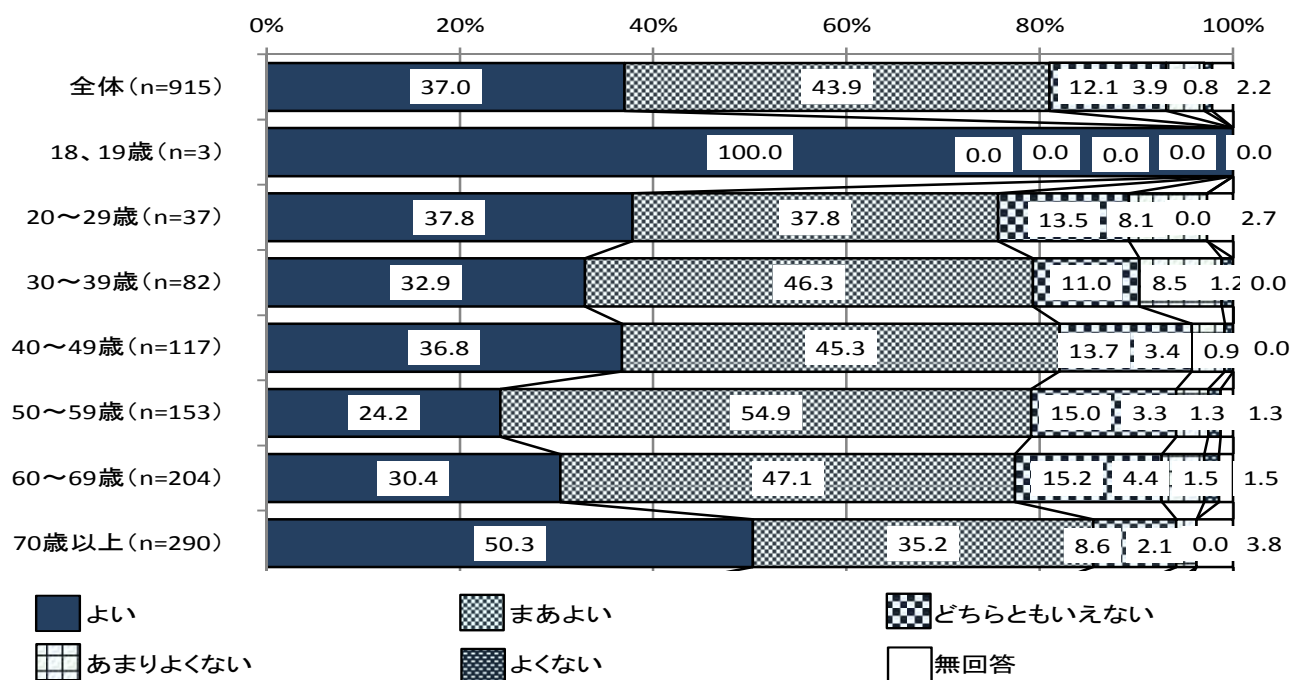
言葉づかいについて、【よい（「よい」＋「まあよい」）】と回答した割合が80.9%と最も高くなっています。ついで、【よくない（「あまりよくない」＋「よくない」）】が4.7%となっています。

【全体 図】



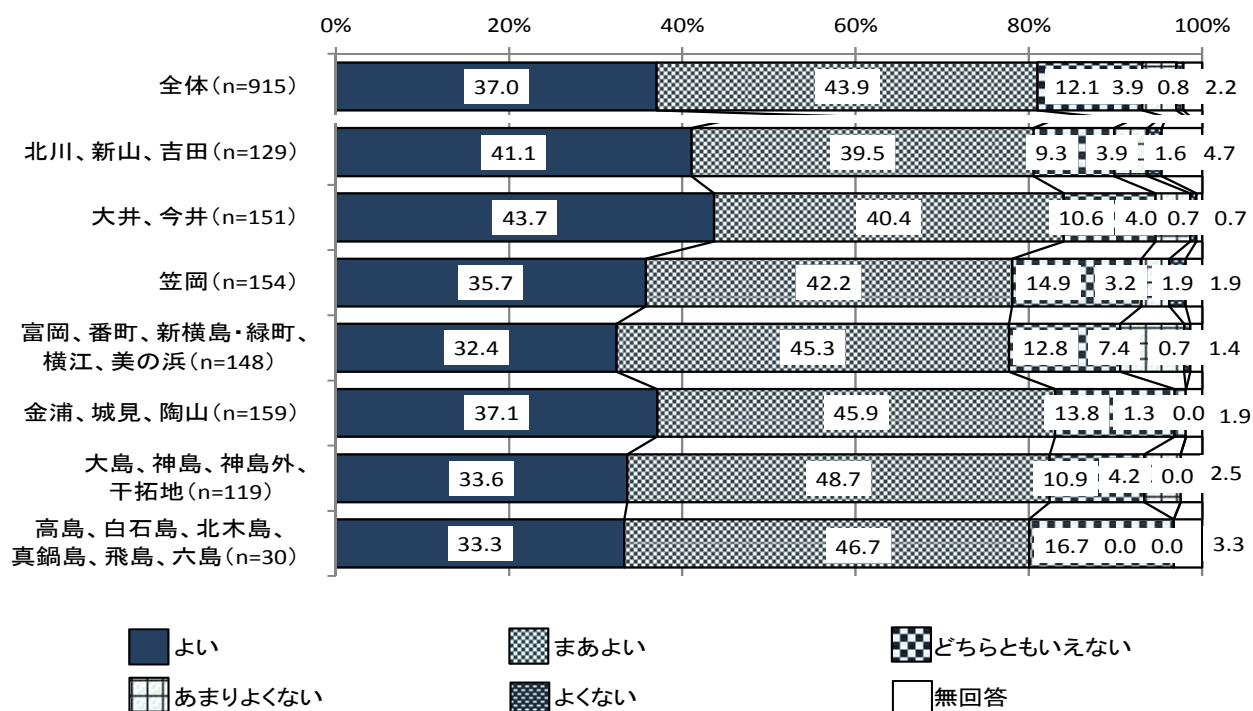
年齢別にみると、「20～29 歳」から「40～49 歳」にかけて年齢が上がるにつれて【よい（「よい」＋「まあよい」）】が高くなっています。

【年齢別 図】



居住地域別にみると、すべての地域において【よい（「よい」＋「まあよい」）】が高くなっています。

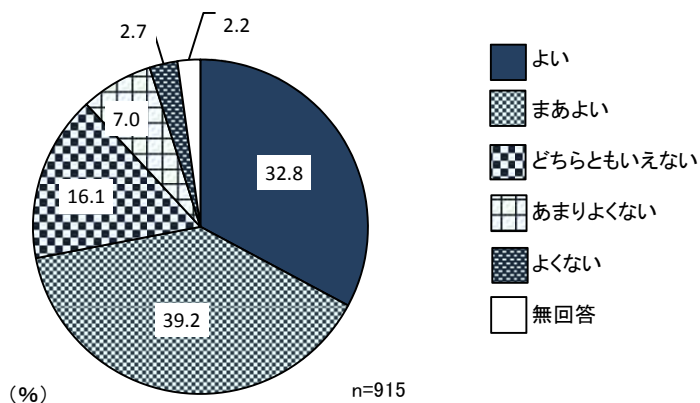
【居住地域別 図】



(4) 態度

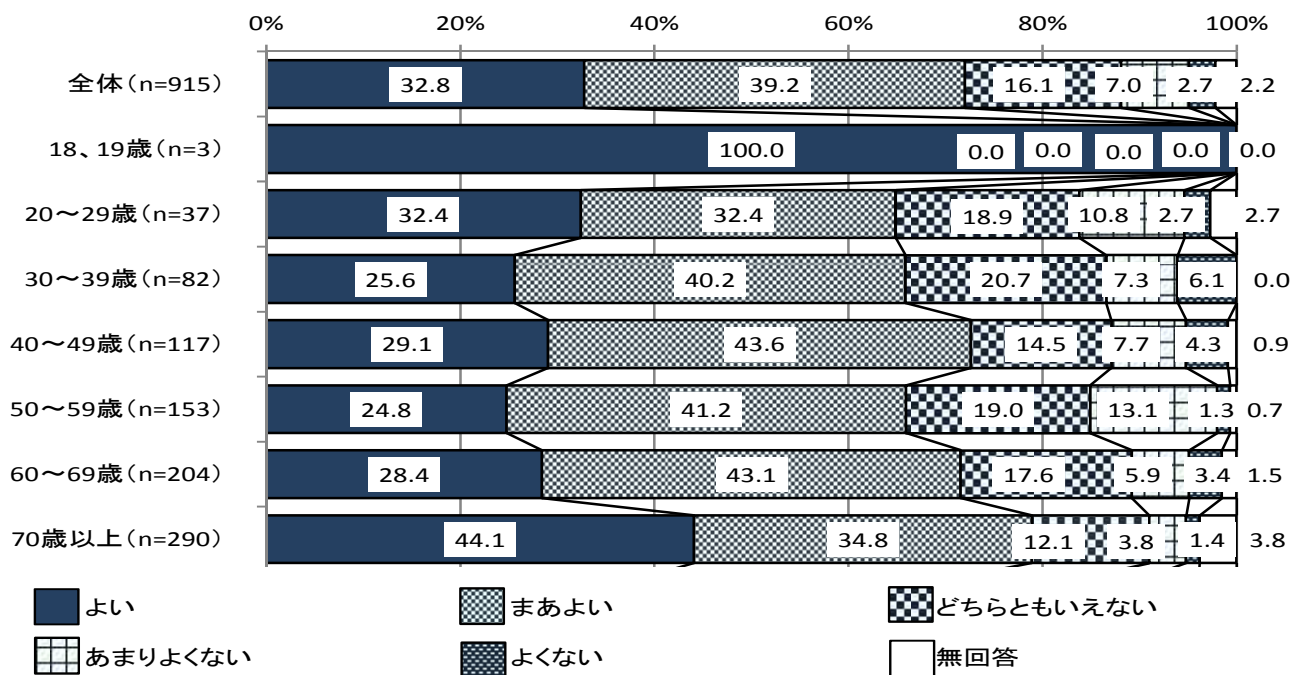
態度について、【よい（「よい」＋「まあよい」）】と回答した割合が72.0%と最も高くなっています。ついで、【よくない（「あまりよくない」＋「よくない」）】が9.7%となっています。

【全体 図】



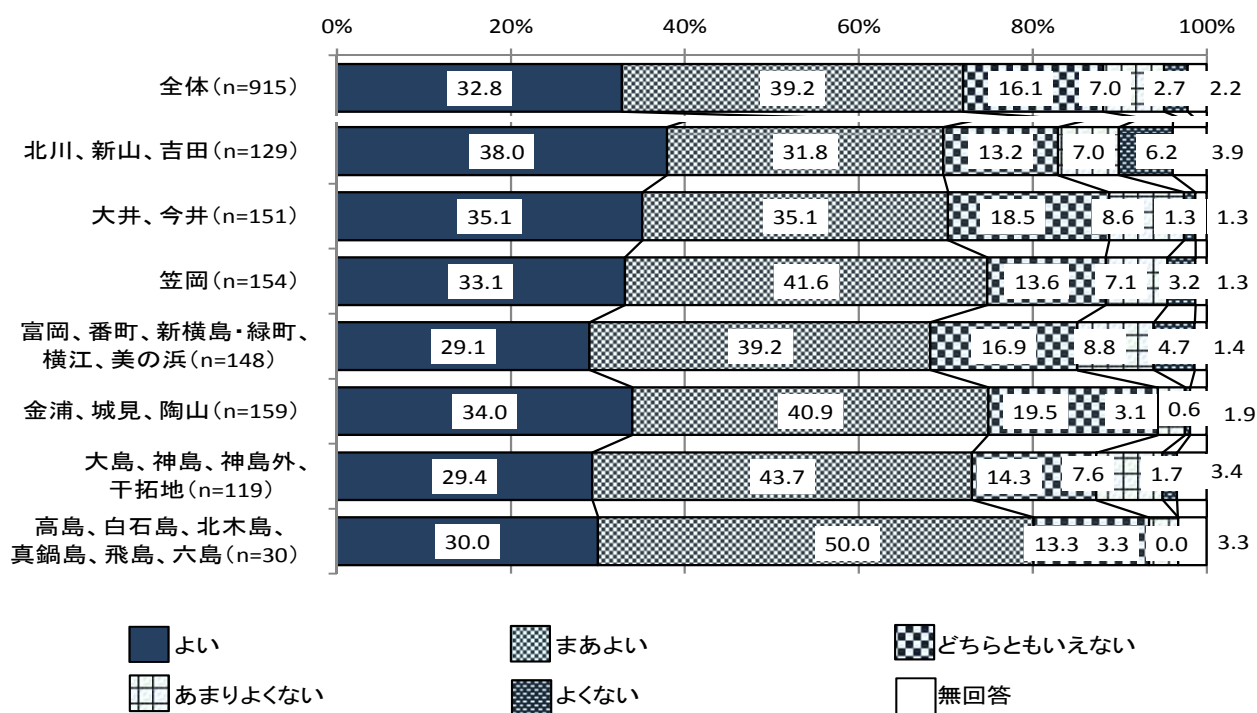
年齢別にみると、「50～59 歳」から「70 歳以上」にかけて年齢が上がるにつれて【よい（「よい」＋「まあよい」）】が高くなっています。

【年齢別 図】



居住地域別にみると、すべての地域において【よい（「よい」＋「まあよい」）】が高くなっています。

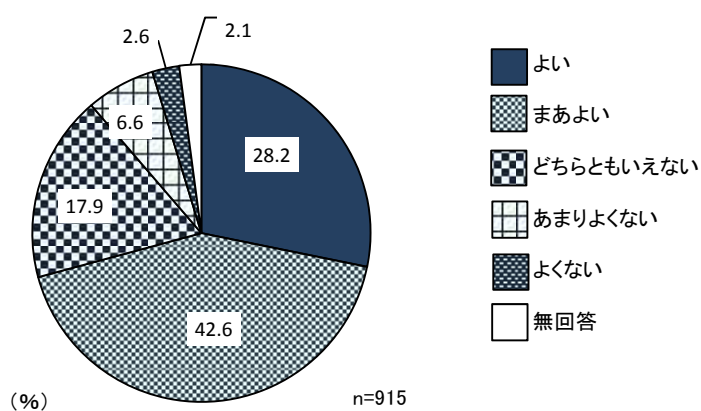
【居住地域別 図】



(5) 説明のわかりやすさ

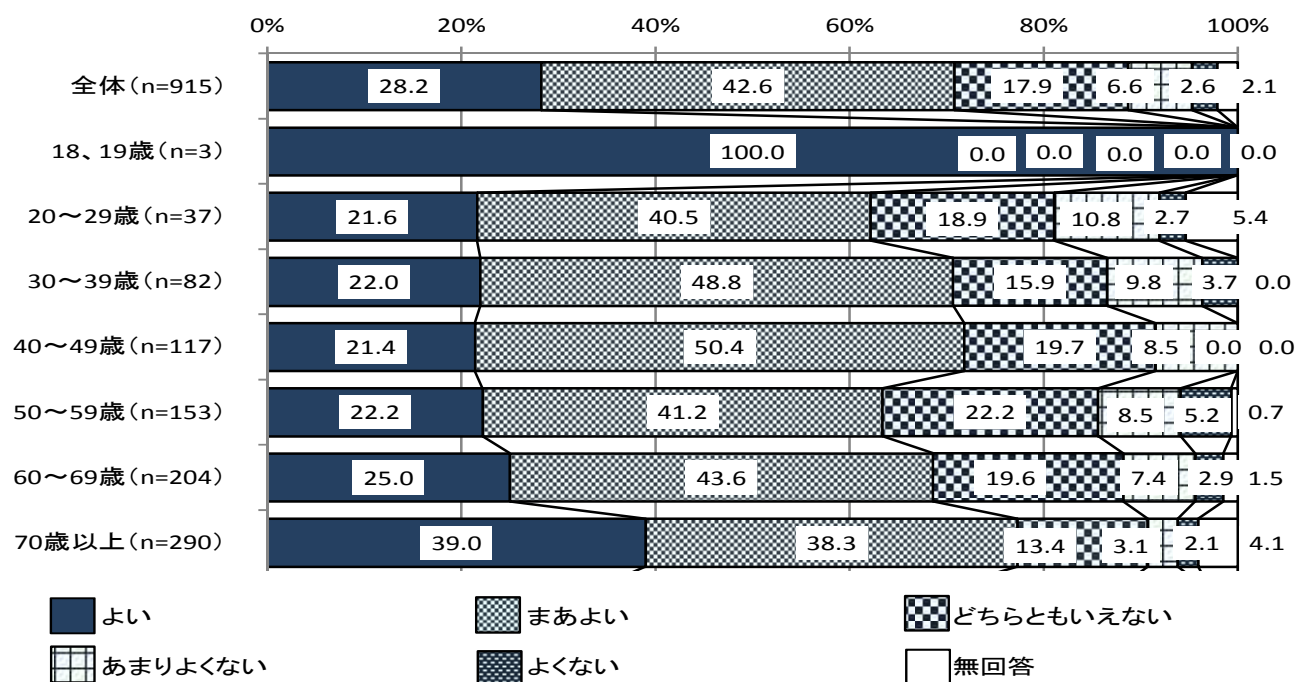
説明のわかりやすさについて、【よい（「よい」＋「まあよい」）】と回答した割合が70.8%と最も高くなっています。ついで、【よくない（「あまりよくない」＋「よくない」）】が9.2%となっています。

【全体 図】



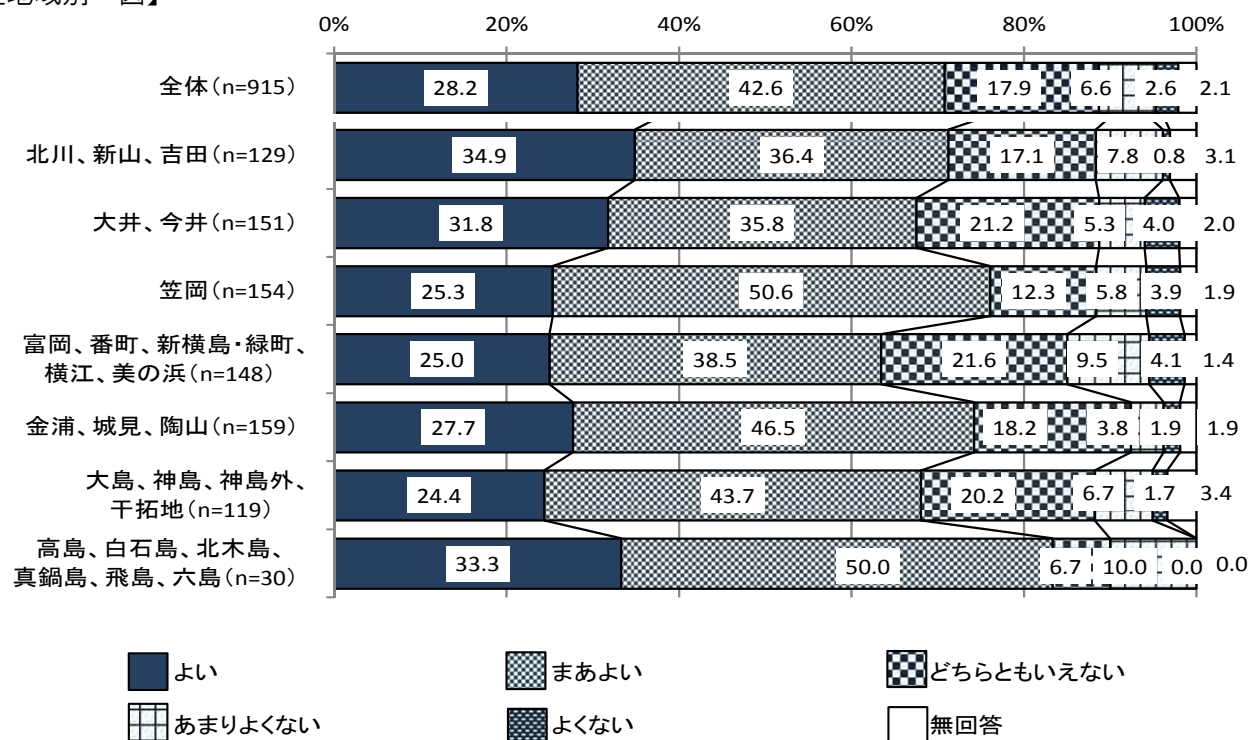
年齢別にみると、「20～29 歳」から「40～49 歳」にかけて年齢が上がるにつれて【よい（「よい」＋「まあよい」）】が高くなっています。

【年齢別 図】



居住地域別にみると、すべての地域において【よい（「よい」＋「まあよい」）】が高くなっています。

【居住地域別 図】



《(43-1)で「2. ある(電話)」を選んだ方に伺います。》

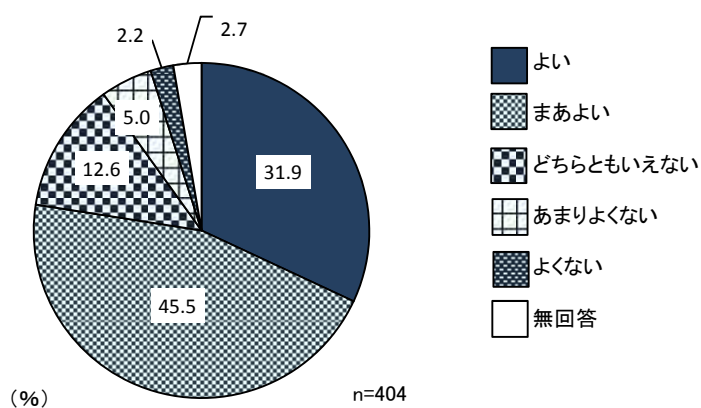
(43-3)次の各項目における電話での職員の対応についてどのように感じましたか。

【〇は(1)～(2)それぞれに1つ】

(1) 話し方

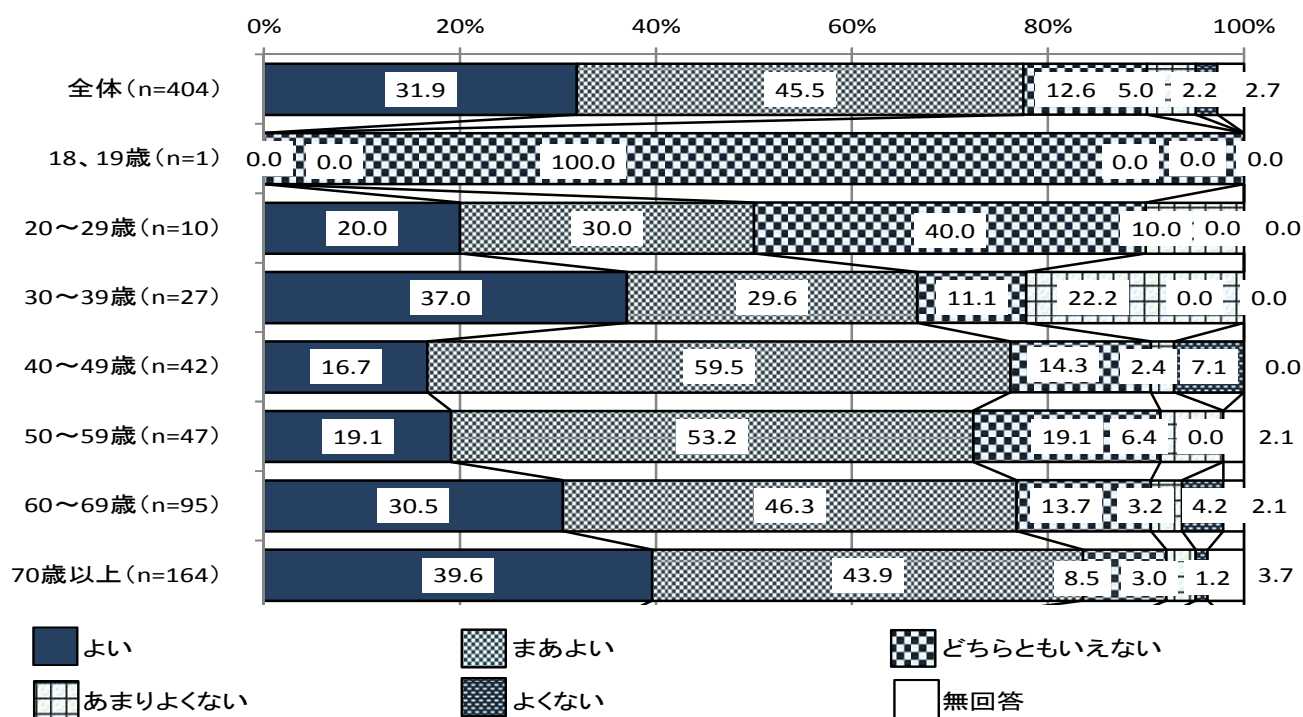
話し方について、【よい(「よい」+「まあよい」)】と回答した割合が77.4%と最も高くなっています。ついで、【よくない(「あまりよくない」+「よくない」)】が7.2%となっています。

【全体 図】



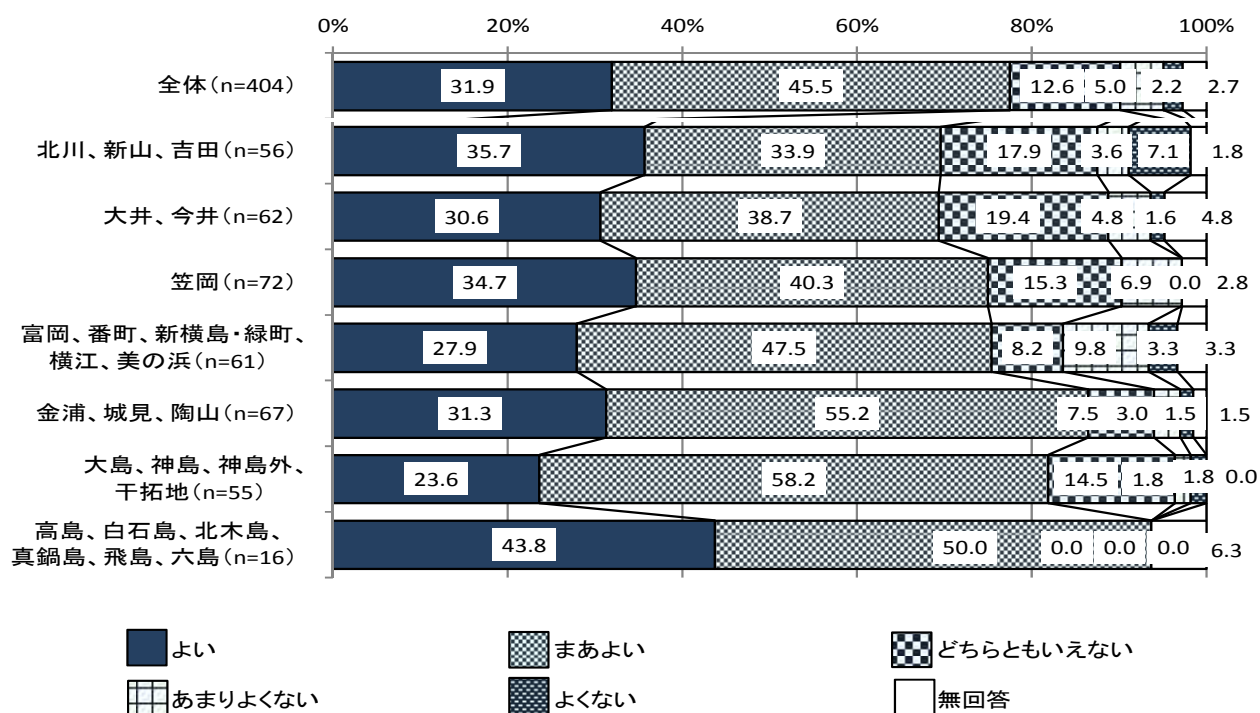
年齢別にみると、「50～59歳」から「70歳以上」にかけて年齢が上がるにつれて【よい(「よい」+「まあよい」)】が高くなっています。

【年齢別 図】



居住地域別にみると、すべての地域において【よい（「よい」＋「まあよい」）】が高くなっています。

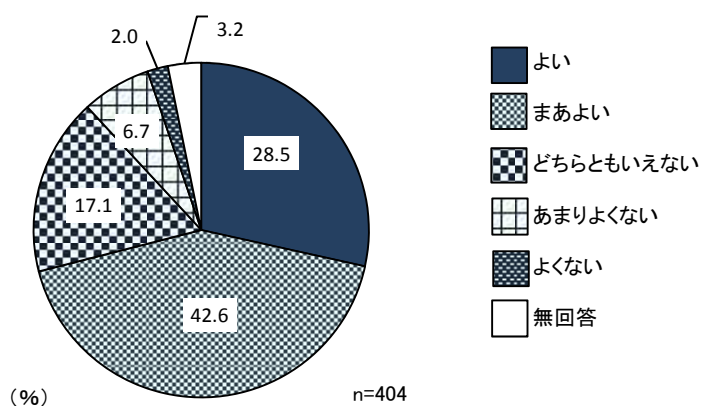
【居住地域別 図】



(2) 説明のわかりやすさ

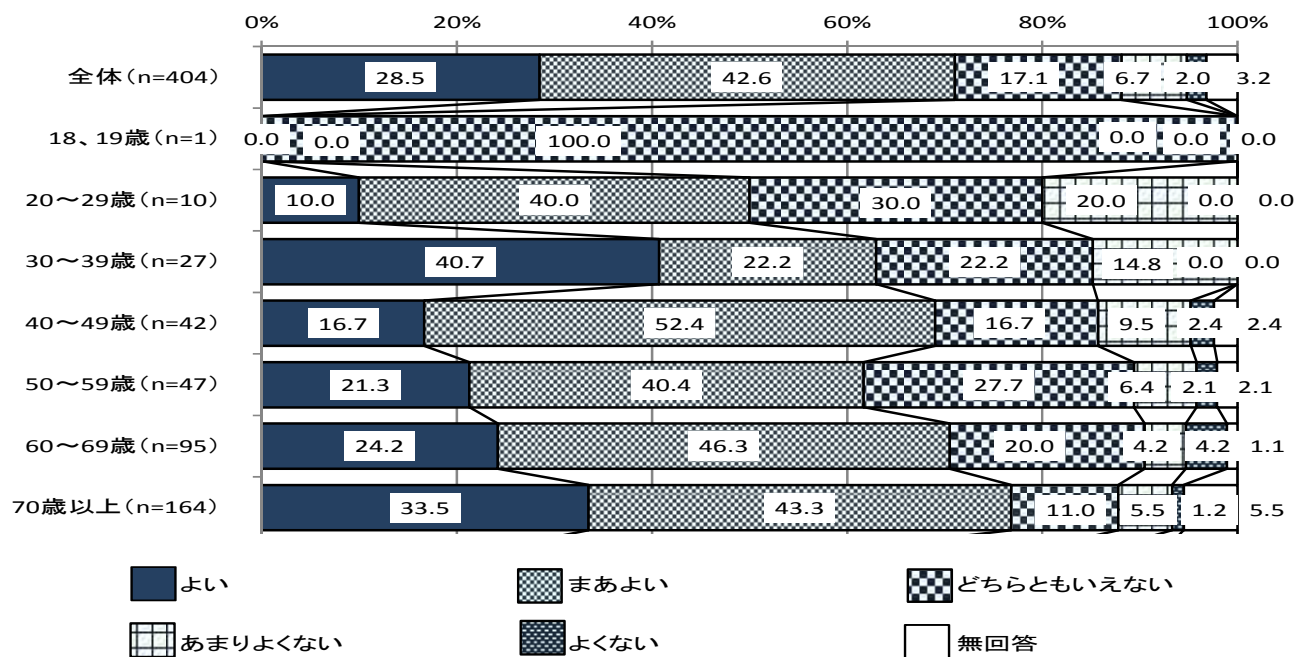
説明のわかりやすさについて、【よい（「よい」＋「まあよい」）】と回答した割合が71.1%と最も高くなっています。ついで、【よくない（「あまりよくない」＋「よくない」）】が8.7%となっています。

【全体 図】



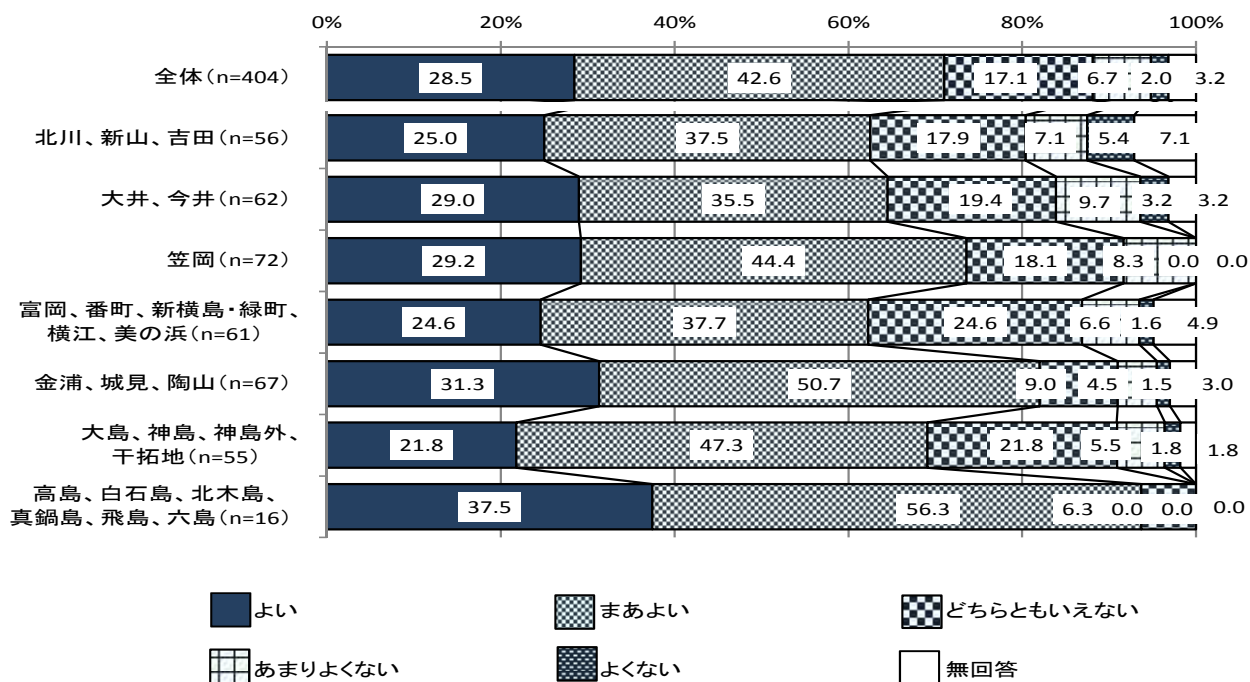
年齢別にみると、「50～59 歳」から「70 歳以上」にかけて年齢が上がるにつれて【よい（「よい」＋「まあよい」）】が高くなっています。

【年齢別 図】



居住地域別にみると、すべての地域において【よい（「よい」＋「まあよい」）】が高くなっています。

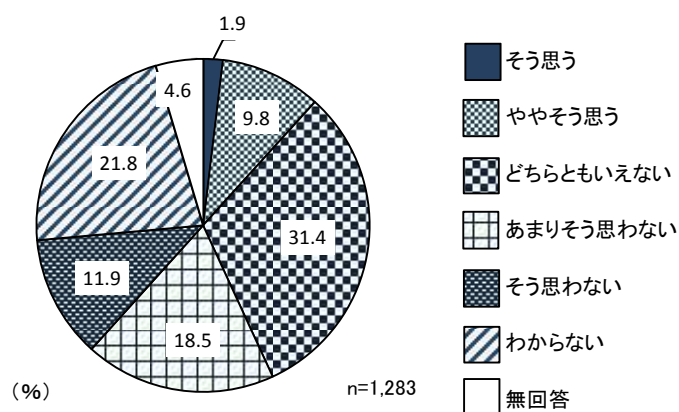
【居住地域別 図】



(44)あなたは、市民の意見や提案が市政に反映されていると思いますか。

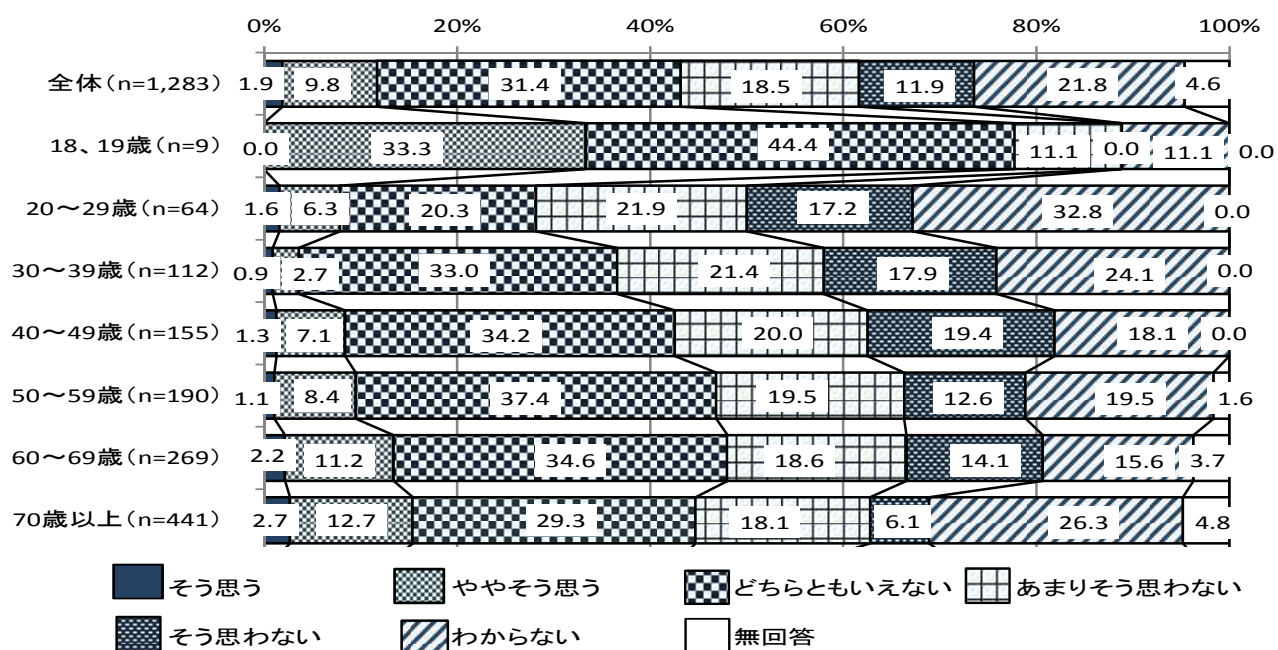
市民の意見や提案が市政に反映されていると思いますかについて、【思う（「思う」＋「やや思う」）】と回答した割合が11.7%と最も高くなっています。ついで、【思わない（「あまりそう思わない」＋「そう思わない」）】が30.4%となっています。

【全体 図】



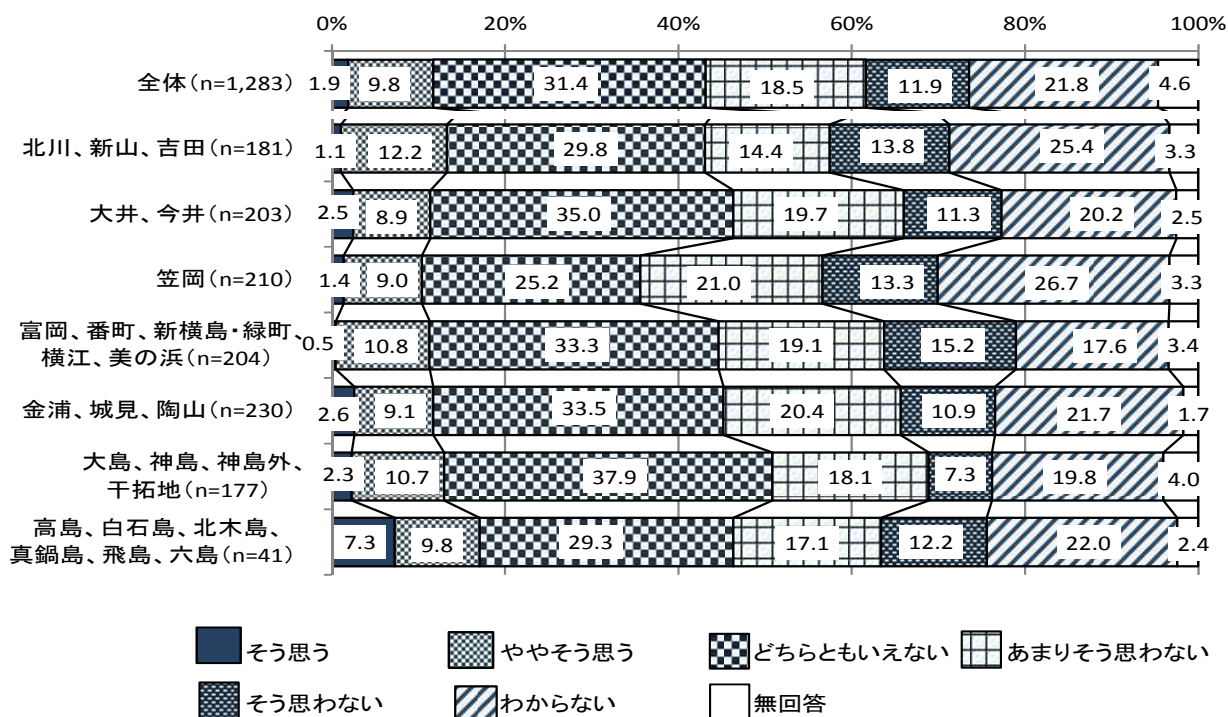
年齢別にみると、「20～29歳」から「40～49歳」にかけて年齢が上がるにつれて【思わない（「あまりそう思わない」＋「そう思わない」）】が高くなっています。

【年齢別 図】



居住地域別にみると、すべての地域において【思わない（「あまりそう思わない」＋「そう思わない」）】が高くなっています。

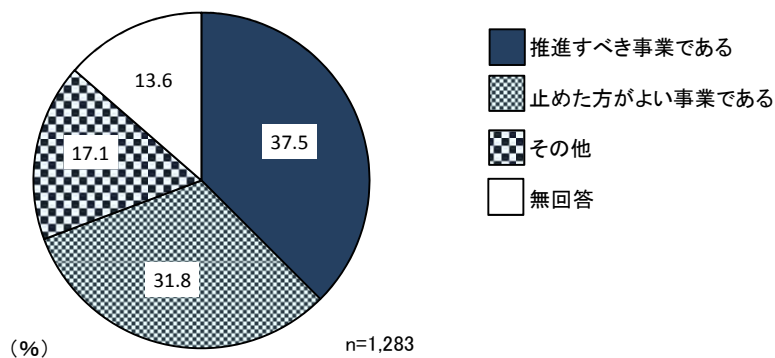
【居住地域別 図】



(45)9年制の義務教育学校(小中一貫校)をつくることについてどのように思いますか。

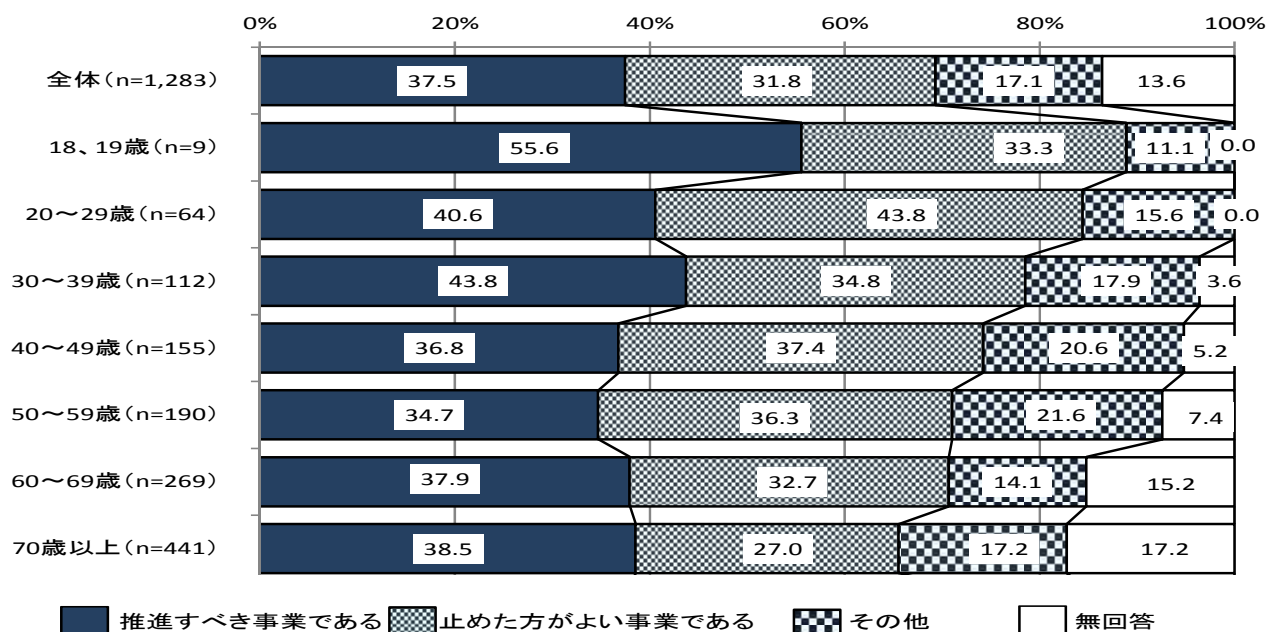
9年制の義務教育学校(小中一貫校)をつくることについて、「推進すべき事業である」が37.5%と最も高くなっています。ついで、「止めた方がよい事業である」が31.8%、「その他」が17.1%となっています。

【全体 図】



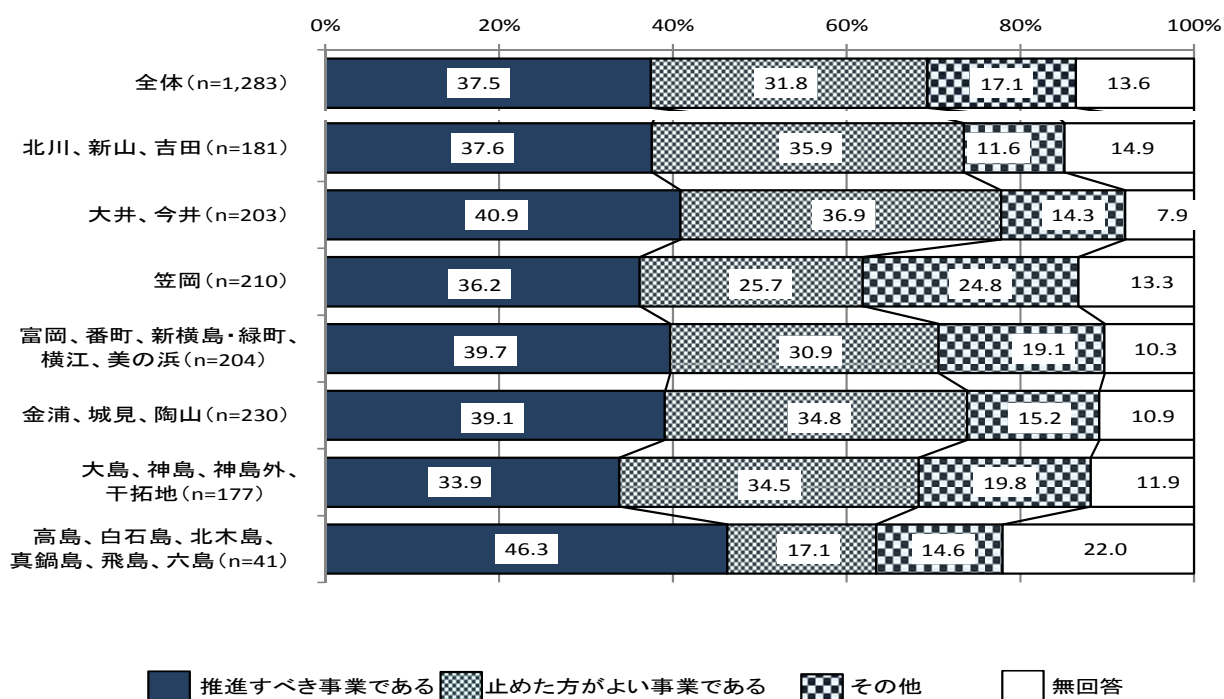
年齢別にみると、「40～49 歳」から「70 歳以上」にかけて年齢が上がるにつれて「止めた方がよい事業である」が低くなっています。

【年齢別 図】



居住地域別にみると、「大島、神島、神島外、干拓地」(34.5%)は、他の地域に比べて「止めた方がよい事業である」が高くなっており、それ以外の地域は「推進すべき事業である」が高くなっています。

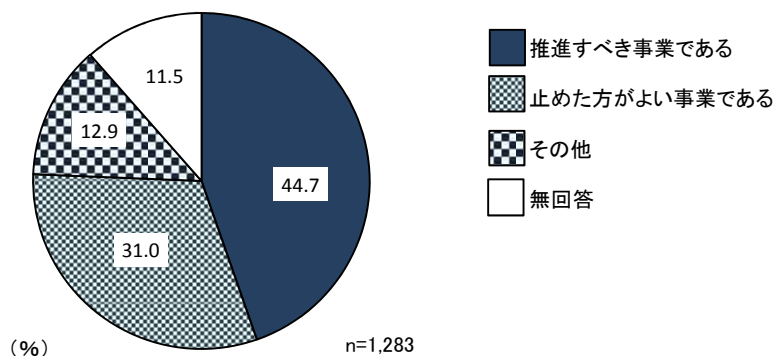
【居住地域別 図】



(46)笠岡駅周辺に行政機能や居住機能などを集中させ、複合的な機能を有するエリアに再構築することについてどのように思いますか。

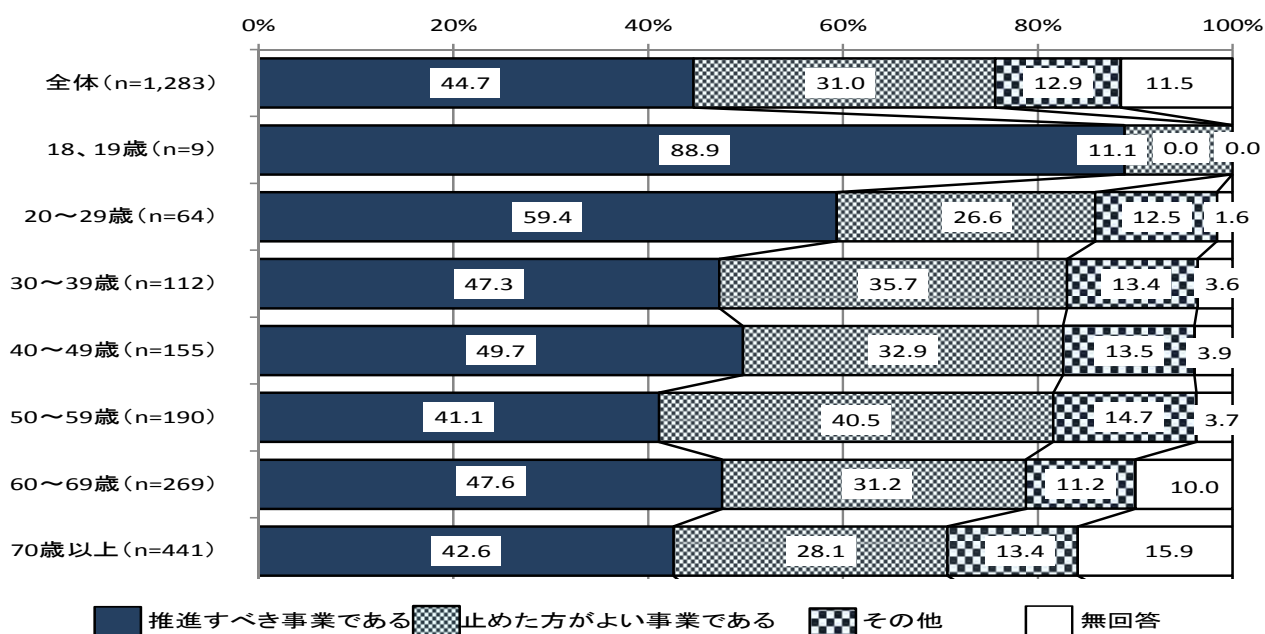
笠岡駅周辺に行政機能や居住機能などを集中させ、複合的な機能を有するエリアに再構築することについてどのように思いますかについて、「推進すべき事業である」が44.7%と最も高くなっています。ついで、「止めた方がよい事業である」が31.0%、「その他」が12.9%となっています。

【全体 図】



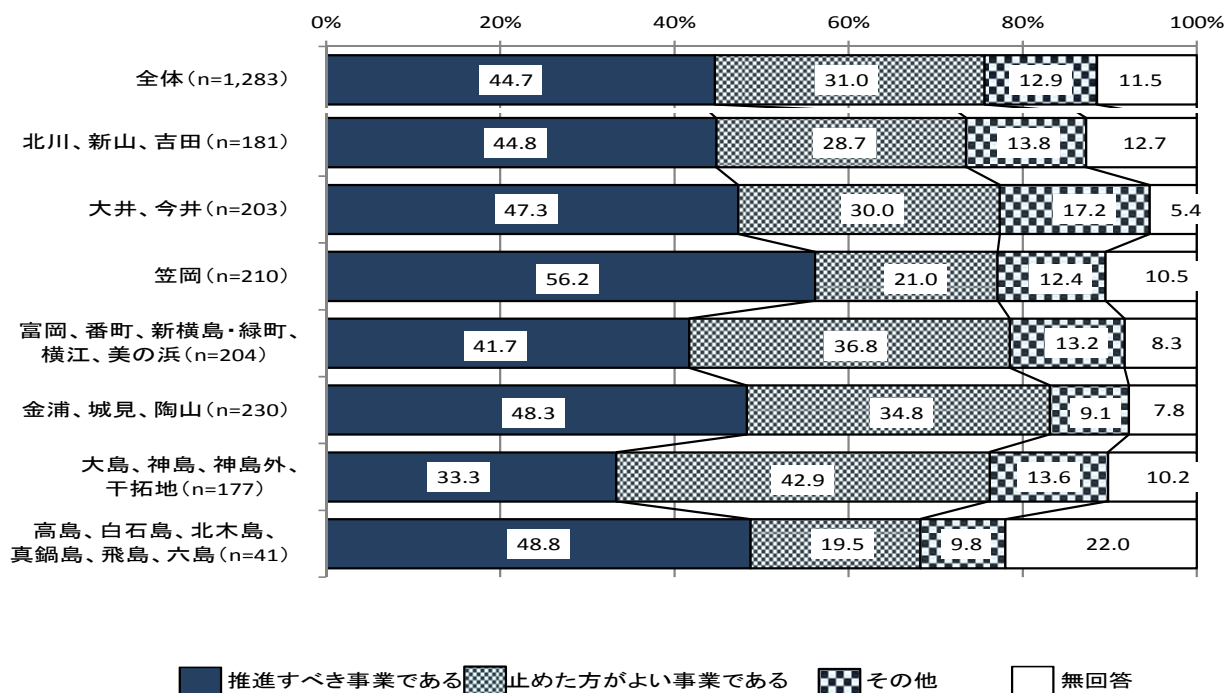
年齢別にみると、「18、19歳」から「30～39歳」にかけて年齢が上がるにつれて「推進すべき事業である」が低くなっています。

【年齢別 図】



居住地域別にみると、「大島、神島、神島外、干拓地」（42.9％）は、他の地域に比べて「止めた方がよい事業である」が高くなっており、それ以外の地域は「推進すべき事業である」が高くなっています。

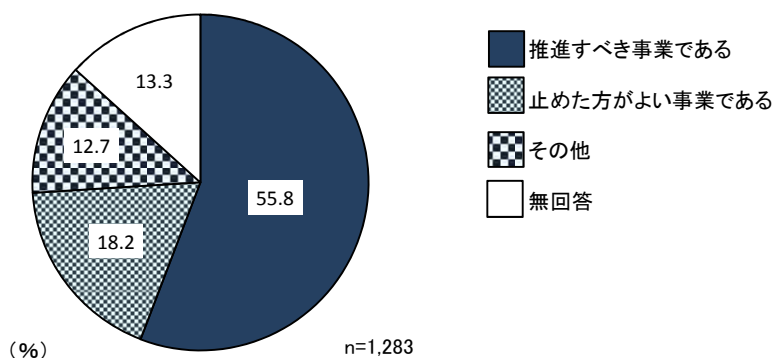
【居住地域別 図】



(47)市営住宅の整理、県道の整備、スマートインターチェンジなどを導入することにより大規模に住宅団地の開発を行うことについてどのように思いますか。

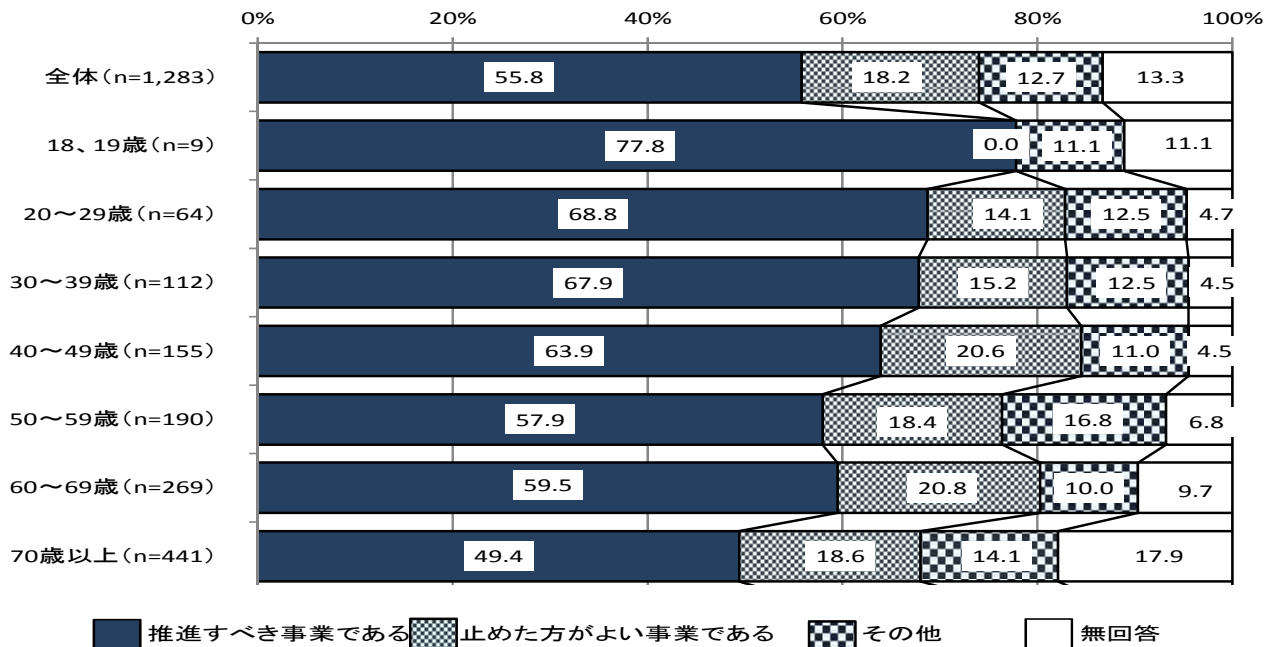
市営住宅の整理、県道の整備、スマートインターチェンジなどを導入することにより大規模に住宅団地の開発を行うことについてどのように思いますかについて、「推進すべき事業である」が55.8％と最も高くなっています。ついで、「止めた方がよい事業である」が18.2％、「その他」が12.7％となっています。

【全体 図】



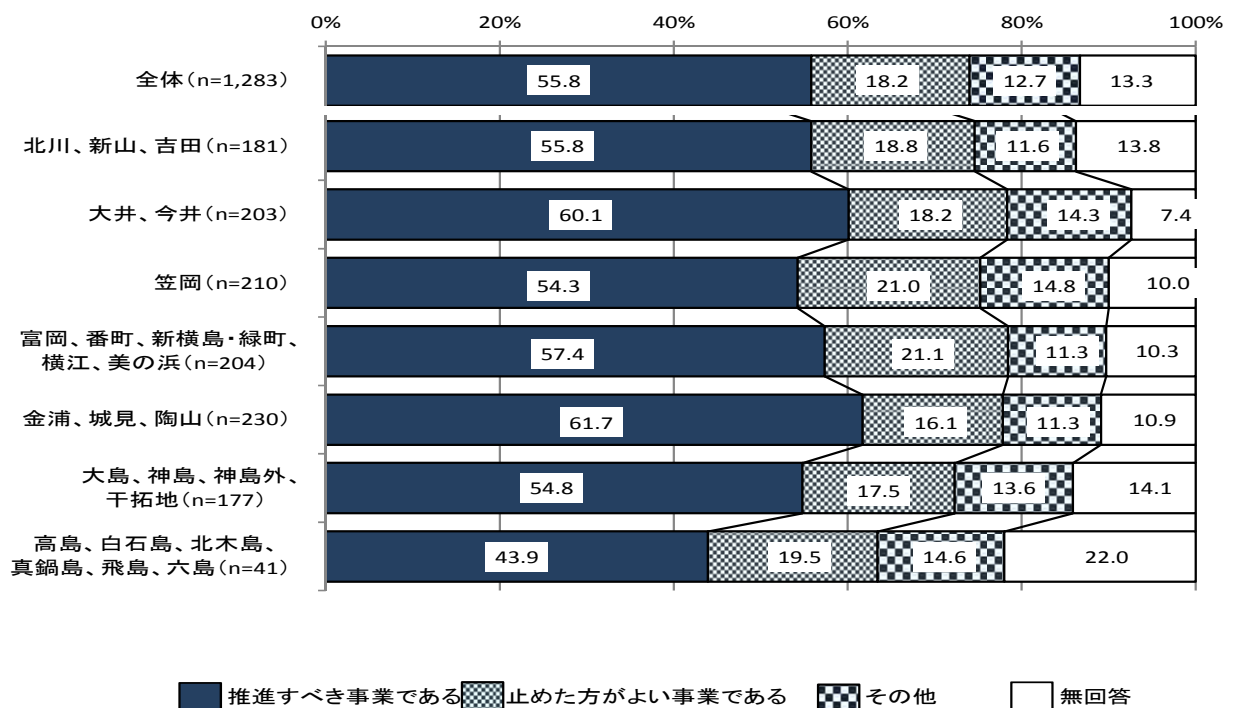
年齢別にみると、「18、19歳」から「50～59歳」にかけて年齢が上がるにつれて「推進すべき事業である」が低くなっています。

【年齢別 図】



居住地域別にみると、すべての地域において「推進すべき事業である」が高くなっています。

【居住地域別 図】



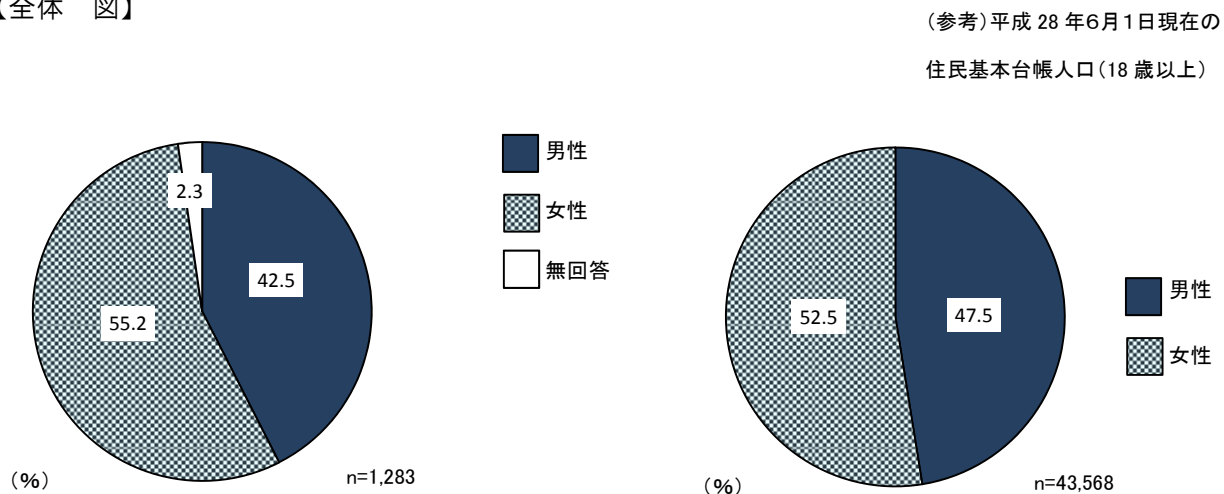
V 回答者の属性

1 あなた自身のことについて

(1)あなたの性別をお選びください。

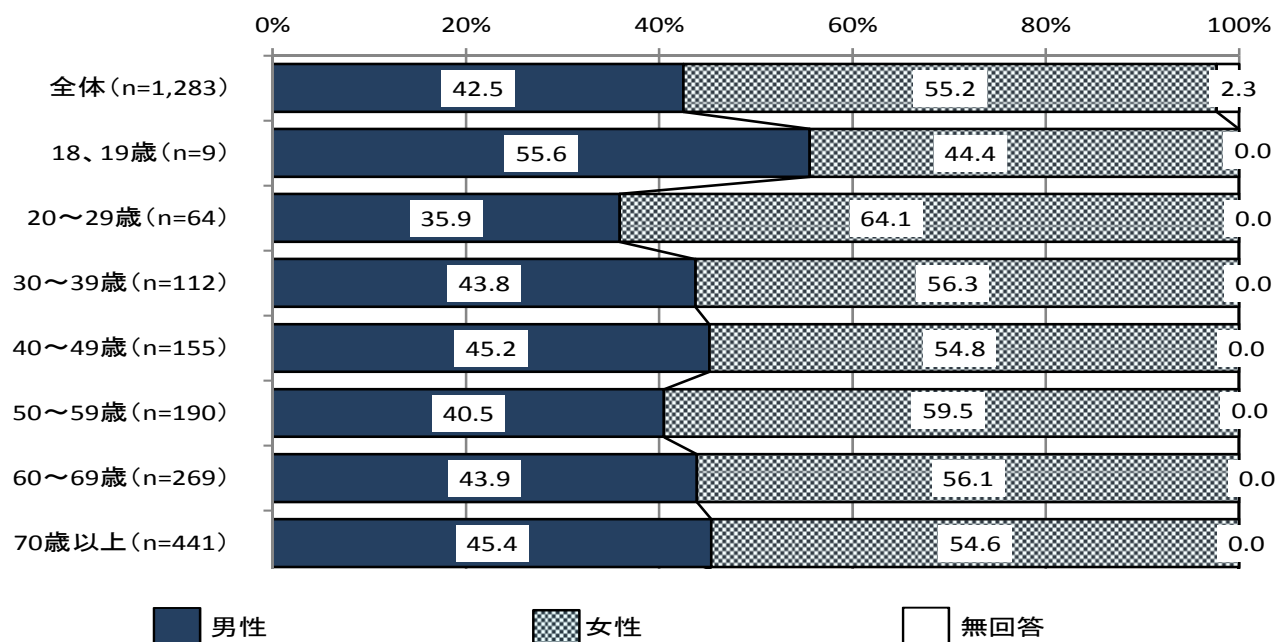
性別について、「男性」が42.5%、「女性」が55.2%となっています。

【全体 図】



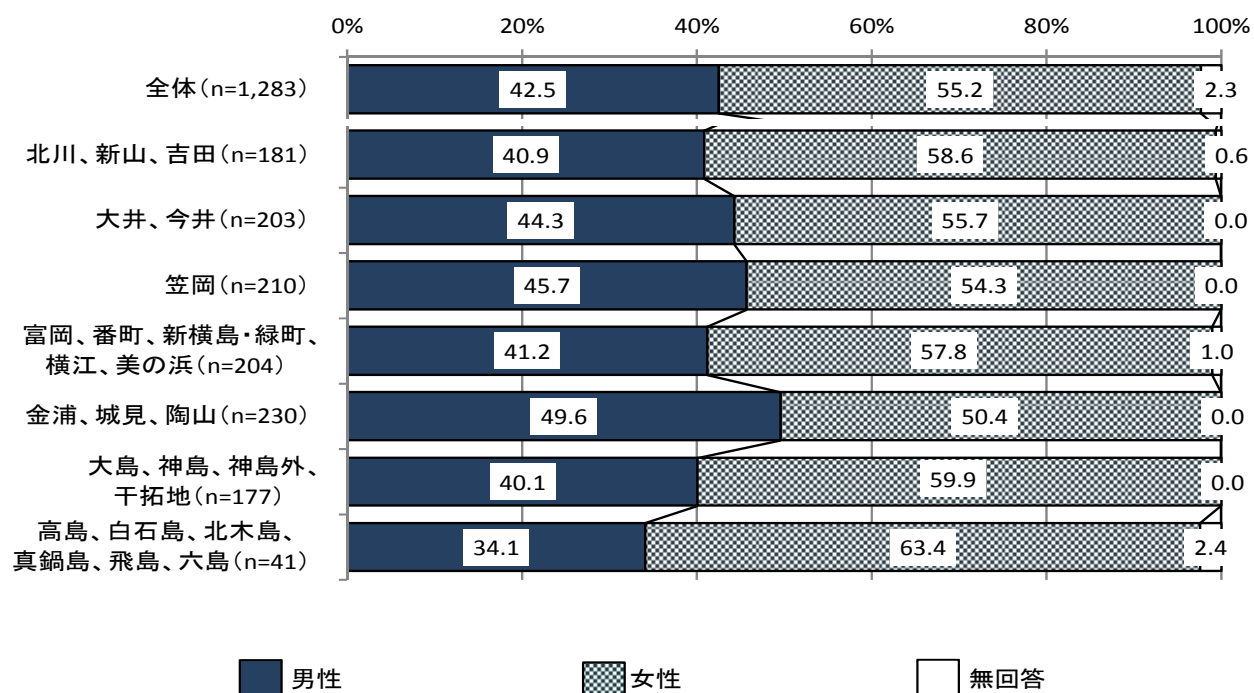
年齢別にみると、「20～29歳」から「40～49歳」にかけて年齢が上がるにつれて「男性」が高くなっており、「女性」が低くなっています。

【年齢別 図】



居住地域別にみると、すべての地域において「女性」が高くなっています。

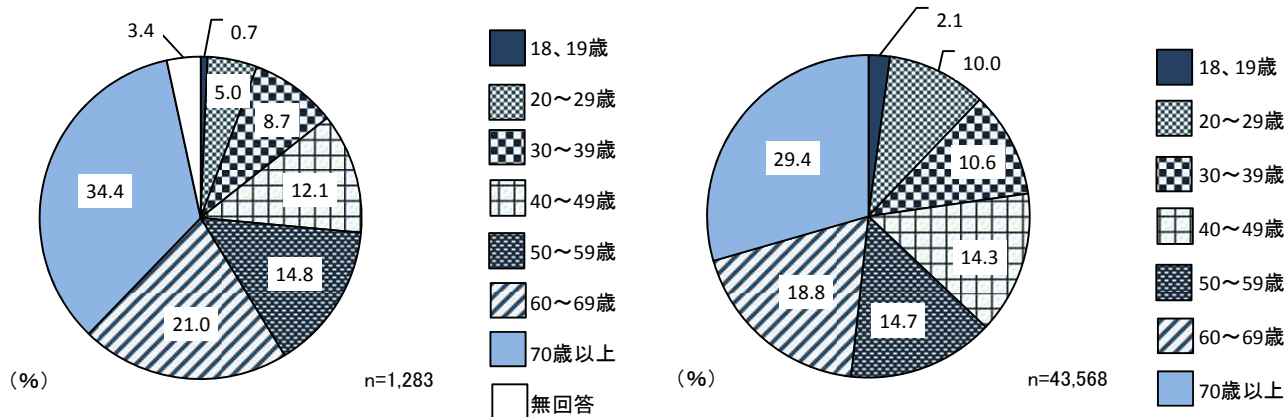
【居住地域別 図】



(2)あなたの年齢をご記入ください。(平成 28 年6月1日現在の満年齢でお答えください)

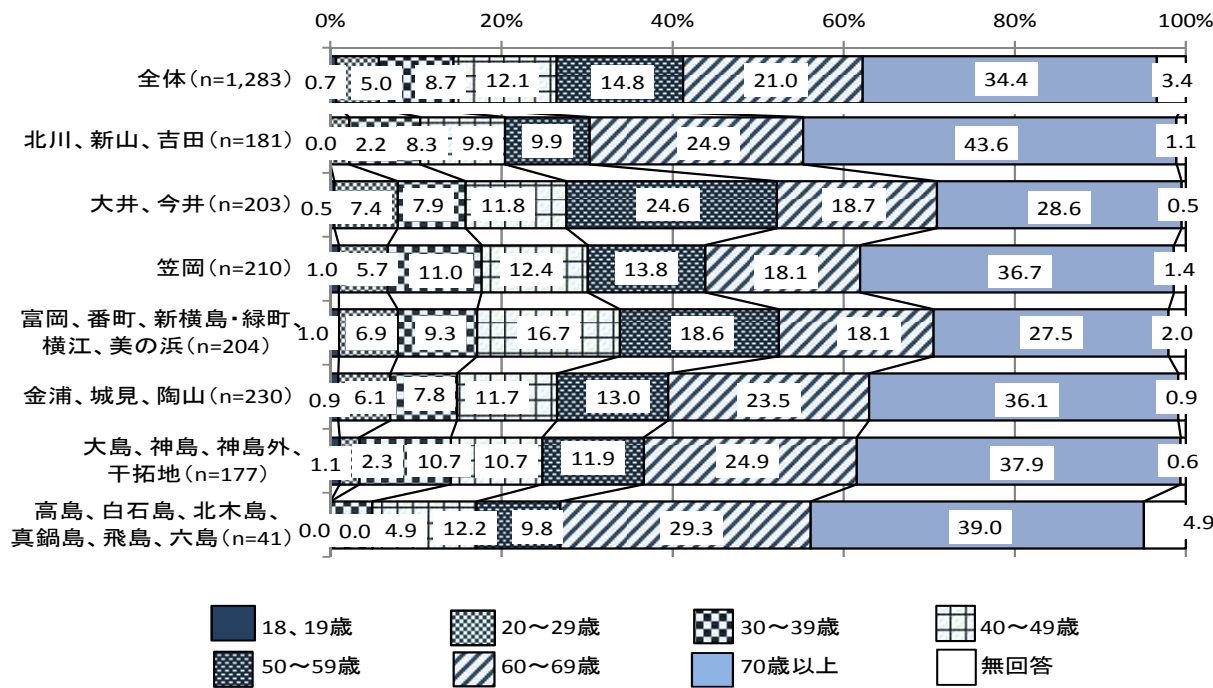
年齢について、「70 歳以上」が 34.4%と最も高くなっています。ついで、「60～69 歳」が 21.0%、「50～59 歳」が 14.8%となっています。

【全体 図】



居住地域別にみると、すべての地域において「70 歳以上」が高くなっています。

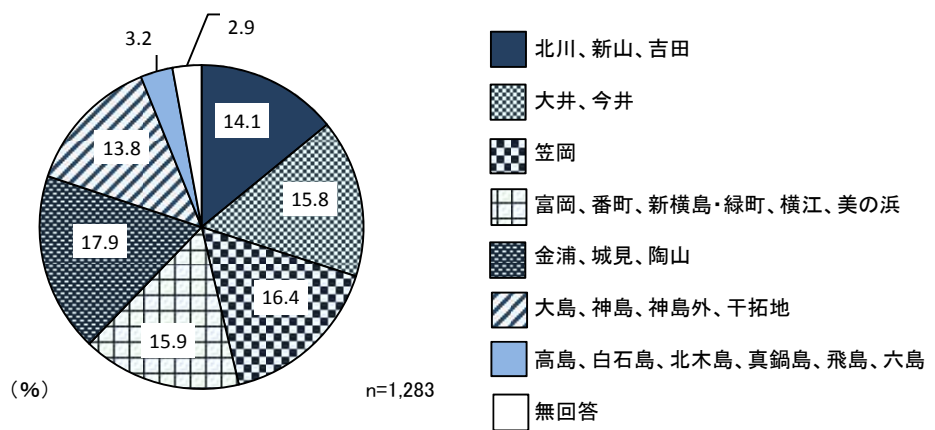
【居住地域別 図】



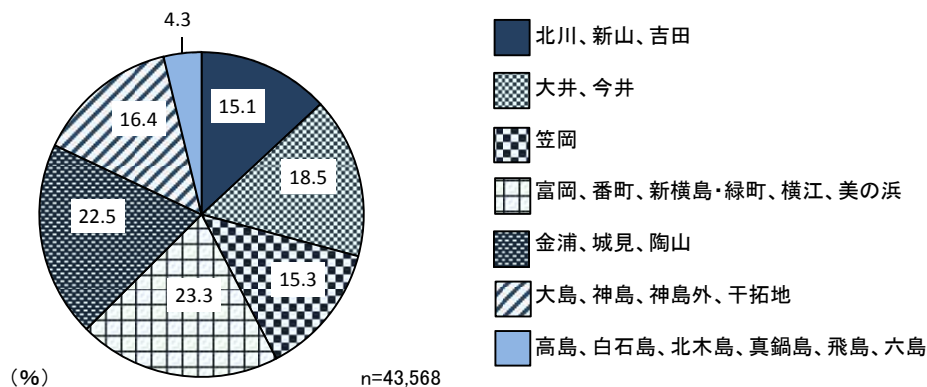
(3)お住まいの地域をお選びください。

お住まいの地域について、「金浦、城見、陶山」が 17.9%と最も高くなっています。ついで、「笠岡」が 16.4%、「富岡、番町、新横島・緑町、横江、美の浜」が 15.9%となっています。

【全体 図】

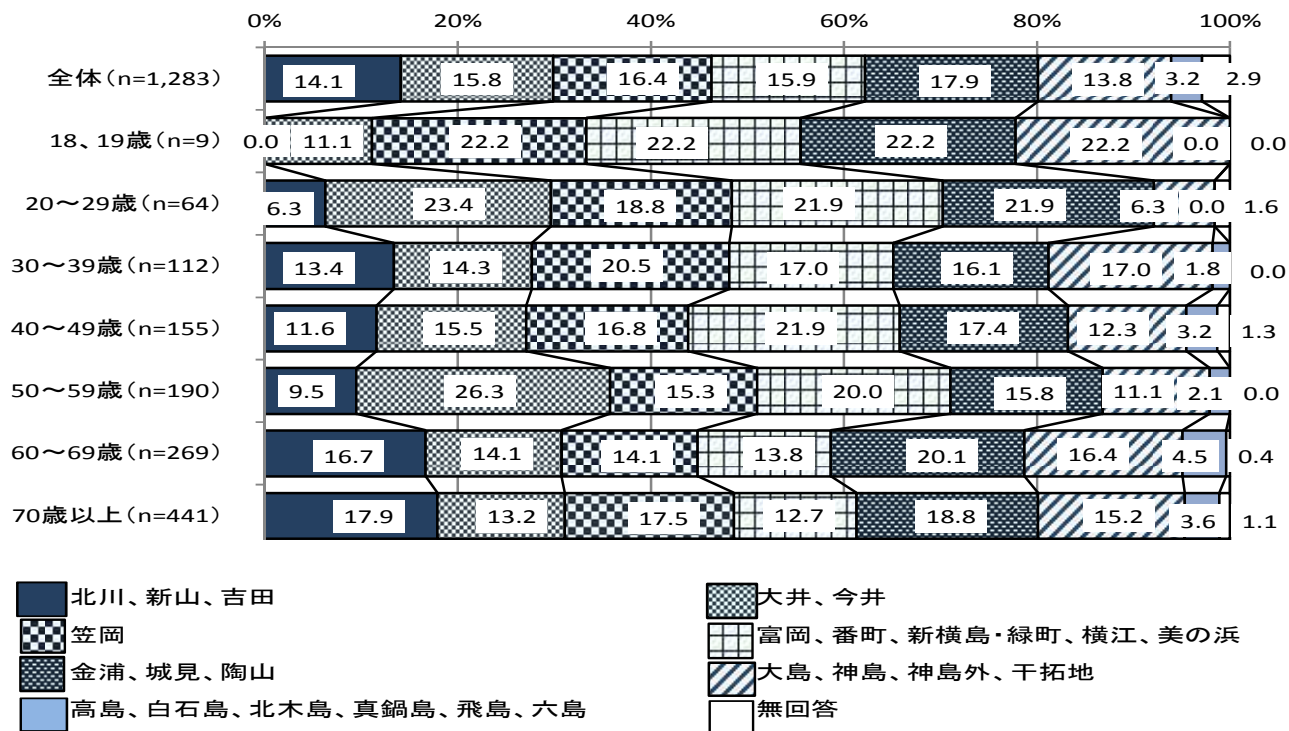


(参考)平成 28 年6月1日現在の
住民基本台帳人口 (18 歳以上)



年齢別にみると、「30～39 歳」から「60～69 歳」にかけて年齢が上がるにつれて「笠岡」が低くなっており、また、「40～49 歳」から「70 歳以上」にかけて年齢が上がるにつれて「富岡、番町、新横島・緑町、横江、美の浜」が低くなっています。

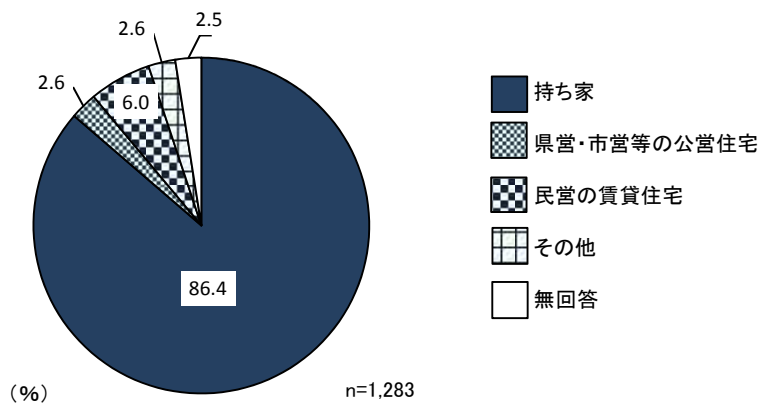
【年齢別 図】



(4)現在お住まいの住居をお選びください。

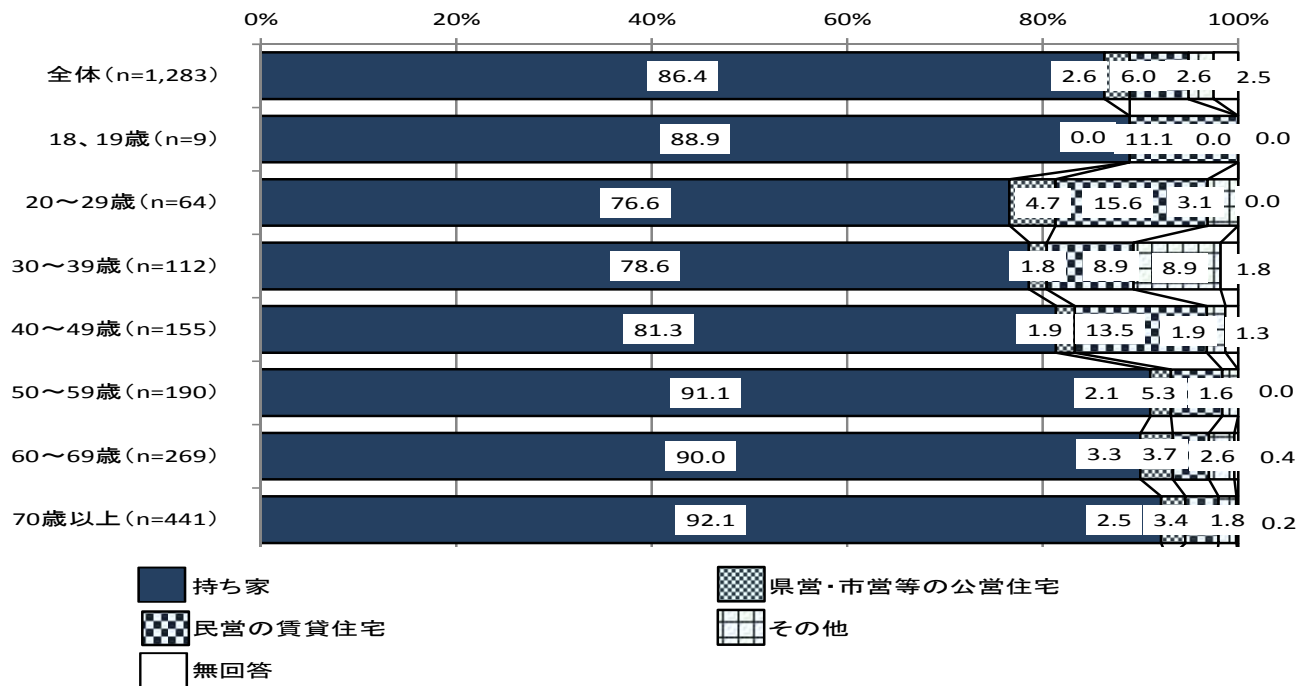
現在お住まいの住居について、「持ち家」が86.4%と最も高くなっています。ついで、「民営の賃貸住宅」が6.0%、「県営・市営等の公営住宅」が2.6%、「その他」が2.6%となっています。

【全体 図】



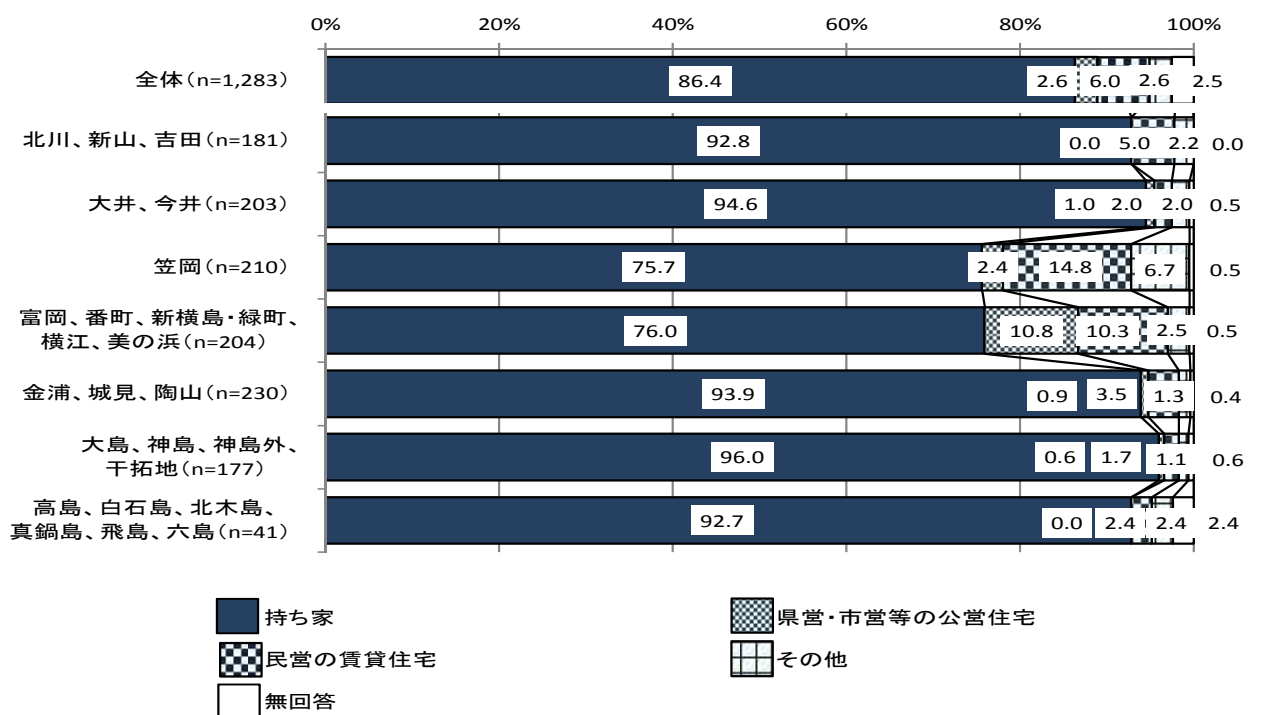
年齢別にみると、「20～29 歳」から「50～59 歳」にかけて年齢が上がるにつれて「持ち家」が高くなっており、また「30～39 歳」から「60～69 歳」にかけて年齢が上がるにつれて「県営・市営等の公営住宅」が高くなっており、また「40～49 歳」から「70 歳以上」にかけて年齢が上がるにつれて「民営の賃貸住宅」が低くなっています。

【年齢別 図】



居住地域別にみると、すべての地域において「持ち家」が高くなっています。

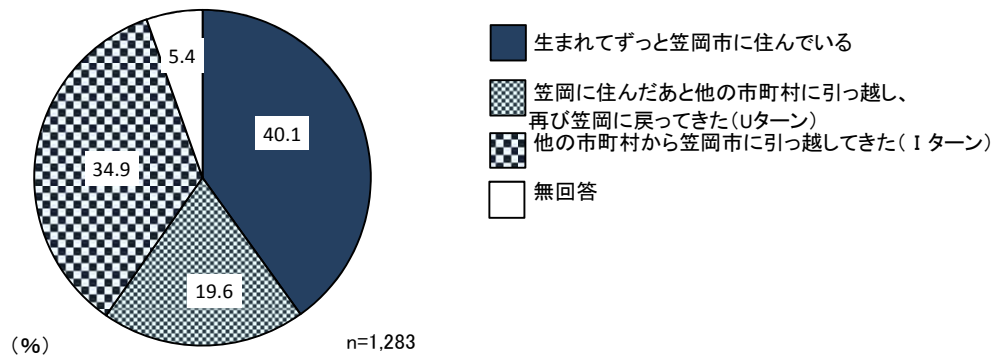
【居住地域別 図】



(5)笠岡市にお住まいの経緯をお選びください。

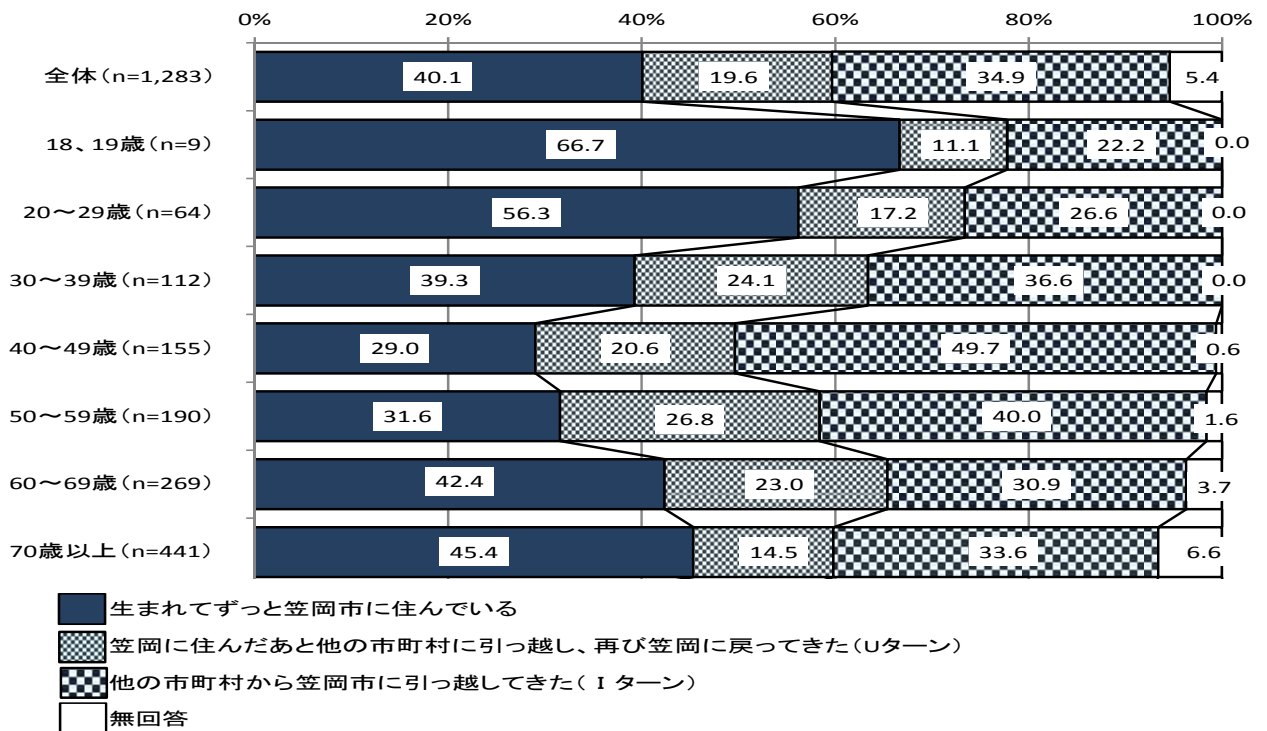
笠岡市にお住まいの経緯について、「生まれてずっと笠岡市に住んでいる」が40.1%と最も高くなっています。ついで、「他の市町村から笠岡市に引っ越してきた（Iターン）」が34.9%、「笠岡に住んだあと他の市町村に引っ越し、再び笠岡に戻ってきた（Uターン）」が19.6%となっています。

【全体 図】



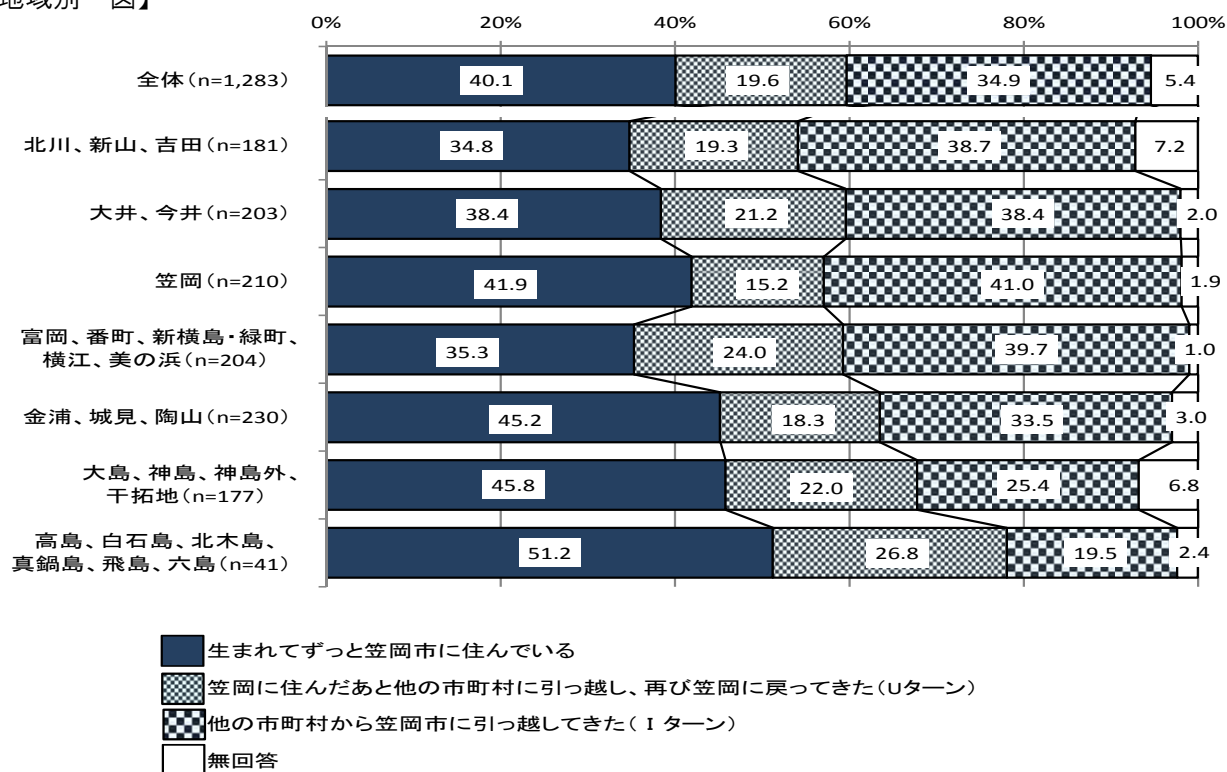
年齢別にみると、「40～49歳」から「70歳以上」にかけて年齢が上がるにつれて「生まれてずっと笠岡市に住んでいる」が高くなっており、また「18、19歳」から「40～49歳」にかけて年齢が上がるにつれて「他の市町村から笠岡市に引っ越してきた（Iターン）」が高くなっています。

【年齢別 図】



居住地域別にみると、「笠岡」(41.9%)、「金浦、城見、陶山」(45.2%)、「大島、神島、神島外、干拓地」(45.8%)、「高島、白石島、北木島、真鍋島、飛島、六島」(51.2%)は他の地域に比べて「生まれてずっと笠岡市に住んでいる」が高くなっています。また、「北川、新山、吉田」(38.7%)、「大井、今井」(38.4%)、「富岡、番町、新横島・緑町、横江、美の浜」(39.7%)は他の地域に比べて「他の市町村から笠岡市に引っ越してきた(Ｉターン)」が高くなっています。

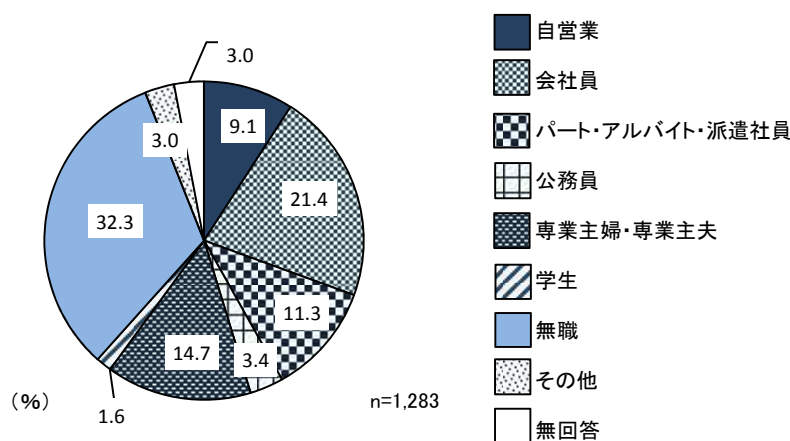
【居住地域別 図】



(6-1)あなたの職業をお選びください。

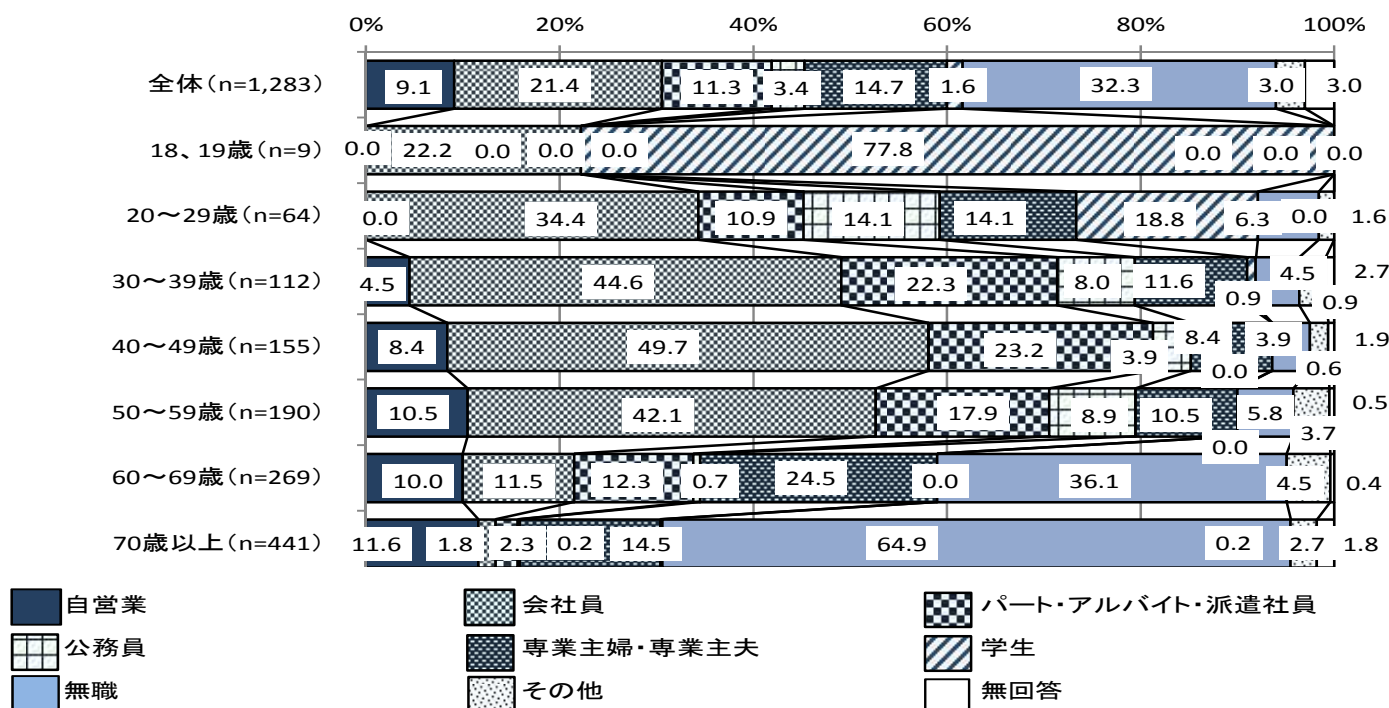
職業について、「無職」が32.3%と最も高くなっています。ついで、「会社員」が21.4%、「専業主婦・専業主夫」が14.7%となっています。

【全体 図】



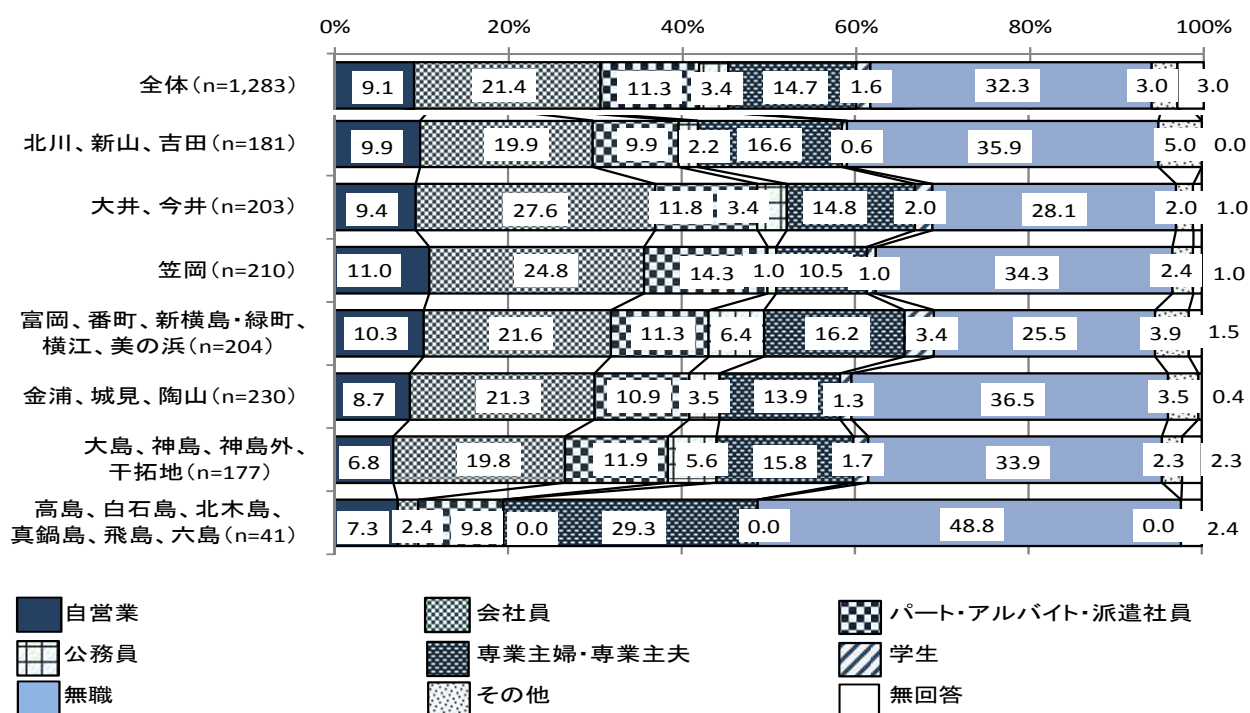
年齢別にみると、「18、19歳」から「40～49歳」にかけて年齢が上がるにつれて「会社員」が高くなっており、また「40～49歳」から「70歳以上」にかけて年齢が上がるにつれて「パート・アルバイト・派遣社員」が低くなっています。

【年齢別 図】



居住地域別にみると、すべての地域において「無職」が高くなっています。

【居住地域別 図】

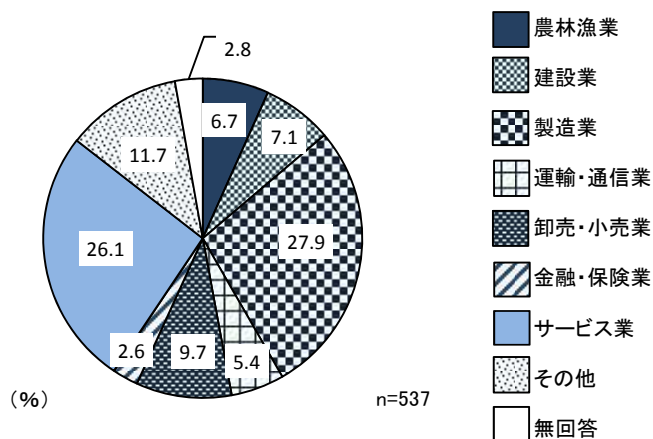


《(6-1)で「1～3」を選んだ方に伺います。》

(6-2)あなたの職業をお選びください。

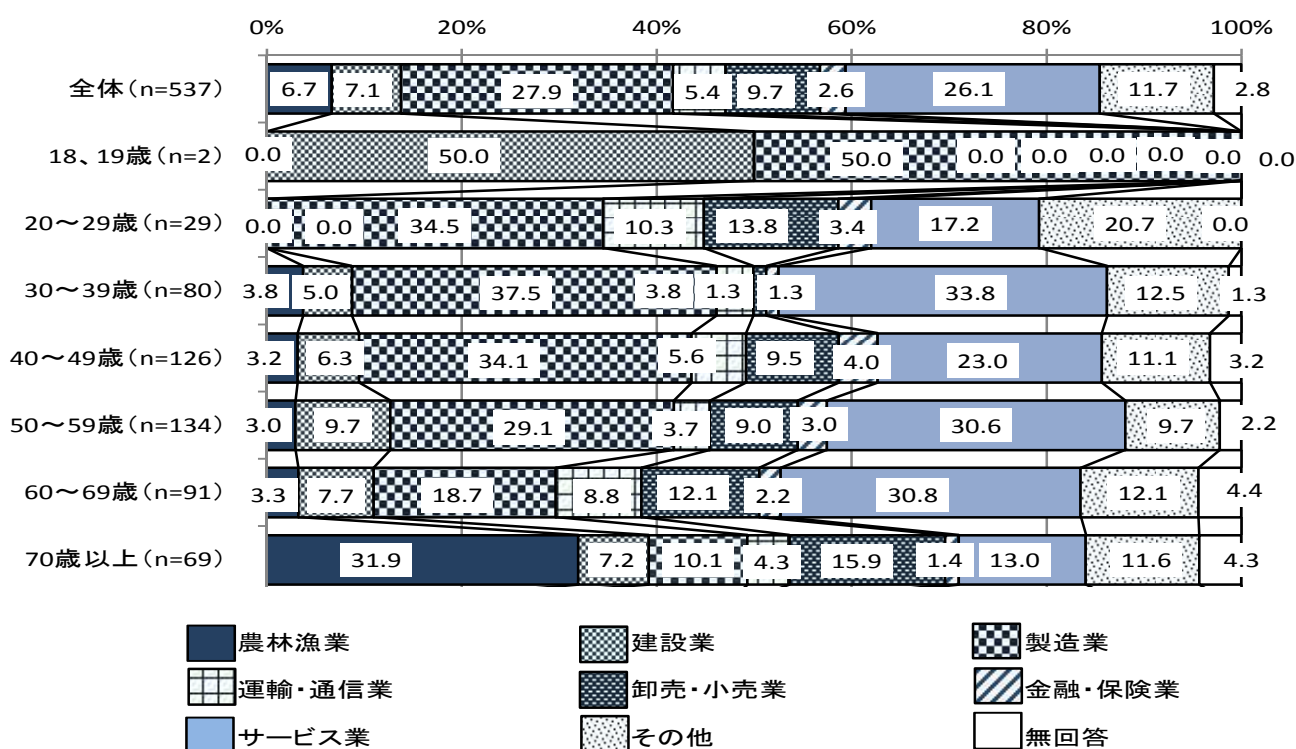
前の設問で「自営業」「会社員」「パート・アルバイト・派遣社員」と回答した人の業種について、「製造業」が27.9%と最も高くなっています。ついで、「サービス業」が26.1%、「その他」が11.7%となっています。

【全体 図】



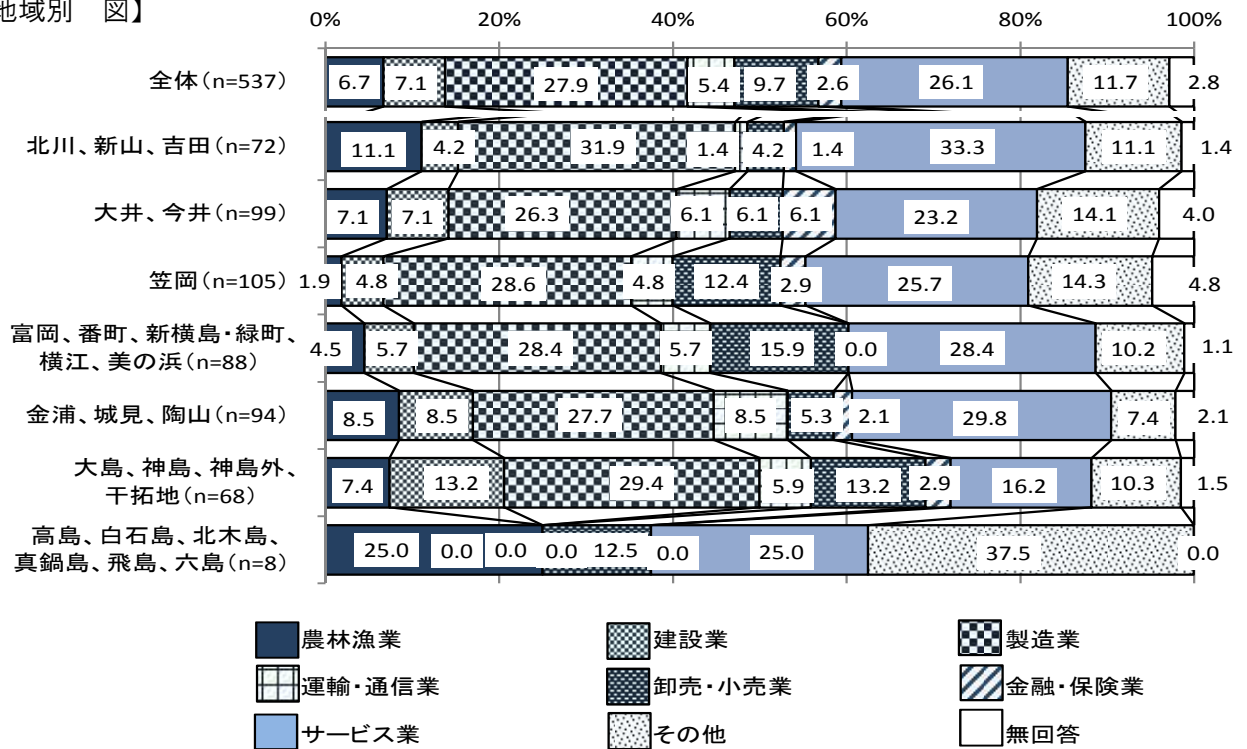
年齢別にみると、「30～39歳」から「70歳以上」にかけて年齢が上がるにつれて「製造業」が低くなっています。

【年齢別 図】



居住地域別にみると、「大井、今井」(26.3%)、「笠岡」(28.6%)、「富岡、番町、新横島・緑町、横江、美の浜」(28.4%)、「大島、神島、神島外、干拓地」(29.4%) は他の地域に比べて「製造業」が高くなっています。また、「北川、新山、吉田」(33.3%)、「富岡、番町、新横島・緑町、横江、美の浜」(28.4%)、「金浦、城見、陶山」(29.8%) は他の地域に比べて「サービス業」が高くなっています。

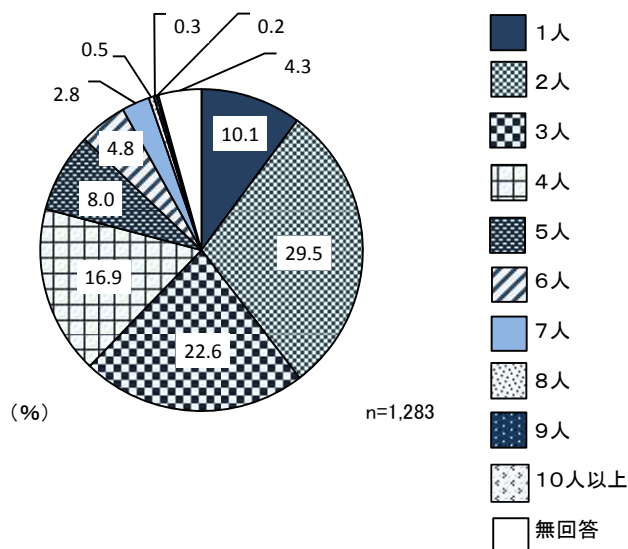
【居住地域別 図】



(7)あなたを含む同居の家族は何人ですか。

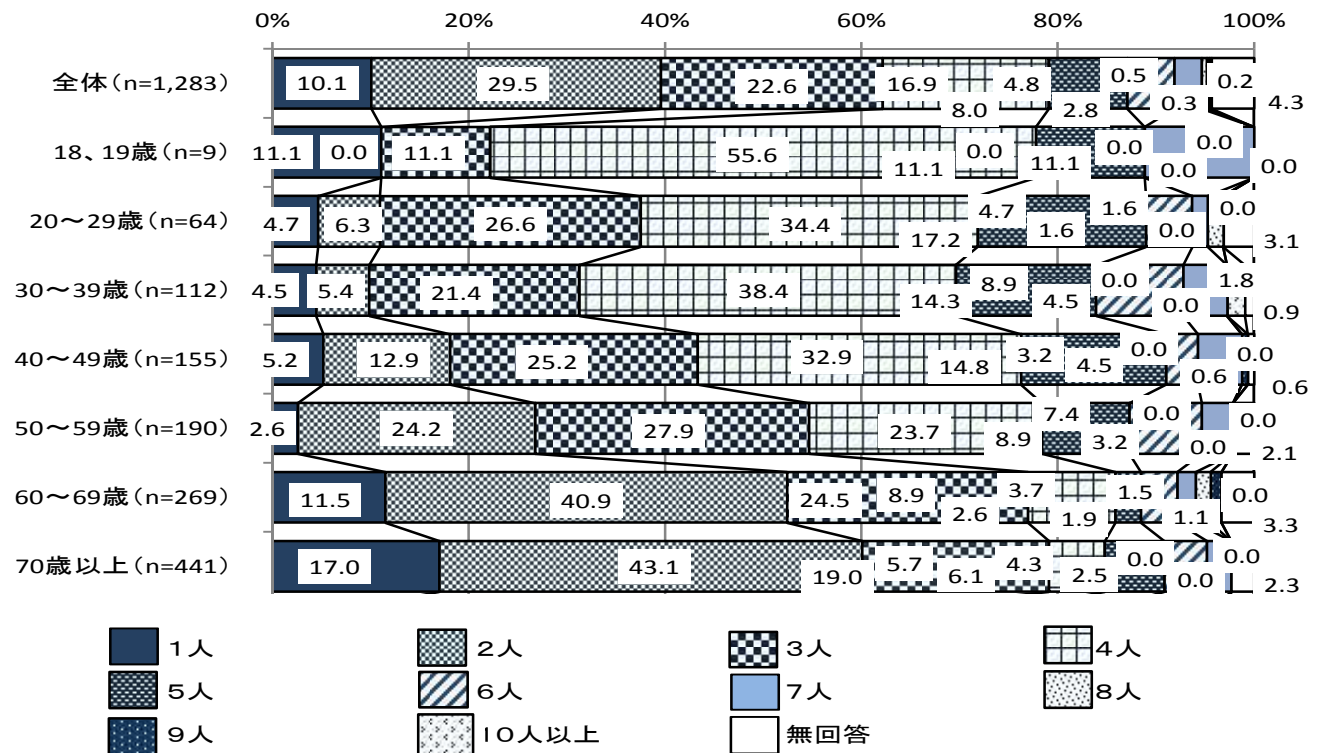
同居の家族の人数について、「2人」が29.5%と最も高くなっています。ついで、「3人」が22.6%、「4人」が16.9%となっています。

【全体 図】



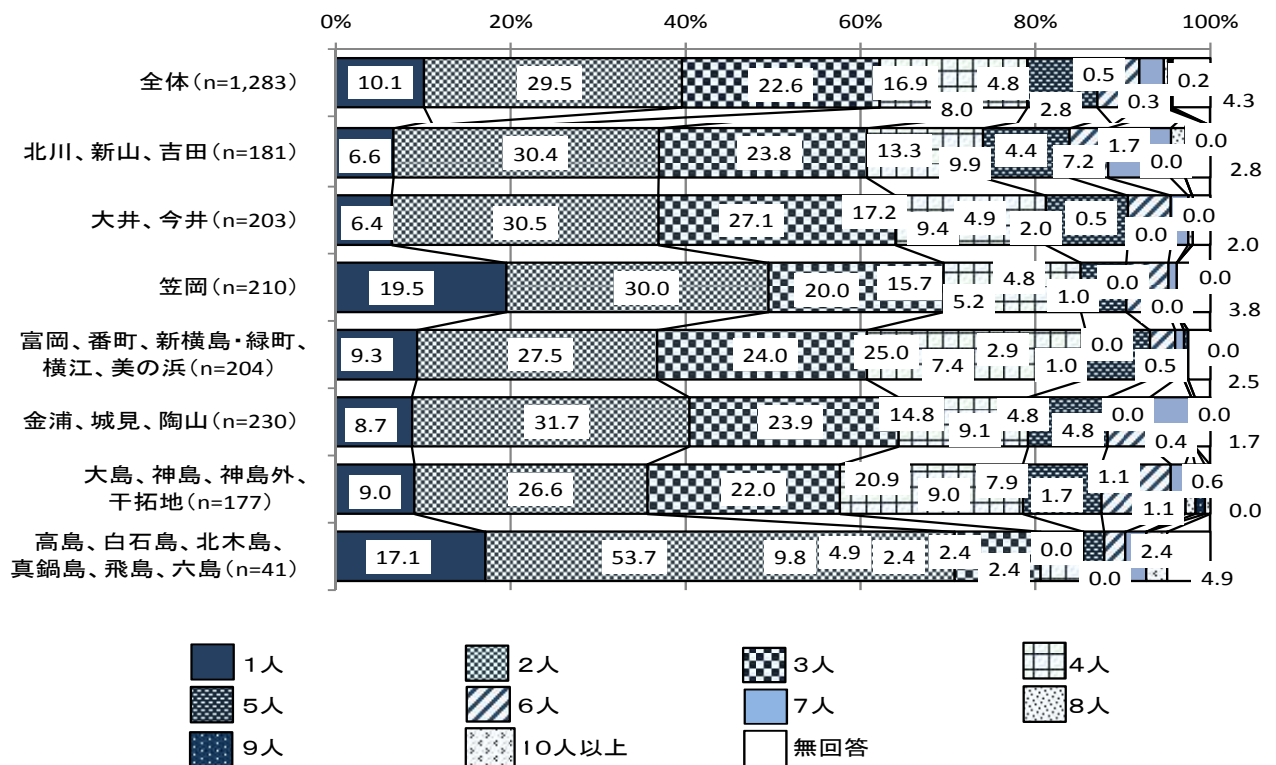
年齢別にみると、「20～29 歳」から「70 歳以上」にかけて年齢が上がるにつれて「2 人」が高くなっています。

【年齢別 図】



居住地域別にみると、すべての地域において「2 人」が高くなっています。

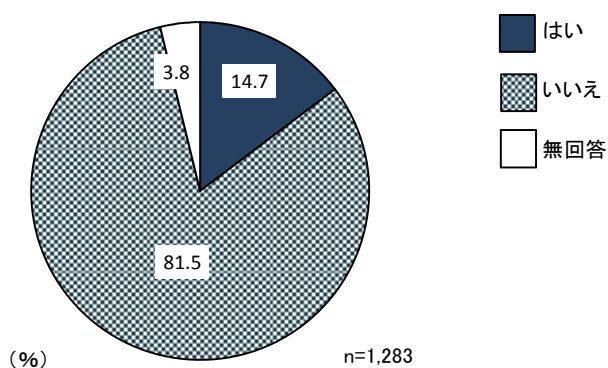
【居住地域別 図】



(8)あなたは、現在、中学生以下の子どもを育てていますか。

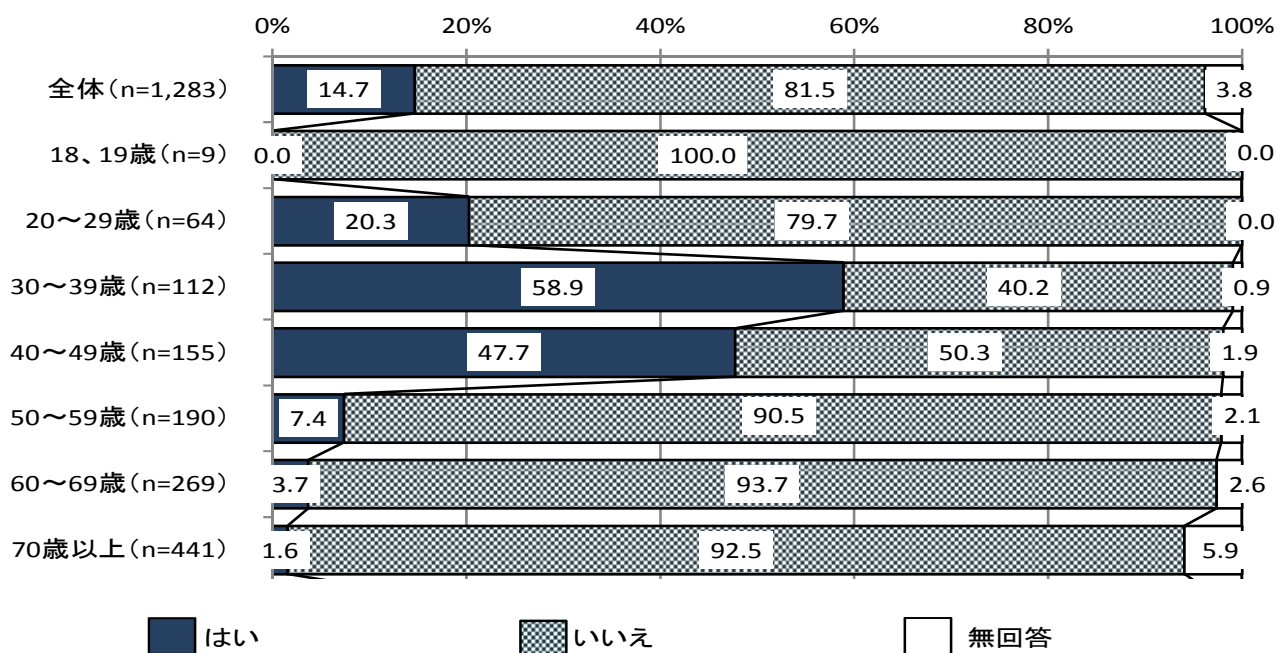
現在、中学生以下の子どもを育てていますかについて、「はい」が14.7%、「いいえ」が81.5%となっています。

【全体 図】



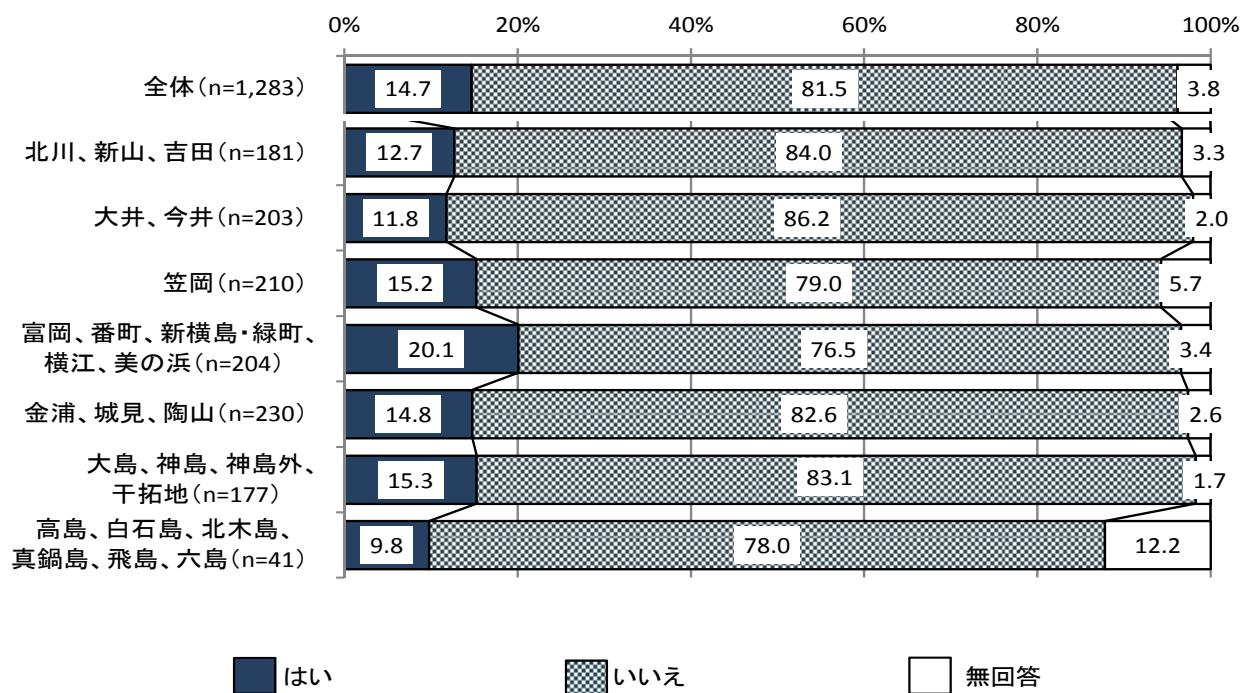
年齢別にみると、「30～39歳」から「70歳以上」にかけて年齢が上がるにつれて「はい」が低くなっています。

【年齢別・居住地域別 図】



居住地域別にみると、すべての地域において「いいえ」が高くなっています。

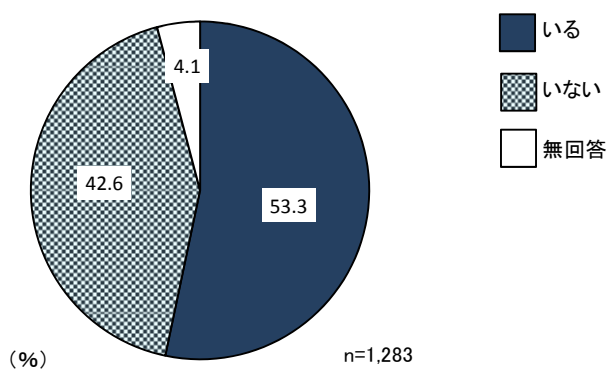
【居住地域別 図】



(9)同居の家族(あなた以外)に 65 歳以上の高齢者がいますか。

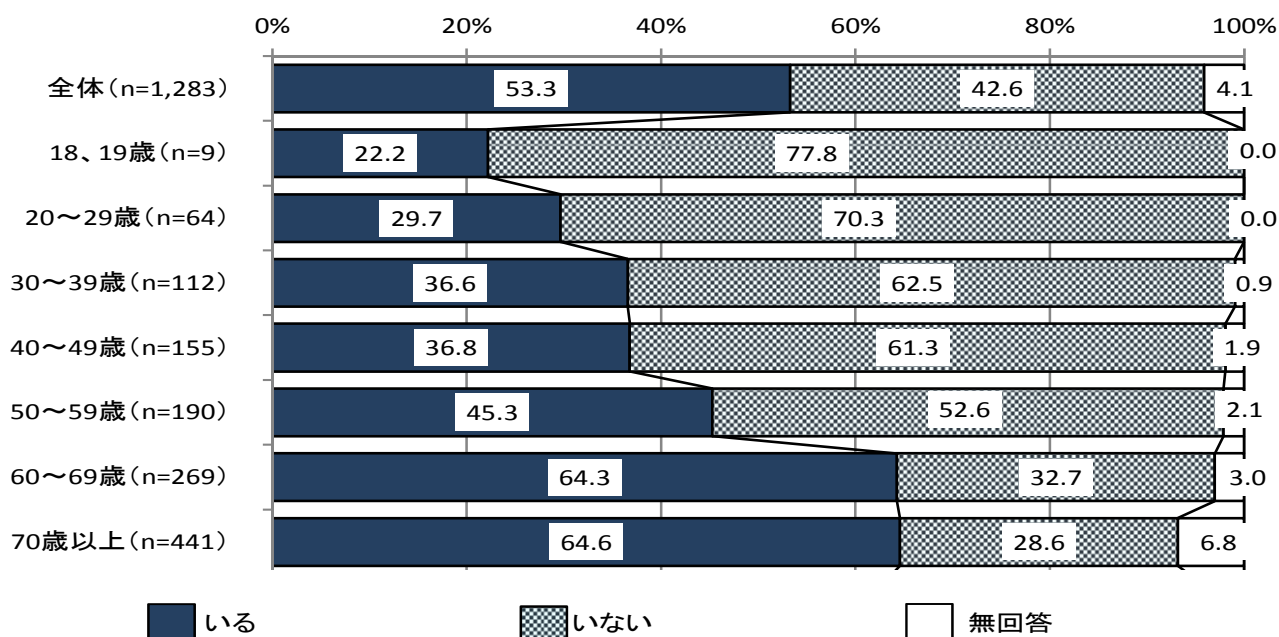
同居の家族に 65 歳以上の高齢者がいますかについて、「いる」が 53.3%、「いない」が 42.6%となっています。

【全体 図】



年齢別にみると、「18、19歳」から「70歳以上」にかけて年齢が上がるにつれて「いる」が高くなっています。

【年齢別 図】



居住地域別にみると、「北川、新山、吉田」(63.0%)、「大井、今井」(54.7%)、「金浦、城見、陶山」(57.0%)、「大島、神島、神島外、干拓地」(59.3%)、「高島、白石島、北木島、真鍋島、飛島、六島」(58.5%)は「いる」が高くなっており、「笠岡」(50.0%)、「富岡、番町、新横島・緑町、横江、美の浜」(53.4%)は「いない」が高くなっています。

【居住地域別 図】

